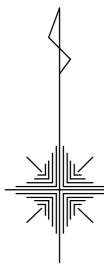


津市消防団白山方面団第4分団詰所・車庫整備に伴う 旧津市白山郷土資料館改修工事

図面リスト							
建築工事					電気設備工事・機械設備工事		
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
	【建築工事】	(A - 25)	改修後 断面詳細図 1	(S - 01)	構造設計標準仕様書		【電気設備工事】
(A - 01)	表題・目次	(A - 26)	改修後 断面詳細図 2	(S - 02)	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	(E - 01)	電気設備工事特記仕様書 1
(A - 02)	附近見取図、工事概要	(A - 27)	改修後 階段詳細図	(S - 03)	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	(E - 02)	電気設備工事特記仕様書 2
(A - 03)	改修特記仕様書 1	(A - 28)	改修前 展開図 1	(S - 04)	鉄骨構造標準図(1)	(E - 03)	電気設備工事特記仕様書 3
(A - 04)	改修特記仕様書 2	(A - 29)	改修前 展開図 2	(S - 05)	鉄骨構造標準図(2)	(E - 04)	電気設備 改修後 配置図
(A - 05)	改修特記仕様書 3	(A - 30)	改修前 展開図 3	(S - 06)	改修前 基礎伏図・基礎詳細図	(E - 05)	分電盤結線図
(A - 06)	改修特記仕様書 4	(A - 31)	改修前 展開図 4	(S - 07)	改修後 基礎伏図・基礎詳細図	(E - 06)	照明器具姿図
(A - 07)	改修特記仕様書 5	(A - 32)	改修前 展開図 5	(S - 08)	改修前 2階梁伏図・小屋伏図	(E - 07)	電灯設備 改修後 平面図
(A - 08)	改修特記仕様書 6	(A - 33)	改修後 展開図 1 (車庫)	(S - 09)	改修後 2階梁伏図・小屋伏図	(E - 08)	コンセント設備 改修後 平面図
(A - 09)	改修後 配置図、面積表	(A - 34)	改修後 展開図 2 (事務室・便所)	(S - 10)	改修前 軸組図・部材リスト	(E - 09)	誘導灯設備・テレビ共同受信設備 改修後 平面図
(A - 10)	改修後 敷地求積表	(A - 35)	改修後 展開図 3 (和室)	(S - 11)	改修後 軸組図・部材リスト	(E - 10)	電灯設備 改修前 平面図
(A - 11)	改修後 床面積求積表	(A - 36)	改修後 天井伏図	(S - 12)	改修後 架構詳細図	(E - 11)	コンセント設備・自動火災報知設備 改修前 平面図
(A - 12)	改修後 法規チェック表	(A - 37)	建具配置図				
(A - 13)	外部仮設計画図	(A - 38)	建具表 1 (新設SS・AD・AW・AP・改修AW)				
(A - 14)	外部仕上表	(A - 39)	建具表 2 (新設WD・TB撤去)				【機械設備工事】
(A - 15)	内部仕上表 1	(A - 40)	雑詳細図 1			(M - 01)	機械設備工事特記仕様書 1
(A - 16)	内部仕上表 2	(A - 41)	雑詳細図 2			(M - 02)	機械設備工事特記仕様書 2
(A - 17)	改修前 平面図兼建具配置図	(A - 42)	雑詳細図 3			(M - 03)	給排水衛生設備 器具表・樹明細
(A - 18)	改修後 平面図	(A - 43)	雑詳細図 4 (撤去)			(M - 04)	給排水衛生設備 配置図
(A - 19)	改修前 立面図					(M - 05)	給排水衛生設備 平面図
(A - 20)	改修後 立面図					(M - 06)	給排水衛生設備 平面詳細図
(A - 21)	改修前 1階平面詳細図					(M - 07)	空調・換気設備 機器表 計算書
(A - 22)	改修前 2階平面詳細図					(M - 08)	空調・換気設備 平面図
(A - 23)	改修後 1階平面詳細図						
(A - 24)	改修後 2階平面詳細図						

原図:A2



附近見取図

工事場所：三重県津市白山町中ノ村地内

■ 計画概要

工事名称 津市消防団白山方面団第4分団詰所・車庫整備に伴う
旧津市白山郷土資料館改修工事

1. 津市消防団白山方面団第4分団詰所・車庫（鉄骨造2階建）

工事場所 三重県津市白山町中ノ村地内

- ・旧資料館1階部分を事務室及び車庫、便所として改修する。

敷地面積 1,189.58m²

- ・旧資料館2階部分を和室として改修する。

用途地域 都市計画区域外

- ・外部においては、腰壁タイルを撤去し外壁塗装改修を基本とする。

防火指定

その他の地域

建ぺい率 12.29%

容積率 13.78%

道路幅員 8.750m

道路接道長さ 69.317m

■ 工事内容

工事名	津市消防団白山方面団第4分団詰所・車庫整備に伴う 旧津市白山郷土資料館改修工事	設計年月	図面名	図面縮尺	図面番号
三重県 第1-496号	今西建築設計事務所 三重県津市野田21番地776 一級建築士事務所登録 今西 清次	【改修工事】 附近見取図、工事概要	A2 : S=NS	A - 0 2	

原図:A2

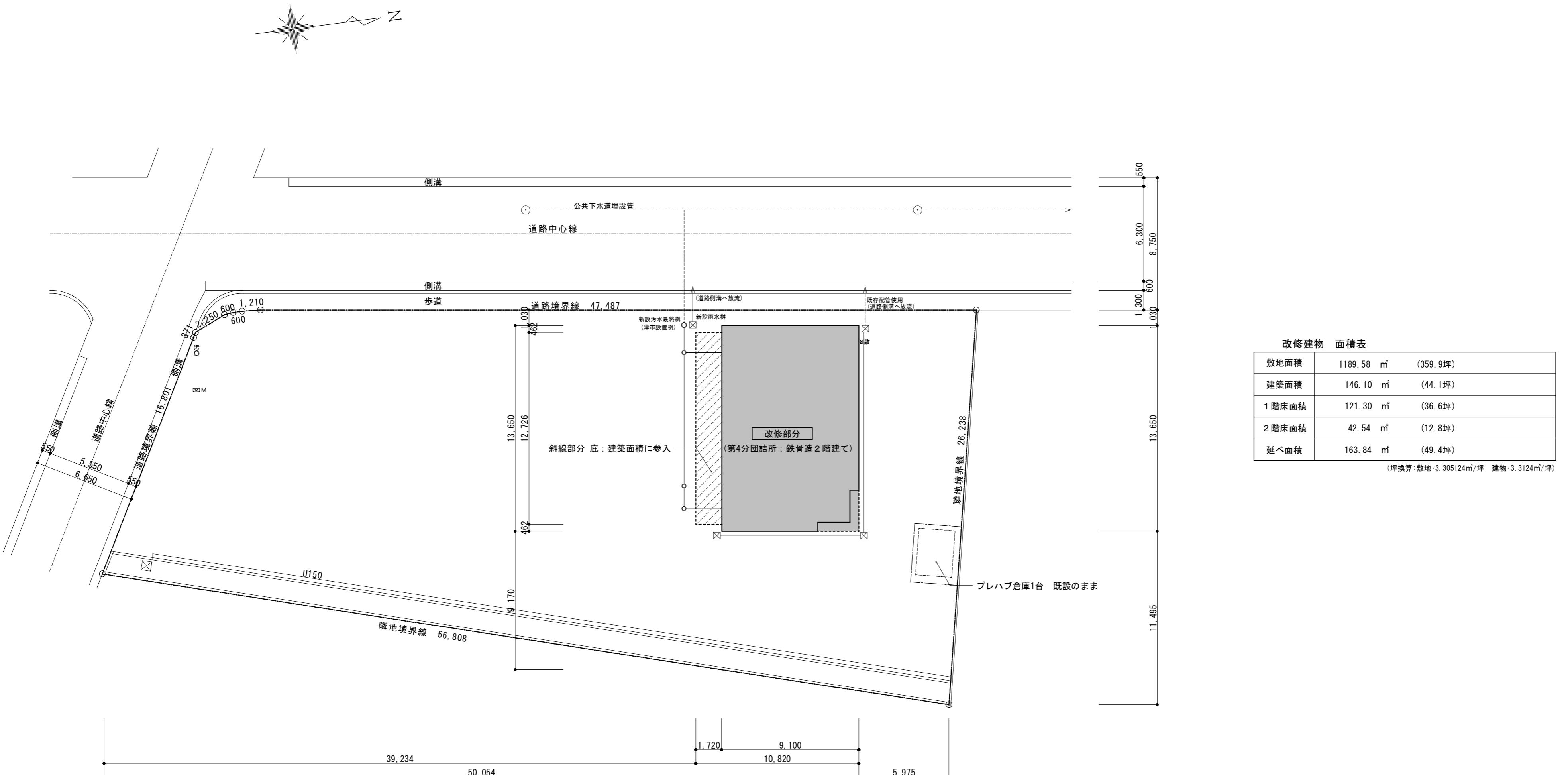
工事特記仕様書(改修)			
I. 工事名称 津市消防団白山方面団第4分団詰所・車庫整備に伴う旧津市白山郷土資料館改修工事		II. 工事概要	
1. 工事場所 三重県津市白山町中ノ村地内 2. 敷地面積 1,189.58 m ² 3. 工事内容 標名 津市消防団白山方面団第4分団詰所・車庫 構造 鉄骨造 2階建 建築面積 146.10 m ² 延べ面積 163.84 m ² 工事項目 改修工事		IV. 建設副産物情報交換システムの利用	
III. 建築改修工事仕様		再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は受注時において工事請負金額が1億円以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書(実施書)」及び「再生資源利用促進計画書(実施書)」を監督員に提出すること。 また、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。	
1. 共通仕様 国面及び特記仕様書に記載されていない事項は、公共建築工事標準仕様書(「建築工事編」H28年度(以下「標準仕様書」)及び公共建築改修工事標準仕様書(「建築工事編」H28年度)		5. 三重県産業廃棄物税 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表(マニフェストの数量の集計)を超えて請求することはできない。	
2. 特記仕様 (1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。 (3)項目欄に記載の()内表示番号は改修標の該当項目を示す。		6. 電気保安技術者 適用する 7. 技能士 職種別に可能なものについては、積極的に活用のこと。	
8. 施工数量調査 調査範囲及び調査方法 ○工種別の特記による		9. 調査のための破壊部分の補修 補修方法 図示(国面番号:) () ()	
10. 建築材料等 1) 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。 2) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆以上とする。		11. 化学物質の濃度測定 測定対象化学物質(○で示したものとする。) 適用 施設用途 ホルムアルデヒド トルエン キシレン エチルベンゼン スチレン パラジクロベンゼン 学校・教育施設 ● ● ● ● ● ● 住宅 ● ● ● ● ● ● ○ その他 ● ● ● ● ● ●	
12. 特別な材料の工法 13. 韶音・振動の防止 14. 工事写真 15. 完成図 16. 完成写真 17. 設備工事との取扱い 18. 既存部分等への処置 19. 事故報告 20. 消防提出書類 21. 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置 22. 不正軽油の使用の禁止 23. 建設発生木材		測定対象室及び測定箇所数 図示(国面番号: A-18) () () 測定方法 ○バッシブ法 アクティブ法 報告書提出部数 2部 改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。 低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。 當緒工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官公署部整備課監修(最新版))に従い撮影する。 提出部数 1部 用紙は上質紙とする。 作成する ○完成図 保全に関する資料 () 完成図作成範囲(設計図を訂正) 完成図はCADにより作成することとし、著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。また、製本2部(原図サイズ)により提出すること。 ○デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。 (A4版用紙に1ページあたり3枚) 1部 箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多大になる場合には、監督員と協議すること。写真は、着工前、施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。 施工範囲 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強 ○図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 駆動装置が電動による工具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ 施工図 ○設備機器の位置、取扱い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。 既存部分に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修する。 工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する日までに、監督職員に提出すること。 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。 1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成 ・本工事 () 建築工事 () 電気設備工事 () 機械設備工事 () 別途工事 2) 防火対象物使用開始届出書 書類の作成(電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入)を行うこと。 労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講すべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。 1) 一般事項 市工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用される車両(資機材等の搬出入車両を含む)並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう)を使用してはならない。 2) 調査の協力 受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。 3) 是正措置 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。 引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調査を作成し、監督員へ提出すること。 引渡を要するものの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。	
24. 屋外広告物		設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月)」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置型方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。	
② 仮設工事		① 足場 内部足場の種別 ○脚立 ○足場板 ○(棚足場) 外部足場の種別 ○(手摺先行くさび緊結足場) 防護シート等による養生 ○適用する 适用しない 既存部分の養生 図示(国面番号:) 既存ブライド・カーテンの養生 養生方法 () 保管場所 構内既存施設内 固定された備品、机、ロッカーの移動 行う 行わない 屋内の仮設間仕切り A種 合板 厚さ 9mm () セッコウボード 厚さ 9.5mm () 合板又はセッコウボードの塗装 行う 行わない 仮設扉 設置箇所 図示(国面番号: A-10) 種別 A種 B種 C種 ・構内建物内的一部を使用する。 ・設置する。・設置しない 監督員事務所の規模(単位:m ²) 適用 規模 10程度 20程度 35程度 65程度 100程度 監督員事務所の仕上げ 部位 等 仕上げ 床 合板張り又はビニール床シート張り 内壁・天井 合板張り又はセッコウボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り 屋根 装溶脂垂鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り 5. 監督員事務所の備品等 (2.4.1)(b) 種類 机・いす 書棚 黒板・白板 排時計 温度計 数量 組 台 個 個 個 種類 長靴 雨合羽 保護帽 懐中電灯 衣類ロッカー 数量 足 着 個 個 台 種類 消火器 掃除具 受注者加入電話 冷暖房機器 インターネット 数量 個 個 台 台 構内既存の施設 ・利用できる ○利用できない 構内既存の施設 ・利用できる(・有償・無償) ○利用できない 構内既存の施設 ・利用できる(・有償・無償) ○利用できない 有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。 配置 ○図示(国面番号: A-13)	

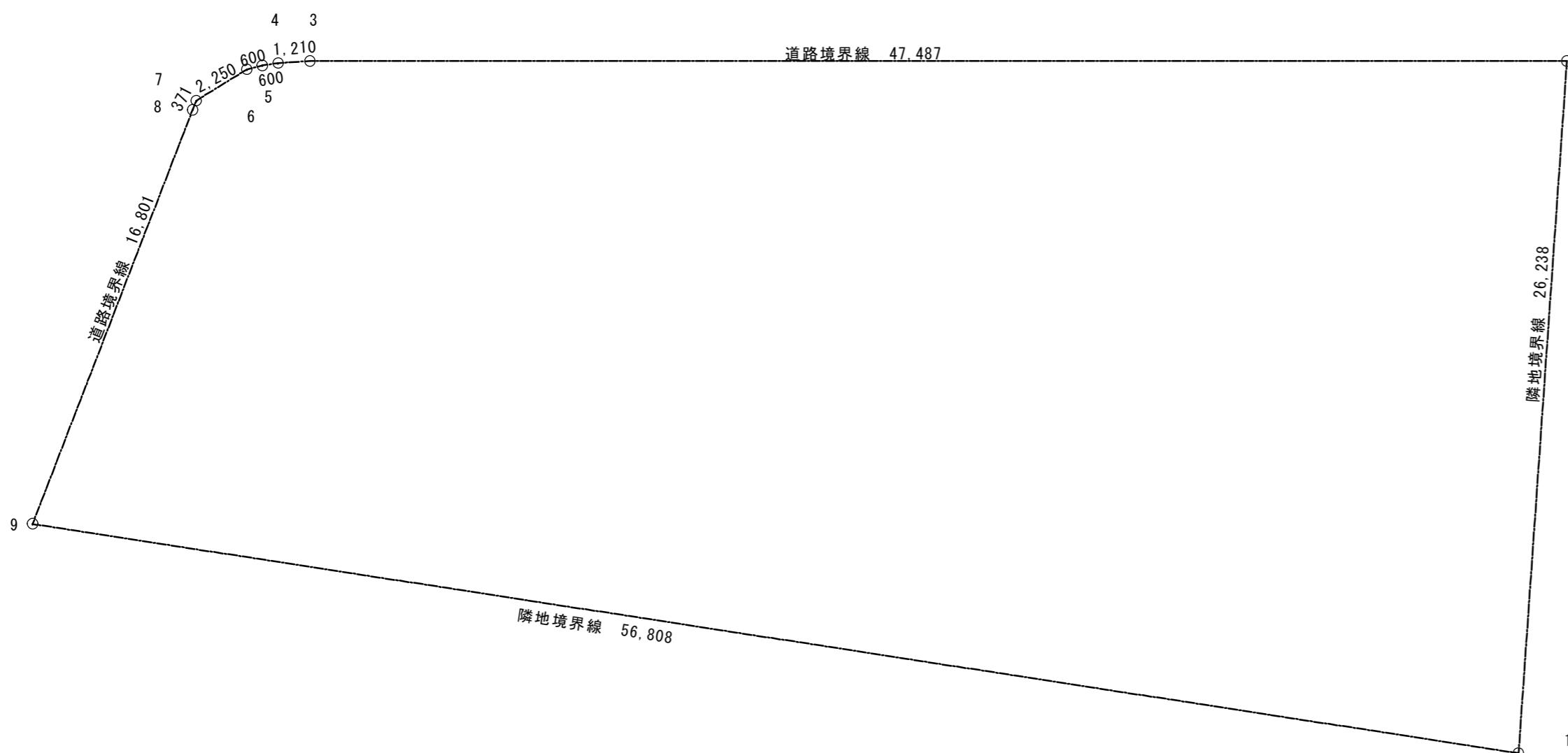
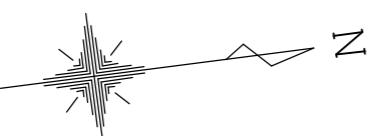
③ 防水改修工事		1 アスファルト防水 (3.1.4) (3.3.3) (表3.3.3)～ (表3.3.10)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ P1B</td><td>・ B-1 ・ B-2 ・ B-3</td><td></td></tr> <tr> <td>・ P1E</td><td>・ E-1 ・ E-2</td><td></td></tr> <tr> <td>・ P2E</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシート 種類・改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による・() 厚さ・改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による・()</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類・改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による・() 厚さ・改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による・()</p> <p>断熱工法の断熱材(P1BI, P2AI, T1BI, PODI, M3DI, M4DI) 材質・() ・ A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板3種b(スキンあり) ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号 ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種2号 厚さ・() ループドレン回り及び立上がり部周辺断熱材の張りじまい位置・図示(面番号:)</p> <p>脱気装置(M3D, P0D, P0D1, M3D1, M4D1) ・ 設ける(設置数量・図示(面番号:)、材質()) ・ 設けない ・ 仕上塗料種類() 使用量()</p> <p>保護コンクリートの厚さ こて仕上げ・水下80mm以上・() 床タイル張り・水下60mm以上・() 保護層・設ける・設けない 屋上排水溝の適用・適用する 立上り保護・乾式保護材() ・ れんが(材種・JIS R1250)</p>	工法	種別	施工箇所	・ P1B	・ B-1 ・ B-2 ・ B-3		・ P1E	・ E-1 ・ E-2		・ P2E							
工法	種別	施工箇所																		
・ P1B	・ B-1 ・ B-2 ・ B-3																			
・ P1E	・ E-1 ・ E-2																			
・ P2E																				
2 改質アスファルトシート防水 (3.4.3) (表3.4.1)～ (表3.4.3)		<table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ M4AS</td><td>・ AS-T1 ・ AS-T2</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>・ AS-J3</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトシート 種類・改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による・() 厚さ・改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による・()</p> <p>粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート 種類・改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による・() 厚さ・改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による・()</p> <p>断熱工法の断熱材(M3AS1, M4AS1, POASI) 材質・() ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号 ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種2号 厚さ・()</p> <p>脱気装置 ・ 設ける(設置数量・図示(面番号:)、材質()) ・ 設けない</p>	工法	種別	施工箇所	・ M4AS	・ AS-T1 ・ AS-T2			・ AS-J3										
工法	種別	施工箇所																		
・ M4AS	・ AS-T1 ・ AS-T2																			
	・ AS-J3																			
3 合成高分子系 ルーフィング シート防水 (3.5.3) (表3.5.1) (表3.5.2) (3.5.2)(b) (3.5.3)		<table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ S3S</td><td>・ S-F1(SI-F1)</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>・ S-F2(SI-F2)</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>ルーフィングシート 種類・改修標準仕様書(表3.5.1)及び(表3.5.2)による・() 厚さ・改修標準仕様書(表3.5.1)及び(表3.5.2)による・()</p> <p>断熱工法の断熱材(POSI, S4S1, S3S1, M4S1) 材質・() ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号 ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種2号 ・ A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板 ・ A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の密度及び热伝導率の規格に適合するもの 厚さ・()</p> <p>絶縁用シート・発泡ポリエチレンシート</p> <p>脱気装置 ・ 設ける(設置数量・図示(面番号:)、材質()) ・ 設けない</p> <p>既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合 目地処理・図示(面番号:) 増張り・図示(面番号:)</p>	工法	種別	施工箇所	・ S3S	・ S-F1(SI-F1)			・ S-F2(SI-F2)										
工法	種別	施工箇所																		
・ S3S	・ S-F1(SI-F1)																			
	・ S-F2(SI-F2)																			
4 塗膜防水 (3.6.3) (表3.6.1) (3.6.3)(a) (3.6.3)(b)		<table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ P0X</td><td>・ X-1 ・ X-2</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>・ L4X</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>脱気装置 ・ 設ける(設置数量・図示(面番号:)、材質()) ・ 設けない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ P1Y</td><td>・ Y-2</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>・ P2Y</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>保護層・図示(面番号:)</p>	工法	種別	施工箇所	・ P0X	・ X-1 ・ X-2			・ L4X		工法	種別	施工箇所	・ P1Y	・ Y-2			・ P2Y	
工法	種別	施工箇所																		
・ P0X	・ X-1 ・ X-2																			
	・ L4X																			
工法	種別	施工箇所																		
・ P1Y	・ Y-2																			
	・ P2Y																			

--	--	--

(6. 5. 2) (c) (ii)	「集成材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、見付け面材の品質・図示(図面番号:) 含水率・15%以下・()	
(6. 5. 2) (d) (i)	造作用単板積層材 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材	
	部位 厚さ 表面の品質 防虫処理	
	造作用単板積層材 (図面番号:) · () · ()	
(6. 5. 2) (d) (ii)	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 厚さ、表面の品質、防虫処理・図示(図面番号:) 含水率・14%以下・()	
(6. 5. 2) (e)	床張り用合板等 部材名称 樹種名 接着の程度 等級 板面の品質 防虫処理等 厚さ	
(6. 5. 5) (a)	防腐、防蟻処理 適用部位 図示(図面番号:) 保存処理性能区分() 薬剤の塗布等の処理方法() ボード原料接着剤への防腐・防蟻処理()	
(6. 5. 5) (b)	防虫処理 図示(図面番号:)	
⑤ 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 ● 屋内 ○ 19形 · () ● 屋外 ○ 25形 · ()	
(6. 6. 2) (表6. 6. 1) (6. 6. 3)	形式及び寸法 ○ 屋外 ○ 図示 ● 耐震天井 ○ 図示(図面番号:) ○ ふところ≥1.5m ○ 改修標準仕様書(6. 6. 4) (h) ● ふところ>3m ○ 図示(図面番号:)	
(6. 6. 4)	既存埋込みインサート ・ 使用する ○ 使用しない 既存埋め込みインサート、あと施工アンカーの引き抜き試験 ・ 行う(図示(図面番号:)) ○ 行わない 耐震天井 ・ 図示(図面番号:)	
⑥ 軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナー等の種類 ○ 図示	
(6. 7. 3)		
(6. 6. 4) (a) (1)		
⑦ ピニル床シート、 ピニル床タイル 及びゴム床タイ ル張り	材料 ○ ピニル床シート【JIS A 5705(ピニル系床材)】 種類の記号 色柄 厚さ 備考 F S マーブル 2.5mm	
(6. 8. 2) (6. 8. 2) (a) (6. 8. 2) (b)	・ ピニル床タイル【JIS A 5705(ピニル系床材)】 種類の記号 厚さ 備考	
(6. 8. 2) (c) (1)	・ 帯電防止床シート又は床タイル 種類 性能 厚さ 備考	
(6. 8. 2) (c) (2)	・ 視覚障害者用床タイル 種類 形状 備考	
(6. 8. 2) (c) (3)	・ 耐動荷重性床シート 種類 性能 厚さ 備考	
(6. 8. 2) (c) (4)	・ 防滑性床シート又は床タイル 種類 性能 厚さ 備考	
(6. 8. 2) (e)	・ ゴム床タイル 種類 厚さ 備考	
(6. 8. 3) (a)	工法 下地 ○ モルタル下地 木下地 その他()	
(6. 8. 3) (b)	ピニル床シート張り 熱溶接工法 ○ 適用する 適用しない	
8 カーペット敷き (6. 9. 3) (a) (表6. 9. 1)	・ 織じゅうたん 種別 パイルの形状 帯電性 品質の程度 ・ A種 カットパイル 人体帶電圧 3KV以下 · () ・ B種 ループパイル · () ・ C種 カット、ループ併用 · ()	
	品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)	
	・ タフテッドカーペット パイルの形状 パイル長(mm) 帯電性 工法 品質の程度 ・ カットパイル 人体帶電圧 3KV以下 全面接着工法 · () ・ ループパイル · () ・ カット、ループ併用 · ()	
	・ ニードルパンチカーペット 厚さ(mm) 帯電性 備考 · 人体帶電圧 3KV以下 · ()	
	・ タイルカーペット 種類 パイルの形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 品質の程度 · カットパイル 500×500 · 6.5 · () · ()	
	下敷き材 第2種第2号、厚さ8mm · () 見切り、押え金物 適用する(材質、種類及び形状) 図示(図面番号:)	
	敷き方 平場 市松敷き 模様流し · () 階段部分 市松敷き 模様流し · ()	
9 合成樹脂塗床 (6. 10. 3) (b) (1) (表6. 10. 4) (6. 10. 3) (b) (2) (表6. 10. 4) ~ (表6. 10. 8)	弹性ウレタン塗床の仕上げ種類、工程 ・ 平滑仕上げ 防滑仕上げ つや消し仕上げ エポキシ樹脂塗床の仕上げ種類 ・ 薄膜流し展ペ仕上げ(平滑・防滑) 厚膜流し展ペ仕上げ(平滑・防滑) ・ 樹脂モルタル仕上げ(平滑・防滑) 薄膜型塗床仕上げ(平滑) ⑩ フローリング張り (6. 11. 6) (表6. 11. 6)	
	モルタル埋込み工法 フローリングブロック(単位:mm) 樹種 厚さ 寸法 備考 なら 15 303×303 辺材部分には、防虫処理を行う · () · () · ()	
	・ 釘留め工法 材料 種別 樹種 ・ フローリングボード(根太張用) · () · () ・ 複合フローリング(根太張用) A種なら 桧 · B種 · C種	
	防湿処理 図示(図面番号:)	
	○ 接着工法 材種 樹種 厚さ 大きさ ・ 複合フローリングボード(直張用) · () · () ・ フローリングブロック(直張用) · () · () ・ 複合1種フローリング(直張用) A種なら 12mm ・ 複合2種フローリング(直張用) · () · () ・ 複合3種フローリング(直張用) · () · () ・ モザイクパーケット(直張用) · () · () · () ・ 耐摩耗表面单板(直張用) · () · () 2mm · ()	
	緩衝材 合成樹脂発泡シート 図示(図面番号:)	
	塗装 ・ ウレタン樹脂ワニス塗り(1液形、B種) ・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り · ()	
	⑪ 斷面 種別 A種 B種 C種 D種	
	⑫ せっこうボード、その他ボード及び合板張り (6. 13. 2) (表6. 13. 1)	
	材種 種別 厚さ(mm) ● せっこうボード 壁 9.5(準不燃) 天 12.5(不燃) 井 9.5(準不燃) 12.5(不燃) ● トライバーチン模様 ● 9.5(準不燃) 木目模様 ● 9.5(準不燃) ● ロックウール化粧吸音板 ● 普通 9 ● 立体模様 ● けい酸カルシウム板 ● タイプII 0.8FK 6.0 8.0 ● 化粧けい酸カルシウム板 ● 6.0	
	遮音シール材 ・ シーリング材 ジョイントコンパウンド	
	合板類の張付け ・ A種 ○ B種	
	せっこうボードの目地工法 ○ 継目処理 ○ 突付け 目透し	
	⑬ 壁紙張り (6. 14. 2)	
	施工箇所 品質 防火性能 和室 中級品 ● 不燃 · 準不燃 · 不燃 · 準不燃 · 不燃 · 準不燃	
14 モルタル塗り (6. 15. 3) (6. 15. 6) (6. 11. 6)	既設目地材 使用する(形状:) 床の目地 図示(図面番号:) 緩衝材 図示(図面番号:)	
15 タイル張り (6. 16. 2) (6. 16. 3)	伸縮調整目地位置 図示(図面番号:)	
	タイルの種類 施工箇所 形状寸法 工法 用途による区分 すべり 抵抗性 I類(磁器) II類(セッタ) III類(陶器) 役物 標準 特注色 性有無	
	試験張り 行う 行わない 見本焼き 行う 行わない	
	コンクリート素地面の目荒らし工法 行う	
	・ せっこう系 セメント系 塗厚() mm	
	断熱材打込み工法 種類 A種 B種 施工箇所 形状寸法 工法 用途による区分 ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム ・ 押出法ポリスチレンフォーム ・ A種硬質ウレタンフォーム ・ フェノールフォーム	
	断熱材現場発泡工法(吹付硬質ウレタンフォーム) 種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・ A種1 ・ A種2 · () ・ A種3 · ()	
⑦ 塗装改修工事	1 材料 (7. 1. 3) (b)	
	2 下地調整 (7. 2. 1) ~ (7. 2. 7) (表7. 2. 1) ~ (表7. 2. 7)	
	既存塗膜の除去範囲(塗り替えR B種の場合) 図示(図面番号:)	
	種別 下地 種別 ひび割れ部の補修 ・ 木部 RA種 RB種 RC種 ● 鉄鋼面 RA種 ○ RB種 RC種 ・ 垂鉛めっき鋼面 RA種 RB種 RC種 行う ・ モルタル、プラスチ一面 RA種 RB種 RC種 行う ・ コンクリート、ALCパネル面 RA種 RB種 RC種 行う ・ コンクリート、押出成形セメント板面 RA種 RB種 RC種 行う ・ せっこうボード、その他ボード面 RA種 RB種 RC種 行う	
	3 銛止め塗料塗り (7. 3. 2) (表7. 3. 1) ~ (7. 3. 3) (表7. 3. 3) ~ (表7. 3. 4)	
	・ 垂鉛めっき鋼面 A種 B種 C種	
	4 合成樹脂指合ペイント塗り(SOP) (7. 4. 2) (7. 4. 3) ~ (7. 4. 5) (表7. 4. 1) ~ (表7. 4. 3)	
	5 クリヤラッカーアクリル樹脂系 塗り(CL) (7. 5. 2) (表7. 5. 1)	
	6 フタル酸樹脂エナメル塗り(FE) (7. 6. 2) ~ (7. 6. 3)	
	7 アクリル樹脂系 非水分散形塗料(NAD) (7. 7. 2) (表7. 7. 1)	
	8 耐候性塗料塗り (DP) (7. 8. 2) ~ (7. 8. 4) (表7. 8. 1) ~ (表7. 8. 3)	
	上塗り等級 1級(フッ素系) 2級(シリコン系) 3級(ポリウレタン系) 下地 種別 ・ 木部 A種 ○ B種 C種 ・ 鉄鋼面 A種 B種 C種 ・ 垂鉛めっき鋼面 A種 B種 C種 コンクリート面及び 押出成形セメント板面 A-1種 A-2種 B-1種 B-2種 C-1種 C-2種	

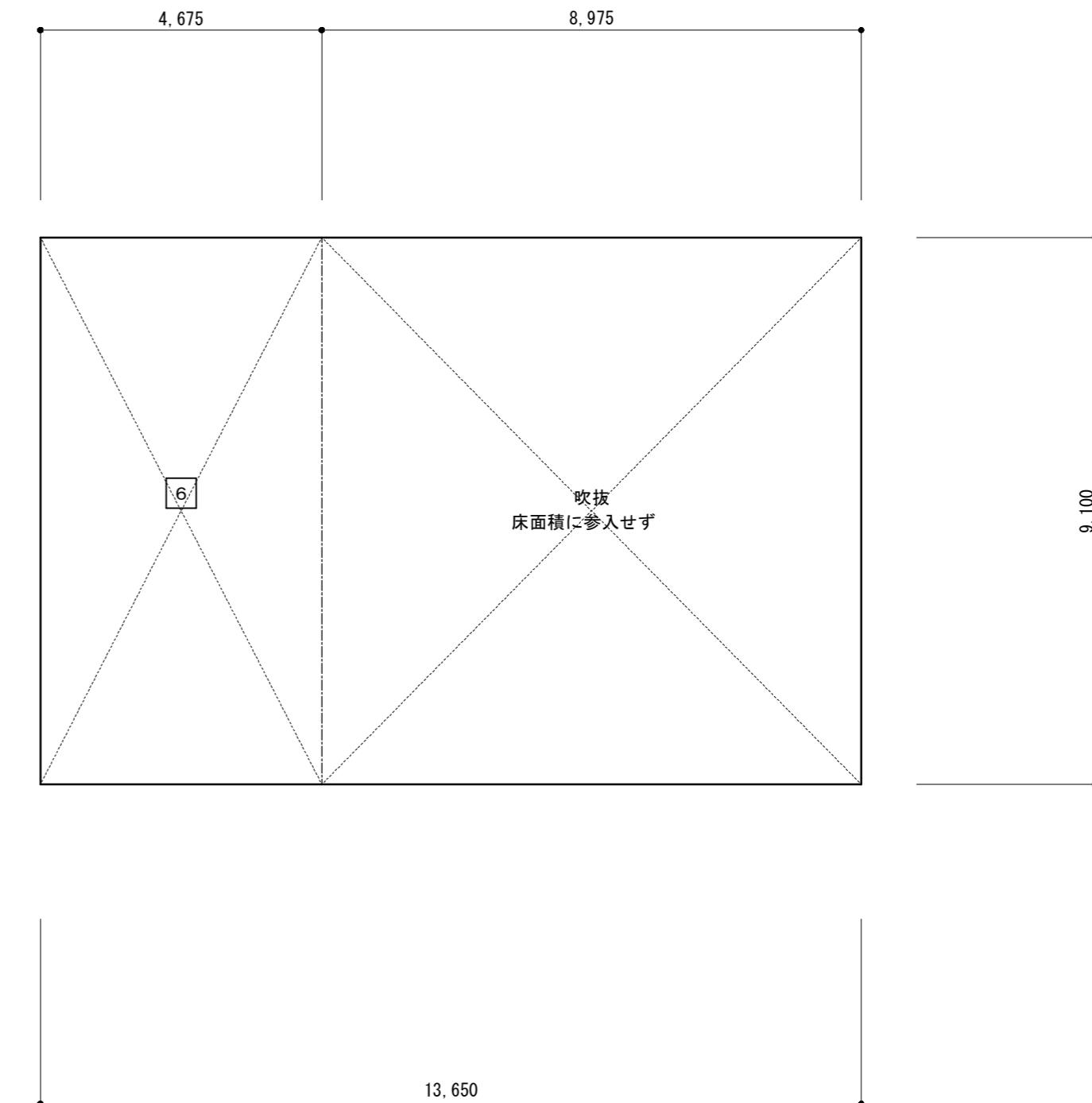
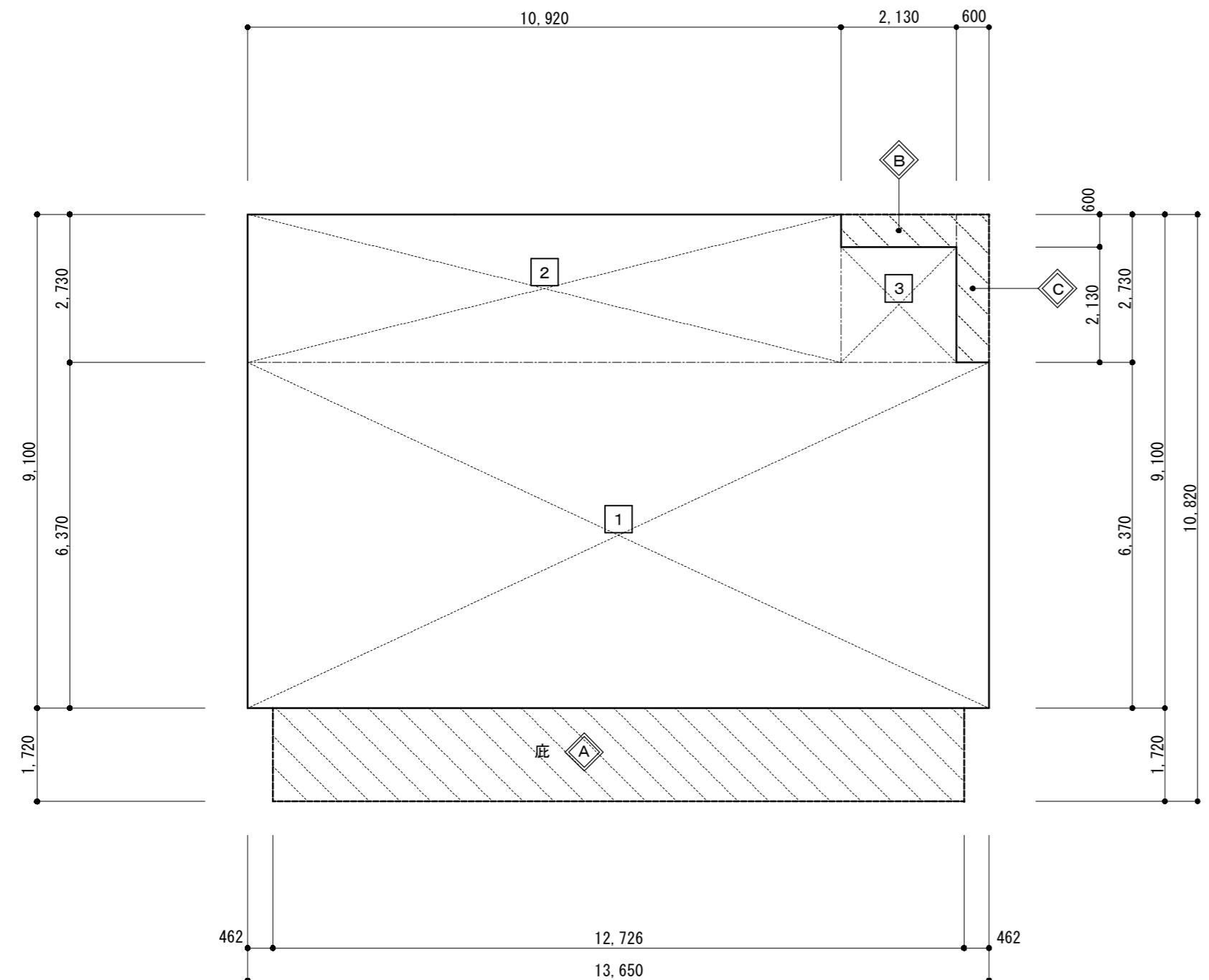
	(8. 21. 5)	柱頭柱脚の隙間部間の型枠	・発泡プラスチック保温材等を埋込む ・()	8 溶接材料 (8. 2. 10)	・改修標準仕様書(8. 2. 10) (a) (b)以外の溶接材料	7 連続繊維補強材 の强度試験 (8. 21. 7)	引張強度試験	
		柱頭柱脚の隙間寸法	・図示(面番号:)		材料及び使用箇所 ・図示(面番号:)		・実施する(JIS A119Hに準拠する) 試験数量() ・実施しない	
	9 増設壁工事後の 仕上げ (8. 19. 10)	打ち込みコンクリート又はグラウト材の厚さ	・図示(面番号:) 60mm ()	9 溶接接合 (8. 14. 4) (8. 14. 7)	開先の形状 ・図示(面番号:) スカラーラップの形状 ・図示(面番号:)	8 (耐震 補 強 工 事 ス リ ット 新 設 工 事)	付着強度試験	
		・図示(面番号:)	鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) ・改修標準仕様書(7. 3. 2)(表7. 3. 1) ()種 耐火被覆材の接着する面の塗装 ・行う ・行わない	10 鋼止め塗装 (8. 16. 3)	適用箇所 ・図示(面番号:) 種類 ・改修標準仕様書(7. 3. 2)(表7. 3. 1) ()種	9 (耐震 ス リ ット 新 設 工 事)	・実施する(JIS A6909に準拠する) 試験数量() ・実施しない	
	⑧ の 5 耐 震 改 修 工 事 あと施工アンカ ーの施工 (8. 2. 4) (表8. 2. 2)	種類 ① あと施工アンカ ーの材料 (8. 2. 4) (表8. 2. 2)	金属系 セットの方式 ・本体打込み式 () 改良型 径及び埋込み深さ ・図示(面番号: A-40) 引張耐力 ・図示(面番号:) せん断耐力 ・図示(面番号:) 接合部の種類・径・長さ ・図示(面番号: A-40)	11 耐火被覆材の 種別及び性能 (8. 17. 2) (8. 17. 3)	部位 ・図示(面番号:)	7 連続繊維補強材 の强度試験 (8. 21. 7)	耐震スリットの種類及び形状 完全スリットの形状	
		② 接着系 カプセル型回転 径及び埋込み深さ ・図示(面番号: S-07) 引張耐力 ・図示(面番号:) せん断耐力 ・図示(面番号:) アンカーリングの種類 ・図示(面番号: S-07) アンカーリングの新設壁内への定着長さ ・図示(面番号:) あと施工アンカーの性能確認試験 ・行う () 行わない	12 ブレース設置 工事後の仕上げ ・図示(面番号:)	種類 ・改修標準仕様書(7. 3. 2)(表7. 3. 1) ()種	記号 形狀 幅W (mm) 既存鉄筋の処理	一般型 一面せん断型		
	⑨ の 7 耐 震 改 修 工 事 グ ラ ウ ト 工 事	穿孔 埋込み配管等の探査の範囲及び方法 範囲 ・図示(面番号:) () あと施工アンカー施工部分全て 方法 ・鉄筋探査機(金属探知機)により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 ・() あと施工アンカーの施工確認試験 ・実施する 確認試験方法 ・改修標準仕様書(8. 11. 5)による ()(打音検査のみ)	8 (耐震 改 修 工 事 グ ラ ウ ト 工 事)	構造体用モルタル ・改修標準仕様書(8. 2. 6)及び(8. 2. 11)による。	8 (耐震 改 修 工 事 グ ラ ウ ト 工 事)	8 (耐震 改 修 工 事 ス リ ット 新 設 工 事)	付着強度試験	
		・()	無収縮モルタル ・改修標準仕様書(8. 2. 11) (b)による	8 (耐震 改 修 工 事 グ ラ ウ ト 工 事)	8 (耐震 改 修 工 事 ス リ ット 新 設 工 事)	8 (耐震 改 修 工 事 ス リ ット 新 設 工 事)	・実施する(JIS A6909に準拠する) 試験数量() ・実施しない	
	⑩ の 8 耐 震 改 修 工 事 連 続 繊 維 補 強 工 事	8 (連続繊維補強工事) 1 連続繊維シート 等による工法 (8. 21. 7)	連続繊維による補強、補修工法 ・()	8 (連続繊維補強工事) 2 連続繊維シート 及び含浸接着樹脂等の材料 (8. 2. 12)	連続繊維の材料 ・() 工法 ・() 引張強度(含浸硬化後) ・() ヤング係数(含浸硬化後) ・()	8 (連続繊維補強工事) 3 連続繊維シート の施工準備	8 (連続繊維補強工事) 4 鋼板巻き工法及 び帯板巻き付け 工法 (8. 21. 6)	連続繊維による補強、補修工法 ・()
		高力ボルトの適用 ・トルシア形高力ボルト 2種(S10T) ・JIS形高力ボルト 2種(F10T) ・溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T相当)	8 (連続繊維補強工事) 5 耐震補強後の仕 上げ (8. 21. 8)	連続繊維シート の施工準備 ・() 施工準備 ・() 既存モルタルの除去 ・既存構造躯体面まで除去する ・モルタル除去は行わない ・()	8 (連続繊維補強工事) 6 炭素織維シート の施工	8 (連続繊維補強工事) 7 連続繊維シート の施工準備 ・() 既存モルタルの圧縮強度測定 ・行う() ・行わない	8 (連続繊維補強工事) 8 (その他工事)	連続繊維による補強、補修工法 ・()
	⑪ の 9 耐 震 改 修 工 事 鐵 骨 工 事	高力ボルトの径 ・図示(面番号:)	8 (連続繊維補強工事) 9 1 アスベスト含有 建材の処理工事 (9. 1. 1) (9. 1. 3) ~ (9. 1. 5)	8 (連続繊維補強工事) 10 ひび割れ部の改修工法 ・樹脂注入工法 ・Uカットシール材充填工法 ・シール工法	8 (連続繊維補強工事) 10 ひび割れ部の改修工法 ・樹脂注入工法 ・Uカットシール材充填工法 ・シール工法	8 (連続繊維補強工事) 9 1 アスベスト含有 建材の処理工事 (9. 1. 1) (9. 1. 3) ~ (9. 1. 5)	免震改修、制震改修に関する仕様は、図示する。	
		ボルトの締端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示(面番号:)	8 (連続繊維補強工事) 11 仕上げモルタルの除去 ・既存構造躯体面まで除去する ・モルタル除去は行わない ・()	8 (連続繊維補強工事) 12 既存モルタルの圧縮強度測定 ・行う() ・行わない	8 (連続繊維補強工事) 13 ひび割れ部の改修工法 ・樹脂注入工法 ・Uカットシール材充填工法 ・シール工法	8 (連続繊維補強工事) 9 1 アスベスト含有 建材の処理工事 (9. 1. 1) (9. 1. 3) ~ (9. 1. 5)	施工調査 ・アスベスト含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び質与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。	
	⑫ の 10 耐 震 改 修 工 事 其 他 工 事	すべり係数試験 ・行う	8 (連続繊維補強工事) 14 既存モルタルの圧縮強度測定 ・行う() ・行わない	8 (連続繊維補強工事) 15 ひび割れ部の改修工法 ・樹脂注入工法 ・Uカットシール材充填工法 ・シール工法	8 (連続繊維補強工事) 16 既存モルタルの圧縮強度測定 ・行う() ・行わない	8 (連続繊維補強工事) 9 1 アスベスト含有 建材の処理工事 (9. 1. 1) (9. 1. 3) ~ (9. 1. 5)	施工調査 ・アスベスト含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び質与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。	
		試験方法等 ・図示(面番号:) JIS形・ナット回転法かつボルト長がねじの5倍を超える場合の回転量 ・()	8 (連続繊維補強工事) 17 仕上げモルタルの除去 ・既存構造躯体面まで除去する ・モルタル除去は行わない ・()	8 (連続繊維補強工事) 18 既存モルタルの圧縮強度測定 ・行う() ・行わない	8 (連続繊維補強工事) 19 ひび割れ部の改修工法 ・樹脂注入工法 ・Uカットシール材充填工法 ・シール工法	8 (連続繊維補強工事) 9 1 アスベスト含有 建材の処理工事 (9. 1. 1) (9. 1. 3) ~ (9. 1. 5)	分析によるアスベスト含有建材の調査 分析対象 ・アクリロライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 分析方法 ・JIS A 1481-1(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販パルク材からの試料採取及び定性的判定方法)による ・JIS A 1481-2(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法)による ・JIS A 1481-3(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部:アスベスト含有率のX線回折定量分析方法)による	
	⑬ の 11 耐 震 改 修 工 事 鐵 骨 工 事	5 仮組 (8. 12. 9)	仮組の実施 ・実施する() ・実施しない	8 (連続繊維補強工事) 20 既存モルタルの圧縮強度測定 ・行う() ・行わない	8 (連続繊維補強工事) 21 ひび割れ部の改修工法 ・樹脂注入工法 ・Uカットシール材充填工法 ・シール工法	8 (連続繊維補強工事) 9 1 アスベスト含有 建材の処理工事 (9. 1. 1) (9. 1. 3) ~ (9. 1. 5)	分析によるアスベスト含有建材の調査 分析対象 ・アクリロライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 分析方法 ・JIS A 1481-1(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販パルク材からの試料採取及び定性的判定方法)による ・JIS A 1481-2(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法)による ・JIS A 1481-3(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部:アスベスト含有率のX線回折定量分析方法)による	
		6 技能資格者 (8. 14. 3)	溶接作業における技能資格者の技量付加試験 ・実施する() ・実施しない	8 (連続繊維補強工事) 22 既存モルタルの圧縮強度測定 ・行う() ・行わない	8 (連続繊維補強工事) 23 ひび割れ部の改修工法 ・樹脂注入工法 ・Uカットシール材充填工法 ・シール工法	8 (連続繊維補強工事) 9 1 アスベスト含有 建材の処理工事 (9. 1. 1) (9. 1. 3) ~ (9. 1. 5)	分析によるアスベスト含有建材の調査 分析対象 ・アクリロライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 分析方法 ・JIS A 1481-1(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販パルク材からの試料採取及び定性的判定方法)による ・JIS A 1481-2(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法)による ・JIS A 1481-3(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部:アスベスト含有率のX線回折定量分析方法)による	
	⑭ の 12 耐 震 改 修 工 事 鐵 骨 工 事	7 溶接部の試験 (8. 14. 11)	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 工場溶接の場合 ・全数試験とする ・公共建築工事標準仕様書(平成25年版)(7. 6. 11) (b)による。 平均出検品質限界(AQL) 4.0% 2.5% () 検査水準 第6水準 () ロットの構成 () 工事現場溶接の場合 ・全数試験とする ・公共建築工事標準仕様書(平成25年版)(7. 6. 11) (b)による。 平均出検品質限界(AQL) 4.0% ()	8 (連続繊維補強工事) 24 既存モルタルの圧縮強度測定 ・行う() ・行わない	8 (連続繊維補強工事) 25 ひび割れ部の改修工法 ・樹脂注入工法 ・Uカットシール材充填工法 ・シール工法	8 (連続繊維補強工事) 9 1 アスベスト含有 建材の処理工事 (9. 1. 1) (9. 1. 3) ~ (9. 1. 5)	分析によるアスベスト含有建材の調査 分析対象 ・アクリロライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 分析方法 ・JIS A 1481-1(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販パルク材からの試料採取及び定性的判定方法)による ・JIS A 1481-2(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法)による ・JIS A 1481-3(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部:アスベスト含有率のX線回折定量分析方法)による	
		8 (連続繊維補強工事) 26 既存モルタルの圧縮強度測定 ・行う() ・行わない	8 (連続繊維補強工事) 27 ひび割れ部の改修工法 ・樹脂注入工法 ・Uカットシール材充填工法 ・シール工法	8 (連続繊維補強工事) 28 既存モルタルの圧縮強度測定 ・行う() ・行わない	8 (連続繊維補強工事) 29 ひび割れ部の改修工法 ・樹脂注入工法 ・Uカットシール材充填工法 ・シール工法	8 (連続繊維補強工事) 9 1 アスベスト含有 建材の処理工事 (9. 1. 1) (9. 1. 3) ~ (9. 1. 5)	分析によるアスベスト含有建材の調査 分析対象 ・アクリロライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 分析方法 ・JIS A 1481-1(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販パルク材からの試料採取及び定性的判定方法)による ・JIS A 1481-2(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法)による ・JIS A 1481-3(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部:アスベスト含有率のX線回折定量分析方法)による	





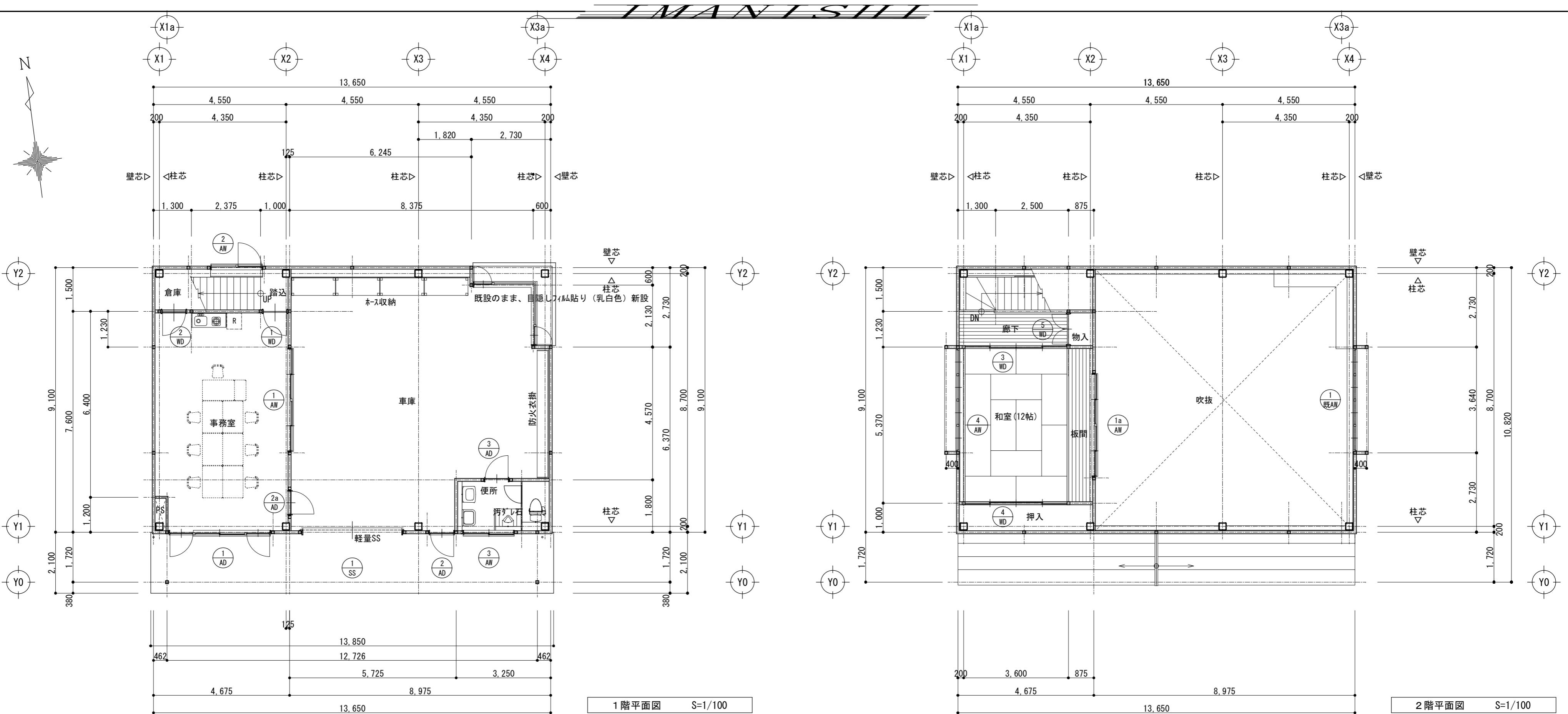
座標面積計算表				
測点	X 座標	Y 座標	辺長	計算
1	-1.000	1.000	26.238	51.33485
2	0.822	27.175	47.487	-2580.91845
3	-46.665	27.175	1.210	-65.50389
4	-47.872	27.095	0.600	-32.0813
5	-48.465	27.005	0.600	-31.34943
6	-49.047	26.860	2.250	-100.66664
7	-50.963	25.680	0.371	-6.784862
8	-51.096	25.334	16.801	-211.637664
9	-57.144	9.659	56.808	598.438896
倍面積				-2379.16849
× 1/2				-1189.584245
地積面積				1189.58m ²

敷地求積図 S=1/200



改修後

■床面積 求積表■			■面積表■		
1階床面積	建築面積	2階床面積・延床面積	建築面積	146.10 m^2	
1	$6.37 \times 13.65 = 86.9505$	21.88872 m^2	6	$9.10 \times 4.675 = 42.5425 \text{ m}^2$	1階床面積 121.30 m^2
2	$2.73 \times 10.92 = 29.8116$	1.278 m^2			2階床面積 42.54 m^2
3	$2.13 \times 2.13 = 4.5369$	1.638 m^2			延床面積 163.84 m^2
	計	24.80472 m^2			
	1階床面積	121.30 m^2	2階床面積	42.54 m^2	
計			延床面積	163.84 m^2	
1階床面積	121.30 m^2	建築面積 146.10 m^2			原図:A2



1階 室面積 求積 (m ²)				2階 室面積 求積 (m ²)			
車庫	$5.725 \times 1.8 = 10.305$		便所	$3.25 \times 1.8 = 5.85$	5.85 (m ²)	和室	$4.675 \times 5.37 = 25.10475$
	$8.975 \times 4.57 = 41.01575$					廊下	$3.8 \times 1.23 = 4.674$
	$8.375 \times 2.13 = 17.83875$		事務室	$4.213 \times 1.2 = 5.0556$	5.0556	階段室	$4.675 \times 1.5 = 7.0125$
	$6.245 \times 0.6 = 3.747$			$4.675 \times 6.4 = 29.92$	29.92		7.01 (m ²)
	計 72.9065	72.91 (m ²)	倉庫	$3.675 \times 1.5 = 5.5125$	5.51 (m ²)		

■法規チェック

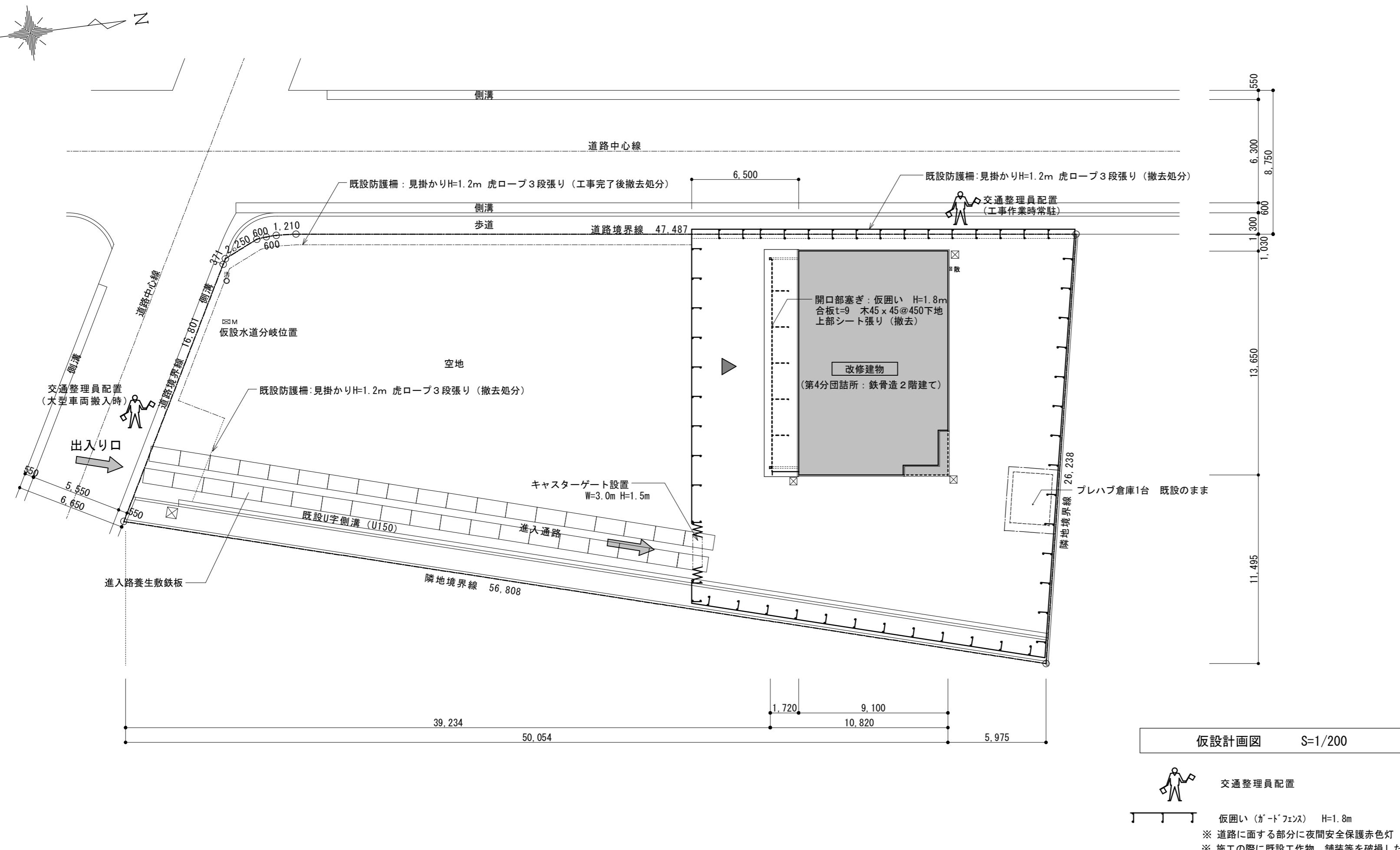
換気チェック (1/20)				採光チェック (1/20)				排煙チェック (1/50)					
居室名	床面積	必要換気面積	有効換気面積	判定	備考	必要採光面積	有効採光面積	判定	備考	必要排煙面積	有効排煙面積	判定	備考
事務室	34.97	1.7485	AD1 $1.7 \times 1.2 \times 1/2 + 0.8 \times 1.2 = 1.98$ $0.8 \times 2.0 = 1.6$	3.58	OK AD1	1.7485	AD1 $1.7 \times 1.2 + 0.8 \times 1.2 = 3.0$ $0.8 \times 2.0 \times 1/2 = 0.8$ ※採光補正係数を採用せずに等倍で可能とした。	3.8	OK AD1	0.6994	AD1 $1.7 \times 0.35 \times 1/2 + 0.8 \times 0.35 = 0.5775$ $0.8 \times 0.35 = 0.28$	0.8575	OK CH=2450 AD1 内法H=2000、有効H=350
和室	25.10	1.255	AW4 $3.2 \times 0.45 = 1.44$	1.44	OK 既AW1	1.255	AW4 $3.2 \times 0.45 = 1.44$ ※採光補正係数を採用せずに等倍で可能とした。	1.44	OK 既AW1	0.502	AW4 $3.2 \times 0.18 = 0.576$	0.576	OK CH=2550 AW4 内法H=1930、有効H=180

消防法による無窓階チェック (x 1/30)

床面積	必要開口面積	有効開口面積	判定	備考	床面積	必要開口面積	有効開口面積	判定	備考
1階 121.30 m ²	4.044	AD1 $1.7 \times 1.2 \times 1/2 + 0.8 \times 1.2 = 1.98$ $0.8 \times 2.0 = 1.6$	15.68	OK AD1、AD2、SS1	2階 42.54 m ²	1.418	無窓居室の為、誘導灯設置		

改修後

原図:A2



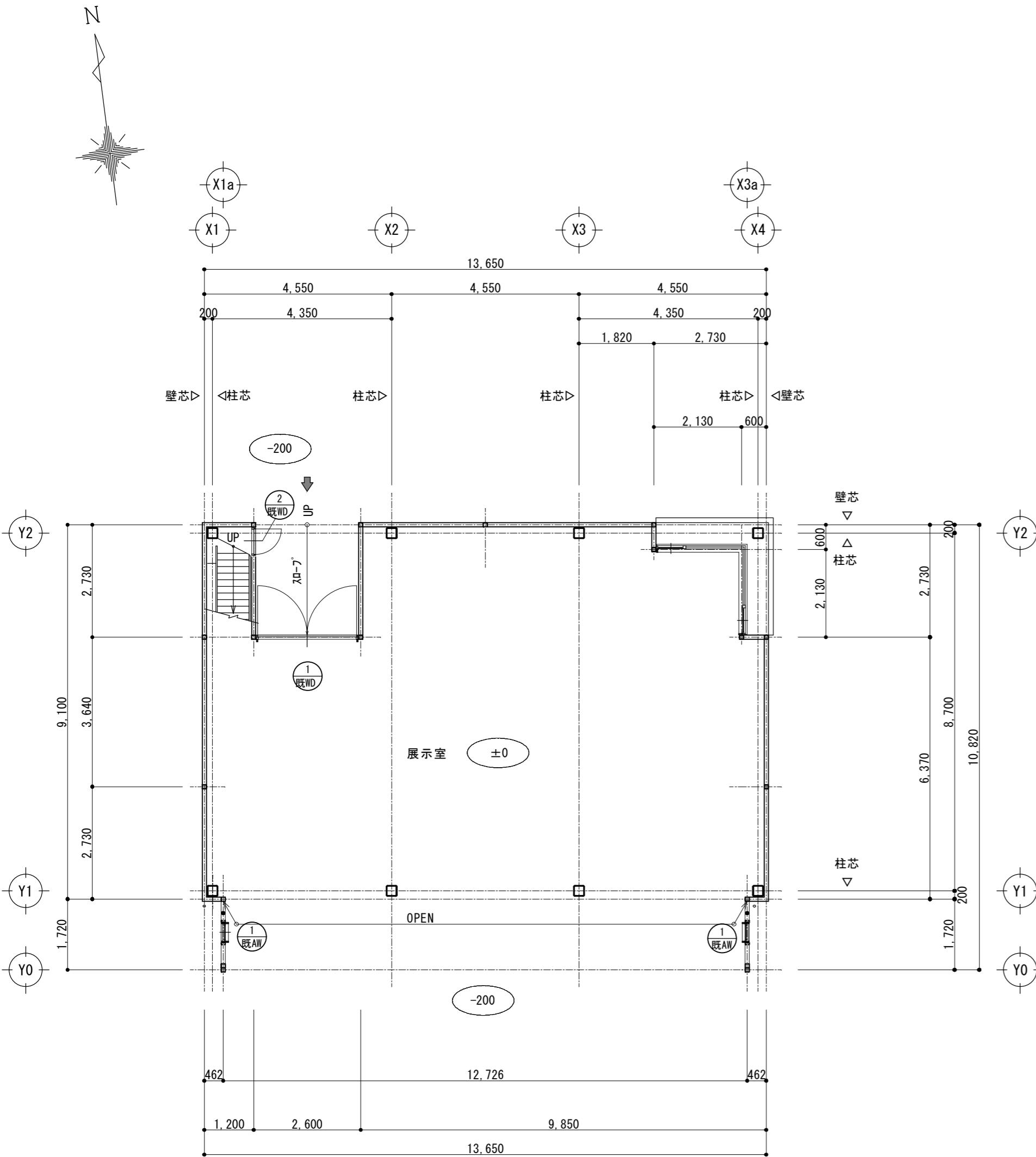
外部仕上表		※改修材料：クロルビリホス及び石綿材の使用はしない。		
	既設	撤去	改修・新設	
屋根	日本瓦新磨き（一文字葺）桟瓦、ゴーリスクーリング、野地板：米松 t=45 横張り、口-125×125×3.2@1820		既設のまま 断熱材：グラスウールt=50敷込み	屋根
軒裏	ラスモルタル塗り刷毛引き仕上吹付け		水洗い、下地調整塗材（C-1）の上、可とう形外装薄塗材E吹付け	軒裏
鼻隠し・ケバ	ラスモルタル塗り刷毛引き仕上吹付け		水洗い、下地調整塗材（C-1）の上、可とう形外装薄塗材E吹付け	鼻隠し・ケバ
外壁	ラスモルタル塗り刷毛引き仕上吹付け	袖壁：ラスモルタル塗り刷毛引き仕上吹付けタイル撤去処分（カッター処理） (基礎立ち上り、既設鉄骨柱は既設のまま)	水洗い、下地調整塗材（C-1）の上、可とう形外装薄塗材E吹付け 一部外壁新設：トタンラス下地ラスモルタル塗りt=30金コテ、下地調整塗材（C-1）の上、 可とう形外装薄塗材E吹付け（新設鉄骨脚線下地） 外壁ケバ処理：1.0mm以下：シール工法にて処理を行う 1.0mm以上：Uカットシール材充填の上E吹付け樹脂シール工法にて処理を行う	外壁
腰壁	300角タイル斜め貼り	300角タイル斜め貼り 全面撤去処分	既設腰壁：水洗い、下地調整塗材（CM-2）の上、可とう形外装薄塗材E吹付け（色分け） H=1,100 新設腰壁：トタンラス下地ラスモルタル塗りt=30金コテ 下地調整塗材（CM-2）の上、 可とう形外装薄塗材E吹付け（色分け）新設 H=1,100	腰壁
基礎巾木	モルタル塗り金コテ		既設のまま	基礎巾木
樋	軒樋：硬質塩化ビニル（既製品） 縦樋：硬質塩化ビニル60φ（既製品）（組み金物共）		軒樋：既設のまま 縦樋：既設のまま	樋
開口部	アルミサッシ 木製建具撤去処分	アルミサッシ：西面、内倒し窓のみ撤去処分 木製建具：撤去処分	西面：アルミ製外倒し連窓 新設、東面：既設内倒し連想のまま、オーバーレー位置のみ変更、コナー窓：既設のまま 鉄骨用外付けサッシ及び半外付けサッシ 新設 軽量手動シャッター 新設 シャッターワード書き：「津市消防団白山方面団」270角文字 「第4分団 消防車庫」200角文字 「消防車庫」赤色文字	開口部
小庇	屋根：日本瓦新磨き（一文字葺）桟瓦 揚裏・袖壁：ラスモルタル塗り刷毛引き仕上吹付けタイル 面台：カラー鉄板張り	アルミサッシ撤去に伴い 袖壁：ラスモルタル塗り刷毛引き仕上吹付けタイル一部撤去処分（カッター処理） 面台：カーブ鉄板張り撤去処分（西面のみ）	屋根：既設のまま 揚裏、東面袖壁：既設のまま 西面袖壁：ラスモルタル塗りt=30金コテ 下地調整塗材（C-1）の上、可とう形外装薄塗材E吹付け 新設（既設と同程度） 西面面台：カーブ鉄板張り新設 t=0.5（既設と同程度）	小庇
庇	屋根：カラー鉄板瓦棒葺き（芯木入り） 軒裏・野地板 米松 t=36 表し 鉄骨柱：口-100x100x4.5 軒樋：硬質塩化ビニル 120角（既製品） 縦樋：硬質塩化ビニル60φ（既製品）（組み金物共）	軒樋：硬質塩化ビニル 120角 撤去処分 縦樋：硬質塩化ビニル60φ撤去処分（組み金物共）	屋根：既設カラー鉄板瓦棒葺き（芯木入り）下地処理の上、DP塗り ケバ包み：カーブルーム鋼板0.5加工 軒裏：既設野地板の上、ケイ酸カルシウム板t=6 EP塗り（LGS下地） 新設 鼻隠し：化粧鼻隠し（既製品）H=240+H=150 新設 破風：化粧破風板（既製品）H=240 新設 鉄骨柱：口-100×100×4.5 DP塗り 土間：コンクリート金コテ仕上げ（化粧目地入り） 基礎立上り部：水洗い、下地調整塗材（C-1）の上、可とう形外装薄塗材E吹付け 軒樋：硬質塩化ビニル（既製品） 新設 縦樋：硬質塩化ビニル65φ（既製品）（組み金物共） 新設	庇
その他				

原図:A2

内部仕上表										
※車庫内装制限 壁：繊維混入ケイ酸カルシム板 不燃 第NM-8578号、角波鉄板張り 建令108-2 不燃材料 天井：化粧石膏ボード 準不燃 第QM-9824号										
室名	区分	床	床高	巾木	壁	天井	天井高	備考	区分	
既設		土間コンクリートt=100 クラシックアート貼り(重歩行用t=3.0)	GL+200	米松 H=75 OP塗り	合板 t=5張り OP塗り (鉄骨胴縁下地) 鉄部:SOP塗り 2G梁型下端PL:OP塗り	コーナー窓天端:米松 t=36板張り OS塗り	吹抜	展示台、坪庭	既設	
撤去		スローフロア:モルタル塗り刷毛引き仕上			2G梁上部:角波鉄板張り (鉄骨胴縁下地) 鉄部:SOP塗り	野地板 米松 表し	4,800~7,075	木製格子		
斜線部分:床材、土間コンクリートt=100 + モルタルt=30 + 破石 t=80 全て撤去処分(カッタ-処理) 斜線以外:床材(クラシックアート重歩行用t=3.0) + モルタルt=30 撤去処分 スローフロア 全て撤去処分(カッタ-処理)				米松 H=75 OP塗りのまま 特記部分のみ撤去処分	既設のまま、特記部分のみ撤去処分	既設のまま		展示台、坪庭撤去処分 木製格子 撤去処分	撤去	
改修 車庫	車庫	斜線部分:土間コンクリートt=150 新設	GL+200	【A面】ビニル巾木 H=60 新設	【A面】ケイ酸カルシム板 t=8張り EP塗り (新設LGS W65下地)	化粧石膏ボード t=9.5張り (900角) 一部勾配天井 LGS下地	4,430~5,400	ホース収納棚新設、防火衣掛け(12着)新設	改修 車庫	
		コンクリート金手仕上げ(伸縮目地 W=20mm 施工)		コーナー窓部分:既設巾木撤去処分 ビニル巾木 H=60 新設	コーナー窓部分:既設合板張りの上 ケイ酸カルシム板 t=8直張り EP塗り	コーナー窓天端: 既設板張りの上 ケイ酸カルシム鋼板 t=0.6mm 直張り		天井点検口 新設		
					2G梁上部:既設角波鉄板張りのまま					
					2G梁上端及び20柱側面:PL新設 2.3×140 SOP塗り 溶接止め@300					
				【B面】ビニル巾木 H=60 新設	【B面】ケイ酸カルシム板 t=8張り EP塗り (新設LGS W65下地)					
				コーナー窓部分:既設巾木撤去処分 ビニル巾木 H=60 新設	コーナー窓部分:A面と同じ					
					便所壁:ケイ酸カルシム板 t=8張り EP塗り (新設LGS W100下地)					
					2G梁上部:既設角波鉄板張りのまま					
					2G梁上端及び20柱側面:PL新設 2.3×140 SOP塗り 溶接止め@300					
				【C面】ビニル巾木 H=60 新設	【C面】ケイ酸カルシム板 t=8張り EP塗り (新設鉄骨胴縁下地)					
便所	便所	土間コンクリートt=120 新設	GL+250	【A面】ビニル巾木 H=60 新設	【A面】ケイ酸カルシム板 t=6張り EP塗り (新設LGS W100下地)	便所上部:硬質木片セメント板張り t=15mm	2,400	面台新設:ミンレバHL加工t=1.2、洋便器新設、小便器新設、汚垂ケル新設、	改修 便所	
		モルタルt=30塗り下地 長尺塙ビシートt=2.5mm貼り		【B面】既設巾木撤去処分 ビニル巾木 H=60 新設	【B面】既設合板張りの上 ケイ酸カルシム板 t=6直張り EP塗り	外枠: C-75x45x15x2.3 @450 鉄骨下地		手洗い新設、SK新設、スクリーン新設		
				【C面】ビニル巾木 H=60 新設	【C面】ケイ酸カルシム板 t=6張り EP塗り (新設鉄骨胴縁下地)	天井:化粧石膏ボード t=9.5張り LGS下地				
					面台腰壁:ケイ酸カルシム板t=8下地 化粧不燃板t=6張り H=1,185 (LGS W=100下地)					
					2G梁下端(特記部分):PL新設 2.3×140 SOP塗り 溶接止め@300					
				【D面】ビニル巾木 H=60 新設	【D面】ケイ酸カルシム板 t=6張り EP塗り (新設LGS W100下地)					
					面台腰壁:ケイ酸カルシム板t=8下地 化粧不燃板t=6張り H=1,185 (LGS W=100下地)					
					【X4・Y1通り柱】ケイ酸カルシム板 t=6 EP塗り (新設LGS下地)					

原図:A2

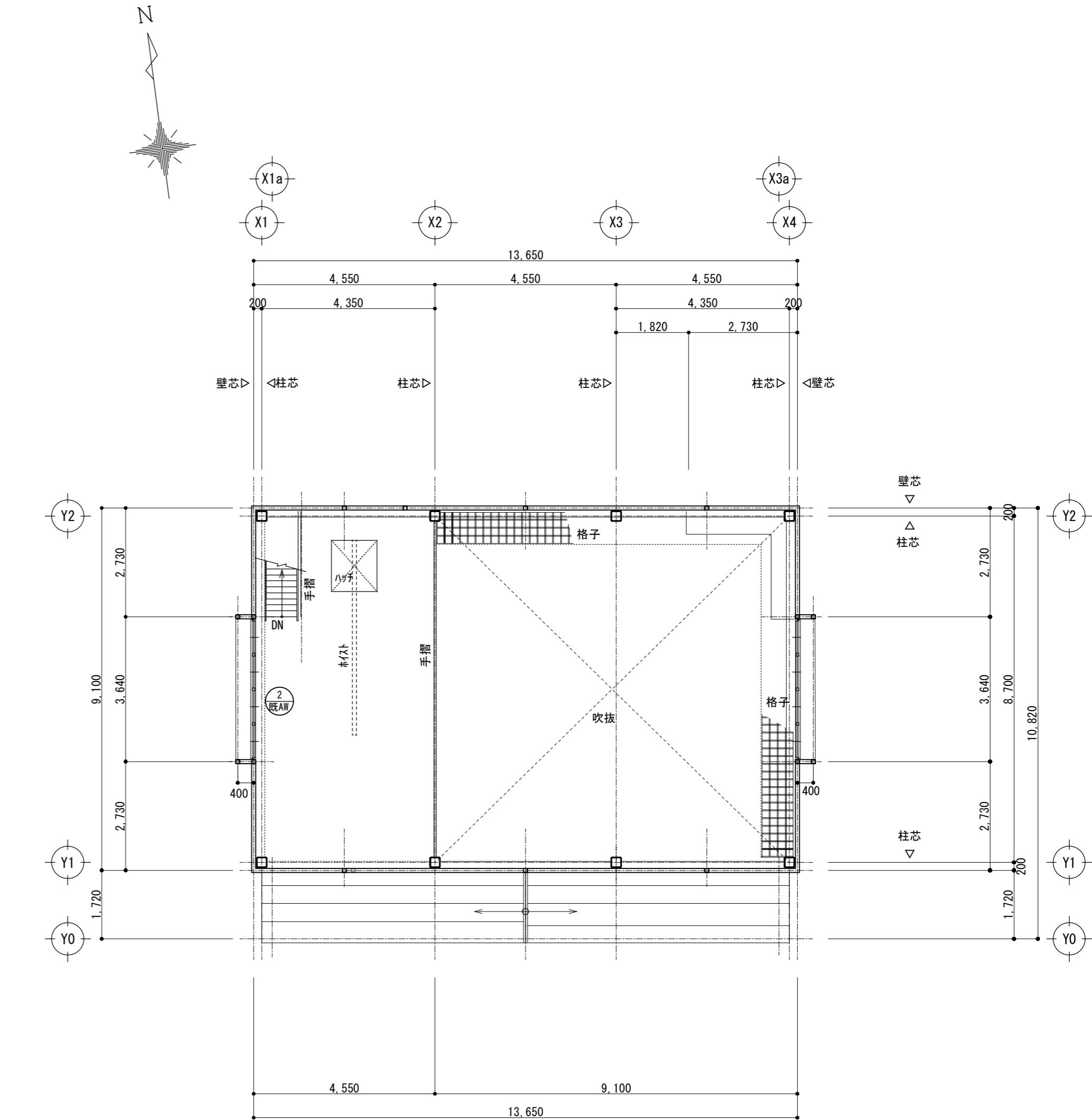
内部仕上表											
※改修材料: クロルビリホス及び石綿材の使用はしない。 ※新設鉄部: SOP塗り、既設鉄部: 既設SOP塗りのまま											
室名	区分	床	床高	巾木	壁	天井	天井高	備考		区分	
1階 郷土資料館 (吹抜) ↓ 事務室 便所 事務室	既設	土間コンクリートt=100 クラシックフロア貼り(重歩行用t=3.0)	GL+200	米松 H=75 OP塗り	合板 t=5張り OP塗り (鉄骨胴縁下地) 鉄部: SOP塗り 2G梁型下端PL: OP塗り	コーナー窓天端: 米松 t=36板張り OS塗り	吹抜	展示台、坪庭		既設	
		モルタル塗り刷毛引き仕上			2G梁上部: 角波鉄板張り (鉄骨胴縁下地) 鉄部: SOP塗り	野地板 米松 表し	4,800~7,075	木製格子			
	撤去	斜線部分: 床材、土間コンクリートt=100 + モルタルt=30 + 破砕石 t=80 全て撤去処分(カッタ-処理)		米松 H=75 OP塗りのまま 特記部分のみ 撤去処分	既設のまま、特記部分のみ撤去処分	既設のまま		展示台、坪庭撤去処分		撤去	
		斜線以外: 床材(クラシックフロア-重歩行用t=3.0) + モルタルt=30 撤去処分 (カッタ-処理)						木製格子 撤去処分			
	改修 事務室	斜線以外: 既設土間コンクリート目荒し下地 土間コンクリートt=50 新設	GL+250	【全面】ビニル巾木 H=60 新設	【A面】PB t=12.5 EP塗り (新設LGS W100下地)	化粧石膏ボード t=9.5張り LGS下地	2,450	ミニキッチン=1200新設(IHタイプ)、天井点検口		改修 事務室	
		モルタルt=30塗り下地 長尺塗装シートt=2.5mm貼り			【B面】PB t=12.5 EP塗り (新設LGS W100下地)	【Y1通り染型】PB t=12.5 EP塗り (新設LGS下地)	梁下2,360				
		斜線部分: 既設土間コンクリート目荒し下地 土間コンクリートt=120~230 新設			【C面】PB t=12.5 EP塗り (新設鉄骨胴縁下地)						
		モルタルt=30塗り下地 長尺塗装シートt=2.5mm貼り			PB t=12.5 EP塗り (新設LGS W65下地)						
					Y1通り染型のみ: PB t=12.5 EP塗り (新設LGS下地)						
					【D面】PB t=12.5 EP塗り (新設LGS W65下地)						
					【X2・Y1通り柱】PB t=12.5 EP塗り (新設LGS下地)						
		倉庫	斜線以外: 既設土間コンクリート目荒し下地 土間コンクリートt=50 新設	GL+250	【A面】既設巾木撤去処分 ビニル巾木 H=60 新設	【A面】既設合板張り 撤去処分後 PB t=12.5 EP塗り (既設胴縁下地)	木製階段 段裏表し			改修 倉庫	
			モルタルt=30塗り下地 長尺塗装シートt=2.5mm貼り			PB t=12.5 EP塗り (新設鉄骨胴縁下地)					
	踏込	斜線部分: 既設土間コンクリート目荒し下地 土間コンクリートt=120~230 新設		【C面】ビニル巾木 H=60 新設	【C面】PB t=12.5 EP塗り (新設LGS W100下地)						
		モルタルt=30塗り下地 長尺塗装シートt=2.5mm貼り		【D面】既設巾木撤去処分 ビニル巾木 H=60 新設	【D面】既設合板張り 撤去処分後 PB t=12.5 EP塗り (既設胴縁下地)						
		斜線以外: 既設土間コンクリート目荒し下地 土間コンクリートt=50 新設	GL+250	【A面】既設巾木撤去処分 ビニル巾木 H=60 新設	【A面】既設合板張り 撤去処分後 PB t=12.5 EP塗り (既設胴縁下地)		吹抜	下足箱14足		改修 踏込	
		モルタルt=30塗り下地 長尺塗装シートt=2.5mm貼り			PB t=12.5 EP塗り (新設鉄骨胴縁下地)						
		斜線部分: 既設土間コンクリート目荒し下地 土間コンクリートt=120~230 新設			2G梁上部: 既設角波鉄板張りの上 PB t=12.5 EP塗り (新設LGS W65下地)						
		モルタルt=30塗り下地 長尺塗装シートt=2.5mm貼り		【B・C面】ビニル巾木 H=60 新設	【B・C面】PB t=12.5 EP塗り (新設LGS W100下地)						
2階 倉庫 ↓ 廊下・階段室 和室 押入・物入	既設	米松 t=36板張り OS塗り (鉄骨下地)	2G天+40	木製雑巾摺	角波鉄板張り (鉄骨胴縁下地)	野地板 米松 表し	2,400	オストクーン(取外し)、ゴンドラ、ハッチ床開口、アルミ手摺、木製階段、内倒し窓		既設	
	撤去	既設のまま、特記部分のみ撤去処分		既設のまま	既設のまま	既設のまま		オストクーン: (取外し)		撤去	
								ゴンドラ、ハッチ床開口、アルミ手摺、木製階段(7m手摺共): 撤去処分			
	改修 廊下 階段室	既設床の上、複合フローリング t=12張り 一部床板張り(既設と同程度)の上、複合フローリング t=12張り	2G天+110	【全面】ビニル巾木 H=60 新設	【A面】PB t=12.5 EP塗り (新設LGS W65下地)	化粧石膏ボード t=9.5張り 一部勾配天井 LGS下地	2,400~ 勾配天井	手摺腰壁、木製手摺: 集成材OL、壁付手摺35φ		改修 廊下	
		新設木製階段: 段板 木製化粧踏板 t=30 CL塗り			腰壁: PB t=12.5 EP塗り (新設LGS W100下地)					階段室	
		蹴板 木製化粧蹴込板 CL塗り			【B面】PB t=12.5 EP塗り (新設LGS W100下地)						
		#手摺 木製 t=35 CL塗り			【C-D面】PB t=12.5 EP塗り (新設LGS W65下地)						
		和室12帖	タタミ敷込み、板間: 複合フローリング t=12張り	2G天+110	タタミ寄せ、雑巾摺り	【A-B面】PB12.5下地 ビニル貼り (新設LGS W100下地) 【C-D面】PB12.5下地 ビニル貼り (新設LGS W65下地)	化粧石膏ボード t=9.5張り 一部勾配天井 LGS下地	2,000~2,550	木製額縁: 新設		和室12帖
		押入	5層合板 t=15張り	2G天+110	雑巾摺り	【A-C-D面】吸放湿化粧せっこうボード12.5張り (新設LGS W65下地) 【B面】壁: 吸放湿化粧せっこうボード12.5張り (新設LGS W100下地)	PB t=9.5素地張り 一部勾配天井 LGS下地	1,595~1,842	中段		押入
		物入	複合フローリング t=12張り	2G天+110	雑巾摺り	【A-B面】壁: 吸放湿化粧せっこうボード12.5張り (新設LGS W100下地) 【C-D面】壁: 吸放湿化粧せっこうボード12.5張り (新設LGS W65下地)	PB t=9.5素地張り 一部勾配天井 LGS下地	2,270~2,400			物入



面積表

	申請部分	坪換算
敷地面積	1,189.58 m ²	359.91 坪
建築面積	146.10 m ²	44.10 坪
1階床面積	117.12 m ²	35.35 坪
2階床面積	41.40 m ²	12.50 坪
延床面積	158.52 m ²	47.85 坪

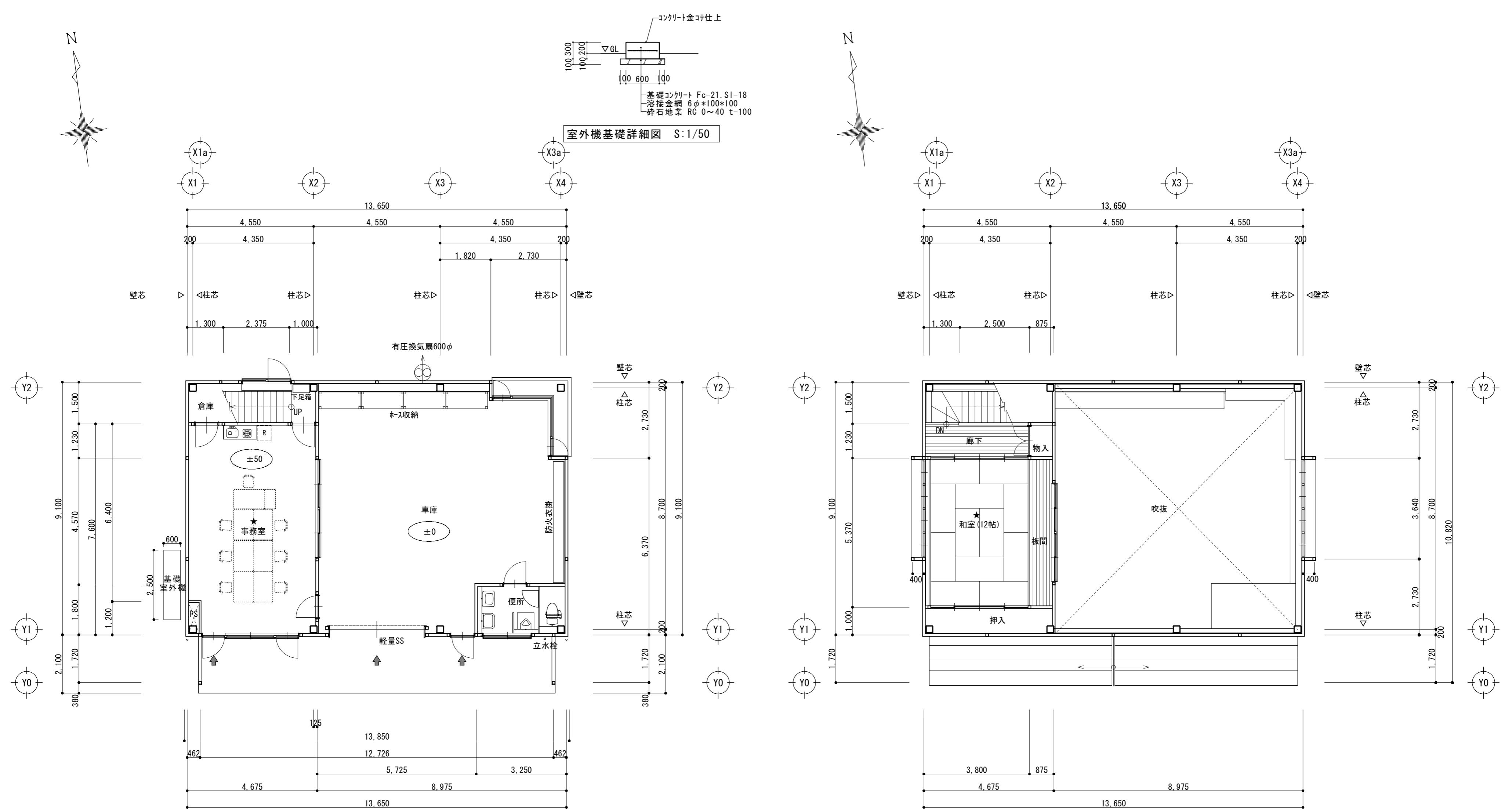
(坪換算: 敷地・3.305124m²/坪 建物・3.3124m²/坪)



改修前

■凡例■			
■改修工事 - 本工事においての改修及び撤去項目(別図参照)			
・1階床材全面撤去処分、特記部分の土間コンクリート撤去処分(カッター処理施工)	・1階内部坪庭撤去処分	・2階ホイストクレーン鉄骨、ハッチ、撤去処分	
・壁、建具、その他は、特記部分のみ撤去処分	・木製格子棚 撤去処分	・2階アルミ手摺 撤去処分	
・展示台 撤去処分 (a) ~ (h)			
・木製階段 撤去処分 (アルミ手摺共)			

原図:A2



面積表		
	申請部分	坪換算
車庫床面積	72.91 m ²	22.0 坪
事務所床面積	90.93 m ²	27.4 坪
1階床面積	48.39 m ²	14.6 坪
2階床面積	42.54 m ²	12.8 坪
延床面積	163.84 m ²	49.4 坪

(坪換算: 敷地・3.305124m²/坪 建物・3.3124m²/坪)

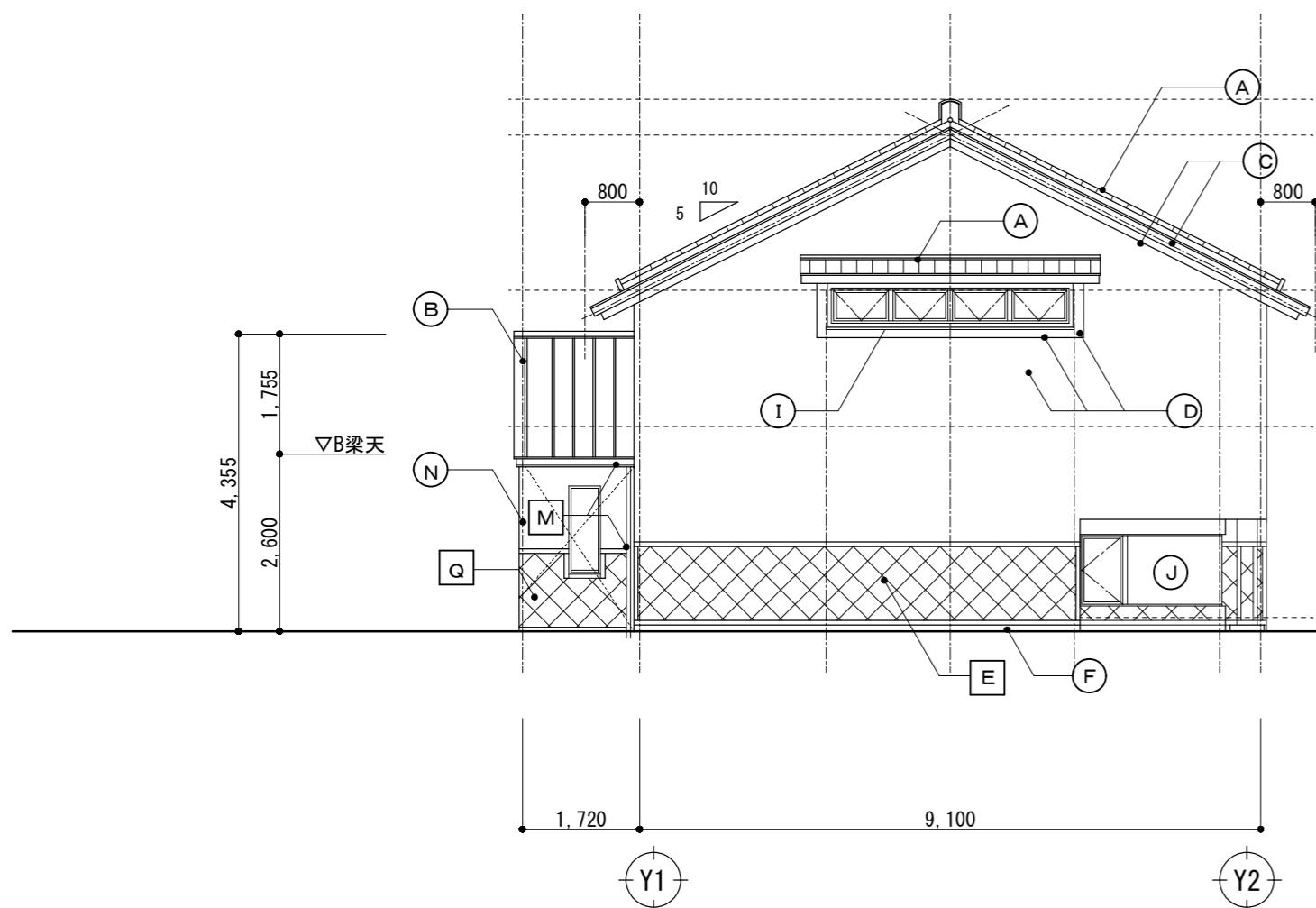
1階平面図 S=1/100

面積表			
	申請部分	坪換算	
敷地面積	1,189.58 m ²	359.9	
建築面積	146.10 m ²	44.1	
1階床面積	121.30 m ²	36.6	
2階床面積	42.54 m ²	12.8	
延床面積	163.84 m ²	49.4	

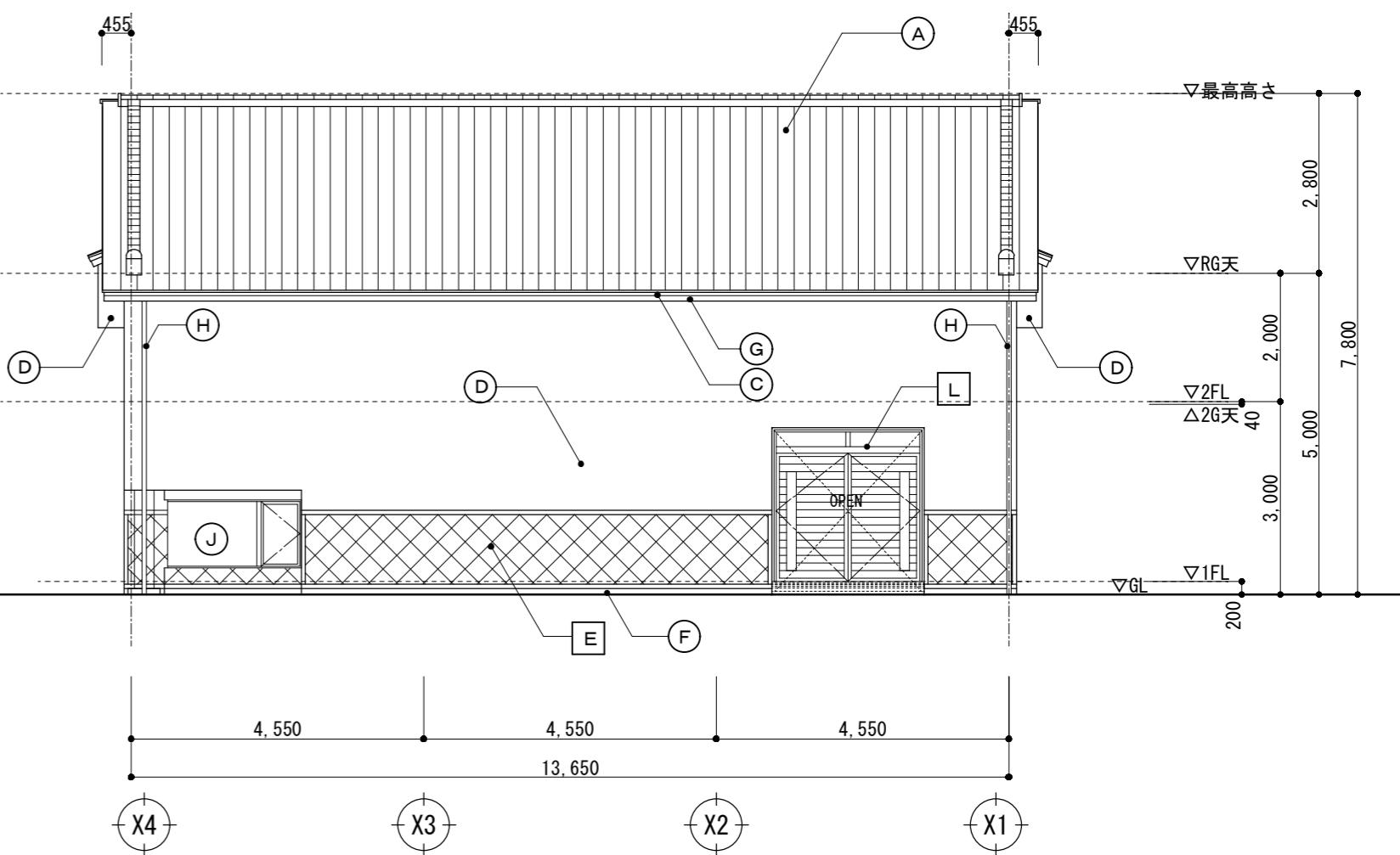
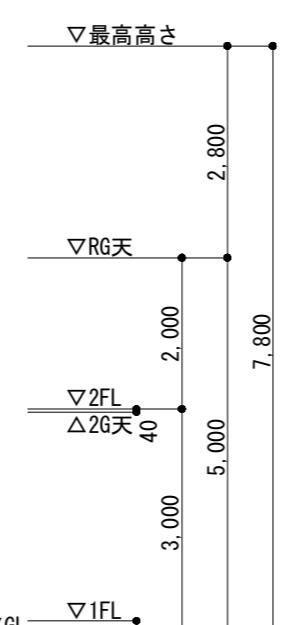
(坪換算:敷地・3.305124m²/坪 建物・3.3124m²/坪)

2階平面図 S=1/100

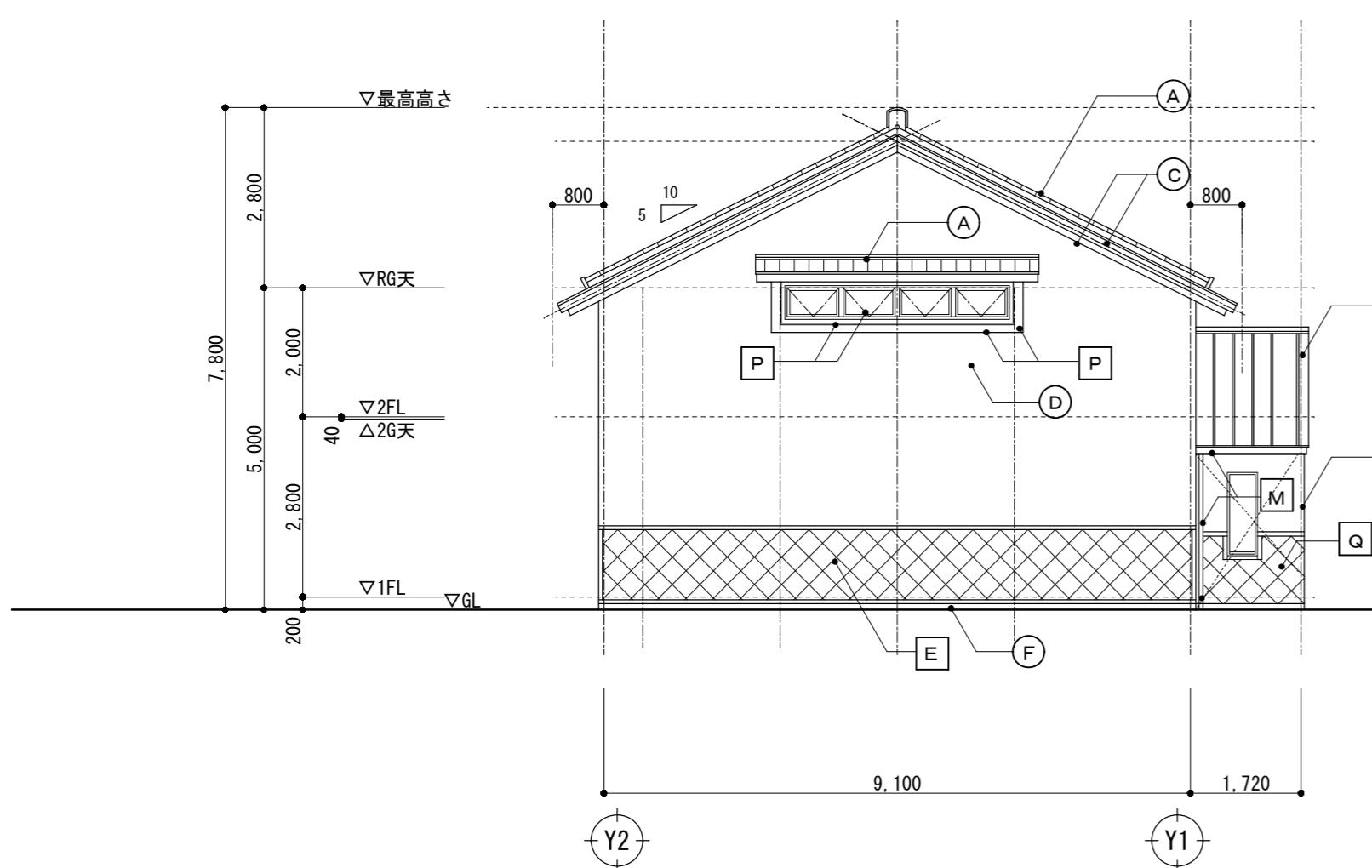
改修後



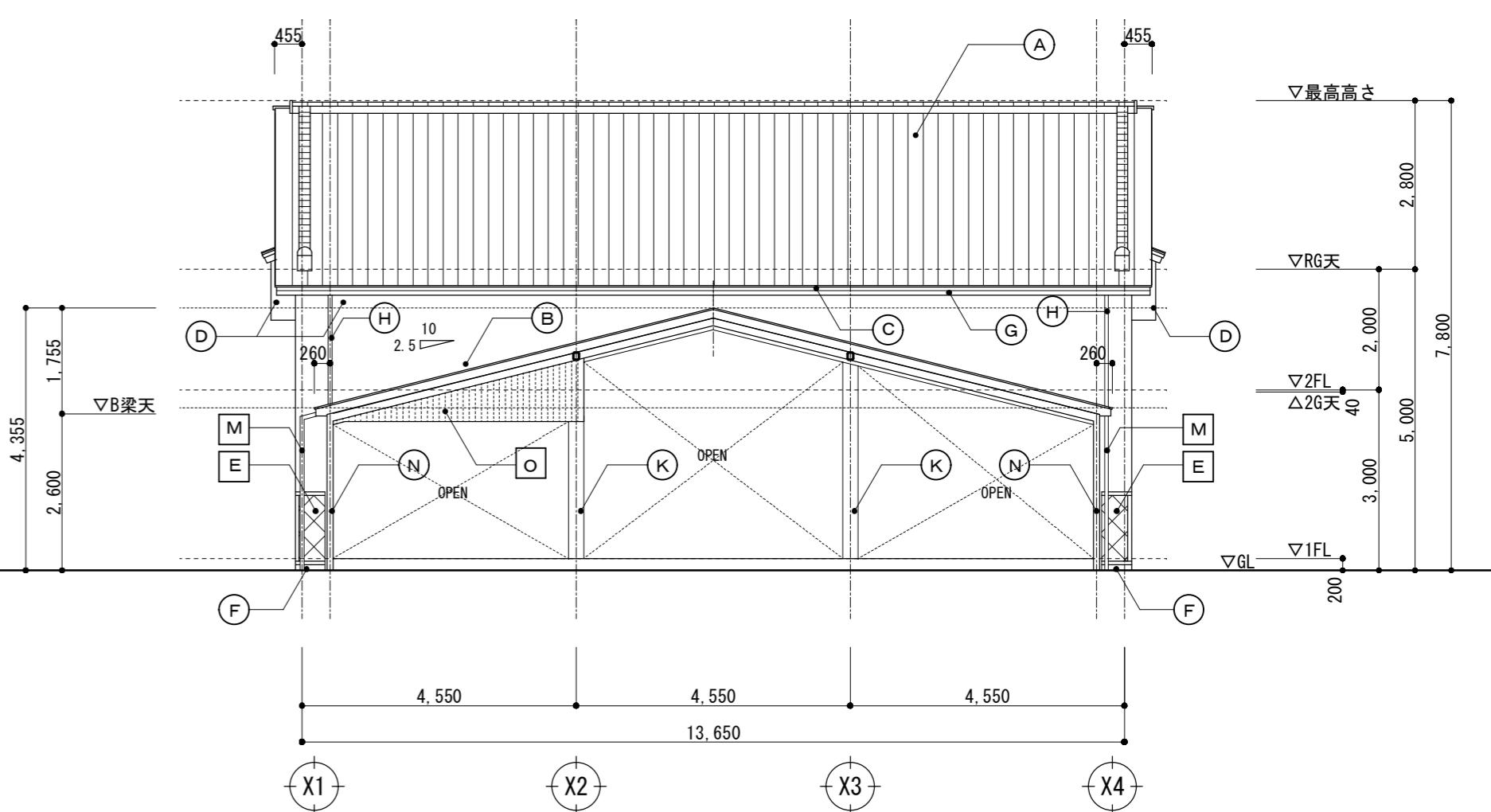
東立面図 S=1/100



北立面図 S=1/100



西立面図 S=1/100



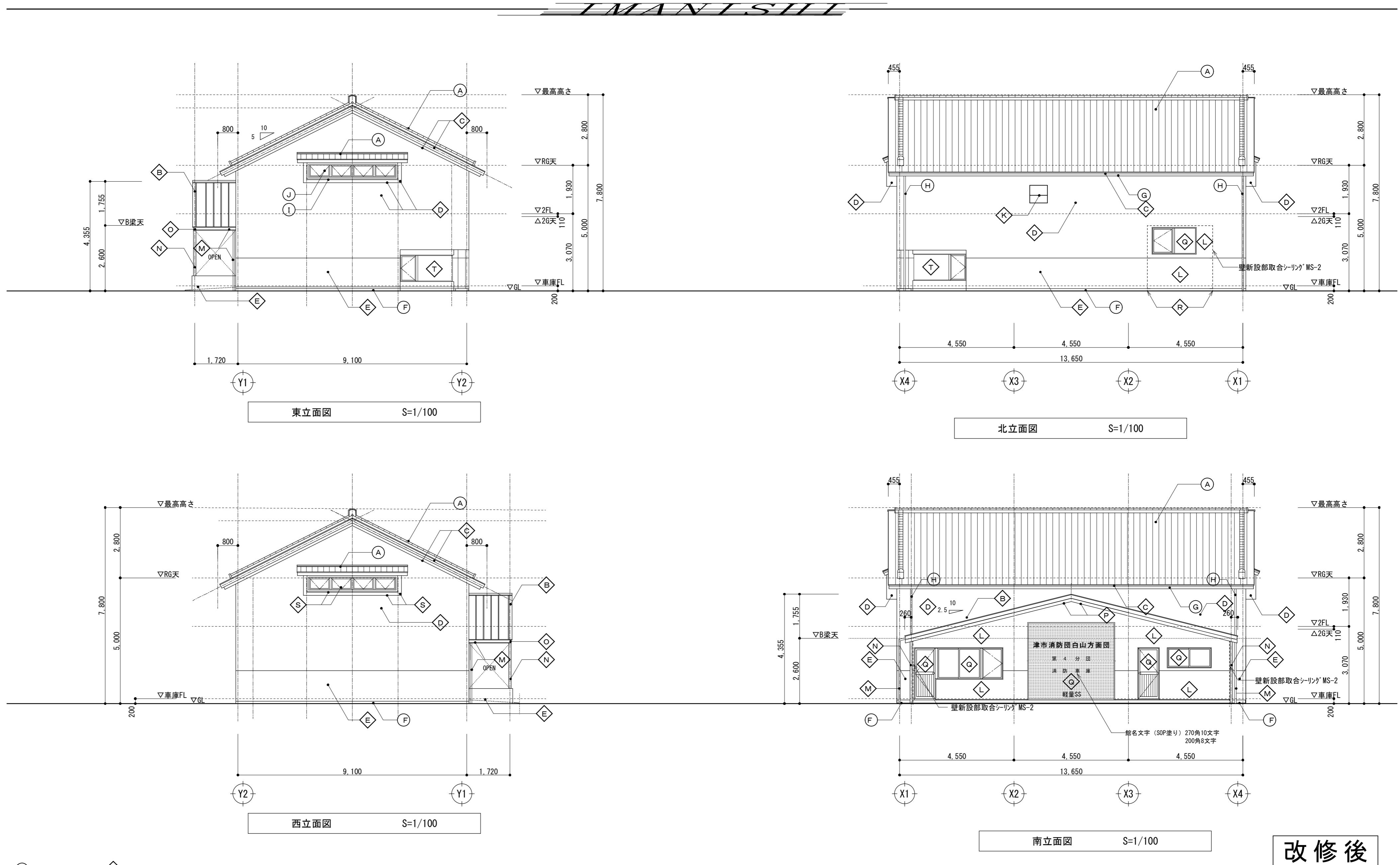
南立面図 S=1/100

改修前

【註記】
・ひび割れ補修等は、施工数量調査を行い、市監督員による確認後施工すること。
・外壁塗装処理：1.0mm以下：シリコン工法にて処理を行う
1.0mm以上：ひび割れ材充填の上シリコン樹脂シリコン工法にて処理を行う

○ - 既設のまま □ - 撤去処分

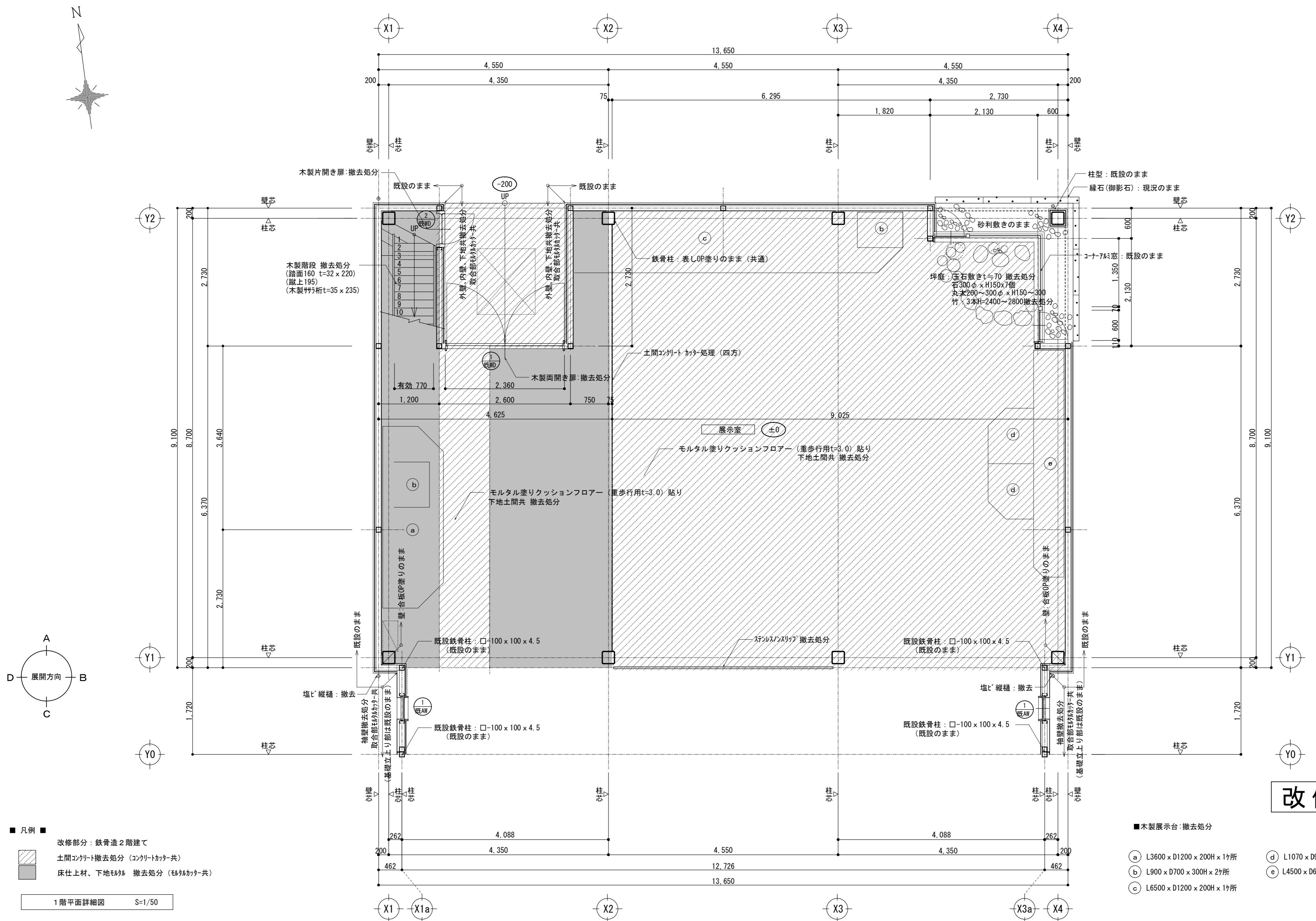
(A) 日本瓦（棧瓦）新磨き一文字葺	(E) 腰壁：300角タイル斜め貼り撤去処分	(I) 面台：カラー鉄板張り	(M) 軒樋：硬質塩化ビニル（既製品） 堅樋：硬質塩化ビニル60φ（既製品）（締み金物共）撤去処分	(Q) 袖壁撤去処分（基礎立上り部は既設のまま）
(B) かく鉄板瓦棒葺き（芯木入り）	(F) 巾木：モルタル塗り金コテ	(J) 既設アルミサッシのまま	(N) 既設鉄骨柱口-100×100×4.5 既設のまま	
(C) 鼻隠し・破風：ラスモル塗り刷毛引き仕上吹付け	(G) 軒樋：硬質塩化ビニル（既製品）	(K) 鉄部SOP塗りのまま	(O) 既設角鉄板張り撤去処分	
(D) 外壁：ラスモル塗り刷毛引き仕上吹付け	(H) 堪撃：硬質塩化ビニル60φ（既製品）（締み金物共）	(L) 既設木製建具撤去処分	(P) 既設アルミサッシ、面台、袖壁一部 撤去処分	

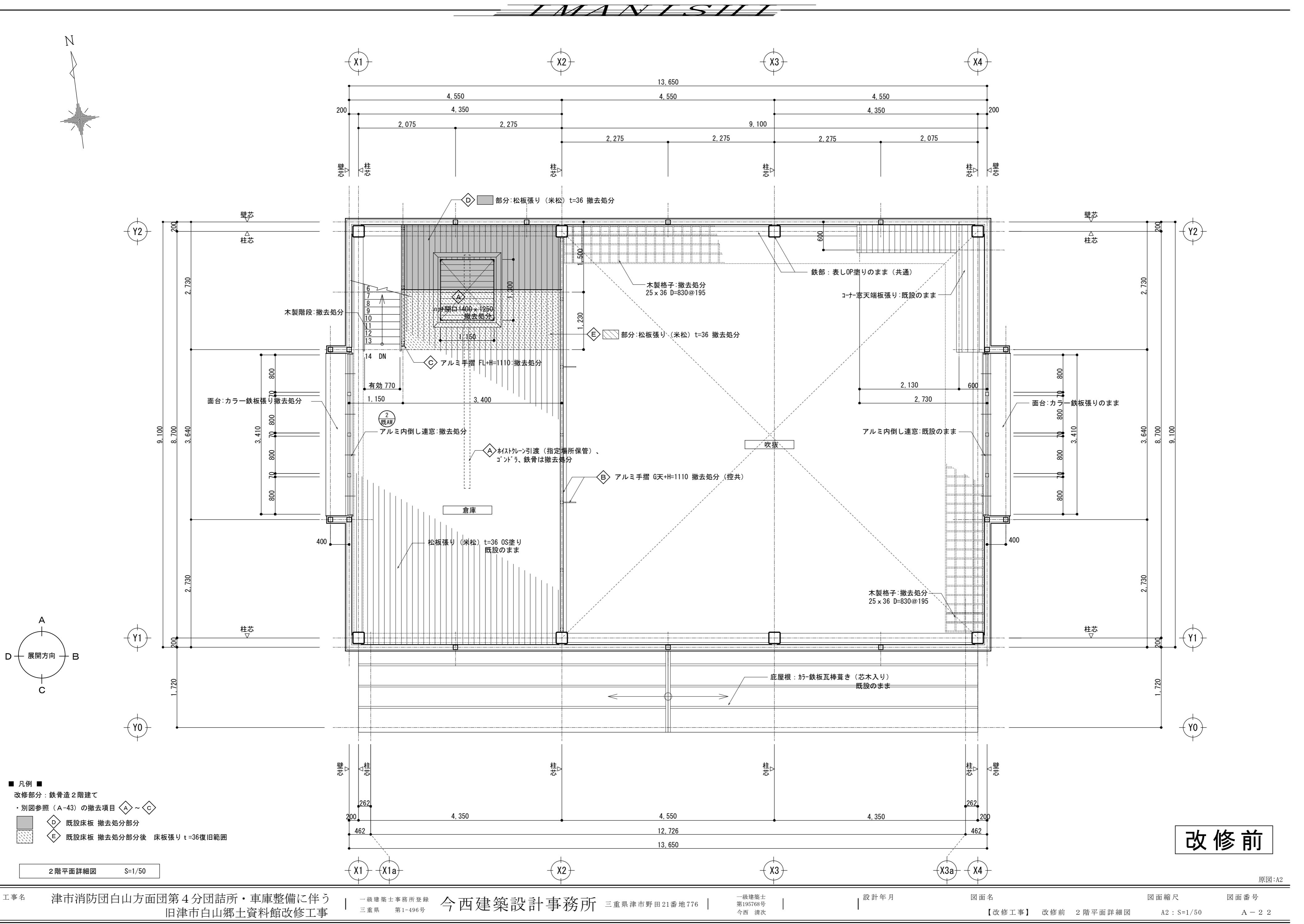


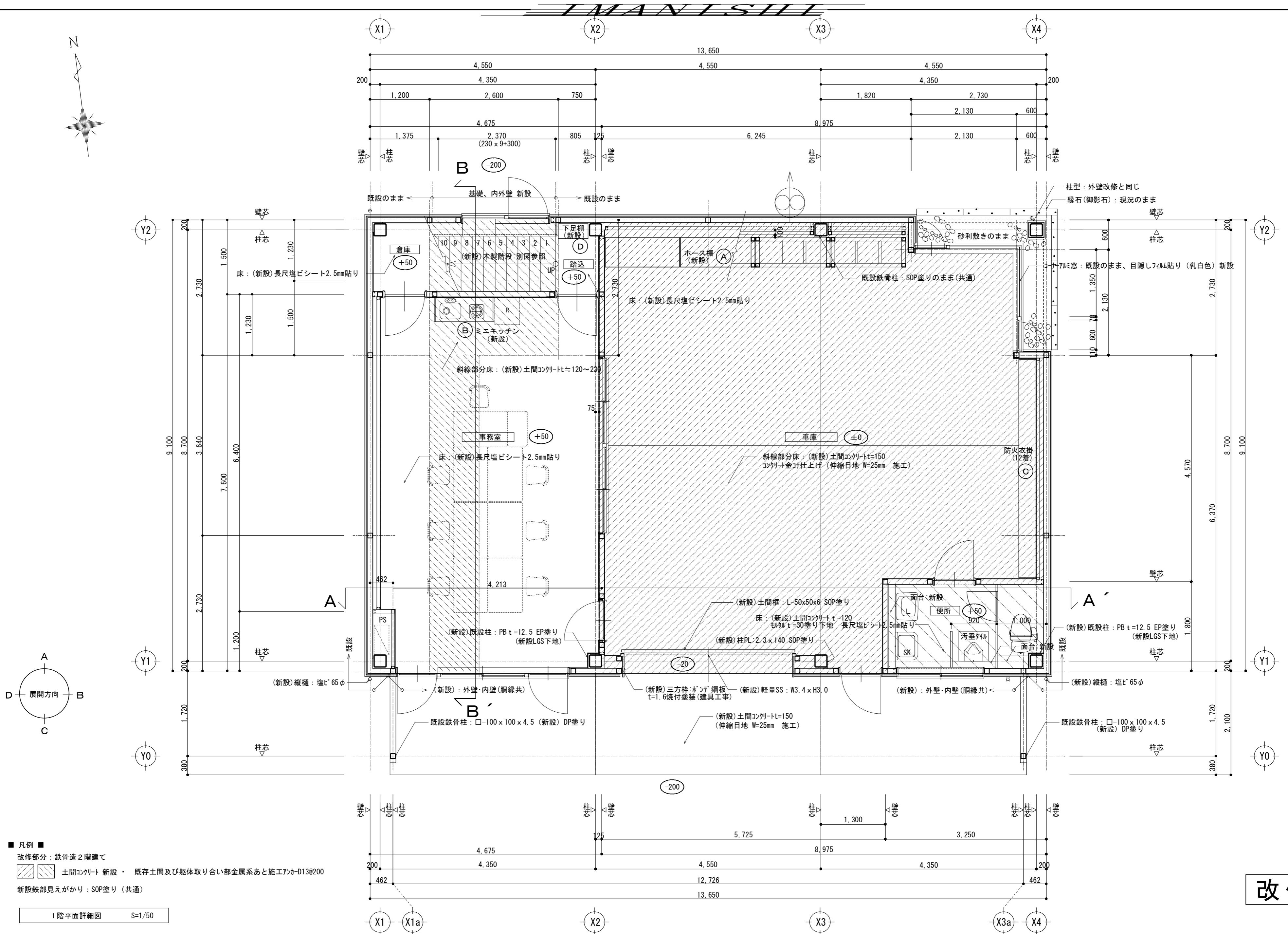
○ - 既設のまま ◇ - 改修(既設仕上材撤去後下地処理の上)及び新設

(A) 日本瓦(棧瓦)新磨き一文字葺(既設のまま)	(E) 腰壁:水洗い、下地調整塗材(CM-2)の上、可とう形外装薄塗材E吹付け(色分け)	(I) 面台:カラーフレッシュ(既設のまま)	(M) 軒樋:硬質塩化ビニルW120(既製品) 新設 堅縁:硬質塩化ビニル65φ(既製品)(組み金物共) 新設	(Q) 新設アルミサッシ、軽量シャッター
(B) 床:既設カラーフレッシュ(芯木入り)下地処理の上、DP塗り	(F) 壁木:モルタル塗り金目(既設のまま)	(J) アルミサッシ(既設のまま)	(N) 鉄骨柱:□-100×100×4.5 DP塗り	(R) 新設基礎巾木:モルタル塗り金目
(C) 鼻隠し・破風:水洗い、下地調整塗材(C-1)の上、可とう形外装薄塗材E吹付け	(G) 軒樋:硬質塩化ビニル(既製品)(既設のまま)	(K) 有圧換気扇600φ1ヶ所	(O) 鼻隠し:既設合板張り撤去処理後、化粧鼻隠し(既製品)H=150+240新設	(S) 補助壁一部:モルタル塗り金目、下地調整塗材(C-1)の上、アルミサッシ新設、面台新設 可とう形外装薄塗材E吹付け
(D) 外壁:水洗い、下地調整塗材(C-1)の上、可とう形外装薄塗材E吹付け	(H) 堪縁:硬質塩化ビニル60φ(既製品)(組み金物共)(既設のまま)	(L) 腰壁・外壁新設:モルタル塗り金目、下地調整塗材(CM-2、C-1)の上 可とう形外装薄塗材E吹付け(新設鉄骨構造下地)	(P) 破風:化粧破風板(既製品)H=240新設+カバ水切り:カラーカーボン鋼板0.5加工新設	(T) 既設アルミサッシ:目隠しフィルム貼り(乳白色)新設 原図:A2

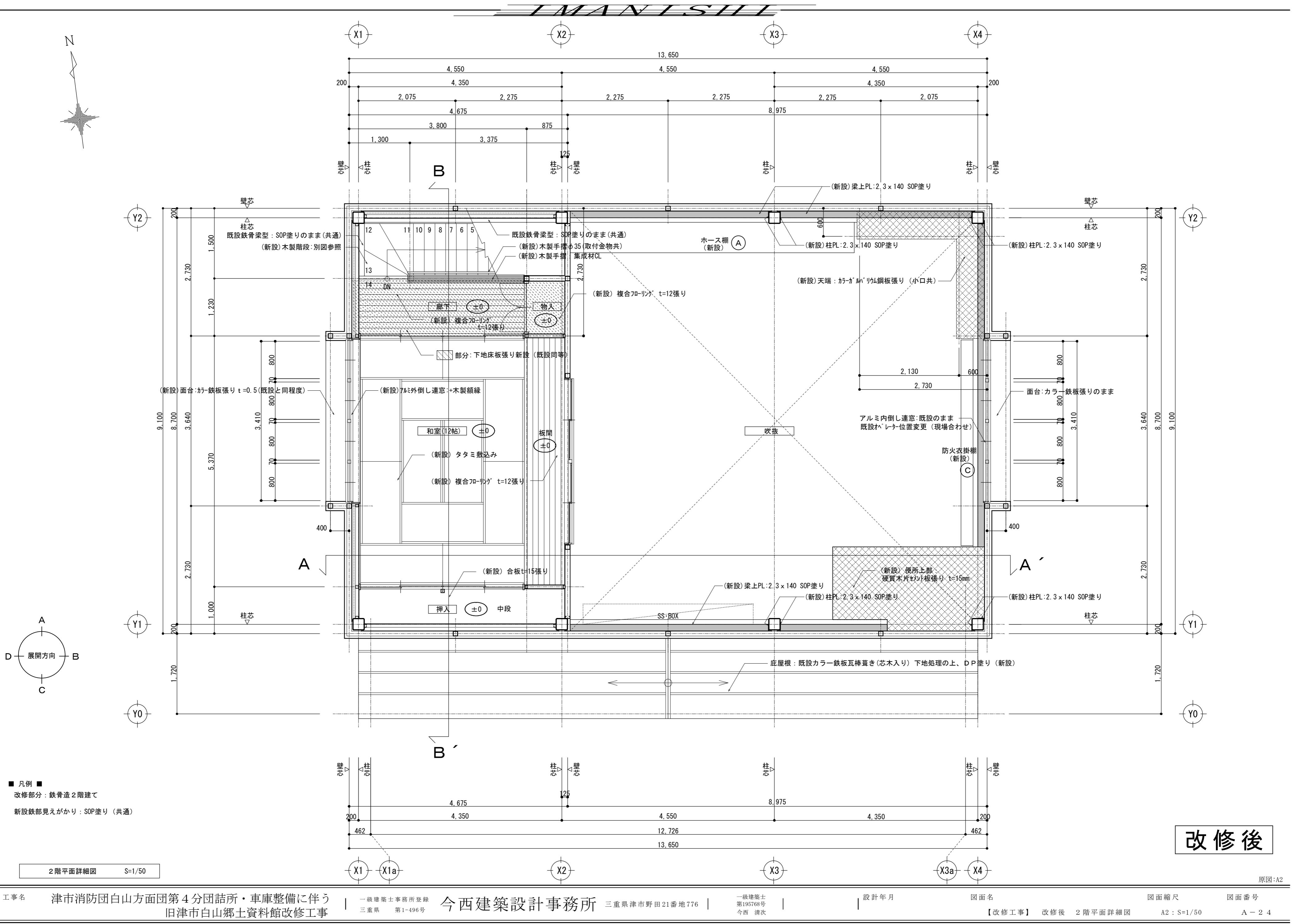
N

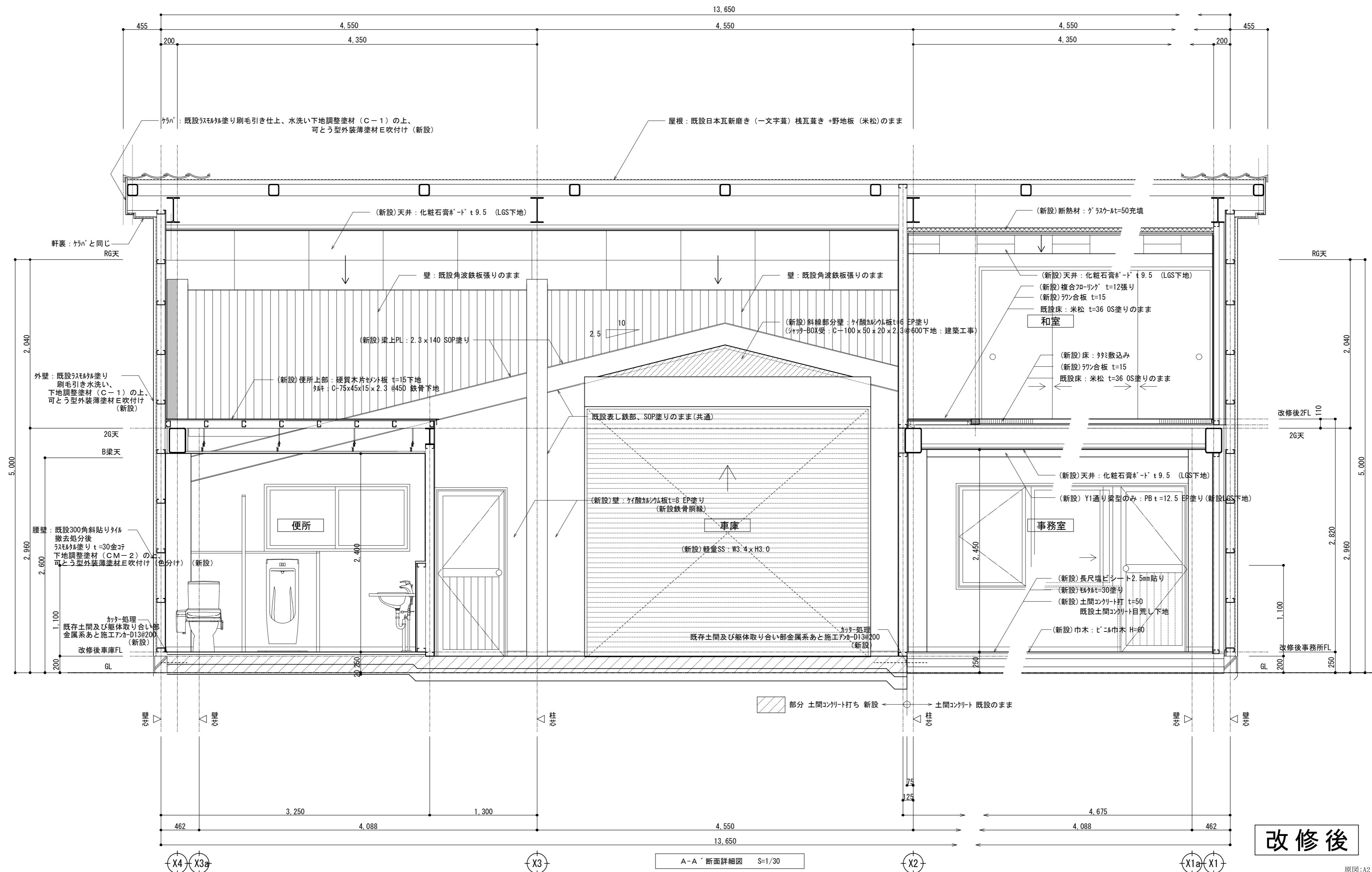


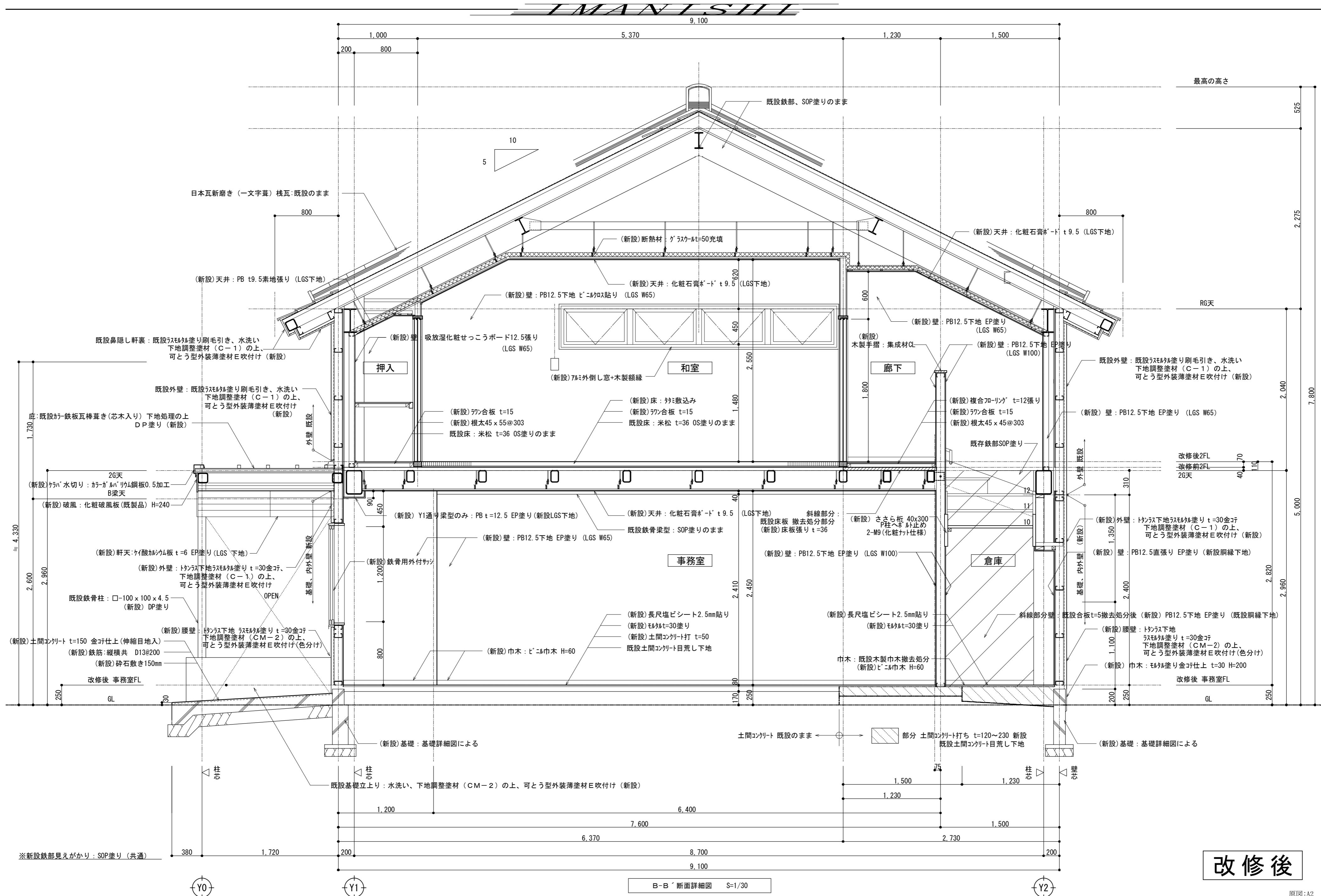


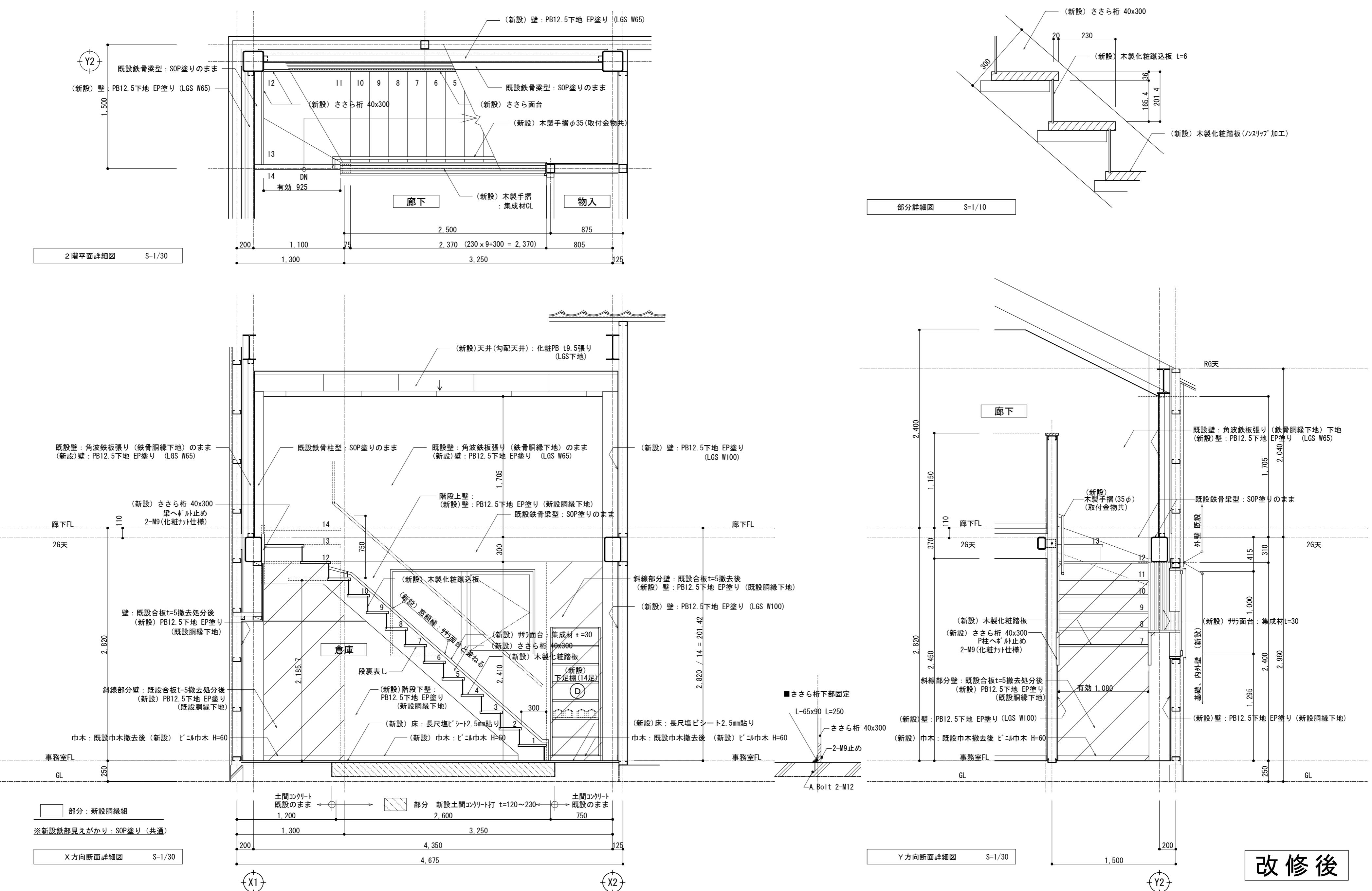


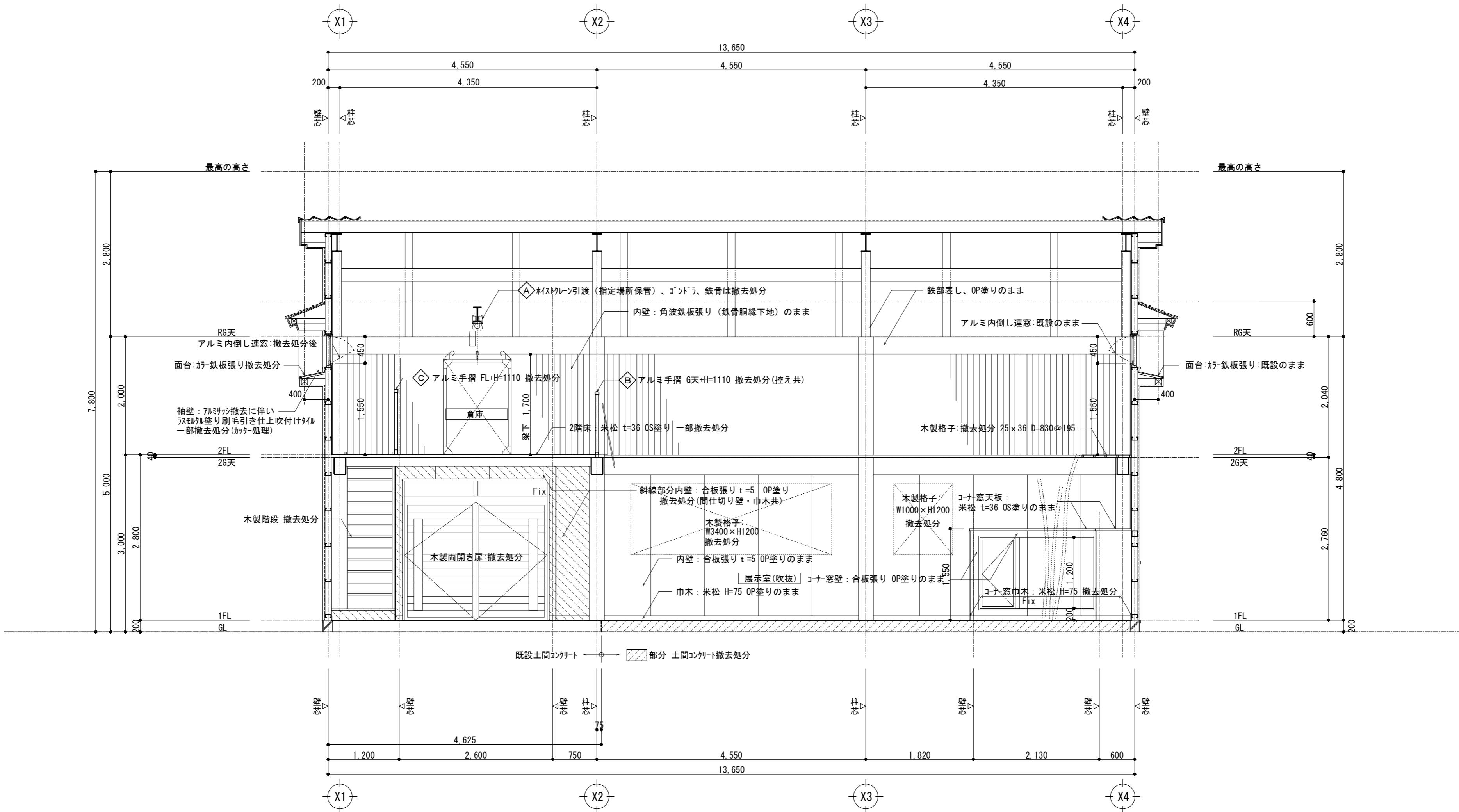
改修後









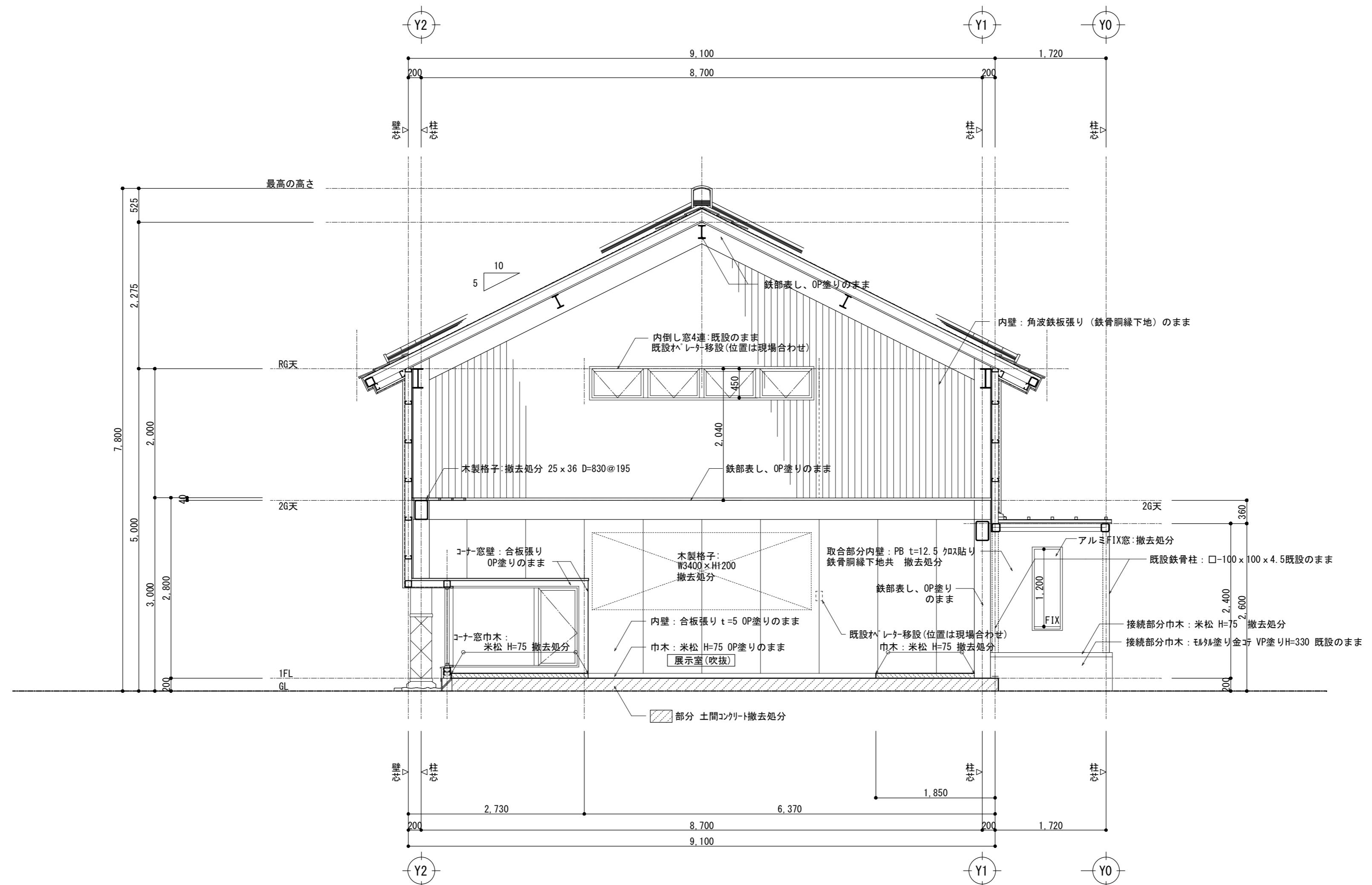


展示室(吹抜) 展開図 A面 S=1/50

※表し鉄部 : OP塗りのまま

改修前

原図:A2



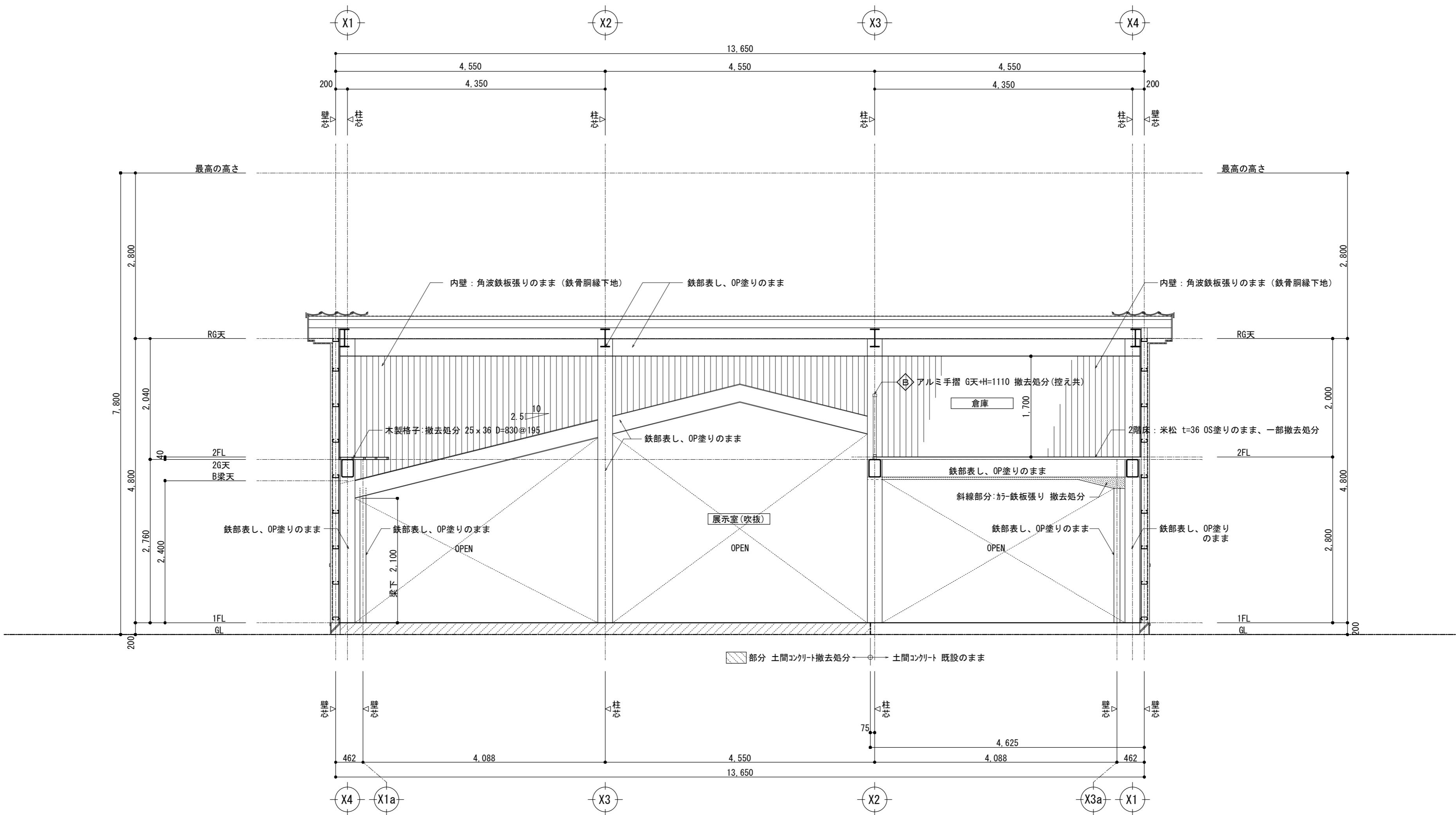
展示室(吹抜) 展開図 B面

S=1/50

※表し鉄部：OP塗のまま

改修前

原図:A2

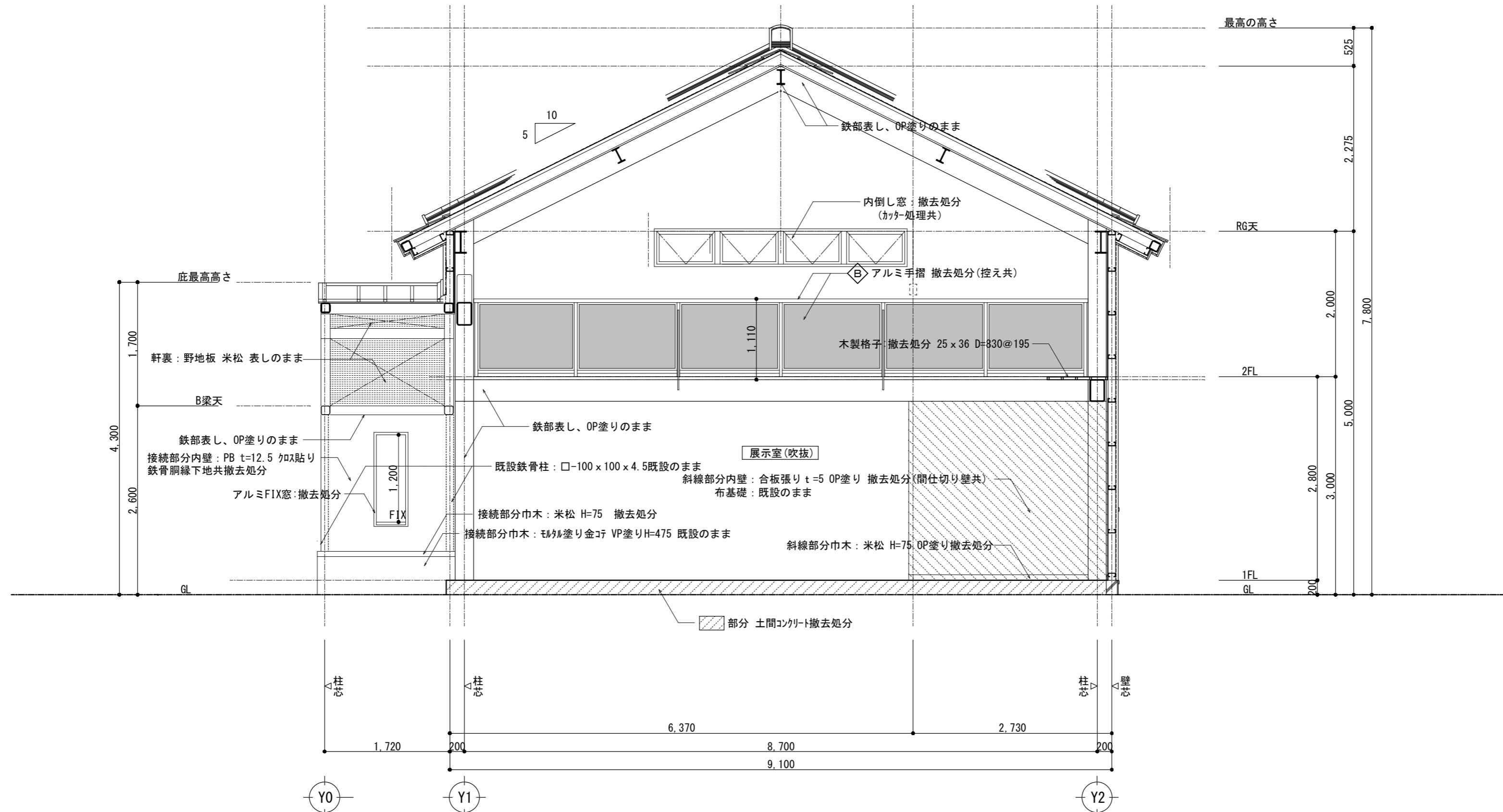


展示室(吹抜) 展開図 C面 S=1/50

※表し鉄部: OP塗のまま

改修前

原図:A2

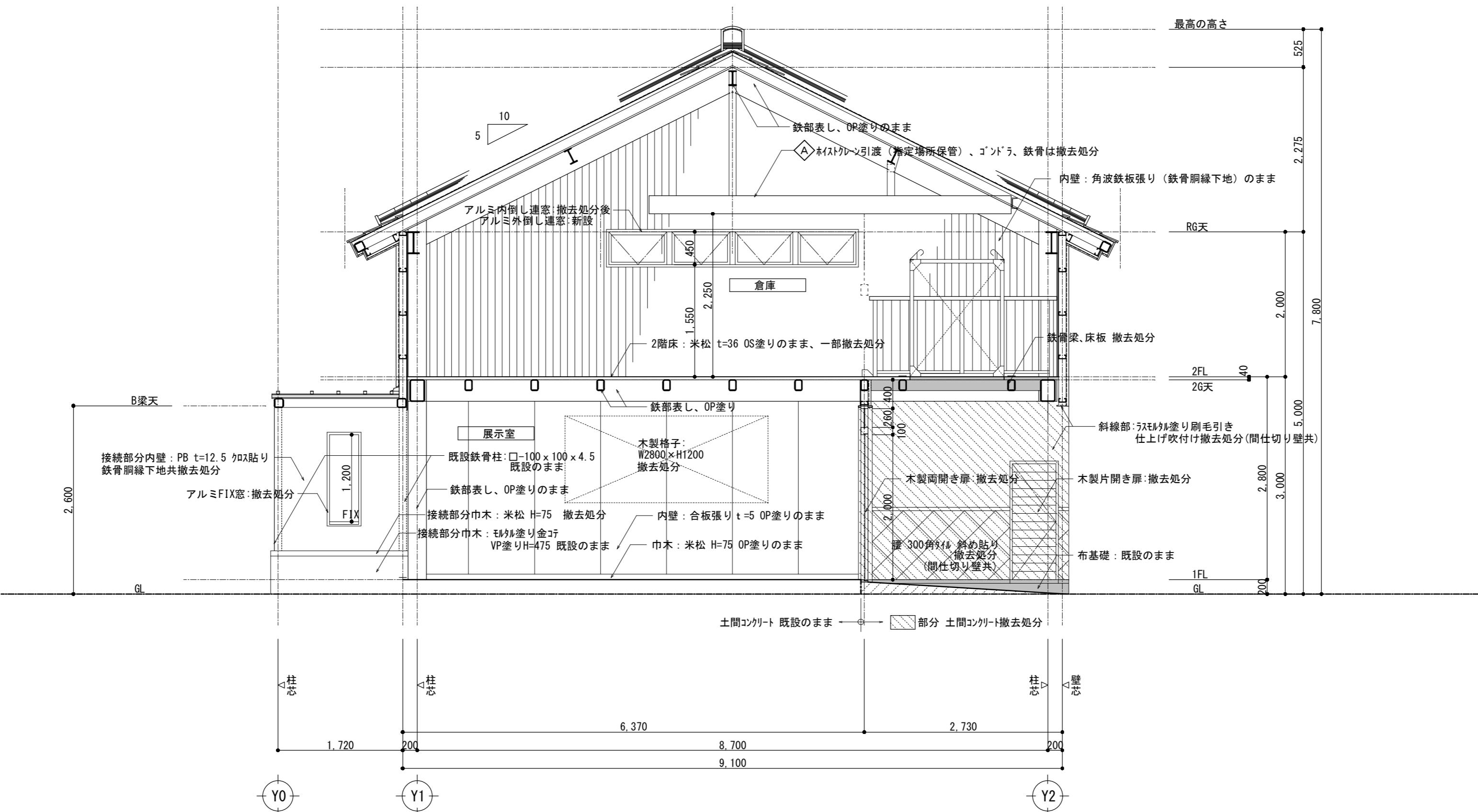


展示室(吹抜) 展開図 D面 S=1/50

※表し鉄部：OP塗のままで

改修前

IMANISHI



展示室・倉庫 展開図 D面 S=1/50

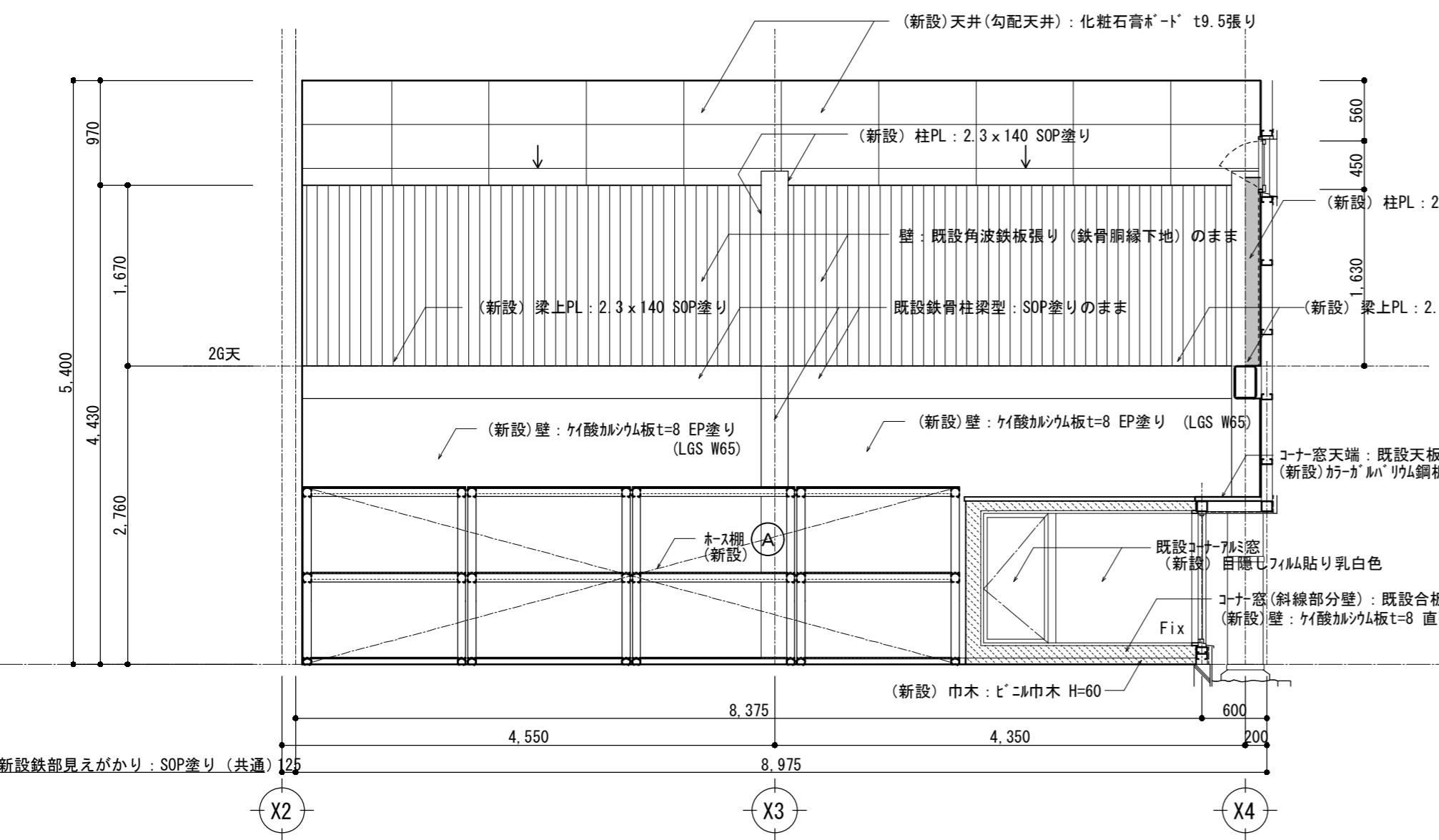
※表し鉄部：OP塗のま

改修前

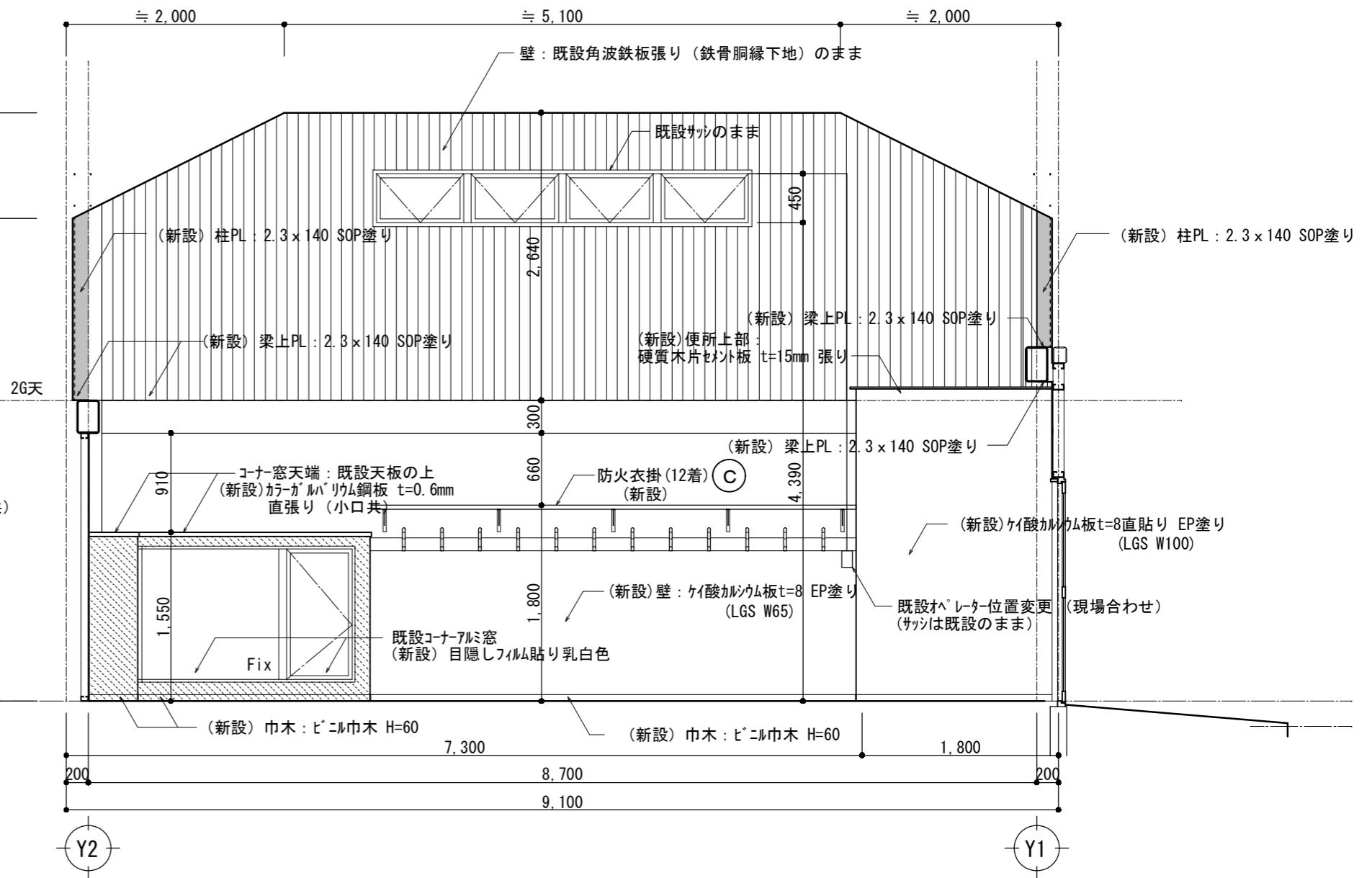
原図:A2

MANISII

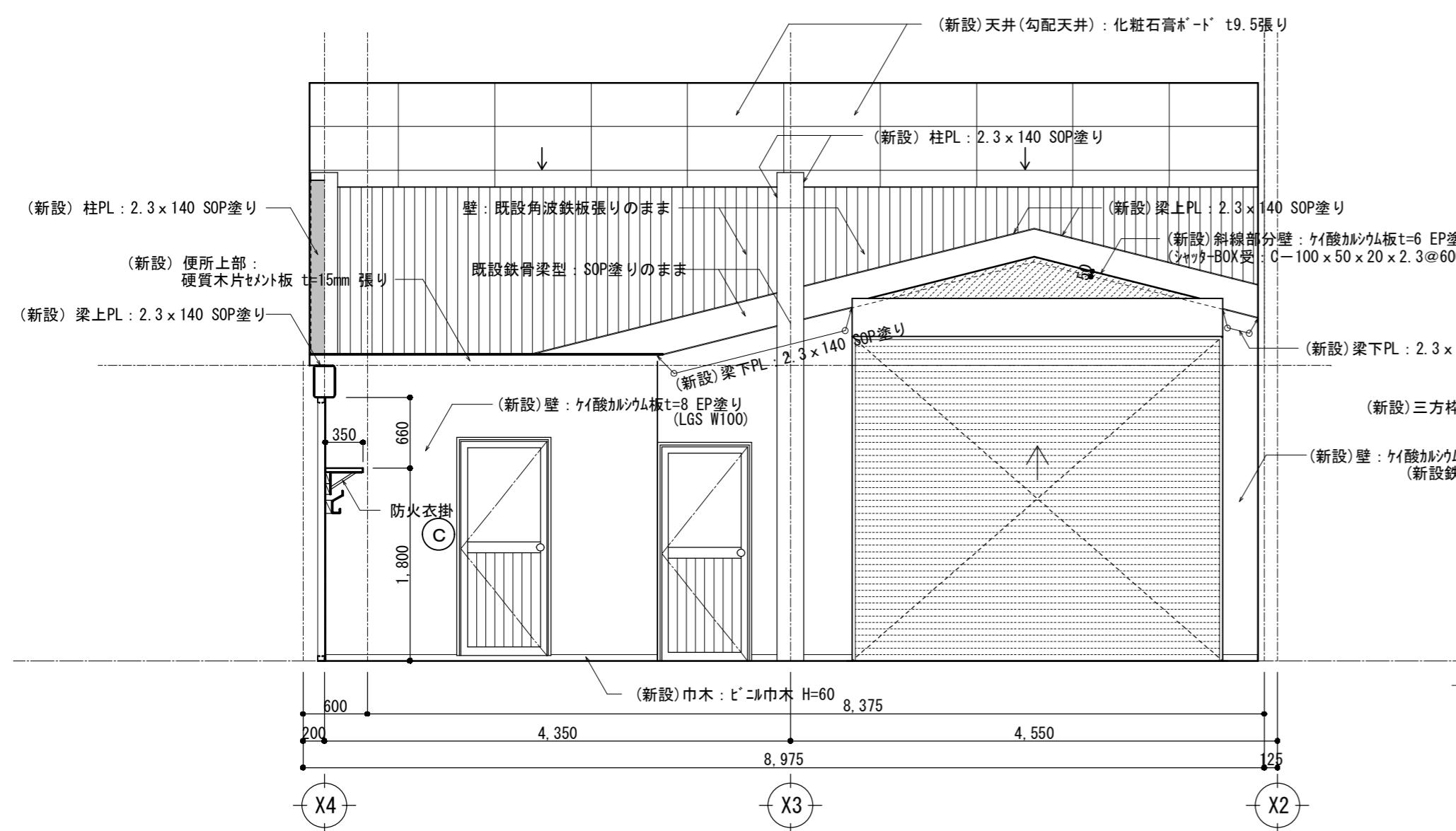
【車庫 A】



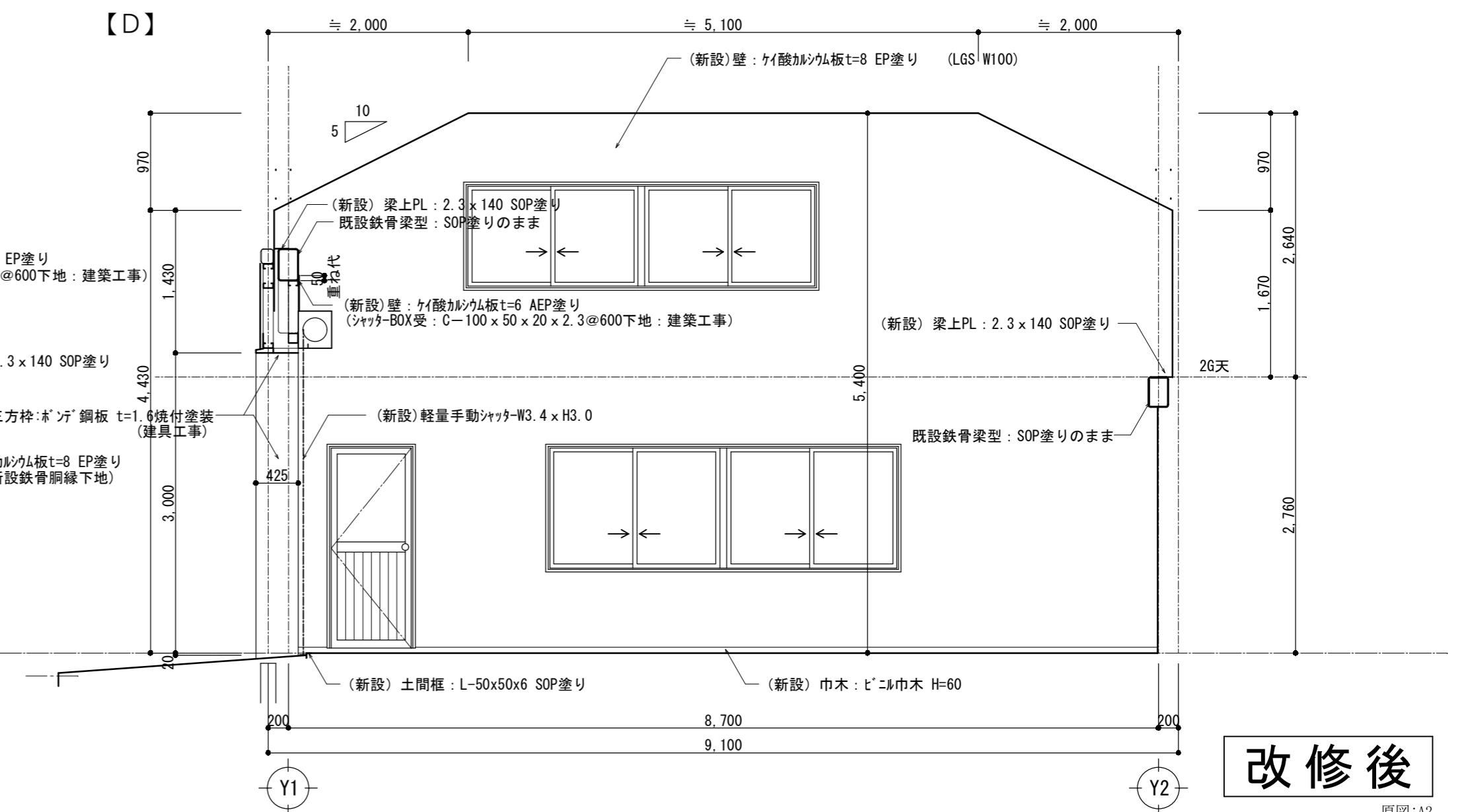
【B】



【C】

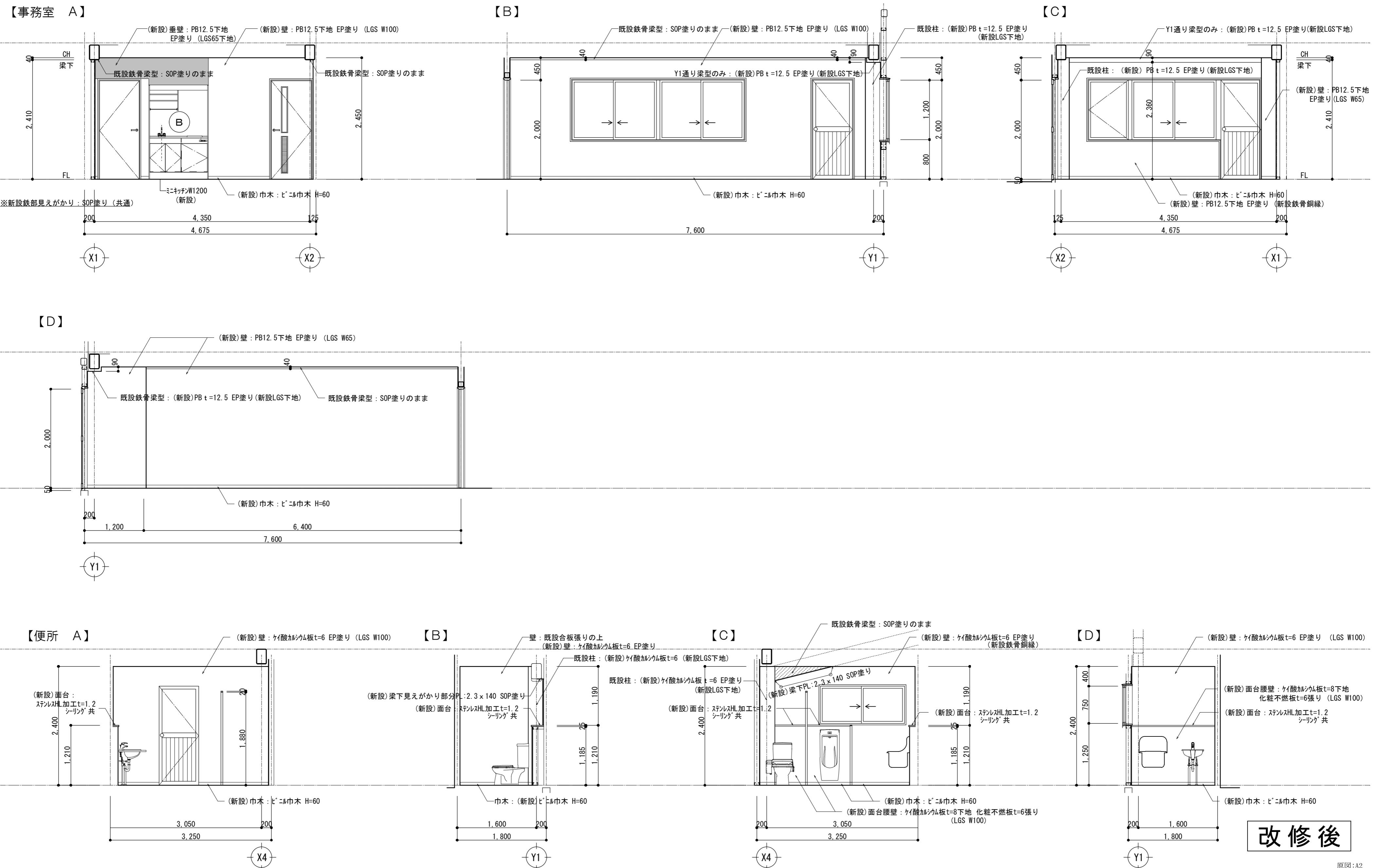


[D]

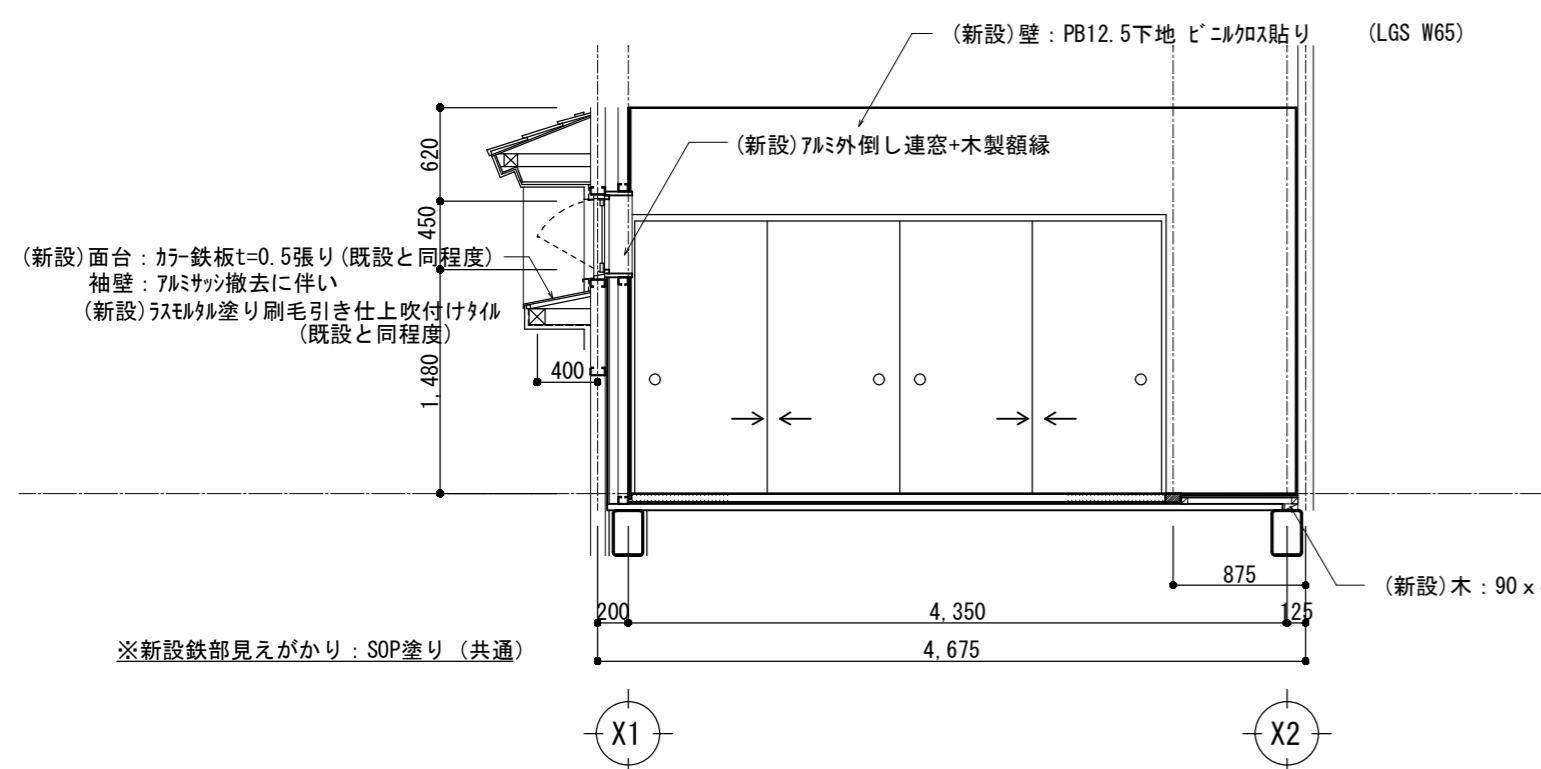


改修後

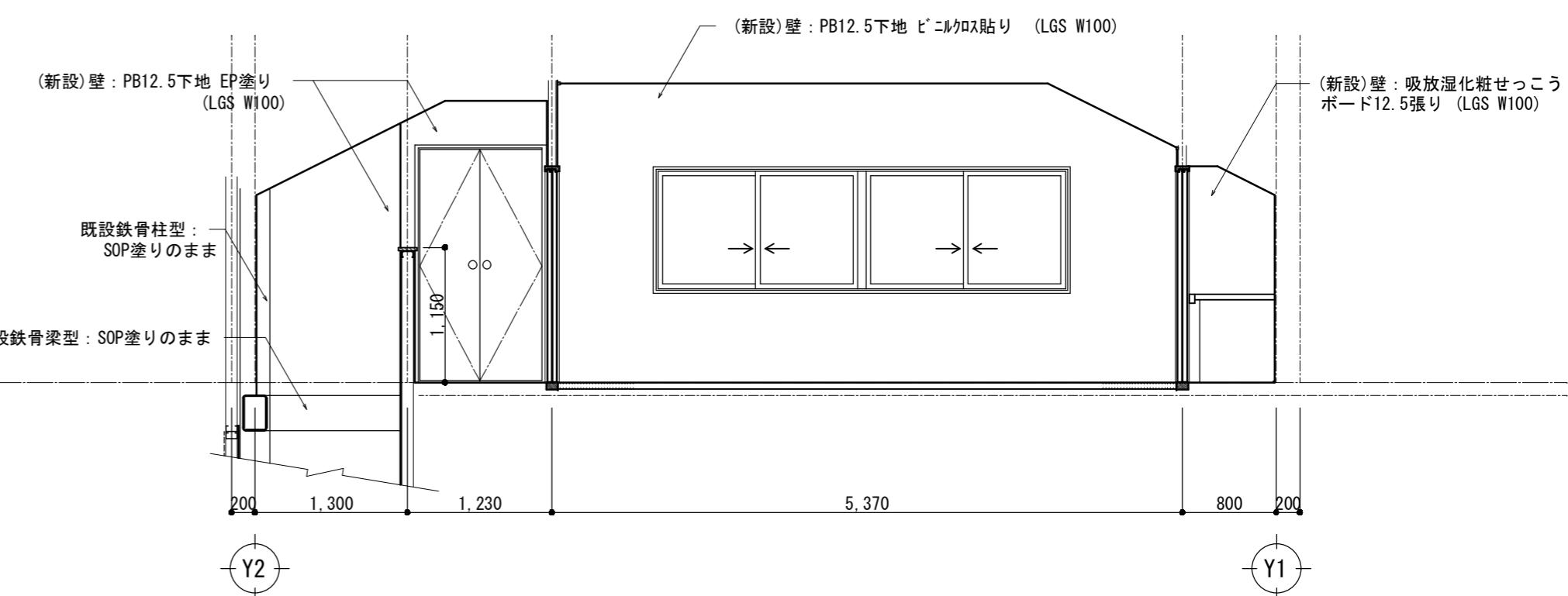
図:A2



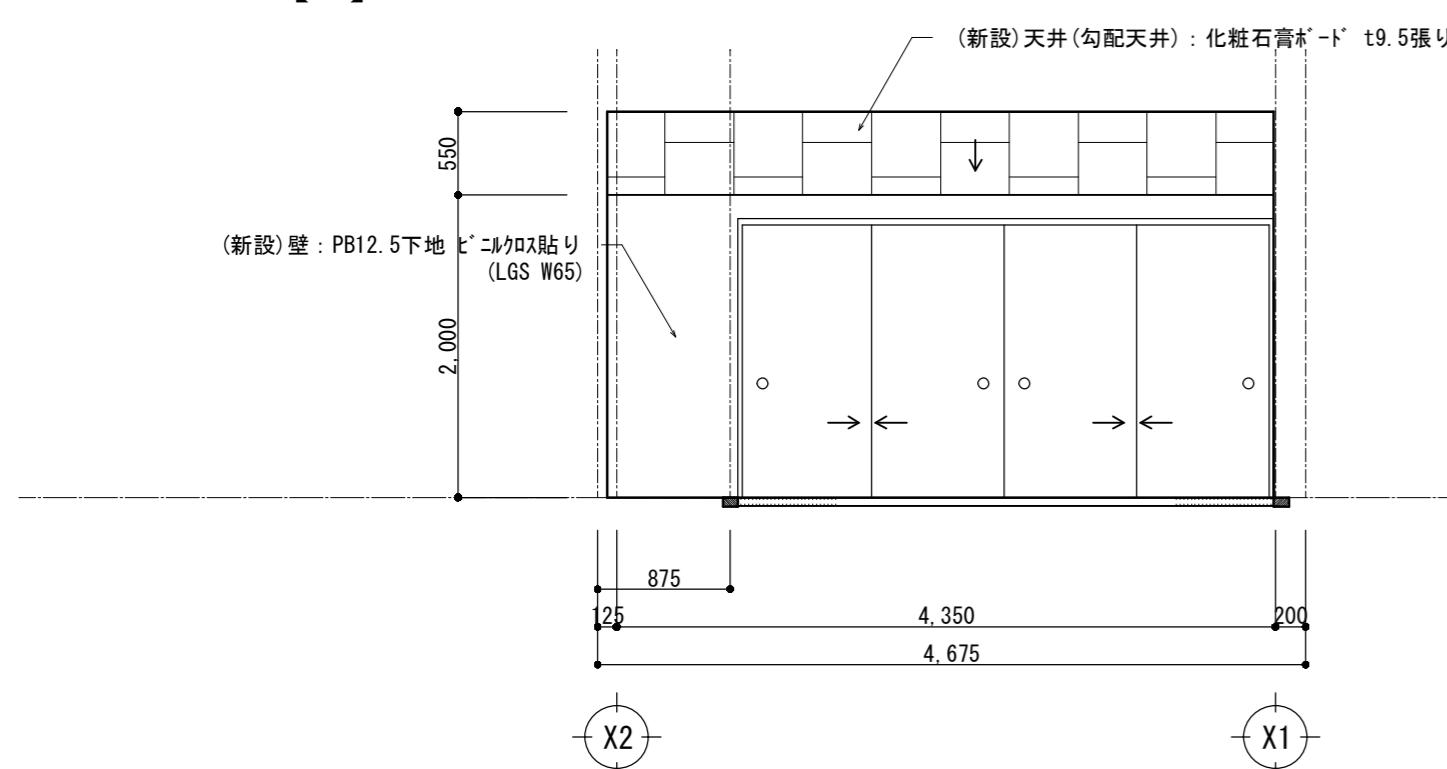
【押入・和室・廊下 A】



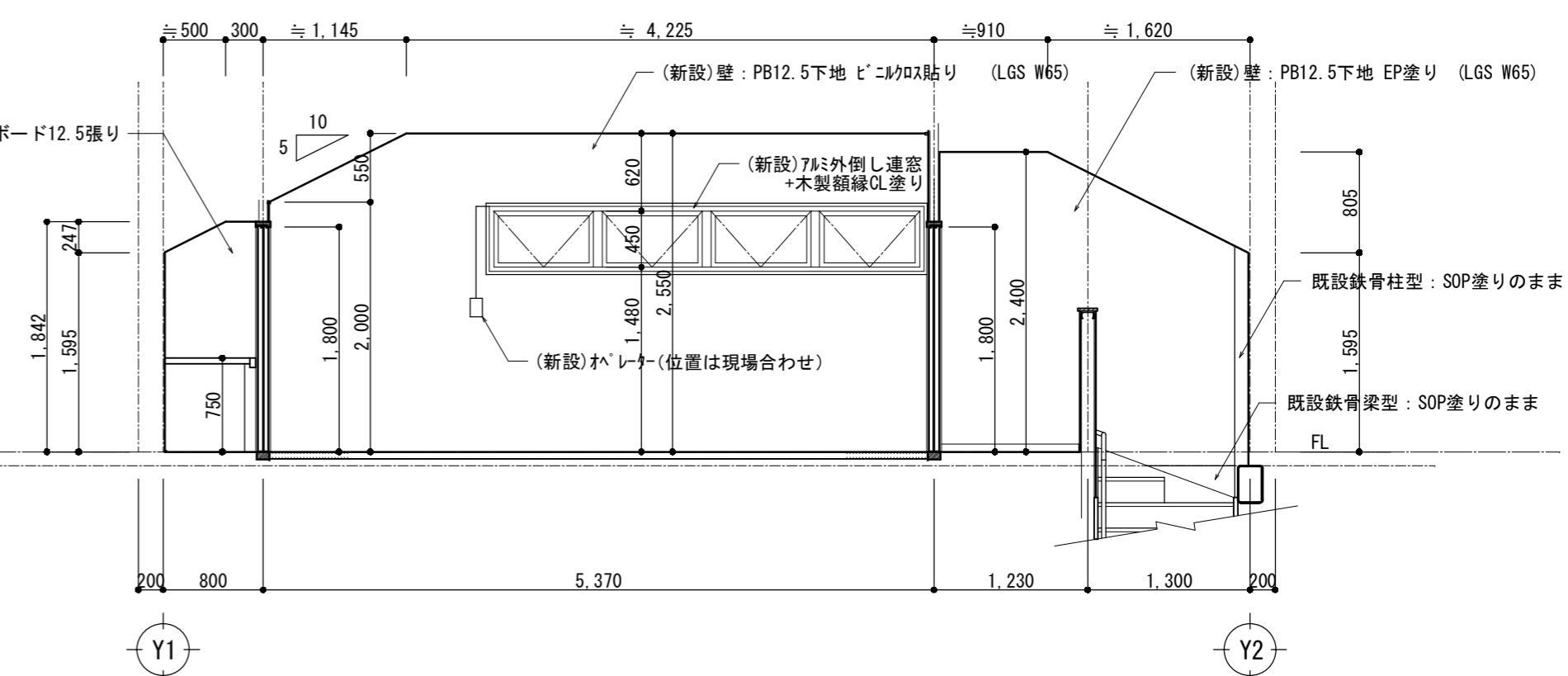
〔B〕



[C]

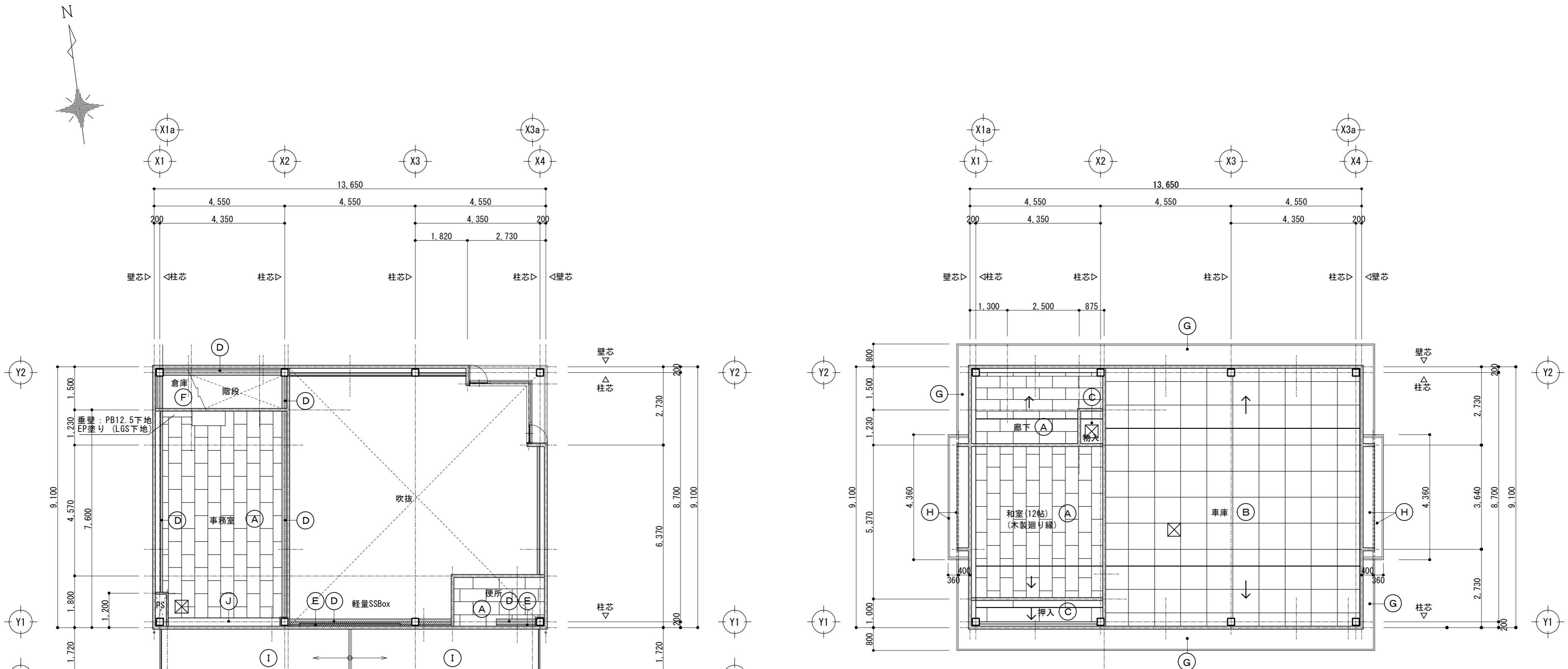


(D)



改修後

原図:A2



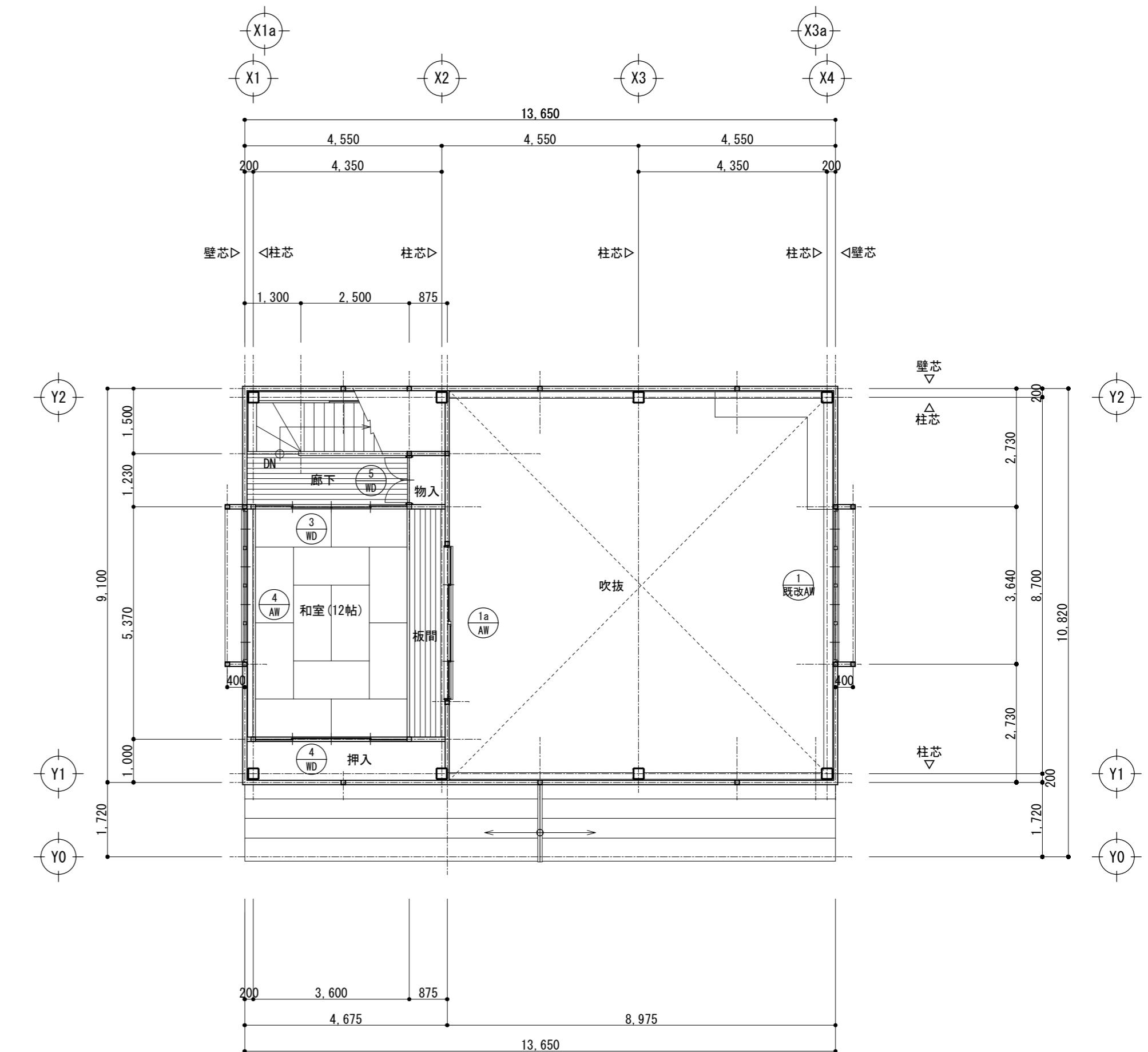
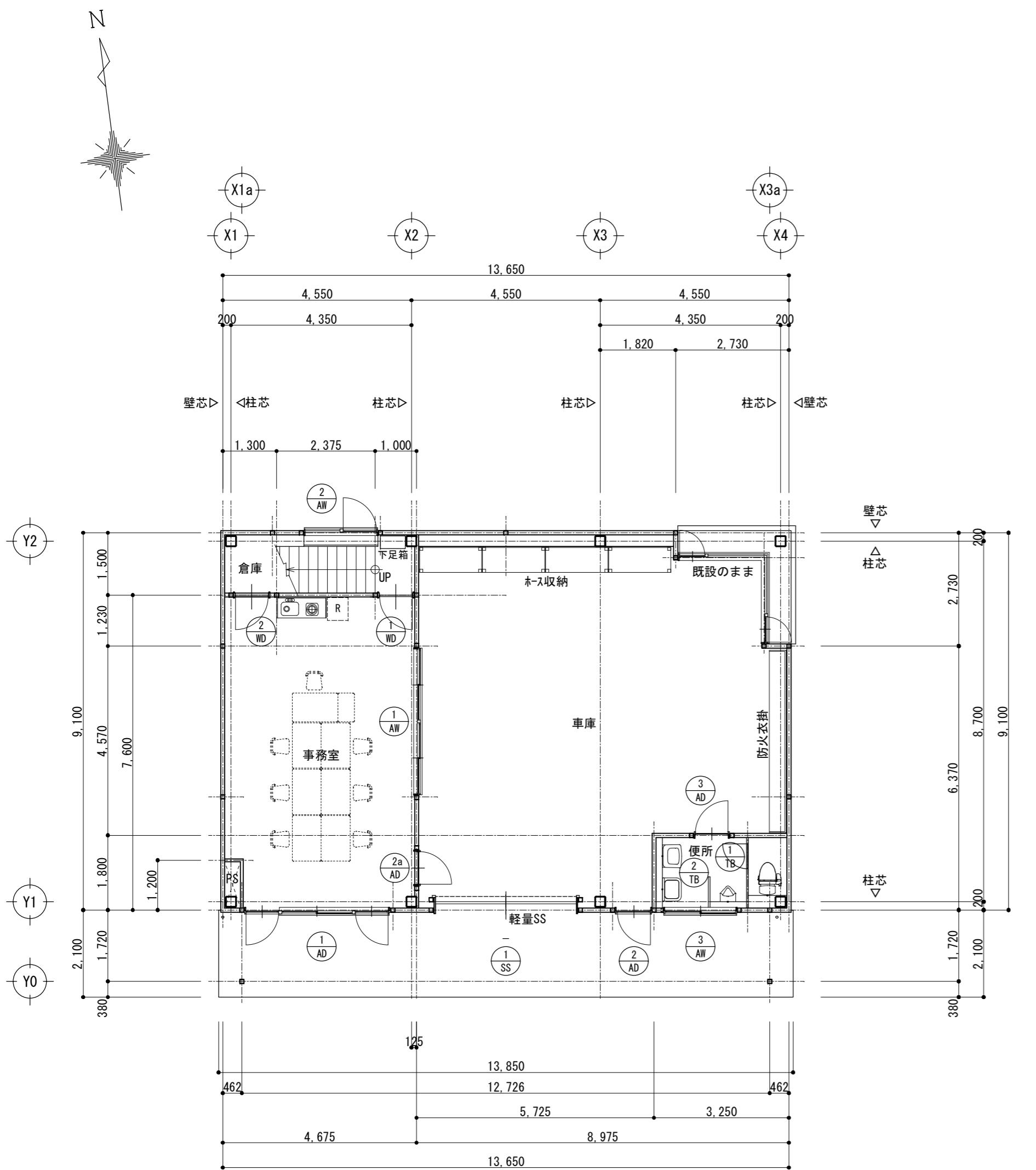
1階天井伏図 S=1/100

2階天井伏図 S=1/100

改修後

■天井仕上表■

(A)	(新設) 化粧石膏ボード t 9.5 455×910 一部5寸勾配	(D)	部分 既設鉄骨梁型 : SOP塗り (既設のまま)	(G)	外部軒裏・鼻隠し : 既設ラミネート塗り刷毛引き仕上吹付け 下地処理の上、可とう型外装薄塗材E吹付け (新設)	(J)	(新設) 事務室Y1通り梁型のみ : PB t=12.5 EP塗り (新設LGS下地)
(B)	(新設) 化粧石膏ボード t 9.5 910×910 一部5寸勾配	(E)	部分 (新設) 梁下PL:2.3×140 SOP塗り	(H)	小庇 : 既設ラミネート塗り刷毛引き仕上吹付け 下地処理の上、可とう型外装薄塗材E吹付け (新設)	(K)	(新設) 天井点検口 450角 アルミ枠 計3ヶ所
(C)	(新設) PB t 9.5 素地 一部5寸勾配	(F)	(新設) 木製階段表し	(I)	庇軒裏 : 既設野地板の上、ケイ酸カルシウム板 t=6 EP塗り (新設) 鼻隠し : 化粧破風板 (既製品) H=240+H=150 (新設)、破風 : H=240 (新設)	廻り縁	(新設) 特記以外 塗装廻り縁 原図:A2



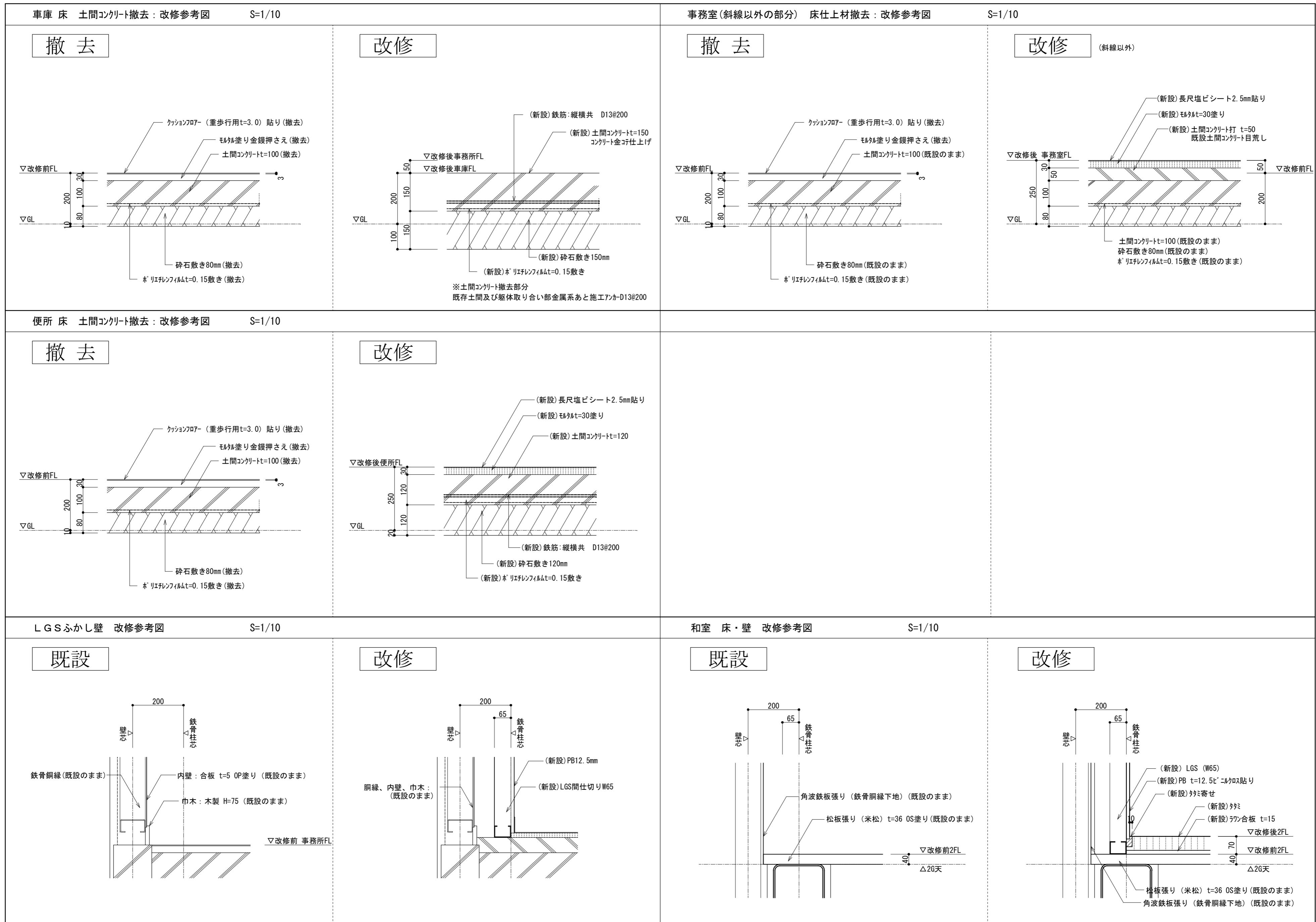
改修後

原図:A2

IMANISU			
記号	数量	位置	
	1 SS	1ヶ所	車庫
姿図	新設	S=1/100	
	1 AD	1ヶ所	事務室
姿図	新設		
	2 AD	1ヶ所	車庫
姿図	新設	※2a姿図は逆勝手	
	2a AD	1ヶ所	事務室
	3 AD	1ヶ所	便所
型式	軽量手動シャッター		
材質・仕上	カラー鋼板t=0.8		
見込			
硝子			
金物	ガイドレール、まぐさ、ケース、座板、内錠ロック、附属金物一式 三方枠:ボンディング鋼板 t=1.6焼付塗装		
備考	シャッター看板文字:別途		
記号	数量	位置	
	1 AW	1ヶ所	事務室
姿図	新設	1a AW	和室
	2 AW	1ヶ所	階段室
姿図	新設		
	3 AW	1ヶ所	便所
姿図	新設		
	4 AW	1ヶ所	和室
型式	引違いアルミ窓 2連窓		
材質・仕上	カラーアルミ		
見込	70		
硝子	透明強化ガラス5mm		
金物	クレセント、戸車、附属金物一式、		
備考	()内寸法は1aを示す、鉄骨用半外付けサッシ 木製額縁、枠 SOP塗り		
記号	数量	位置	
姿図			
	1	既改修	車庫
姿図			
型式			
材質・仕上			
見込			
硝子			
金物			
備考			

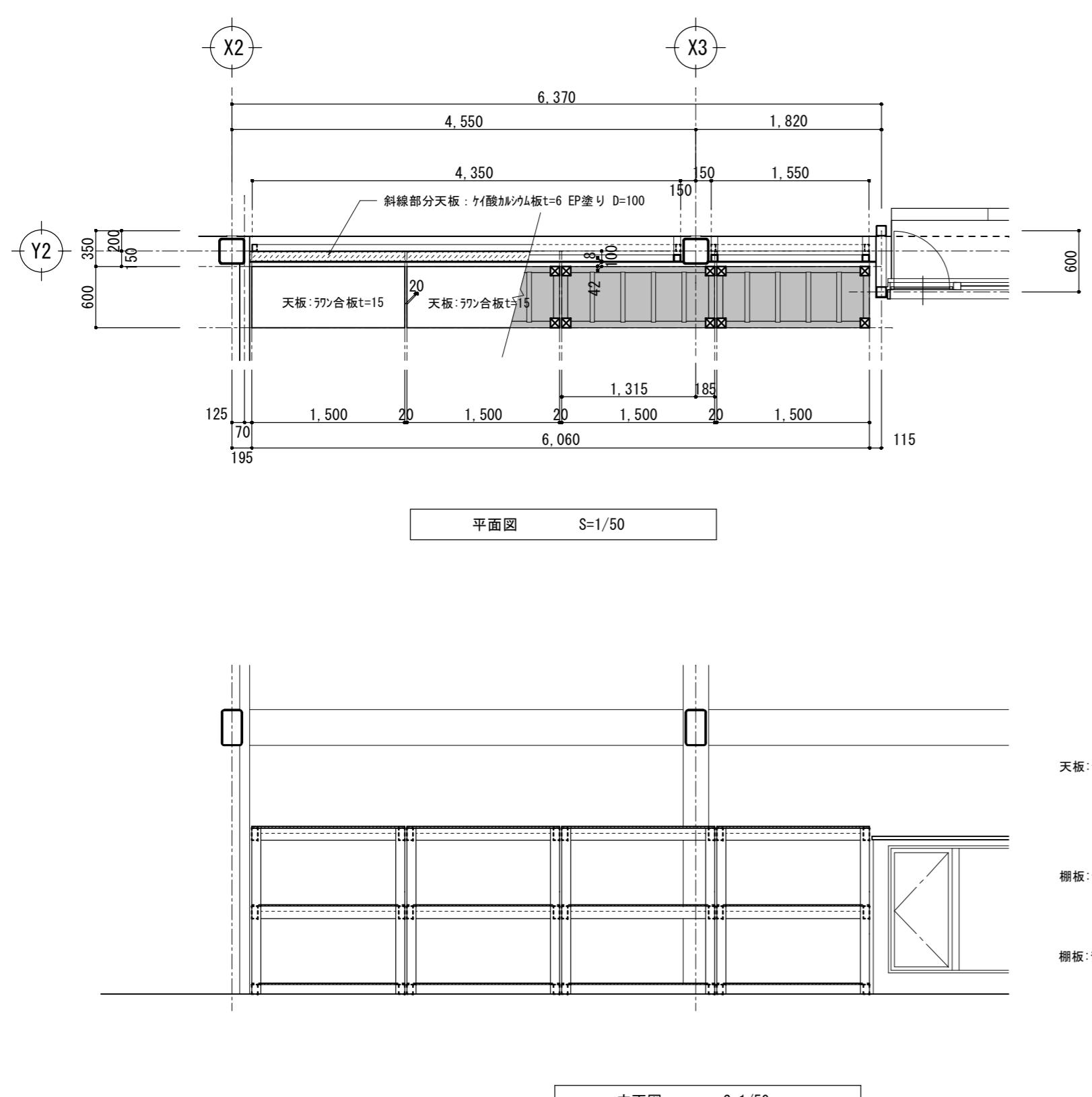
原図:A2

MANUAL				
記号	数量	位置	説明	
	1	WD	1ヶ所	階段室
姿図			新設	
			▽事務室FL	
	2	WD	1ヶ所	倉庫
姿図			新設	
			▽事務室FL	
	3	WD	1ヶ所	和室
姿図			新設	
			○ → ← ○ ○ → ← ○	
			3,480	
	4	WD	1ヶ所	押入
姿図			新設	
			○ → ← ○ ○ → ← ○	
			3,478	
型式	木製片開き扉(木製ガリ、明かり窓付き)		木製片開き扉	
材質・仕上	ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ	
見込	3.6		3.6	
硝子	半透明ガラス板 5mm			
金物	レバーハンドル付空錠、丁番、DC、		レバーハンドル付空錠、丁番、DC、	
備考	木製額縁、枠 SOP塗り		木製額縁、枠 SOP塗り	
記号	5	WD	1ヶ所	物入
姿図			新設	
			▽廊下FL	
	1	TB	1ヶ所	便所
姿図			新設	
			1,900 1,820 60 150 600 950 1,700	
	2	TB	1ヶ所	便所
姿図			新設	
			1,210 60 744	
型式	木製両開き扉		トイレブース	
材質・仕上	ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ	
見込	3.6		4.0	
硝子				
金物	把手、丁番、キャッチ錠		表示付スライドラッチ錠、アルミ笠木、SUS巾木、ラバトリーハンジ、戸当たり アルミエッジ	
備考	木製額縁、枠 CL塗り		アルミ笠木、SUS巾木、アルミエッジ	
記号	1	既WD	1ヶ所	1階
姿図			撤去	
			▽車庫FL	
	2	既WD	1ヶ所	1階
姿図			撤去	
			▽車庫FL	
	1	既AW	2ヶ所	1階
姿図			撤去	
			▽車庫FL	
	2	既AW	1ヶ所	和室
姿図			撤去	
			▽FL	
型式	既設木製両開き扉+欄間Fix		既設木製片開き扉Fix扉	
材質・仕上	木製		木製	
見込	扉:45mm		扉:40mm	
硝子	米松(ビーラー) OS、ランマ:FL3mm、扉:FL5mm		米松(ビーラー) OS	
金物	押棒、フランス落し、シリンドラー錠、ステンレス沓摺り、ビポットヒンジ		丁番、レバーハンドル付シリンドラー錠、ステンレス沓摺り	
備考			アルミ製Fix窓 アルミ ブラック 70mm アルミブラック、FL5mm アンダーピース、他一式	
			既設4連内倒し窓 ガラス 70 網入り型板ガラス6.8mm ペレタ撤去	



A ホース収納棚 詳細図 (W1500×H1645×D600×4ヶ)

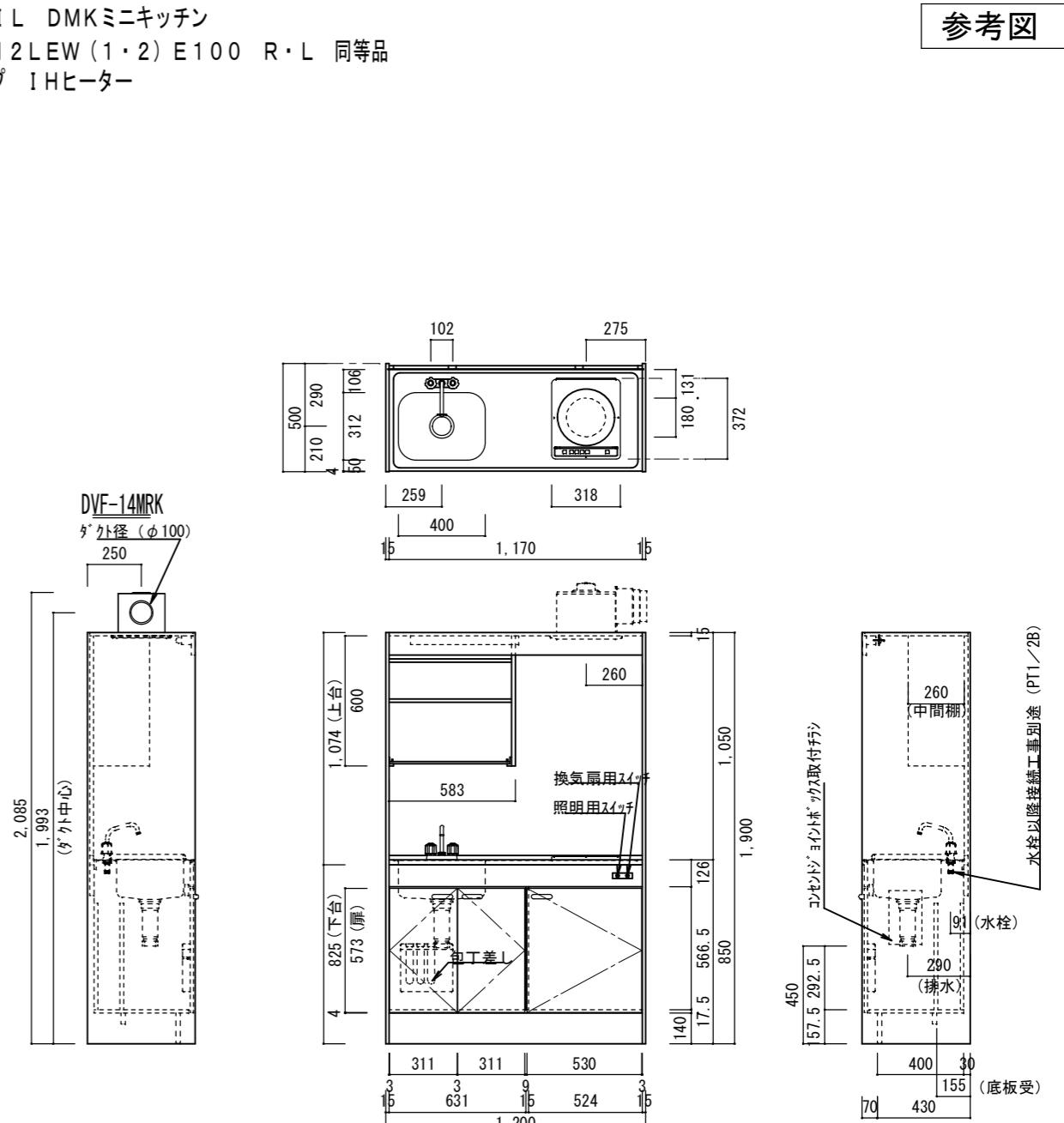
S=1/50



（B）ミニキッチン 詳細図

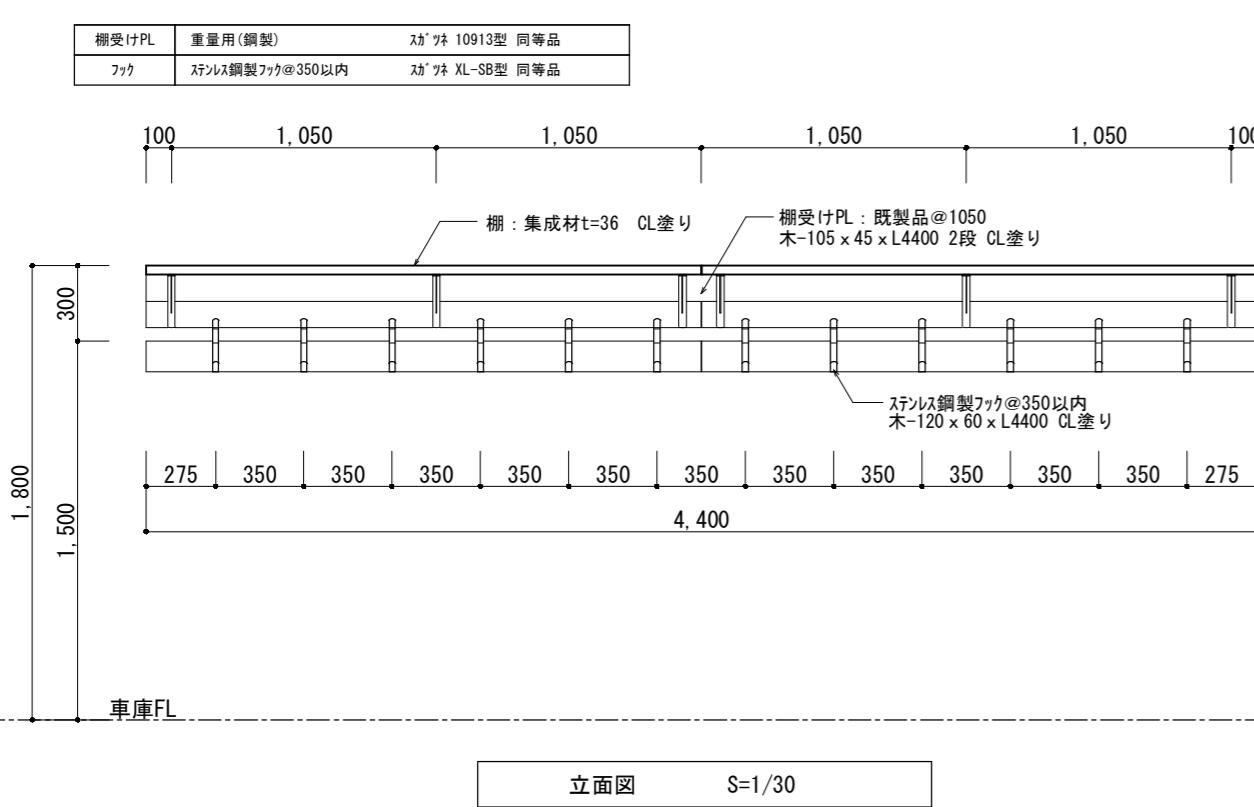
S=1/30

参考図



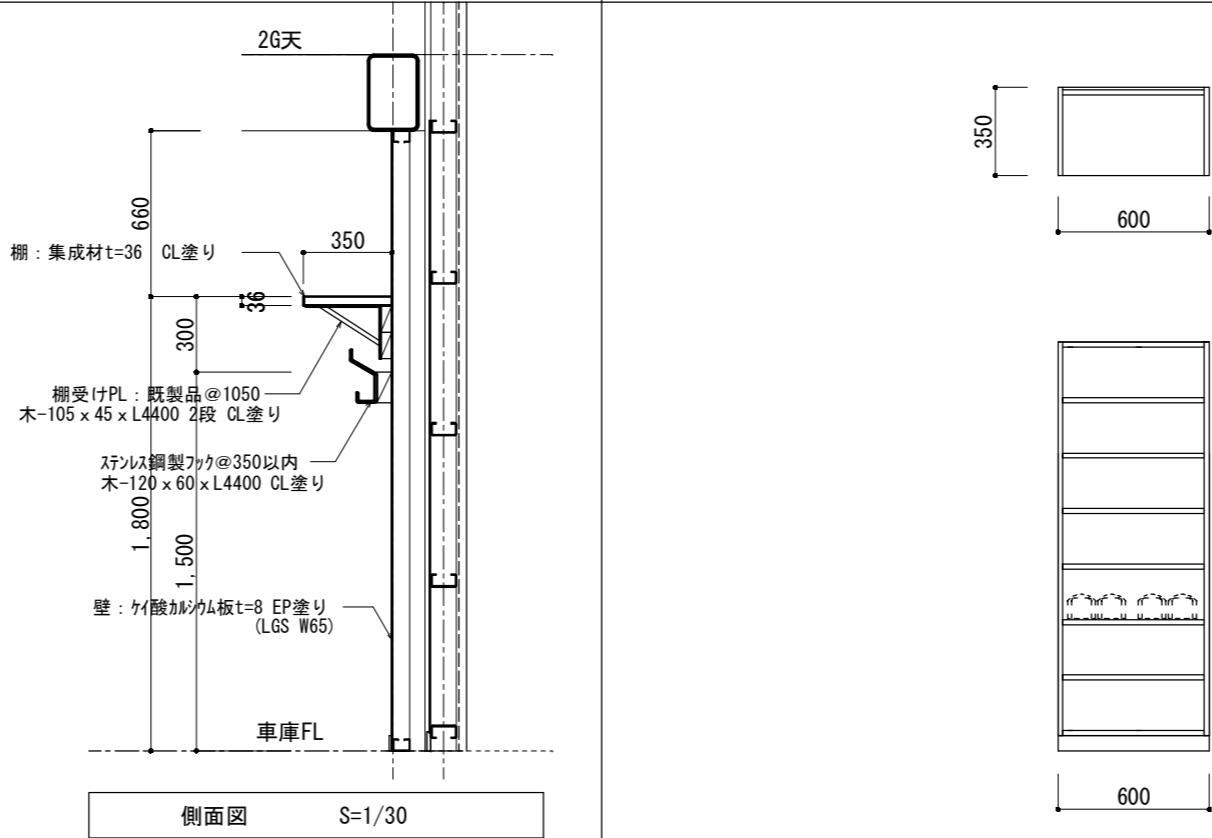
(C) 防火衣服掛棚 詳細図 12着

S=1/30

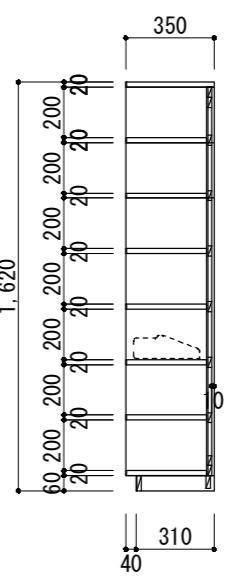


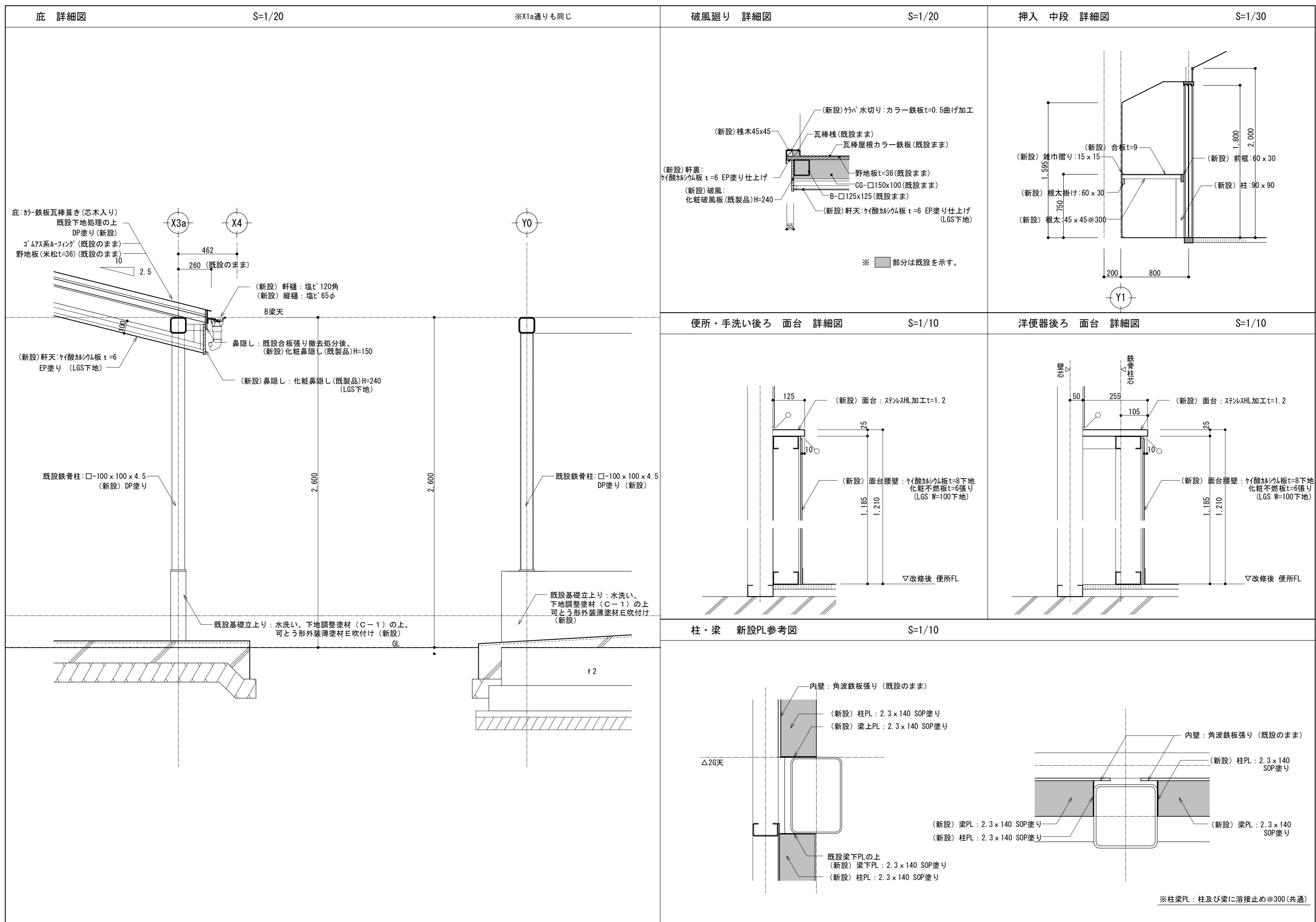
(D) 下足箱 詳細図 14足 (W600 × H1620 × D350 × 1ヶ)

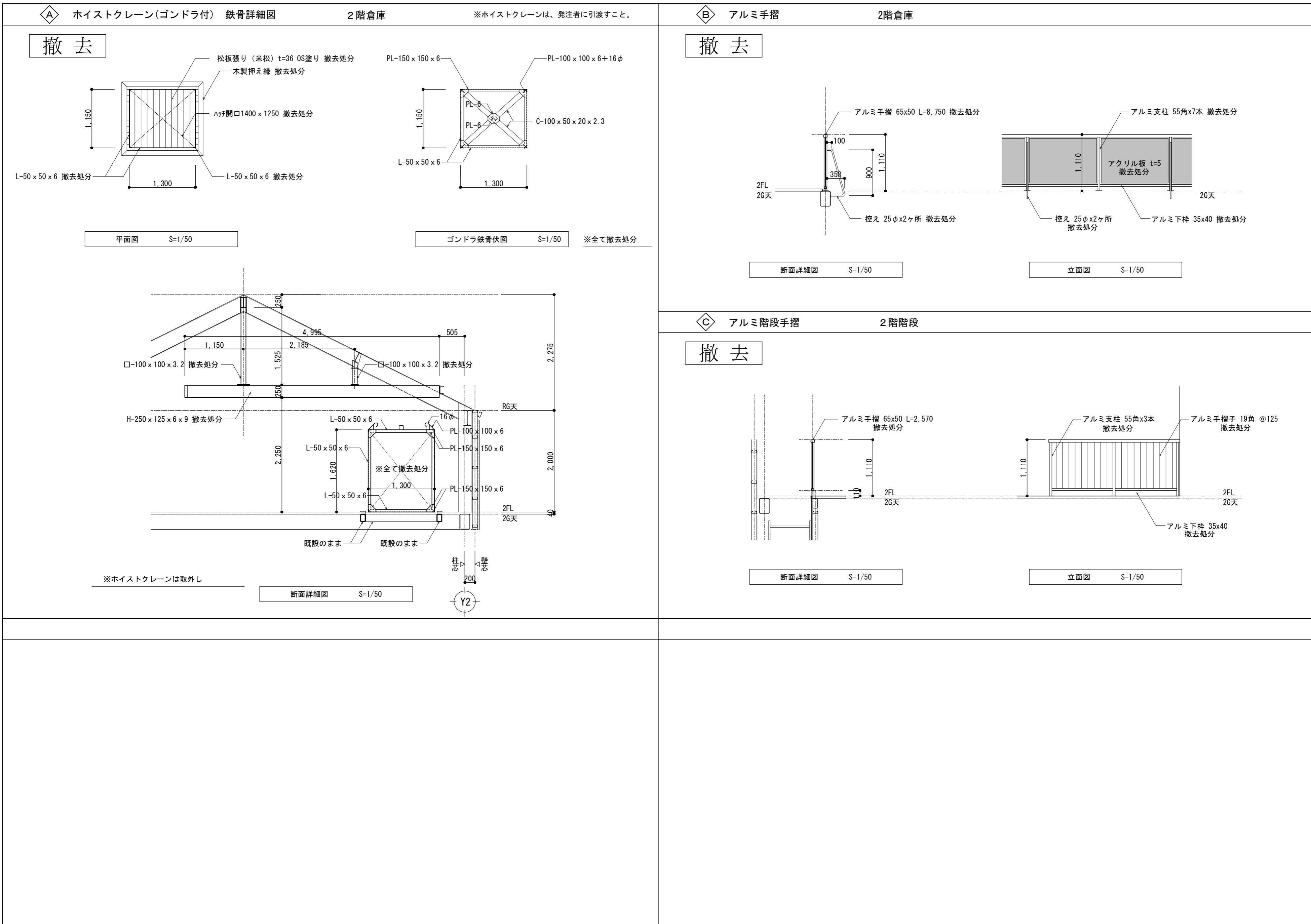
S=1/30



仕様	
本体材	両面メラミン化粧パーティクルボード 木口：樹脂シート $t\ 1.0\text{mm}$ 貼
背板	メラミン化粧MDF貼
中棚	両面メラミン化粧パーティクルボード 木口：シート貼
台輪	ポリ合板貼







構造設計標準仕様

■ 印を記入する。

構造設計標準仕様

適用は 印を記入する。

1. 建築物の構造内容

(1) 工事名称	津市消防団白山方面第4分団詰所・車庫整備に伴う旧津市白山郷土資料館改修工事		
建築場所	津市白山町中ノ村 地内		
(2) 工事種別	<input type="checkbox"/> 新築	<input type="checkbox"/> 増築	<input type="checkbox"/> 増改築
(3) 構造種別	<input type="checkbox"/> 木造 (W)	<input type="checkbox"/> 補強コンクリートブロック造 (CB)	<input checked="" type="checkbox"/> 鉄骨造 (S)
	<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 (RC)	<input type="checkbox"/> 壁式鉄筋コンクリート造 (WRC)	
	<input type="checkbox"/> 鉄骨筋コンクリート造 (SRC)	<input type="checkbox"/> 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造 (WPRC)	
	<input type="checkbox"/> プレキャスト鉄筋コンクリート造 (PRC)	<input type="checkbox"/>	
(4) 階数	地下 0階	地上 2階	塔屋 0階
(5) 主要用途	事務所兼車庫		
(6) 屋上付属物	<input type="checkbox"/> 広告塔	<input type="checkbox"/> 高架水槽 kN	<input type="checkbox"/> 消火水槽 kN
	<input type="checkbox"/> 煙突	<input type="checkbox"/> キューピクル kN	<input type="checkbox"/> 太陽光発電装置
(7) 増築計画	<input type="checkbox"/> 有 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 無	
(8) 付帯工事	<input type="checkbox"/> 門扉	<input type="checkbox"/> 掘壁	<input type="checkbox"/> 駐輪場
			<input type="checkbox"/> 機械式駐車場
(9) 特別な荷重	<input type="checkbox"/> エレベータ 11人乗 (ロープ式 油圧式 マシンルームレス)	<input type="checkbox"/> リフト kN	<input type="checkbox"/> ホイスト 2.8t 2台
	<input type="checkbox"/> 倉庫積載床用	<input type="checkbox"/> N/m ²	<input type="checkbox"/> 受水槽 kN
(10) 構造計算ルート	X方向ルート	Y方向ルート	

2. 使用構造材料

(1) コンクリート						
適用箇所	種類	設計基準強度 F _c =N/mm ²	品質管理強度 F _c =N/mm ²	スランプ cm	参考	
捨コンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 13.5	<input checked="" type="checkbox"/> 18	<input type="checkbox"/> 18	<input type="checkbox"/> 18	
土間コンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 18	<input checked="" type="checkbox"/> 21	<input type="checkbox"/> 18	<input type="checkbox"/> 18	
基礎・基礎梁	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 軽量	<input type="checkbox"/> 18	<input checked="" type="checkbox"/> 21	<input checked="" type="checkbox"/> 21+S	<input type="checkbox"/> 18
柱・梁・床・壁	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 13.5	<input type="checkbox"/> 15	<input type="checkbox"/>		比重
	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 軽量	<input type="checkbox"/> 18	<input type="checkbox"/> 30	<input type="checkbox"/>	比重
押えコンクリート	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 軽量	<input type="checkbox"/> 13.5	<input type="checkbox"/> 27	<input type="checkbox"/>	比重
細骨材の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 砂	<input type="checkbox"/> 山砂	<input type="checkbox"/> 人工	<input type="checkbox"/>		
粗骨材の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 砂利	<input type="checkbox"/> 破石	<input type="checkbox"/> 人工	<input type="checkbox"/>		
水の区分	<input type="checkbox"/> 水道水	<input type="checkbox"/> 地下水	<input type="checkbox"/> 工業用水	<input type="checkbox"/>		
混和材料の種類	<input type="checkbox"/> AE減水剤	<input type="checkbox"/> 高性能AE減水剤	<input type="checkbox"/>			
呼び強度を保証する材質	<input checked="" type="checkbox"/> 28日	<input type="checkbox"/> 56日	<input type="checkbox"/>			

(2) コンクリートブロック (CB)

<input type="checkbox"/> A種	<input type="checkbox"/> B種	<input type="checkbox"/> C種	厚 □ 100	□ 120	□ 150	□ 190
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------	-------	-------	-------

(3) 鉄筋

種類	径	使用箇所	継手法
<input checked="" type="checkbox"/> SD 295 A	D 16 以下	土間・基礎	<input checked="" type="checkbox"/> 重ね継手 D 16 以下 <input type="checkbox"/> ガス圧接継手 D 19 以上 <input type="checkbox"/> 特殊継手 ()
<input type="checkbox"/> SD 295 B			
<input type="checkbox"/> SD 345	D 19 以上		
<input type="checkbox"/> SD 390	D 19 以上		
<input type="checkbox"/> 高強度せん断補強筋	UH Y		
丸鋼	<input type="checkbox"/> SR 235		
溶接金網 (JIS G 3551)	<input checked="" type="checkbox"/> 6φ-@100	設備基礎	

(4) 鉄骨

種類	使用箇所	現場溶接	備考
<input checked="" type="checkbox"/> SS 400	<input type="checkbox"/> SM 400	<input type="checkbox"/> SN 400 A・B・C	梁 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input checked="" type="checkbox"/> STKR 400	<input type="checkbox"/> STKR 490		柱 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> BCR 295	<input type="checkbox"/> BCP 235		柱 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> SM 490 A	<input type="checkbox"/> SN 490 B	<input type="checkbox"/> SN 490 C	タイワムブレート <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> SNR 490			アンカボルト <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input checked="" type="checkbox"/> SSC 400		母屋	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

使用箇所の詳細については別途図示する

<input type="checkbox"/> ポルト	<input type="checkbox"/> 高力ボルト	<input type="checkbox"/> 普通F10T	<input checked="" type="checkbox"/> 特殊S10T	認定品 (□ M12 <input checked="" type="checkbox"/> M16 <input checked="" type="checkbox"/> M20 <input type="checkbox"/> M22 <input type="checkbox"/> M24)
				高力ボルトすべり係数試験 <input type="checkbox"/> 要 <input checked="" type="checkbox"/> 否
<input checked="" type="checkbox"/> 中ボルト	M12			高力ボルト導入張力確認試験 <input type="checkbox"/> 要 <input checked="" type="checkbox"/> 否
<input type="checkbox"/> アンカボルト		<input type="checkbox"/> SNR 490	<input type="checkbox"/> D 38 L=850mm	ナット (シングル、ダブル)
<input checked="" type="checkbox"/> アンカボルト		<input checked="" type="checkbox"/> SS 400	<input checked="" type="checkbox"/> M 16 L=500mm	ナット (シングル、ダブル)
<input type="checkbox"/> 頭付スタッド	$\phi =$	$L =$	mm	使用箇所 (□ 柱 <input type="checkbox"/> 大梁 <input type="checkbox"/> 小梁)

(6) 屋根、床、壁

<input type="checkbox"/> ALC版	厚 t=125 (外壁)	<input type="checkbox"/> スライド構法	<input type="checkbox"/> ポルト止め構法	<input type="checkbox"/> ロッキング構法
<input type="checkbox"/> 折版 型式	H=166		厚 0.8	

瓦棒葺き (カラーガルバリウム鋼板)

キーストンプレート 型式

セメントセメント

3. 地盤

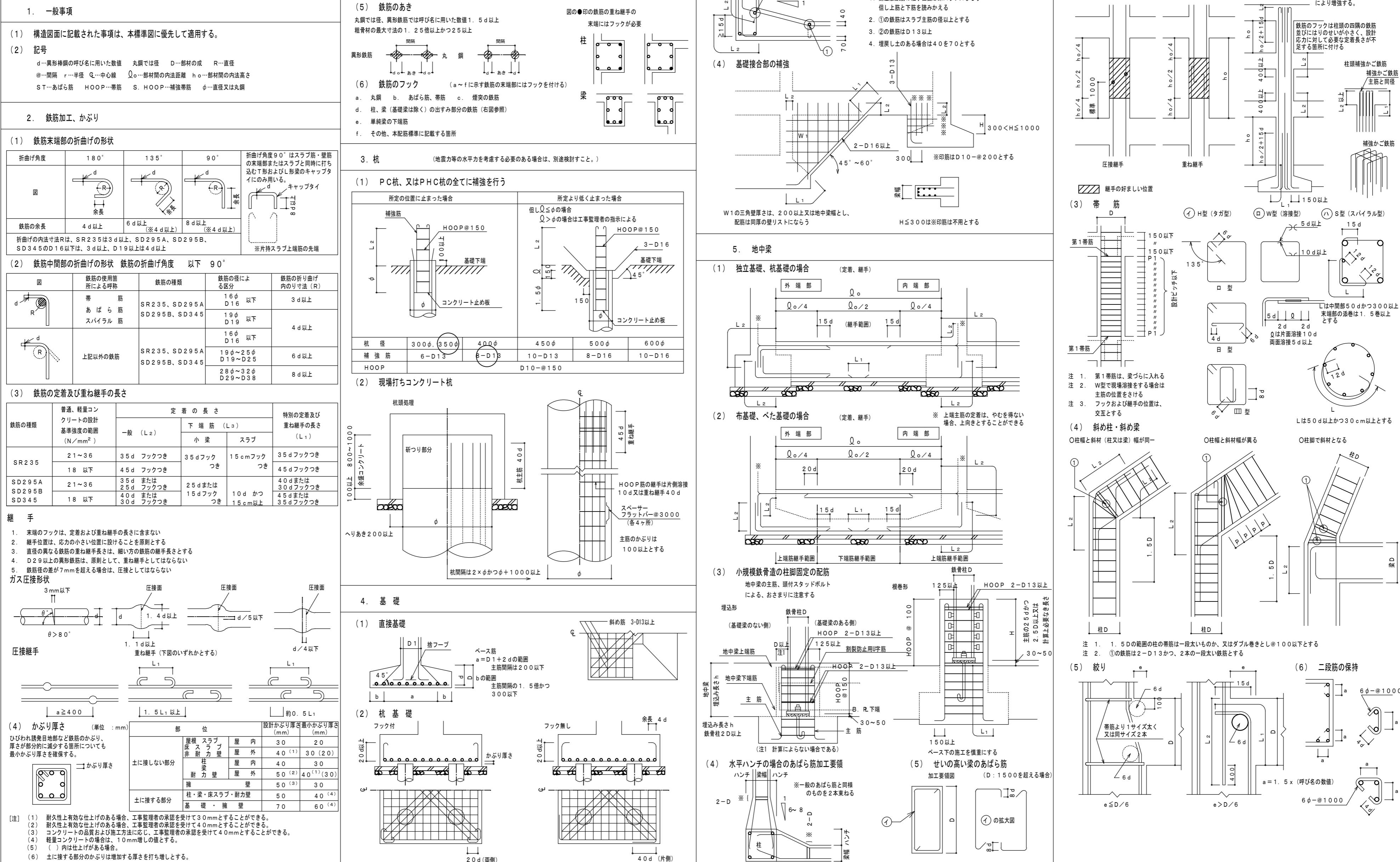
(1) 地盤調査資料
<input type="checkbox"/> 有 (□ 敷地内 <input type="checkbox"/> 近隣) <input type="checkbox"/> ポーリング調査 <input type="checkbox"/> 平板載荷調査 <input type="checkbox"/> 水平地盤反力係数の測定
<input type="checkbox"/> 無 (調査予定 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無)
(2) 地盤調査計画
<input type="checkbox"/> ポーリング調査有 <input type="checkbox"/> 静的貫入試験 <input type="checkbox"/> 標準貫入試験 <input type="checkbox"/> 水平地盤反力係数の測定
<input type="checkbox"/> 土質試験無 <input type="checkbox"/> 物理探査 <input type="checkbox"/> 平板載荷試験 <input type="checkbox"/>
(3) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭径、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある

(4) ポーリング標準貫入値、土質構成

(基礎・杭の位置を明記すること)

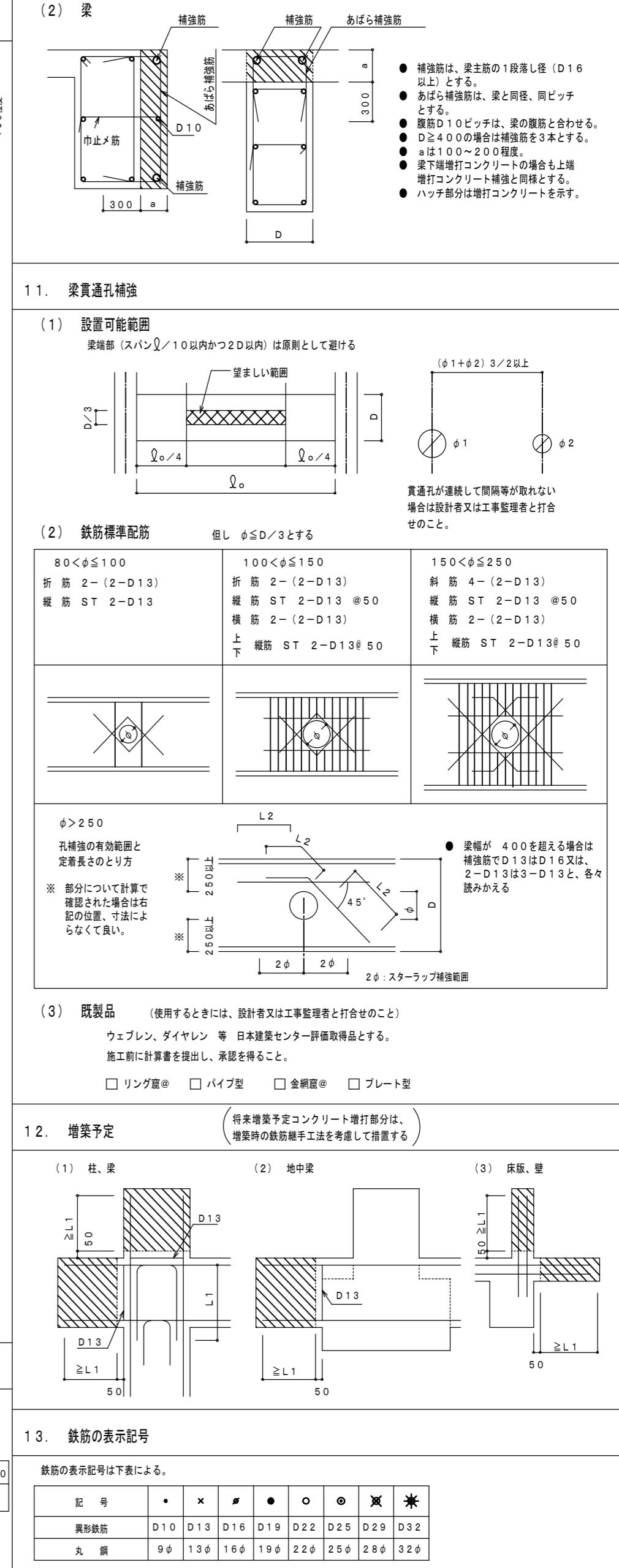
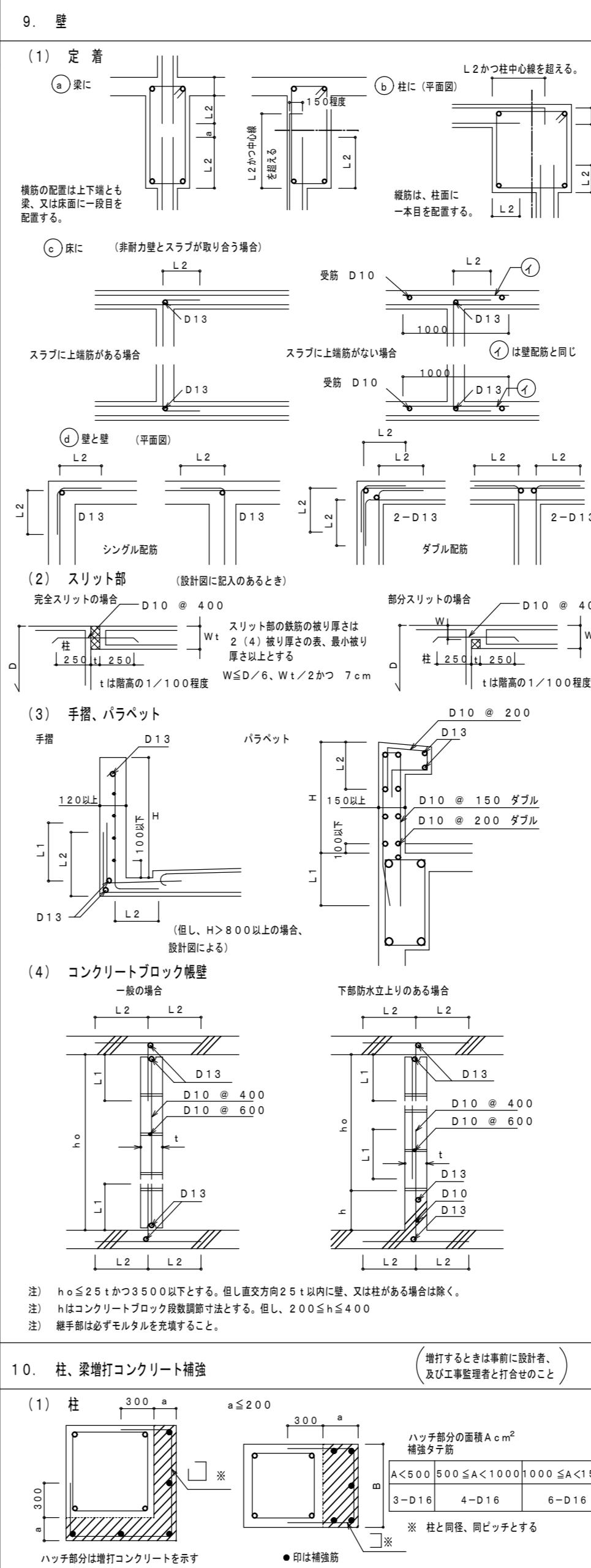
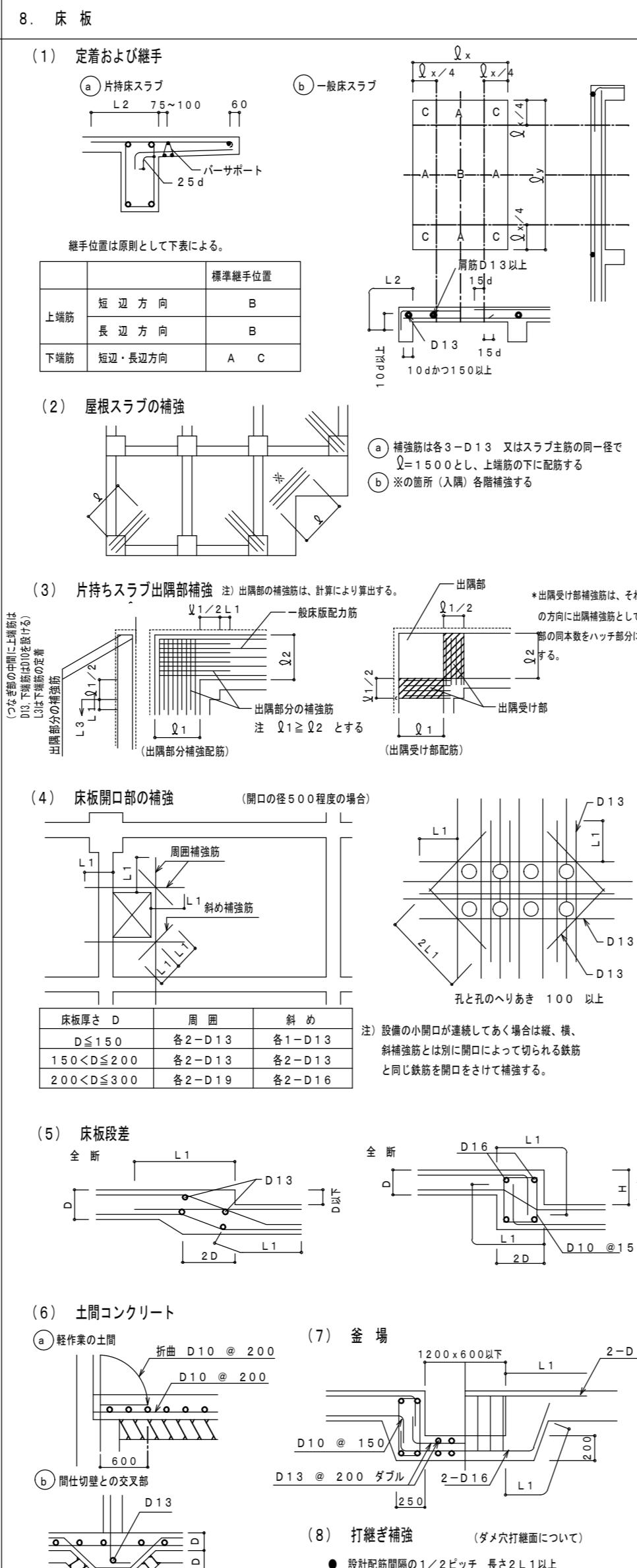
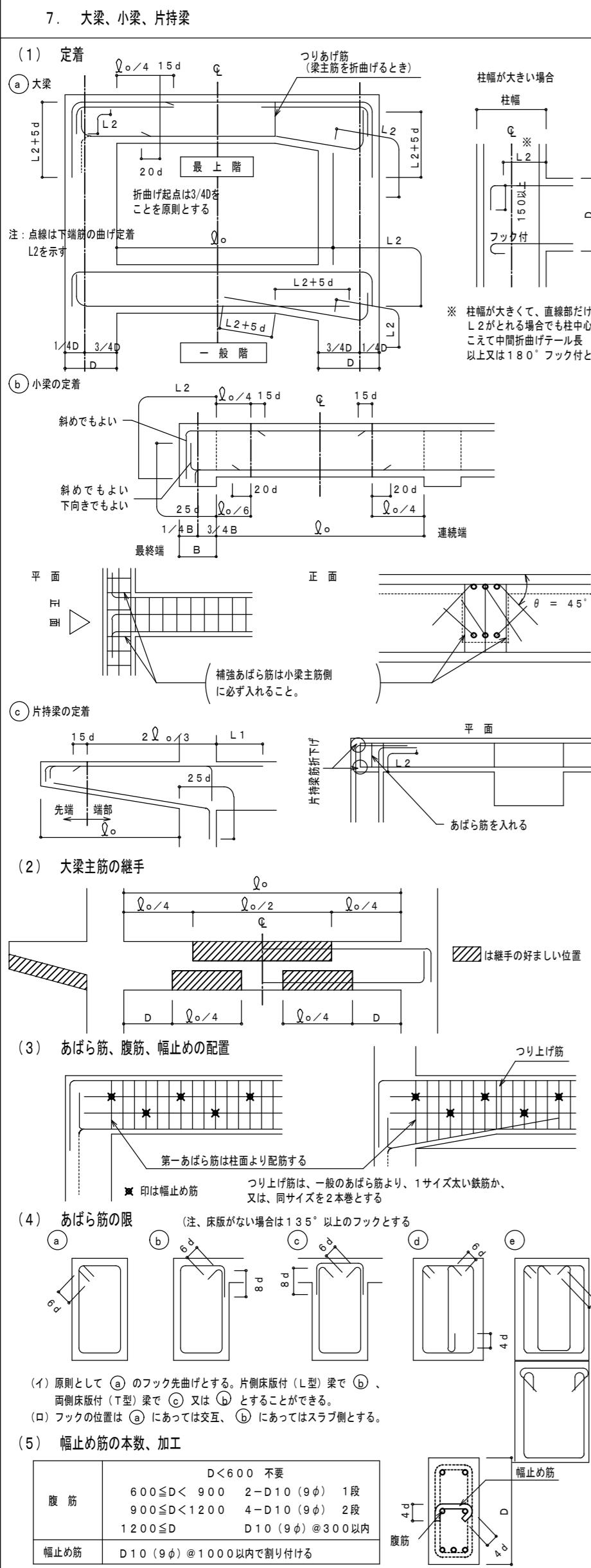
深度	土質	N値	標準貫入試験						○調査地番
			10	20	30	40	50	60	
0	素土								△設計G.L基準
1	砂質シルト	8							○位置図別紙
2	疊混じり粗砂	10							
3	シルト混じり粗砂	8							
4	細砂	9							
5		22							
6		17							
7		24							
8		23							
9		17							
10		15							

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)



鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

L=本構造配筋標準図(1)の2-(3)による。



原図:A2

鉄骨構造標準図(1)

1. 一般事項

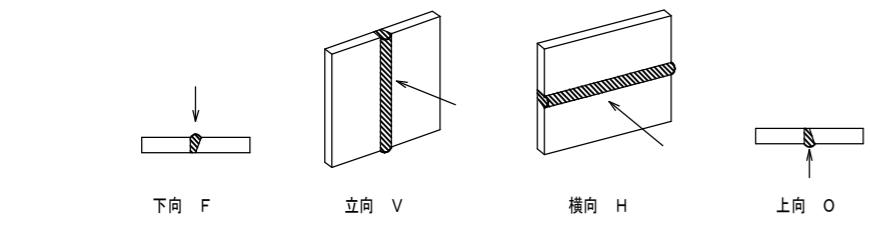
- (1) 材料及び検査
 (a) 構造設計仕様による
 (b) 通用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
 (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する

- (2) 工作一般
 (a) 鉄骨制作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
 (b) 鋼管部材の分岐接ぎ手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
 (c) 高張力鋼のひずみきょう正は、冷間きょう正する

(3) 高力ボルト接合

- (a) 本筋に使用するボルトと、仮縫めボルトの併用はしてはならない

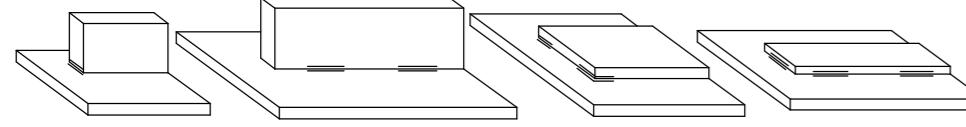
- (4) 溶接接合
 (a) 溶接技能者
 溶接技能者は施工に適応するJIS Z 3801(手溶接)又はJIS Z 3841(半自動溶接)の溶接技術検定試験に合格し引き、半年以上溶接に従事している者とする
 (b) 溶接機器
 (i) 交流アーケル溶接機 300A~500A (ii) 炭酸ガスアーケル半自動溶接機
 (iii) アクエアーガウジング機(直流) (iv) 溶接電流を測定する電流計
 (v) サブマージアーケル溶接機1式 (vi) 溶接棒乾燥器
 (c) 溶接方法
 アーケル溶接(MC) ガスシールドアーケル半自動溶接(GC)
 セルフ(ノンガス)シールドアーケル半自動溶接(NGC)アーケアーガウジング(AAG)
 (d) 溶接姿勢



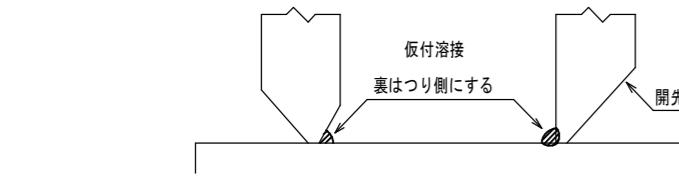
(e) 組立て溶接技術者は、原則として本工事に従事する者が行う

(f) 仮付位置

組立て溶接は溶接の始、終、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける



(g) 完全溶込み接合部の仮付溶接は必ず裏はり側に施工する



(h) 溶接施工

(i) エンドタブ

I) 完全溶込み接合、部分溶込み接合の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける

II) エンドタブの材質は、母材と同質とする

III) エンドタブの長さは、MC: 35mm 以上

NGC、GC: 40mm 以上と特記のない場合は、溶接終了後、

母材より10mm 程度残し切削して、グラインダー仕上げとする

IV) プレス鋼板タブ、圓形タブ使用については、資料を提出して設計者

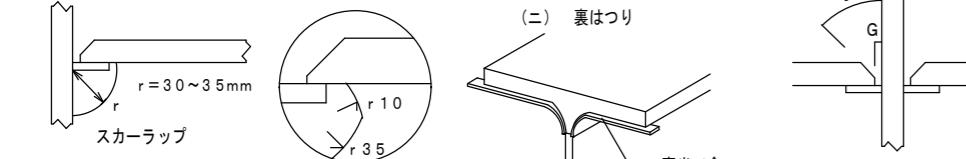
又は工事監理者の承認を得る

(j) 裏あて金

材質母材と同質材料とし厚さは手溶接で 6mm、半自動溶接で 9mm 以上とする

(k) スカラップ半径は 30~35mm と、10mm のダブルアルールとする

但し梁成形 D=150mm 未満の場合のスカラップは r=20mm とする



(l) 裏はり

規定溶接において AAG と記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を勧めし、部材に確認マークをつける

(m) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためないように、養生を行なう

(n) 塗装

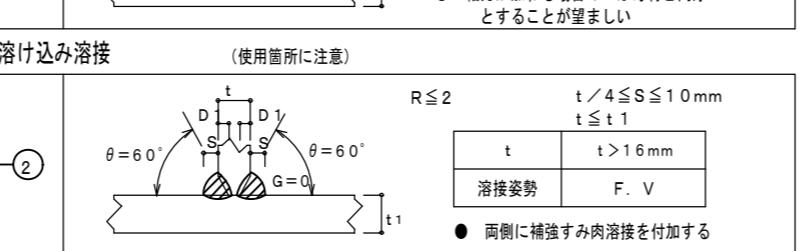
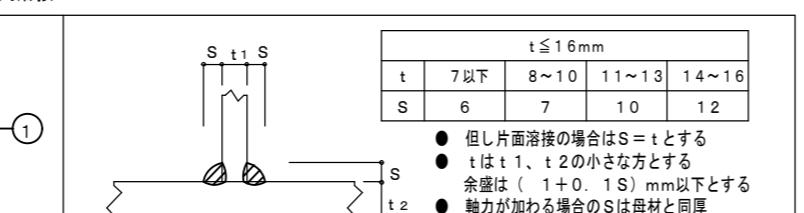
コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートの接触面で、コンクリートと

一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

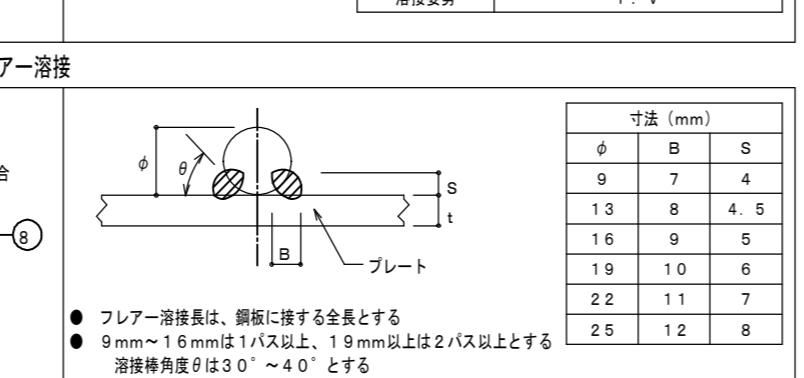
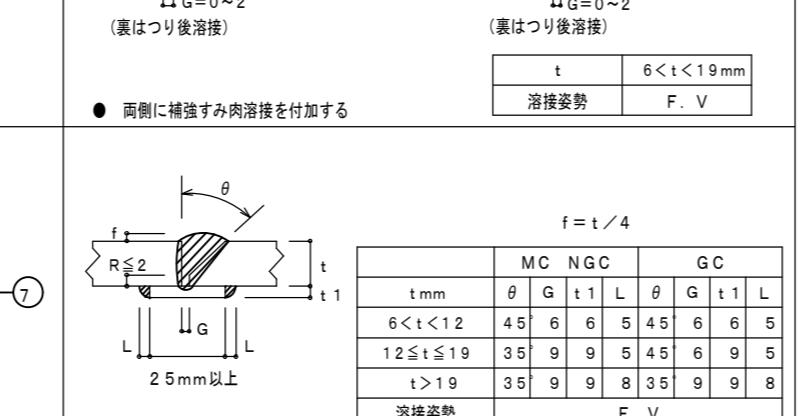
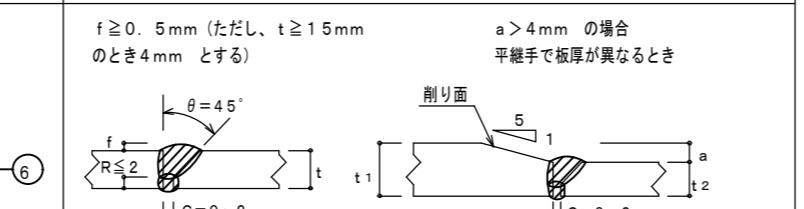
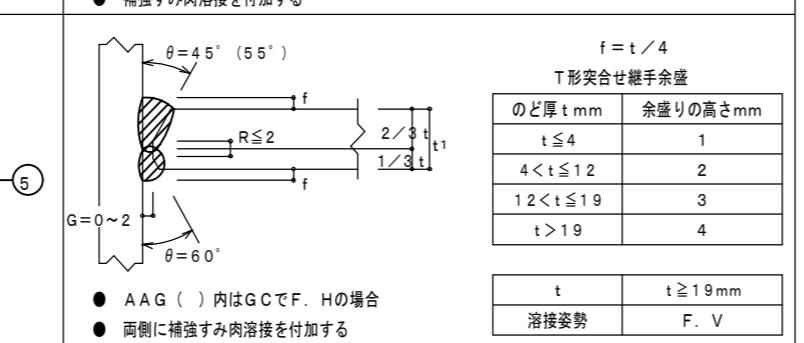
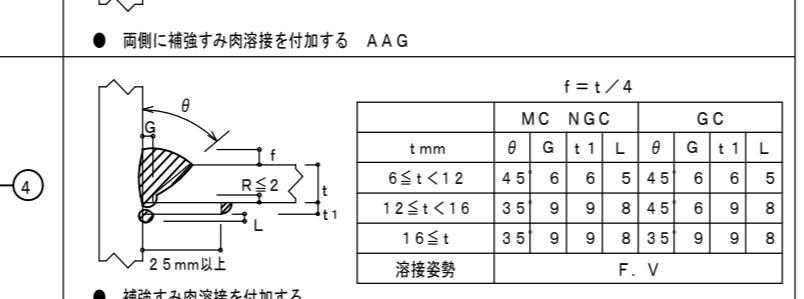
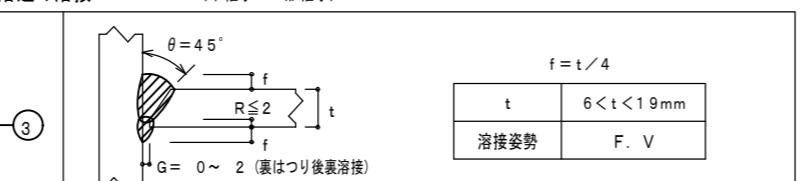
2. 溶接規準図

(注) f : 余盛 G : ルート間隔 R : フェース S : 脚長 (単位mm)

(1) スミ肉溶接

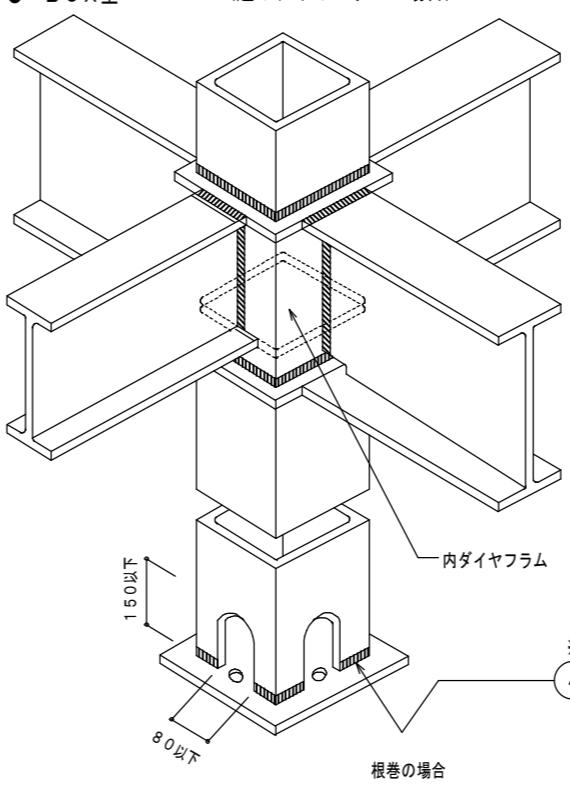


(3) 完全溶込み溶接

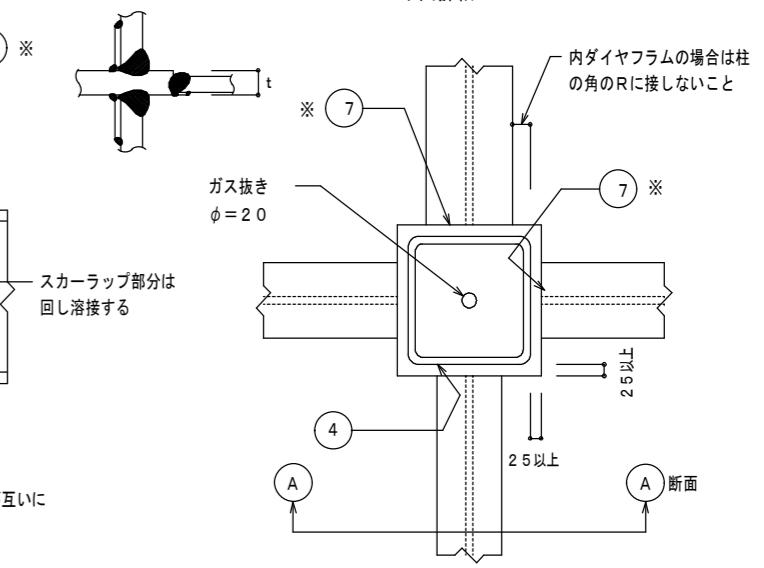
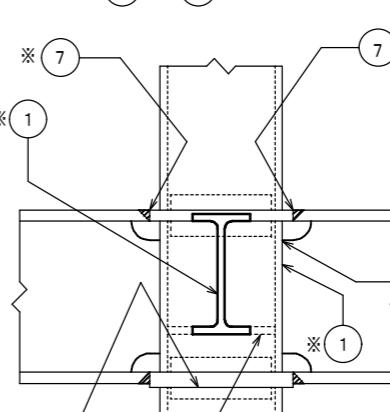


○ 溶接記号番号を ○ 中に記入のこと

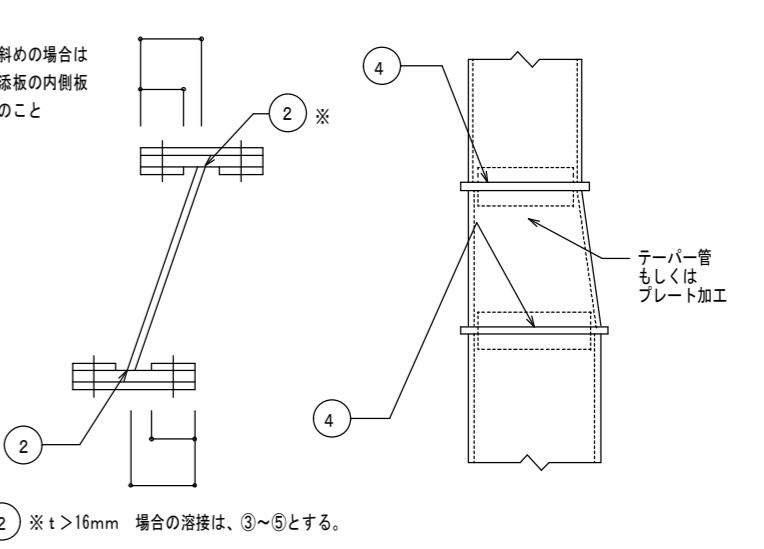
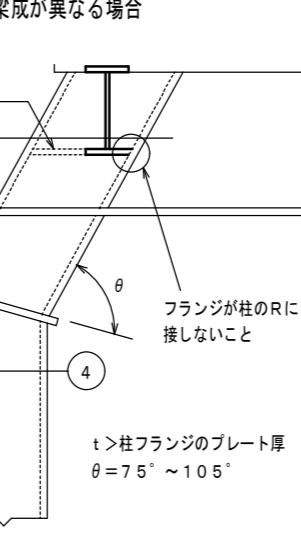
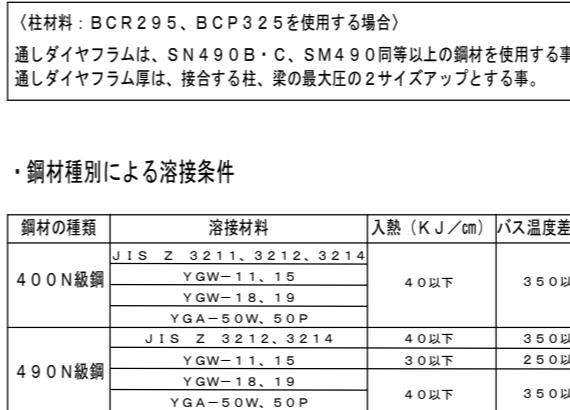
● BOX型 (通しダイヤフラムの場合)



(A) - (A) 断面図



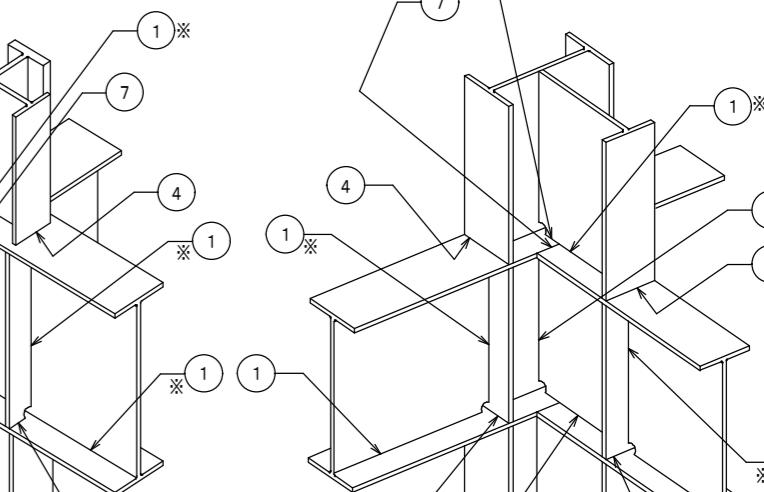
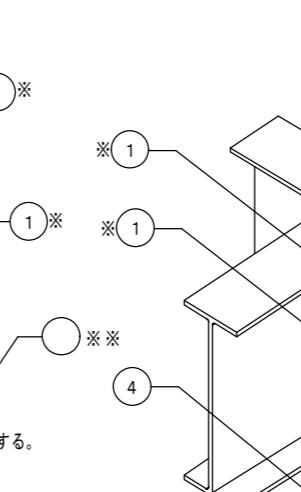
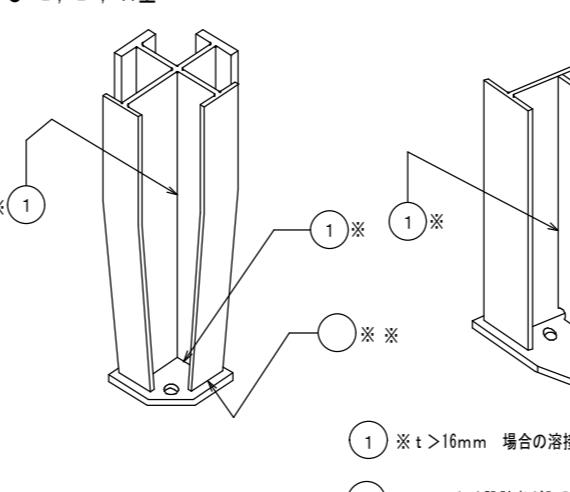
● 柱が途中で折れる場合 及び梁成形が異なる場合



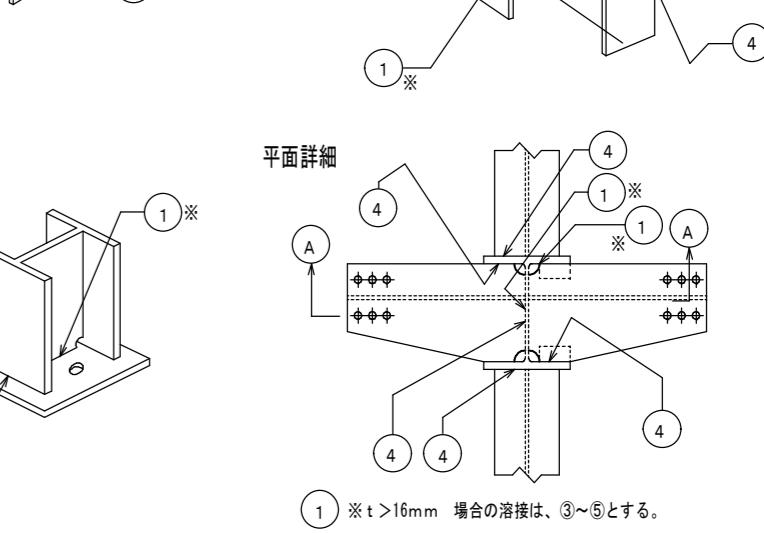
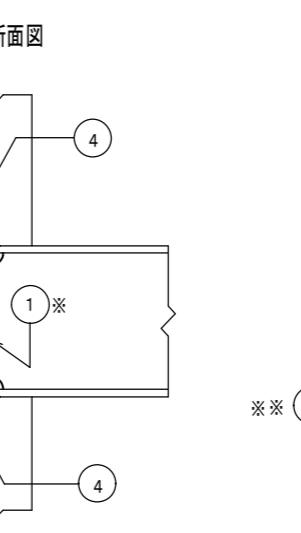
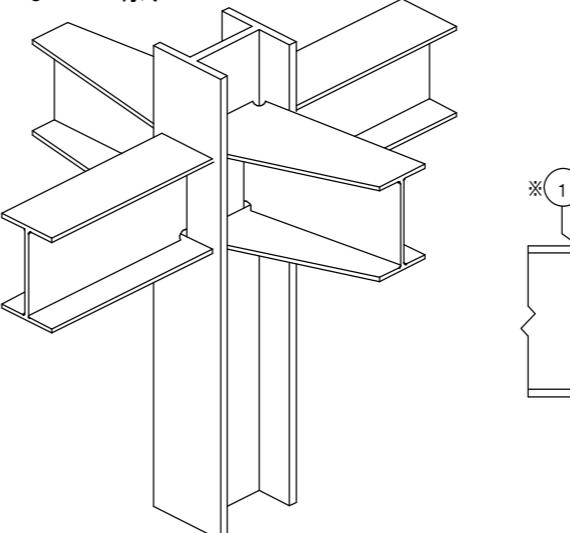
・鋼材種別による溶接条件

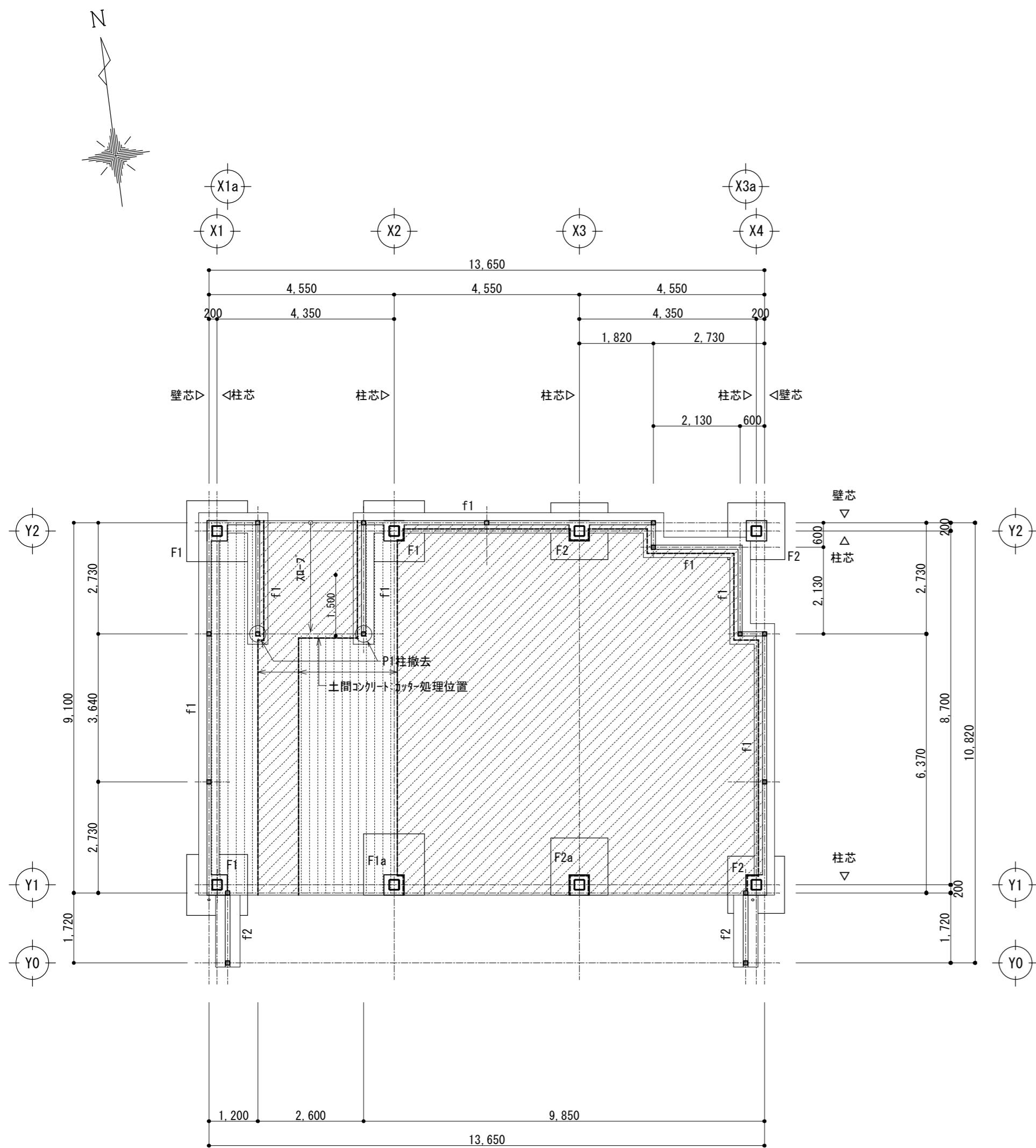
鋼材の種類	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	バス温度 (℃)
400N級鋼	JIS Z 3211, 3212, 3214 YGW-11, 15 YGW-18, 19 YGA-50W, 50P	40以下	350以下
	JIS Z 3212, 3214 YGW-11, 15 YGW-18, 19 YGA-50W, 50P	40以下	350以下
	YGA-50W, 50P	30以下	250以下
490N級鋼	JIS Z 3211, 3212, 3214 YGW-11, 15 YGW-18, 19 YGA-50W, 50P	40以下	350以下
	YGA-50W, 50P	75° ~ 105°	350以下
	YGA-50W, 50P	75° ~ 105°	350以下

● I, H, H型



● B, H方式

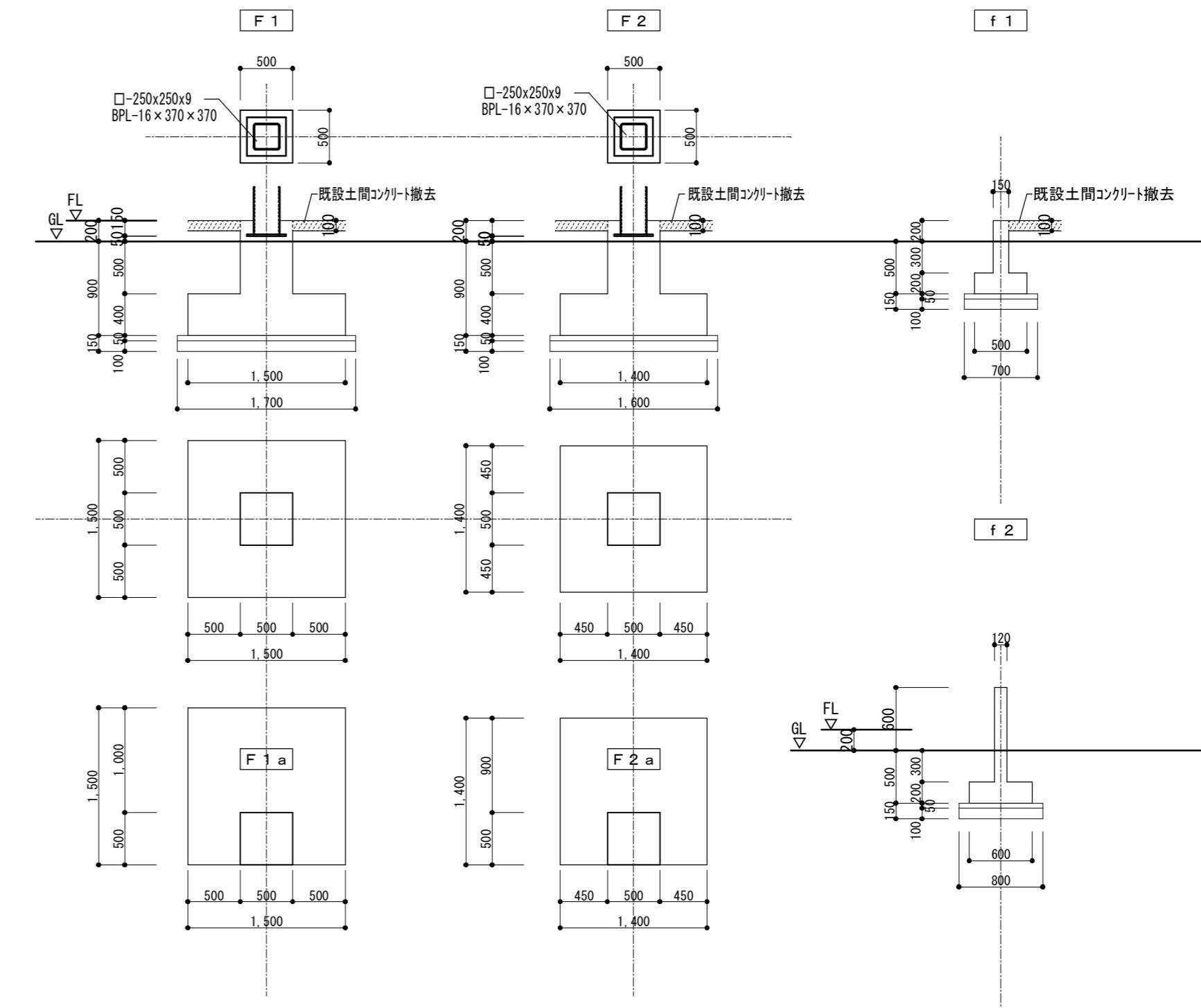




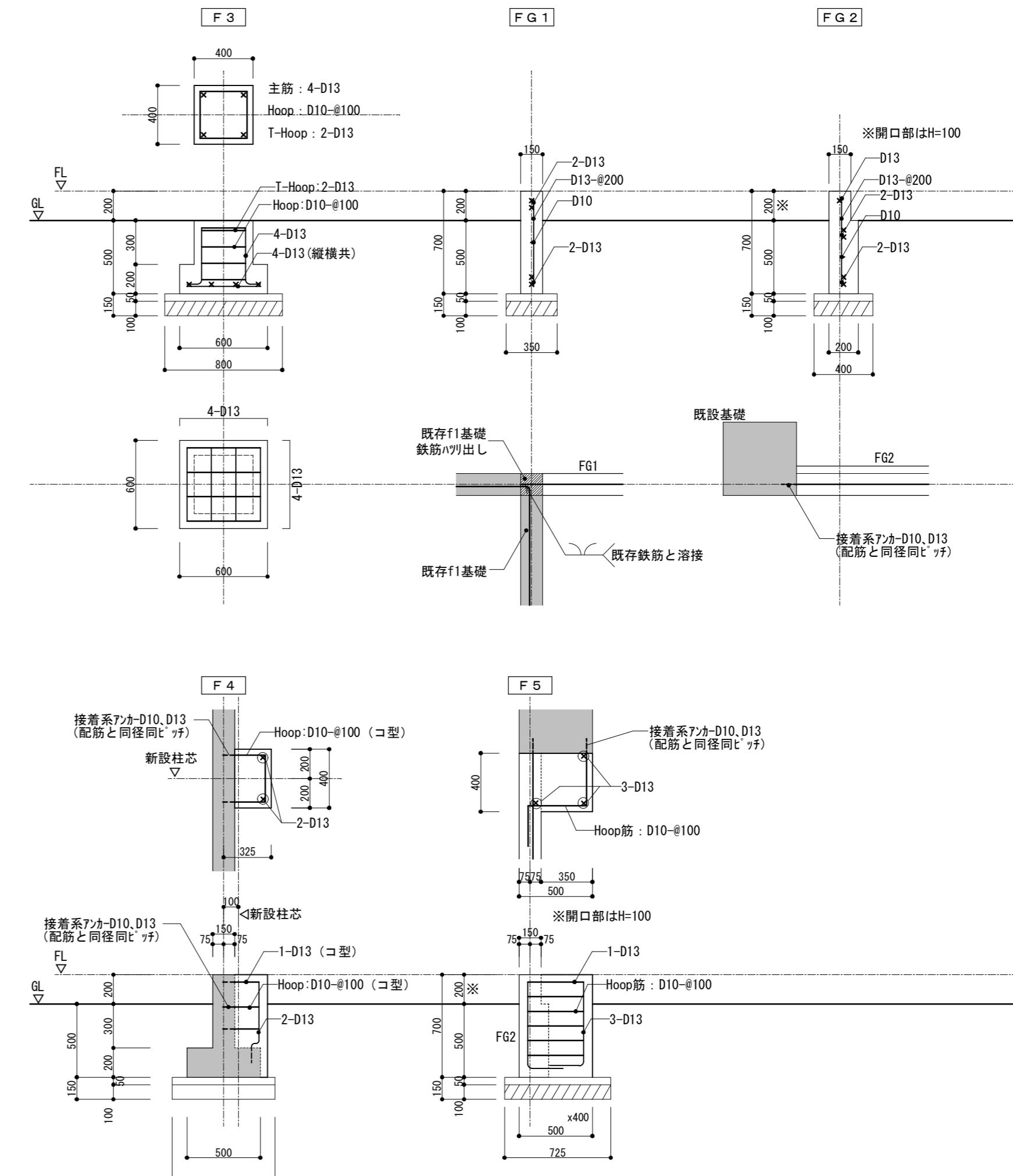
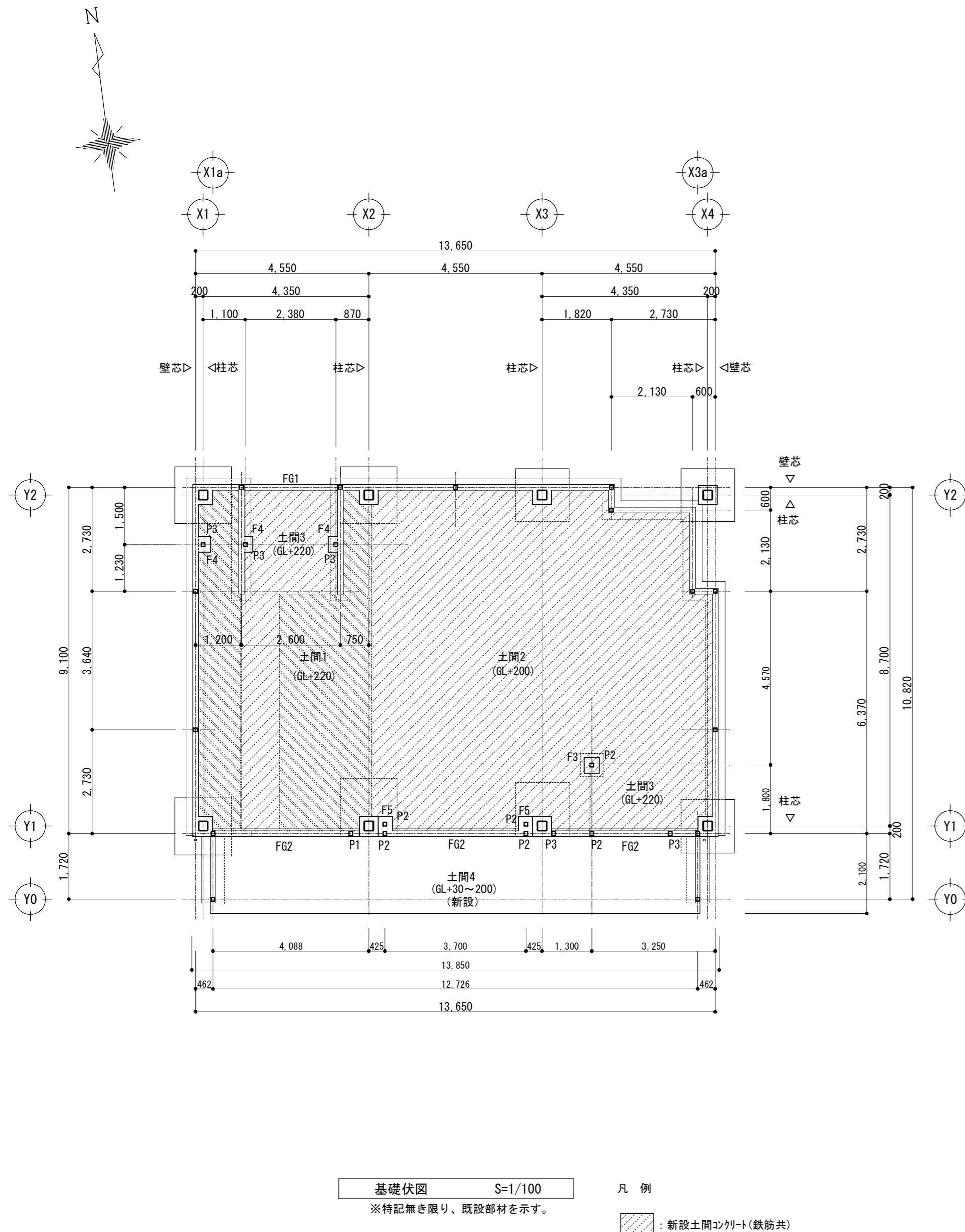
基礎伏図 S=1/100

-  : 土間コンクリート(鉄筋共)撤去処理
-  : 土間コンクリート表面目あらし処理

- 土間仕様 :
 1. 土間コンクリート t=100
 2. 栗石敷き t=80



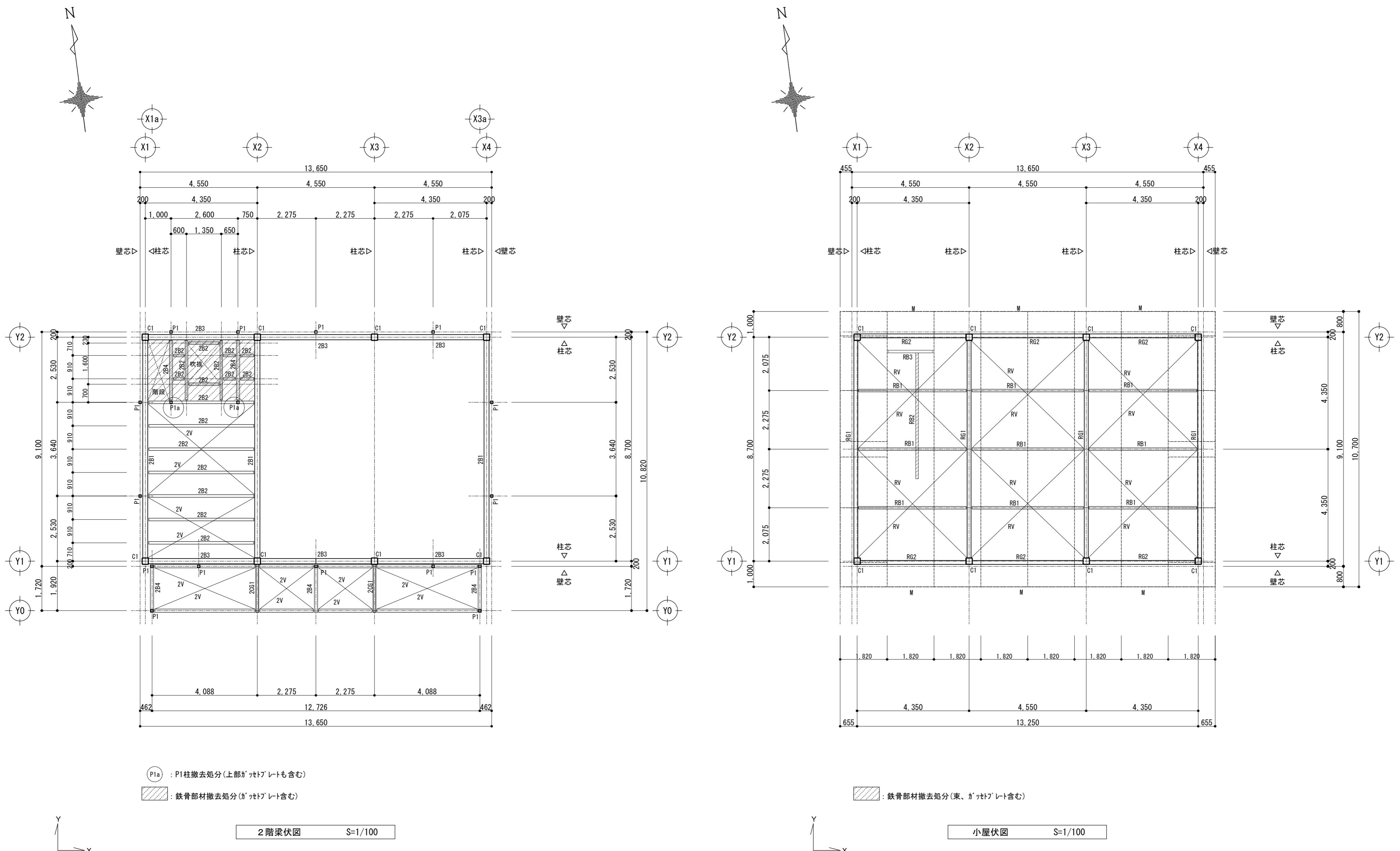
基礎詳細図 S=1/50

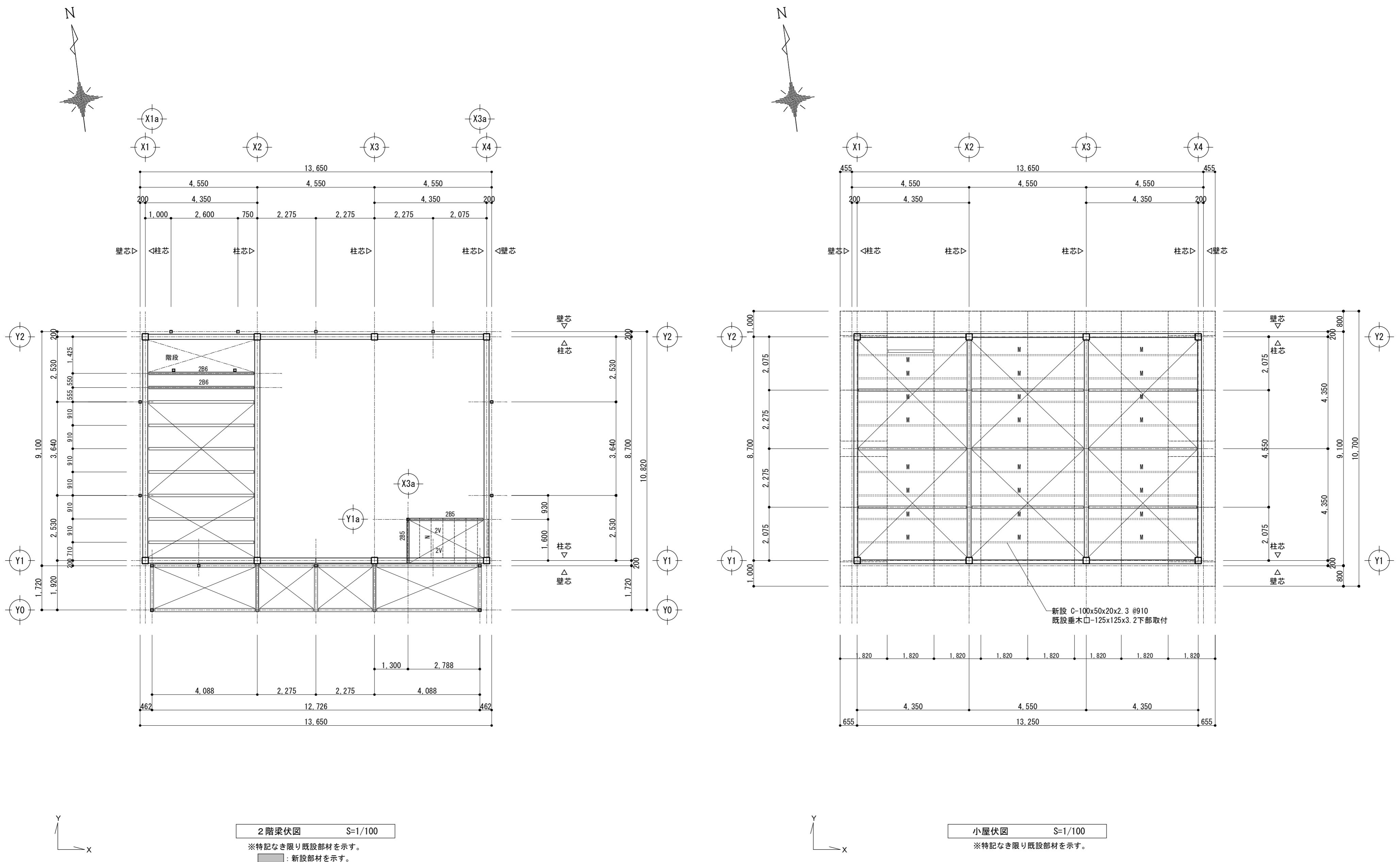


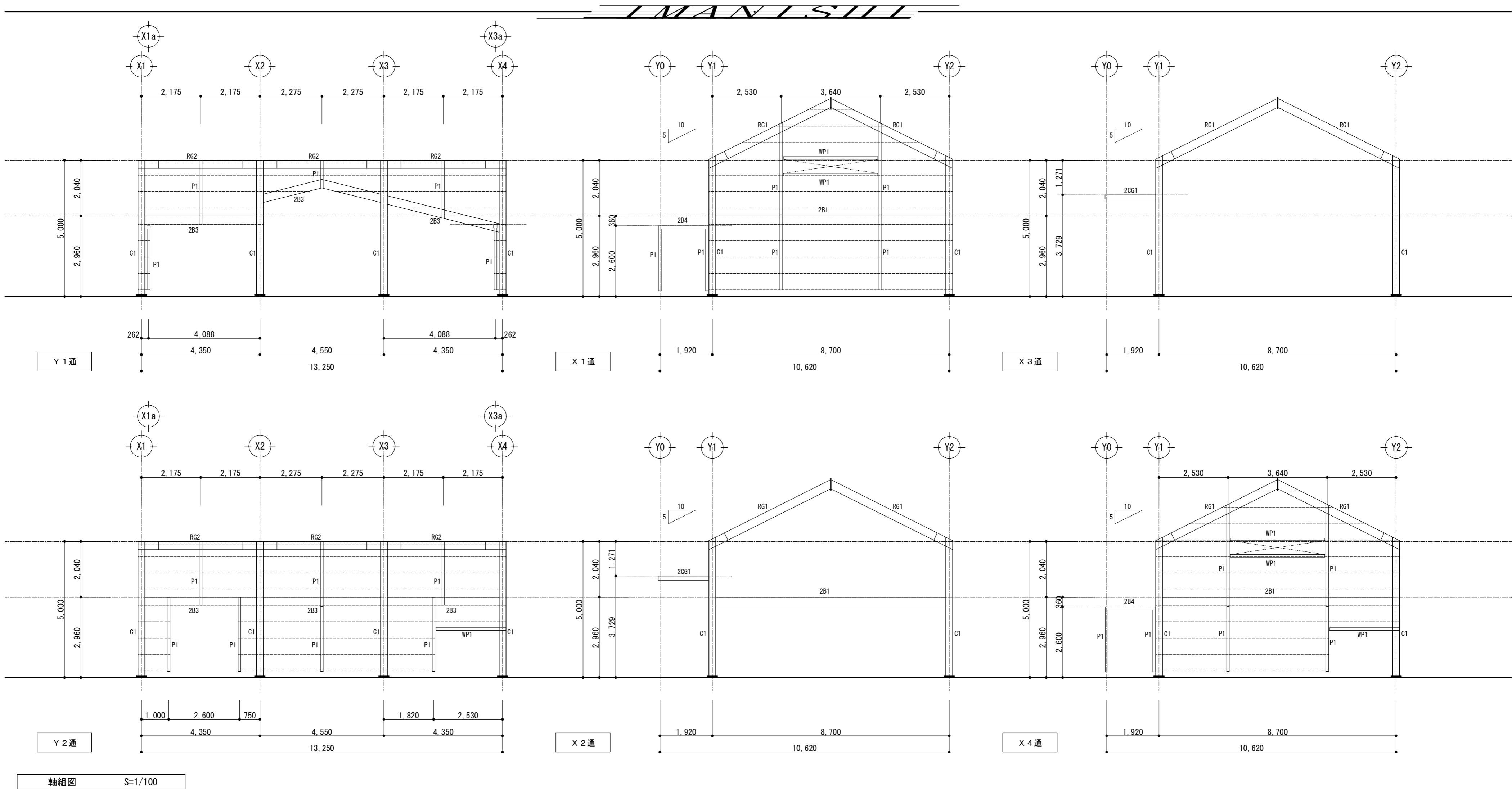
■ 特記事項
1 : コンクリート
Fc=21+S (鉄筋・基礎コンクリート)
Fc=21 (土間コンクリート、捨コンクリート)

改修後

A2

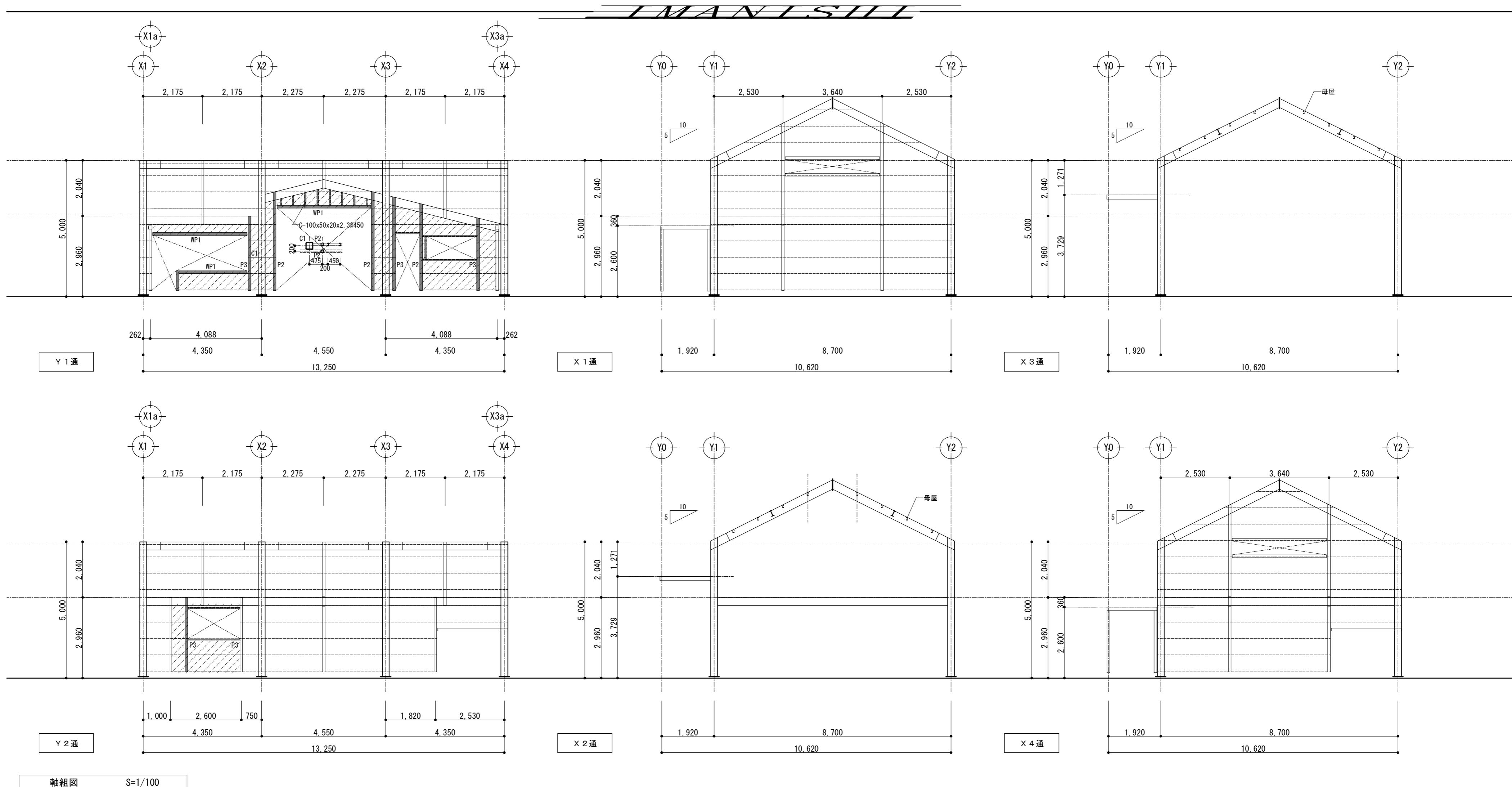






■既設部材リスト					
CG1	□-150x100x6	RG1	H-300x150x6.5x9	C1	□-250x250x9
2B1	□-300x200x12	RG2	H-298x149x5.5x8	P1	□-100x100x4.5
2B2	□-150x100x6	RB1	H-200x100x5.5x8		
2B3	□-300x200x12	RB2	I-250x125x7.5x12.5		
2B4	□-125x125x6	RB3	[150x75x6.5x10		
2V	M16	RV	M16	垂木, M	□-125x125x3.2
WP1	□-100x100x4.5			胴縁	C-100x50x20x3.2 @600

原図:A2



*特記無き限り、既設部材を示す。

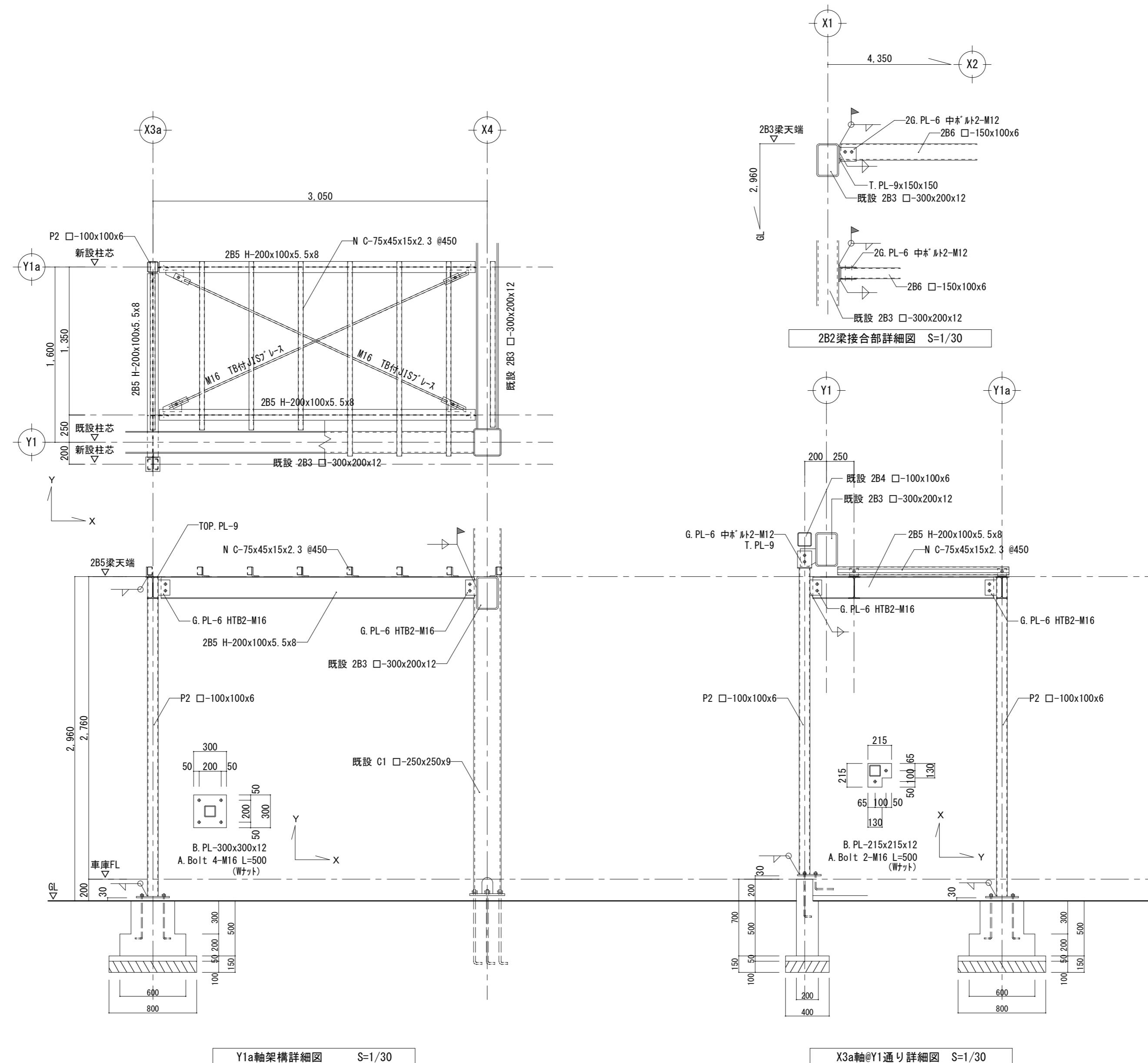
新設鉄骨柱 P1, P2, WP1(ガッセトフ)レト含む

：新設外壁を示す

■新設部材リスト

■新設部材リスト					
P2	□-100x100x6.0	2G. PL-6 中ボルト2-M12 PL-12x300x130 A. Bolt2-M16 L=500	WP1	□-100x100x4.5	2G. PL-6 中ボルト1-M12
P3	□-100x100x4.5	2G. PL-6 中ボルト2-M12 PL-12x300x130 A. Bolt2-M16 L=500	胴縁	C-100x50x20x3.2 @600	ねこ : L-75x75x6 L=80 中ボルト1-M12 接合部 : L-75x75x6 L=120 中ボルト2-M12
2B5	H-200x100x5.5x8	G. PL-6 HTB2-M16	M (母屋)	C-100x50x20x2.3 @910	ねこ : L-75x75x6 L=200 中ボルト1-M12 端部 : G. PL-6 中ボルト1-M12
2B6	□-150x100x6	T. PL-9, 2G. PL-6 中ボルト2-M12			
N	C-75x45x15x2.3 @450	ねこ : L-75x75x6 L=120 中ボルト2-M12			
2V	M16	G. PL-9 HTB1-M20			

原図:A2



電気設備工事特記仕様書																						
I. 工事概要																						
1. 工事名称 津市消防団白山方面団第4分団詰所・車庫整備に伴う旧津市白山郷土資料館改修工事																						
2. 工事場所 津市 白山町中ノ村 地内																						
3. 建物概要																						
建 物 概 要		構 造	階 数	延べ面積(m ²)	用途区分		消防法施行令別表第一															
詰所・車庫		S造	2	163.84 m ²			15項															
(延べ面積は建築基準法による表記)																						
4. 工事種目																						
主な工事種目は、下記の○印のついたものである。																						
工 事 種 目																						
工 事 場 所																						
詰所・車庫																						
電力設備	○																					
電動機器																						
電気保安装置																						
接地設備	○																					
受電変換設備																						
電力設備																						
直流水源設備																						
貯蔵設備																						
交流無停電源設備																						
電力平準化用蓄電設備																						
分散電源&バッテリ&ソーラー																						
発電設備																						
ディーゼル発電設備																						
ガスエンジン発電設備																						
ガスター・バッテリ発電設備																						
太陽光発電設備																						
風力発電設備																						
その他発電設備																						
通信情報設備																						
構内情報通信網設備																						
構内交換設備																						
情報表示設備																						
映像・音響設備																						
拡声設備																						
誘導支援設備																						
テレビ共同受信設備	○																					
テレビ電波障害防除設備																						
監視カメラ設備																						
駐車場管制設備																						
防犯・入退室管理設備																						
自動火災報知設備																						
自動閉鎖設備																						
非常警報設備																						
ガス漏れ火災警報設備																						
中央監視制御設備																						
医療関係設備																						
構内配電線路	○																					
構内通信線路																						
その他																						
II. 共通仕様																						
1. 施設及び特記仕様書に記載されない事項については下記による。(最新のものを適用)																						
国土交通省大臣官房官公署部監修「公共建築工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)																						
・国土交通省大臣官房官公署部監修「公共建築工事標準仕様書」(電気設備工事編・機械設備工事編)																						
・国土交通省大臣官房官公署部監修「建築工事監理指針」「電気設備工事監理指針」「機械設備工事監理指針」																						
・国土交通省大臣官房官公署部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)																						
・国土交通省大臣官房官公署部監修「建築工事改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)																						
・国土交通省大臣官房官公署部監修「建築工事改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)																						
・国土交通省大臣官房官公署部監修「建築工事改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)																						
・国土交通省大臣官房官公署部監修「建築工事改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)																						
・国土交通省大臣官房官公署部監修「建築工事改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)																						
・国土交通省大臣官房官公署部監修「建築工事改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)																						
・国土交通省大臣官房官公署部監修「建築工事改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)																						
・国土交通省大臣官房官公署部監修「建築工事改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)																						
・国土交通省大臣官房官公署部監修「建築工事改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)																						
・国土交通省大臣官房官公署部監修「建築工事改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)																						
・国土交通省大臣官房官公署部監修「建築工事改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)																						
・国土交通省大臣官房官公署部監修「建築工事改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)																						
・国土交通省大臣官房官公署部監修「建築工事改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)																						
・国土交通省大臣官房官公署部監修「建築工事改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)																						

20. 配線器具の設置	(1)特殊コネクタはプラグ付とする。 (2)電気の種類により色を区別する。 (3)保護器具を設置する場合は、絶縁棒を使用する。 (4)接地用電線は、団面に特記なき場合は、新金属製とする。 (5)カバーブレードは、原則として新金属製とする。 (6)器具を取扱しない位置ボックスには用途表示をすること。 (7)ワイヤーフレートは、水平高低調整型(空軒防止リリゲット)とする。
21. 照明器具の設置	(1)コードマンド以外の放電灯及び水気のある場所の器具は接地する。なお、金属配管の場合は、配管を利用しても構成する場合、コードマンド以下を除く。) (2)接地用電線は、団面に特記なき場合は、新金属製とする。 (3)照明器具を設置する前に、照度分布図を作成し監督員の承認を得ること。 (4)照明器具取扱完了後、照度測定を行う。照度計は一般形A級とする。 (5)天井等材木より支持する場合は、ワイヤ等により脱落防止の措置を行う。 (6)バフ吊りの照明器具は振れ止めを施工する。
22. 照明改修の際の測定	対象の改修前後の照度及び回路電流の測定を次のとおり行うこと。 測定回数 () 回
23. 分電盤、制御盤、キューピール等	(1)回路ルーダー内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。 また、既設分電盤、制御盤等を改造した場合は、図面を修正するものとする。 (2)屋外キャビネットで受電配管をボックスに接続する場合は、カッティングを溶接等行い接続部から雨水等が浸入しない方とする。ただし、既設ボックスに接続する場合は、カッティングを溶接等行い接続部から雨水等が浸入しない方とする。 (3)電気室には水管、蒸気管、ガス管、ダクト等を通して通さない。
24. 受変電設備、発電設備の設置場所	(1)保守点検、防上工有効な空間、維持管理の空間を考慮する。 (2)高さは周囲の状況を考慮する。
25. 発電設備の燃料配管	(1)フレキシブルジョイント取付け位置は、施工前に所轄の消防署と十分に打合せを行う。 (2)配管の接続は、機器の取外し時は保守点検を考慮し施工する。
26. 電波関係の計算及び測定	(1)計算書の提出 電波強度測定結果による計算書を提出 施工前・施工後・施工終了時 (2)測定の実施 1)項目 全安信チャネルの電界強度、受像面質、等価C/N、ビット誤り率の測定及び映像写真的撮影を行う。 2)測定期間 施工前・施工後 3)報告書提出冊数 2部 () 部
27. 土工事	(1)土の材料及び工法 ・白土 (材料が切り土中の良質土 / 工法: 機器による固め) ・たれ土 (材料が山砂とする)。 (2)配管割りの埋めし材料は山砂とする。 (3)根切りの種類は、G-L-600mm以上とする。 (4)根切りの種類は、マッシュホール、ハンドホール、屋外受変電設備及び自家発電装置の基礎等は総振り、埋設管路等は布振り、外灯基盤、電柱等はつば振りとする。 (5)機械抵抗剤は根切り底を乱さないようにする。
28. ハンドホール、マンホール	1)地中鉄筋及びハンドホール等沈下が考慮される場合は、沈下対策を施す。 2)地耐力 ①地耐力は、建築基準法施行第91条の規則力度とする。 ②衝撃係数は、設置場所に応じた衝撃係数とする。 3)高さ900mmを超えるものについては、タラップ付とする。 なお、タラップの取付けは450mm間隔以内とし、原則として接地を施すこと。
29. 地中配線路の表示板	下記の箇所にて地中配線路の表示板を設置する。 ①建物の引込口及び送出口付近 ②マンホール・ハンドホール付近 ③地中鉄筋の曲折箇所 ④道路断面箇所 ⑤直線部分では30m程度に1個

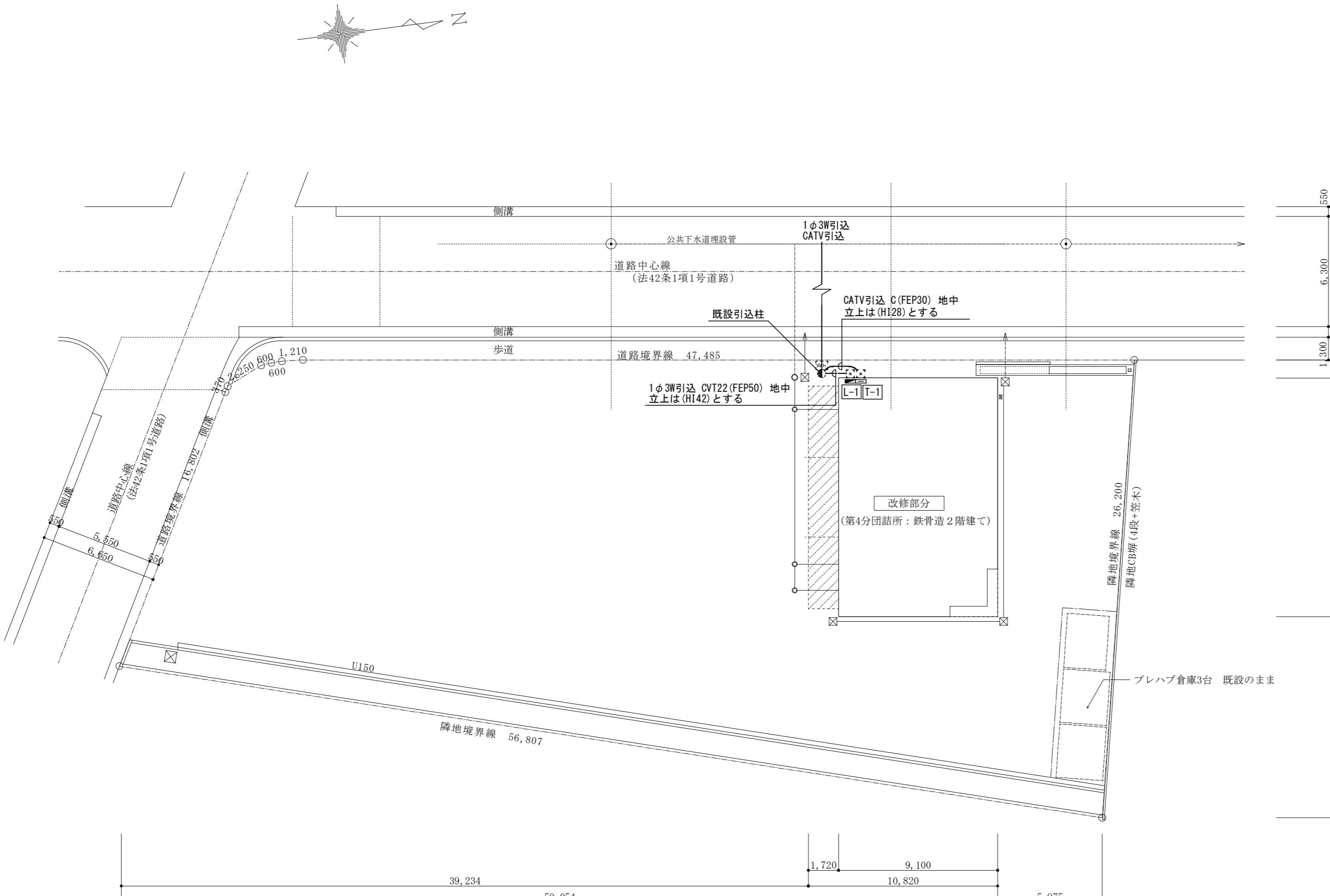
3. 機器仕様	下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。 なお、詳細については、図面によること。
特 記 事 項	
【電力設備】	
1. 電灯設備	
(1)既設等との取り合 い	
●無し ●盤改造 ●配線接続 ●電源供給 ●その他 ()	
(2)機器類	
●一般照明器具 ●照明制御装置 ●外灯(単独設置) ●コンセント等 ●分電盤、制御盤等 ●その他 ()	
(3)一般照明器具	
1) 形式 ●一般形 ●HID 明るさ ●LED HID ●HID 明るさ ●その他 ()	
2) 灯具 ●HID 明るさ ●LED HID ●HID 明るさ ●その他 ()	
3) 用途 ●室内用 ●屋外用 ●防災用	
4) 環境 ●防雨地 ●塩害地	
5) 照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 6) 蛍光灯の点灯時にグローバンプを使用するものは、電子点灯管に交換するものとする。 7) H.I.D.ランプを使用する場合は、光源部に保護ガラスにより怪我をする恐れのある場合は、飛散防止を施す。	
(4) 照明制御装置	
1) セサ類 ●明るさセンサ ●人感センサ ●タイマー ●調光スイッチ	
2) 調光方式 ●連続調光 ●段階調光 ●ON/OFF 制御	
(5) 外灯(単独設置)	
1) 照明ボール ●材質 ●アルミニウム製 ●銅製 ●溶接亜鉛メッキ ●その他 ()	
2) 基礎 ●本工事 ●追込工事 ●既設利用 ●その他 ()	
3) 灯具 ●水銀灯 ●ナトリウム灯 ●HID 明るさ ●LED 灯	
4) 安定器 ●一般形高力形 (HID) ●低始動電流形 ●その他 ()	
5) 電源 ●商用電源 (60Hz) () 200V 100V ●特殊電源 (太陽電池式 風車式)	
(6) コンセント等	
●一般形 ●防水型 ●ハイテンションアットレット (固定型 ●上下動作型 (アップ式を含む))	
(7) 分電盤、制御盤等	
1) 銀板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。	
2) 図面ホルダーは、4枚以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。	
3) 接地端子又は接地継続端子は、ラバーピストンを取付ける。	
4) 接地端子又は接地継続端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。	
5) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。	
6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の5倍以上とする。	
2. 動力設備	
(1)既設との取り合 い	
●無し ●盤改造 ●配線接続 ●その他 ()	
(2)機器類	
●分電盤、制御盤等 ●その他 ()	
(3)負荷設備	
●給水 ●排水 ●消火 ●空調 ●換気 ●排煙 ●昇降機 ●その他 ()	
(4)負荷設備への接続	
団面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。	
(5)電動機等の接続	
●専用接地 ●金属管接地 (7.5kW以下)	
(6)電動機等の力率の改善	
本工事に含む制御盤には各負荷に力率改善コンデンサを取り付ける。	
(7)保護继電器	
過負荷、欠相、逆相继電器は熱動作とする。	
(8)分電盤、制御盤等	
1) 銀板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。	
2) 国際ホルダーは、4枚以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。	
3) 接地端子又は接地継続端子はラバーピストンを取付ける。	
4) 接地端子又は接地継続端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。	
5) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。	
6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の5倍以上とする。	
3. 雷保護設備	
(1)避雷針	
1) 受電部 ●突針 ●裸導体 ●笠木等の別途施工物	
2) 避雷線 ●引下用導線 ●建築構造利用 ●測定用補助接地	
3) 接地極埋設 ●接地極埋設	
4) 接地抵抗の測定	
① 测定方法 ●電位差計方式 ●電圧降下法	
② 測定回数 3回 () 回	
5) 接地極埋設を施工し、接地極の位置がわかるようにする。	
(2)雷サージ保護	
1) 耐雷ランプ ●設置 (・単相用 ●動力用) ●設置しない	
2) SPD ●低电压 (・クラスI) ●クラスII) ●通信用 (・カテゴリC2 ●カテゴリD1)	
3) 低电压SPDの性能 別図による	
4) 通信用SPDの性能 別図による	
(3)電源回路の保護	
1) 低电压SPDに接続する場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5KA以上とする。	
2) 主幹部の2次側に接続する場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5KA以上とする。	
3) 通信回線の保護	
電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場所は、雷サージから機器を保護するため通信用SPDを設置する。	
4. 接地設備	
(1)接地工事	
1) 種別 ●A種 ●B種 ●C種 ●D種	
2) 施工 ●各種単独 ●共用有り ()	
(2)接地抵抗の測定	
1) 测定方法 ●電位差計方式 ●電圧降下法	
2) 測定回数 3回 () 回	
(3)接地極埋設	
接地には接地極埋設を施工し、接地極の位置がわかるようにする。	
5. 受電設備	
高圧以外の受電設備については、本項によらず別図による。	
6. 受電設備	
(1)既設との取り合 い	
●無し ●改造 (機器取替、追加等を含む) ●増設 ●配線接続	
(2)機器類	
●盤類 ●交流遮断器 ●断路器 ●避雷器 ●荷重開閉器 ●変圧器 ●進相コンデンサ ●直接リクトル ●配線用遮断器 ●電磁接触器 ●その他 ()	
(3)盤類	
1) 形式 ●キーボード式配電盤 (JIS C 4620) ●高圧スイッチギア (JEM 1425) (- C X - C W - P W - M W)	
2) 中通路 () 有 () 無	
3) 特記事項 ()	
(4)交流遮断器	
真空遮断器 (VCB) ●操作方式 () ●手動操作 () ●電動操作 () ●引外し式 ()	
① 手動操作 () ●手動操作 () ●コンセント引外し () ●直流通電圧引外し ()	
(5)基礎	
●本工事 (- 21N/mm2 - 18N/mm2) ●別途工事 () ●既設利用 ()	
(6)負荷開閉器	
1) 形式 ●配電盤用 ●引込柱用 ●地中引込用	
2) 配電盤用	
① 操作方式 ●フック操作 ●遠方手動操作 ●電動操作	
② 開閉方式 ●有 (スライドカギ) ●無 ()	
3) 引込柱用	
●トライアングル式 () ●電圧降下式 () ●無 ()	
4) 地中引込用	
●保護装置 () ●保護装置 () ●保護装置 () ●保護装置 ()	
(7)変圧器	
1) 形式 ●油入 ●モルタル ●内蔵	
2) 設置方式 ●屋内型 ●屋外型	
3) ダイヤル温度計 () 有 (最大値指針 有 () 最大値指針 無 ())	
(8)進相コンデンサ	
1) 絶縁方式 ●油入 ●モルタル	
2) その他 () 内部異常を感知して動作する保護接点を設けること	
(9)直列リクトル (進相コンデンサ用)	
1) 絶縁方式 ●油入 ●モルタル	
2) 容量 6% ()	
3) その他 () 内部異常を感知して動作する警報接点を設けること	
(10)設備不平衝	
1) 高圧受電の三相3線式における不平衝の制限は、設備不平衝率が3.0%以下となるようする。	
2) 設備名を記載する。	
3) 図面ホルダーは、A4サイズ以上 (キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。) とする。	
4) 接地端子又は接地継続端子は接地端子用	

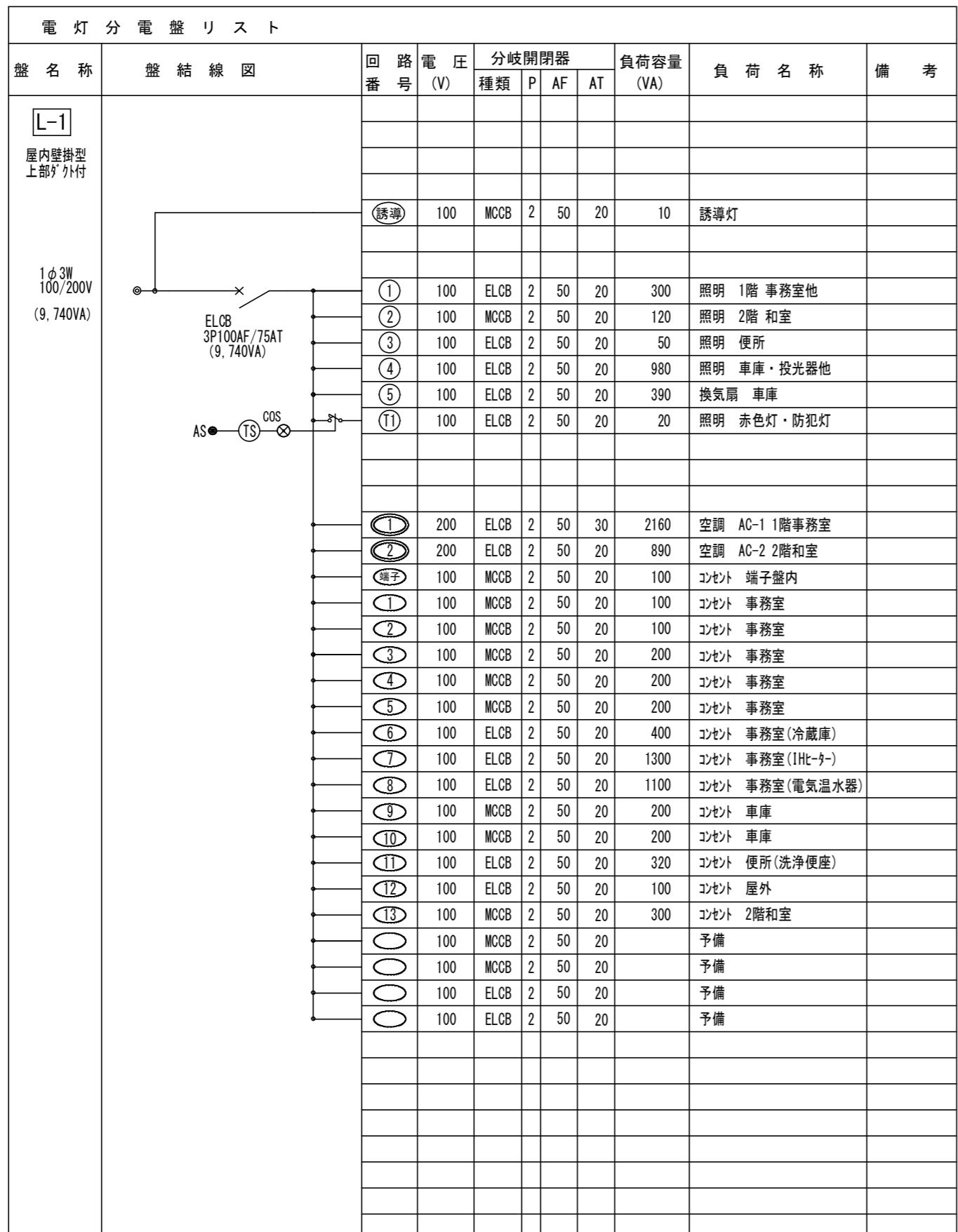
17. 映像・音響設備			
(1) 設備	・映像機器	・音響機器	・操作装置
1) 表示機器	・プロジェクタ（前面投射式・背面投射式） ・スクリーン（反射マット形・反射ビーズ形・反射ストライプ形・透過形） ・スクリーン巻き装置（電動式・手動式） ・液晶ディスプレイ	・その他の機器	
2) 付属機器	録画再生装置（HDD・Blu-ray/DVD・その他） ・データチューナー（UHF・BS・CS・その他） ・カメラ・パソコン ・その他の機器（）		
(3) 音響機器	1) 増幅器 ① 出力（）W ② 方式（ステレオ・モノラル） ③ 出力（ビッグダブル・Lo形・Hi形） 2) 付属機器 ・グラフィックオーディオ・オーディオミキサー・電源制御器 ・録音再生装置（CD・メモリオディオ・その他） ・ラジオチューナー（FM・AM・その他） ・有線マイクロホン ・無線マイクロホン（電波式・アナログ・デジタル）・赤外線式 ・その他の機器（） 3) スピーカ ・天井式散配方式・集中配置方式・併用方式・その他（）	1) 增幅器（）W 2) 付属機器（） 3) スピーカ（）	
(4) 操作装置	1) 形状・卓型・キャビネットラック型・壁掛型・その他（） 2) 設置・固定式・可動式・その他（）		
18. 拡声設備	・増幅器・付属機器・操作装置・スピーカ・その他（）		
(1) 機器	・非常放送用（仕様は非常放送装置を参照）		
(2) 增幅器	・専用出力（）W		
(3) 付属機器	・オーディオミキサー・リモコンマイク・電源制御器 ・録音再生装置（CD・メモリオディオ・その他） ・ワイヤレスリモコン（チャイム・独自メッセージ・プログラムタイム） ・有線マイクロホン ・無線マイクロホン（電波式・アナログ・デジタル）・赤外線式 ・ラジオチューナー（FM・AM・その他） ・スピーカ切替装置・その他の機器（）		
(4) 操作装置	・卓型・キャビネットラック型・壁掛型・その他（）		
(5) スピーカ	・非常放送用（仕様は非常放送装置を参照） ・専用出力（1W・3W・（）W） ・接続・屋内・屋外・その他（）		
19. 誘導支援設備			
(1) 設備	・音声誘導装置・インターホン・トイレ等呼出装置		
(2) 音声誘導装置	1) 接出方式・磁気式・無線式・画像認識式・その他（） 2) 設置場所・屋外（防雨形）・屋内		
3) 機能・自動火災報知設備により停止開始可能とする			
4) 機器・ライセンスキーにより停止開始可能とする			
5) 制御装置・壁掛型・卓上形・複合盤組込・その他（）			
6) 送信機・壁掛型・卓上形・埋込形・その他（）			
7) 受信機・スピーカ方式・イヤホン式・その他（）			
(3) インターホン	1) 用途・内部受付用・外部受付用・夜間訪問用・身体障害者用・保守用 2) 機能・音声通話・映像モニタ 3) 通話網・親子式・相互式・複合式		
4) 連絡方式・同時通話式・交互式通話式・その他（）			
5) 機器・親機・子機・その他（）			
6) 親機 ①形状・壁掛型・卓上形・複合盤組込・その他（） ②送受話器・電話機形・マイク形・その他（）			
7) 子機 ①形状・壁掛型・卓上形・埋込形・その他（） ②送受話器・電話機形・マイク形・その他（）			
(4) トイレ等呼出装置	1) 用途・トイレ呼出・受付呼出・非常報		
2) 機器・排水栓・吐水栓	2) 機器・排水栓・吐水栓		
3) 設置場所・壁面取付・自立・既設利用・その他（）			
4) 呼出スイッチ・押ボタン式・音波式・その他（）			
5) 警報装置・光・音声・ブザー・ベル・その他（）			
20. テレビ共同受信設備			
(1) 受信放送	・UHF・BS・CS・FM・CATV・その他（）		
(2) 機器	●増幅器・混合器・分波器・分歧器・分配器・機器収容箱・アンテナ		
(3) アンテナ	1) 放送・UHF・BS・CS・FM・その他（） 2) マスト・地上波用（壁面取付・自立・既設利用・その他（）） ・衛星用（壁面取付・自立・既設利用・その他（）） 3) 自立用基礎・本工事・別途工事・既設利用・その他（）		
21. テレビ電波障害防除設備			
(1) 対象戸数	（戸）戸		
(2) 機器	・増幅器・混合器・分波器・分歧器・分配器・機器収容箱・アンテナ ・ヘッドエンタ装置・その他（）		
(3) アンテナ	1) 放送・UHF・BS・CS・FM・その他（） 2) マスト・地上波用（壁面取付・自立・既設利用・その他（）） ・衛星用（壁面取付・自立・既設利用・その他（）） 3) 自立用基礎・本工事・別途工事・既設利用・その他（）		
22. 監視カメラ設備			
(1) 機器	・カメラ・モニタ装置・録画装置・ハウジング・旋回装置		
(2) 伝送方式	・アナログ伝送方式・ネットワーク伝送方式・その他（）		
(3) カメラ	1) 色方式・白黒・カラー 2) 駆動方式・固定式・追跡可動式 3) 摄影条件・昼間・薄明暗・夜間 4) 設置場所・屋内・屋外・その他（）		
(4) モニタ装置	1) 色方式・白黒・カラー 2) モニタ・液晶・P.C.・その他（） 3) 設置マ・自立型・卓上型・壁掛型・その他（）		
(5) 録画装置	1) 記憶媒体・デジタル記憶媒体とする。 2) 記憶容量 3) 時刻補正機能		

23. 駐車場管制設備			
(1) 機器	・管制盤・検知器・信号灯・警報灯・券機・カーゲート・カードリーダ		
1) 表示機器	・プロジェクタ（前面投射式・背面投射式） ・スクリーン（反射マット形・反射ビーズ形・反射ストライプ形・透過形） ・スクリーン巻き装置（電動式・手動式） ・液晶ディスプレイ		
2) 付属機器	録画再生装置（HDD・Blu-ray/DVD・その他） ・データチューナー（UHF・BS・CS・その他） ・カメラ・パソコン ・その他の機器（）		
(3) 音響機器	1) 増幅器 ① 出力（）W ② 方式（ステレオ・モノラル） ③ 出力（ビッグダブル・Lo形・Hi形） 2) 付属機器 ・グラフィックオーディオ・オーディオミキサー・電源制御器 ・録音再生装置（CD・メモリオディオ・その他） ・ラジオチューナー（FM・AM・その他） ・有線マイクロホン ・無線マイクロホン（電波式・アナログ・デジタル）・赤外線式 ・その他の機器（） 3) スピーカ ・天井式散配方式・集中配置方式・併用方式・併用方式・その他（）	1) 増幅器（）W 2) 付属機器（） 3) スピーカ（）	
(4) 操作装置	1) 形状・卓型・キャビネットラック型・壁掛型・その他（） 2) 設置・固定式・可動式・その他（）		

24. 防犯・入退室管理設備			
(1) 設備	・防犯装置・入退室管理装置		
(2) 防犯装置	1) 機器・センサ・制御装置・その他（） 2) センサ・パッシブセンサ・赤外線センサ・画像センサ・マグネットセンサ ・ガラス破壊センサ・その他（） 3) 制御装置 ① 形式・自立型・壁掛型・卓上型・複合盤組込・その他（） ② 時刻補正機能 ・FM放送受信（アンテナ設置・既設利用） ・長波標準電波受信（アンテナ設置・既設利用） ・その他（）	1) 機器（） 2) センサ（） 3) 制御装置（） 4) 時刻補正機能（）	
(3) 入退室管理装置	1) 機器 ・電源装置・認識部・センサ・制御装置・その他（） 2) 制御装置 ① 形式・自立型・壁掛型・卓上型・複合盤組込・その他（） ② 時刻補正機能 ・FM放送受信（アンテナ設置・既設利用） ・長波標準電波受信（アンテナ設置・既設利用） ・その他（） 3) 認識部 ・バイオメトリックス・暗証番号・磁気カード・ICカード	1) 機器（） 2) 制御装置（） 3) 認識部（）	
(4) 機能	・警報・記録・監視カメラ連動制御・センサ入出力		

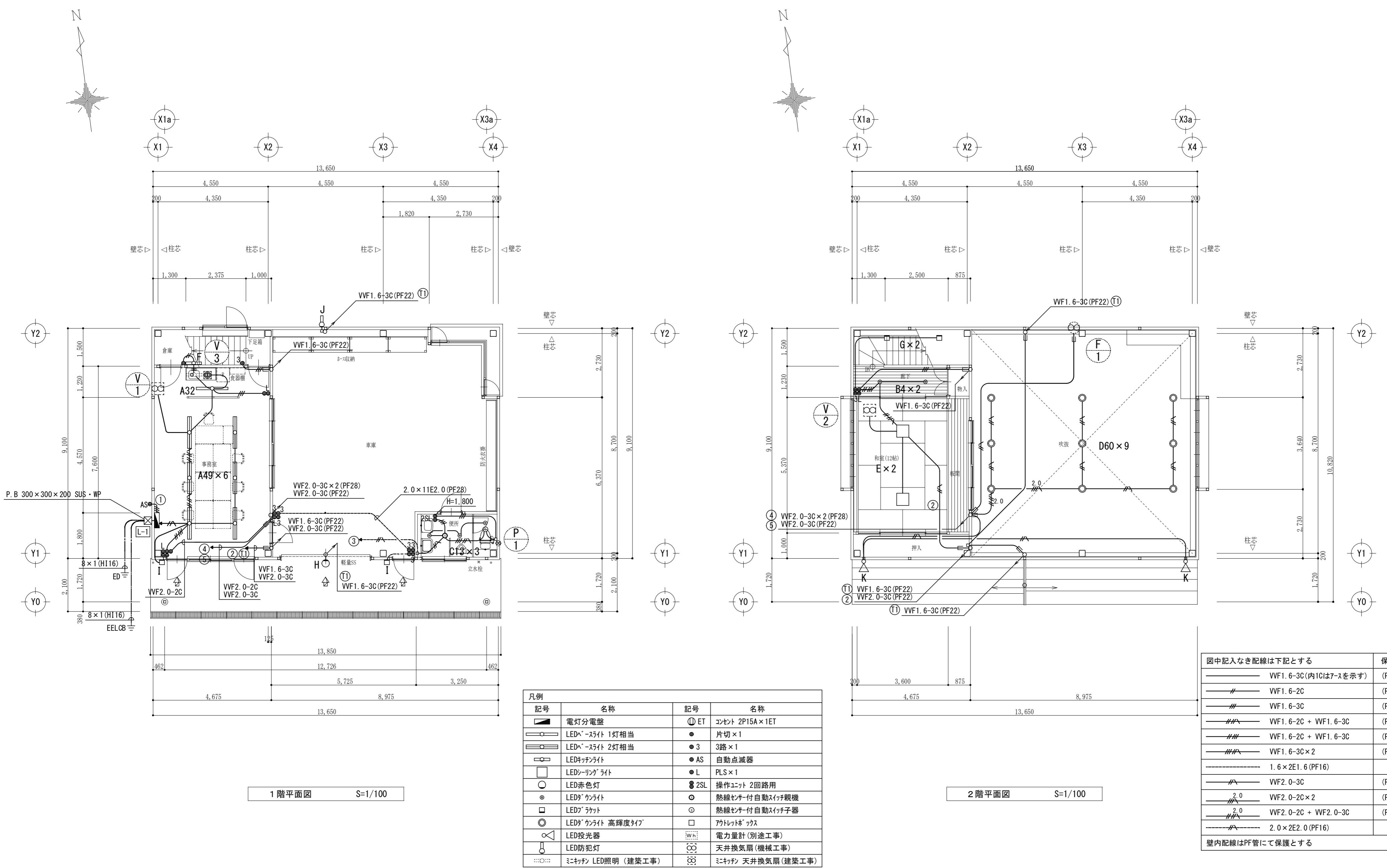
25. 自動火災報知設備			
(1) 機器	・受信機・副受信機（表示装置）・中継器・発信機・感知器		
1) 受信機	・P型1級・P型2級・R型 1) 回線数（）回線（アドレス） 3) 試験機能・自動試験機能・遅隔試験機能 4) 直接式・自立型・壁掛型・卓上型・複合盤組込・その他（）	1) 機器（） 2) 受信機（） 3) 試験機能（） 4) 中継器（）	
2) 副受信機（表示装置）	1) 壁掛式・自立型・壁掛型・その他（） 2) 回線数（）回線（アドレス）	1) 機器（） 2) 受信機（） 3) 試験機能（） 4) 中継器（）	
3) 中継器	・壁掛式・卓上形・複合盤組込・その他（）	1) 機器（） 2) 受信機（） 3) 試験機能（） 4) 中継器（）	
4) 発信機	1) 型式・アドレス付・P型1級・P型2級 2) 消火栓ポンプ起動・特記場合は、発信機運動方式とし、発信機表面に「消火栓起動」等の文字を併記する。 3) 設置・卓上設置・機器収容箱に組込・消火栓ボックス（別途）に組込	1) 機器（） 2) 発信機（） 3) 消火栓ポンプ起動	
(5) 感知器	1) 型式・アレス付・一般型 2) 種類・熱感知器・煙感知器・炎感知器 3) 試験機能・自動試験機能・遅隔試験機能 4) 設置場所・屋内（一般・防水・防爆・防食・その他（）） 5) その他（）	1) 機器（） 2) 感知器（） 3) 試験機能（） 4) 設置場所（）	
(6) 開閉器	・開閉器・避雷器・カットアウト・碍子	1) 機器（） 2) 開閉器（）	
(7) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(8) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(9) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(10) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(11) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(12) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(13) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(14) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(15) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(16) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(17) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(18) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(19) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(20) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(21) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(22) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(23) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(24) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(25) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(26) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(27) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(28) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(29) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(30) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(31) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(32) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(33) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(34) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(35) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(36) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2) 壁掛け式（）	
(37) 壁掛け式	・耐環境性・般用・耐塩用	1) 機器（） 2)	

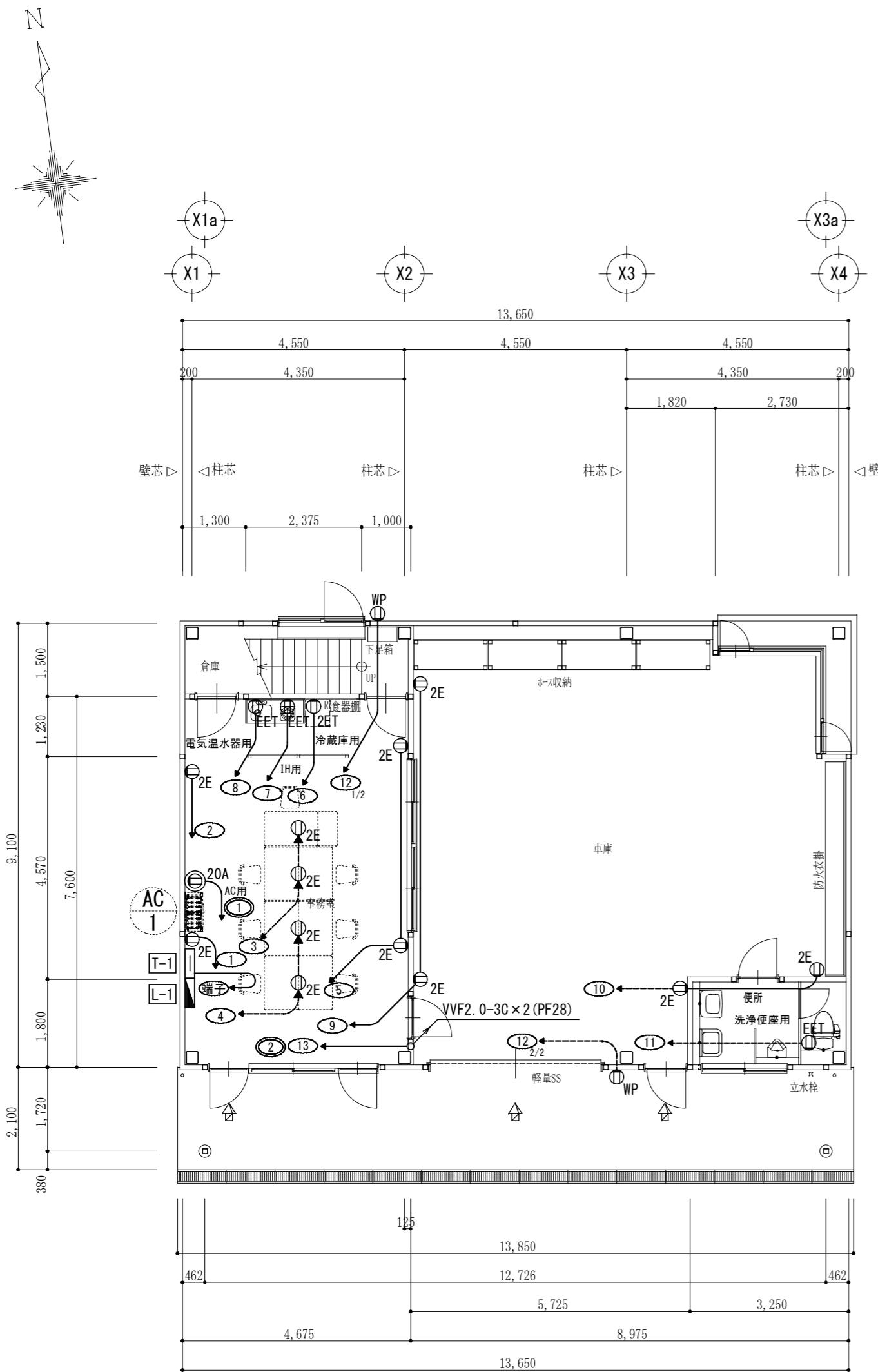




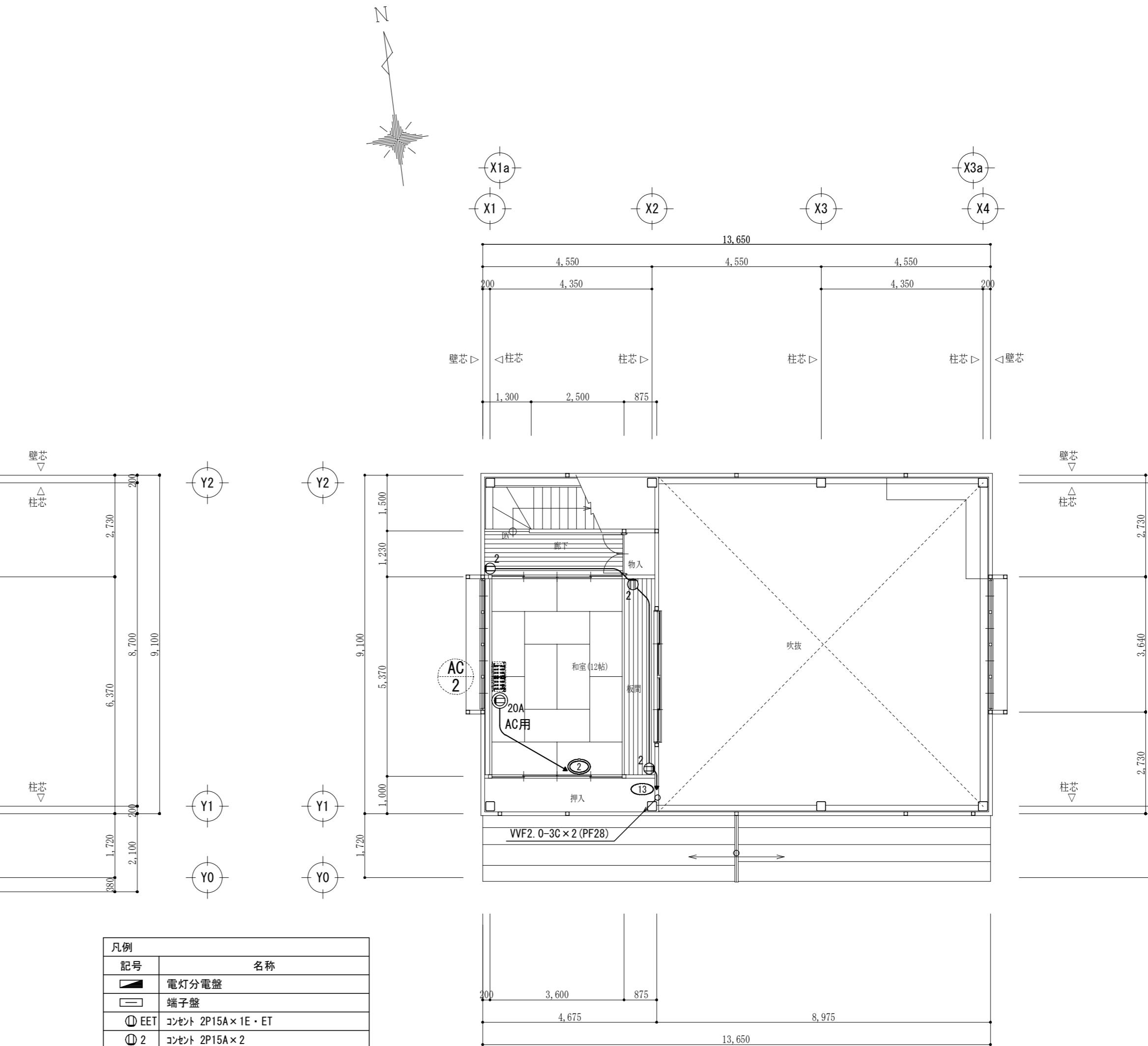
A32	LEDペースライト LSS9-3200LMN	LRS1-400LM-1LN	LRS1-1300LM-1LN	LRS1-6000MLZ	参考型番 : LGBZ1864
A49	LEDペースライト LSS9-4900MLN	B4	LEDダウントライト LGB81700 LE1	C13	LEDダウントライト NNF20242C
F	LEDプロテクト NYS10345 LF2	G	LEDプロテクト SH1-FBF20-C、SH1-FSF20-C	H	LED赤色灯 SH1-FBF20-C、SH1-FSF20-C
K	LED投光器 SH1-FBF20-C、SH1-FSF20-C				
7	LED誘導灯 C級 片面 SH1-FBF20-C、SH1-FSF20-C				

原図:A2





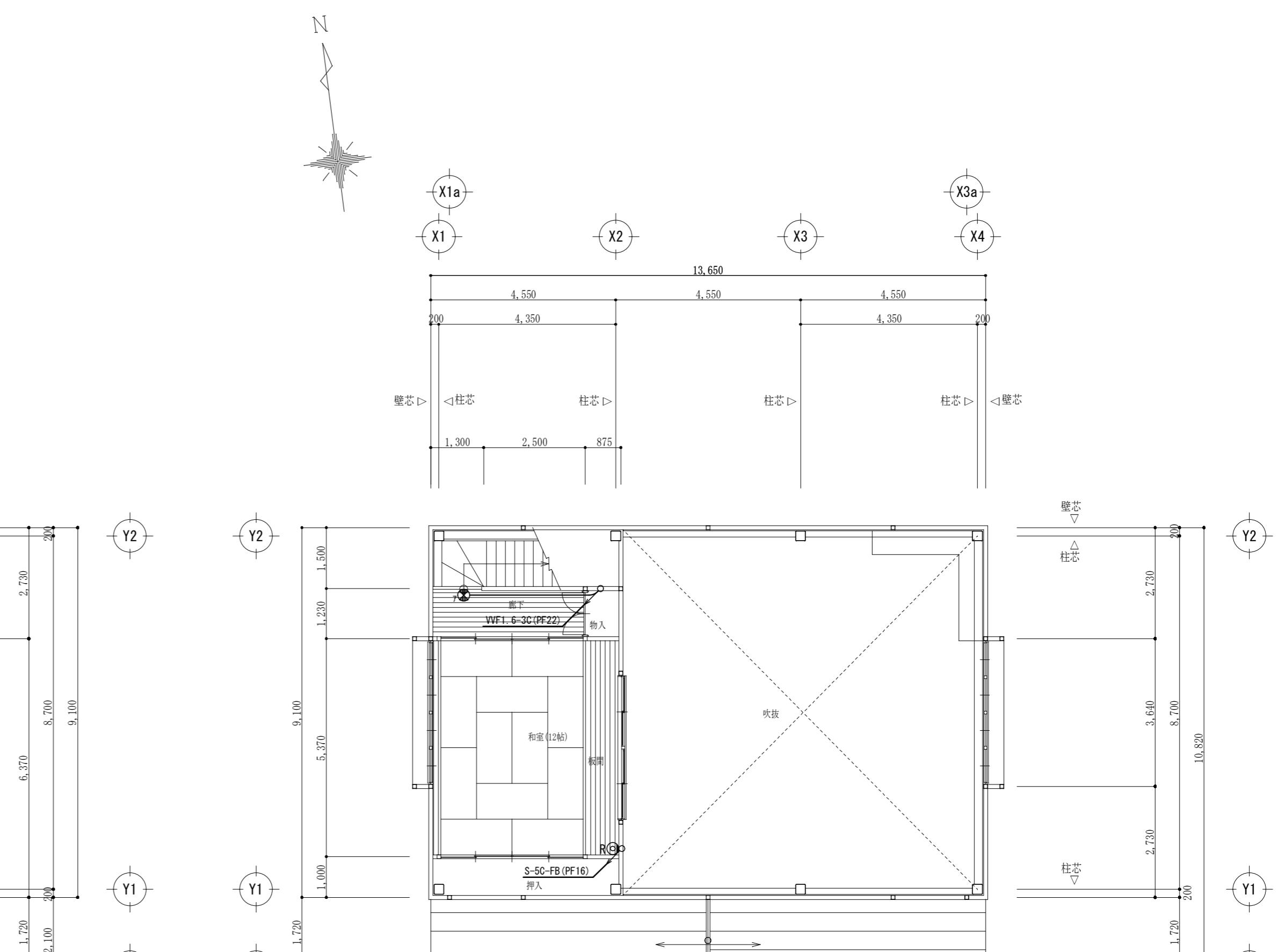
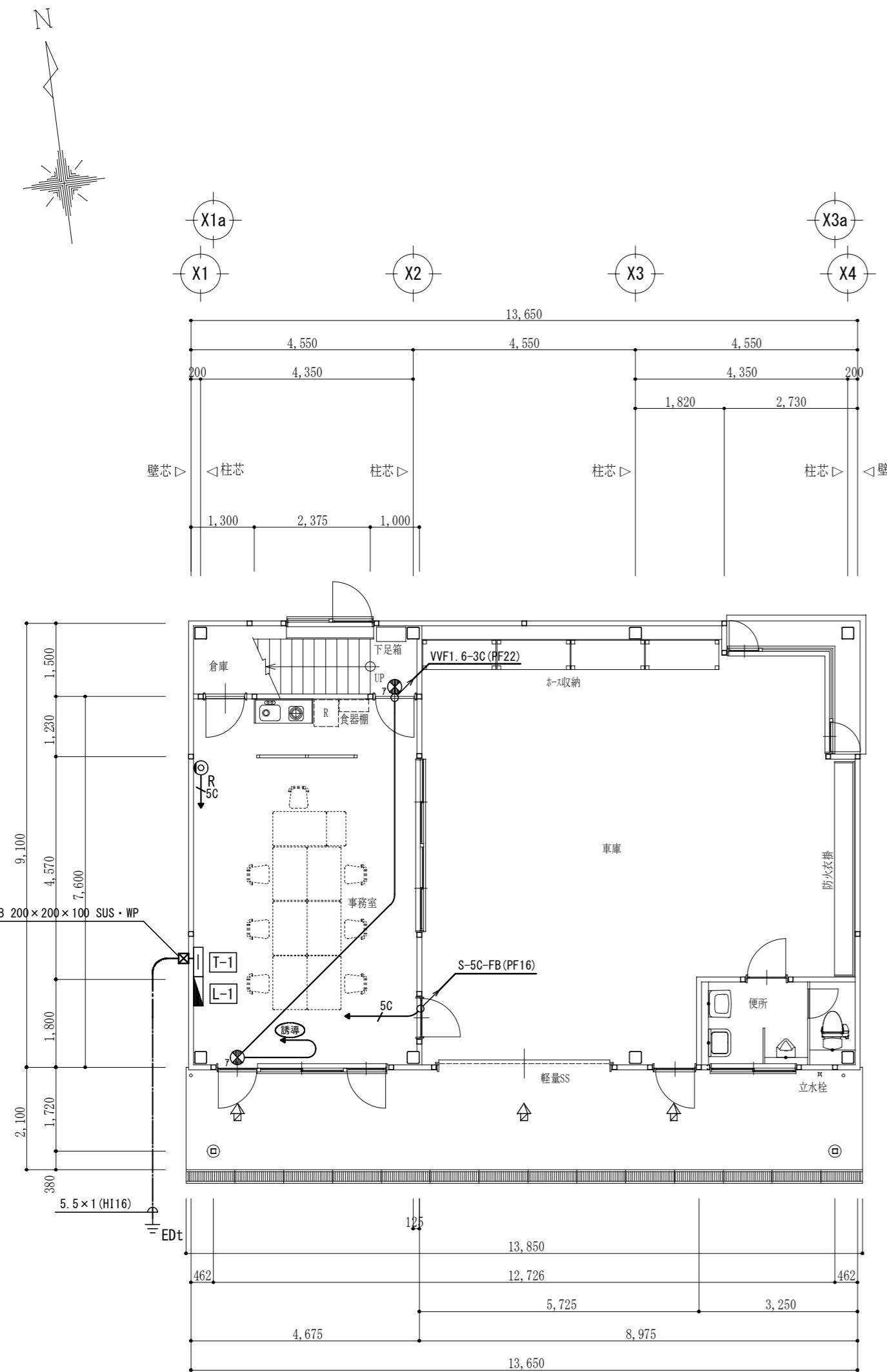
1階平面図 S=1/100



2階平面図 S=1/100

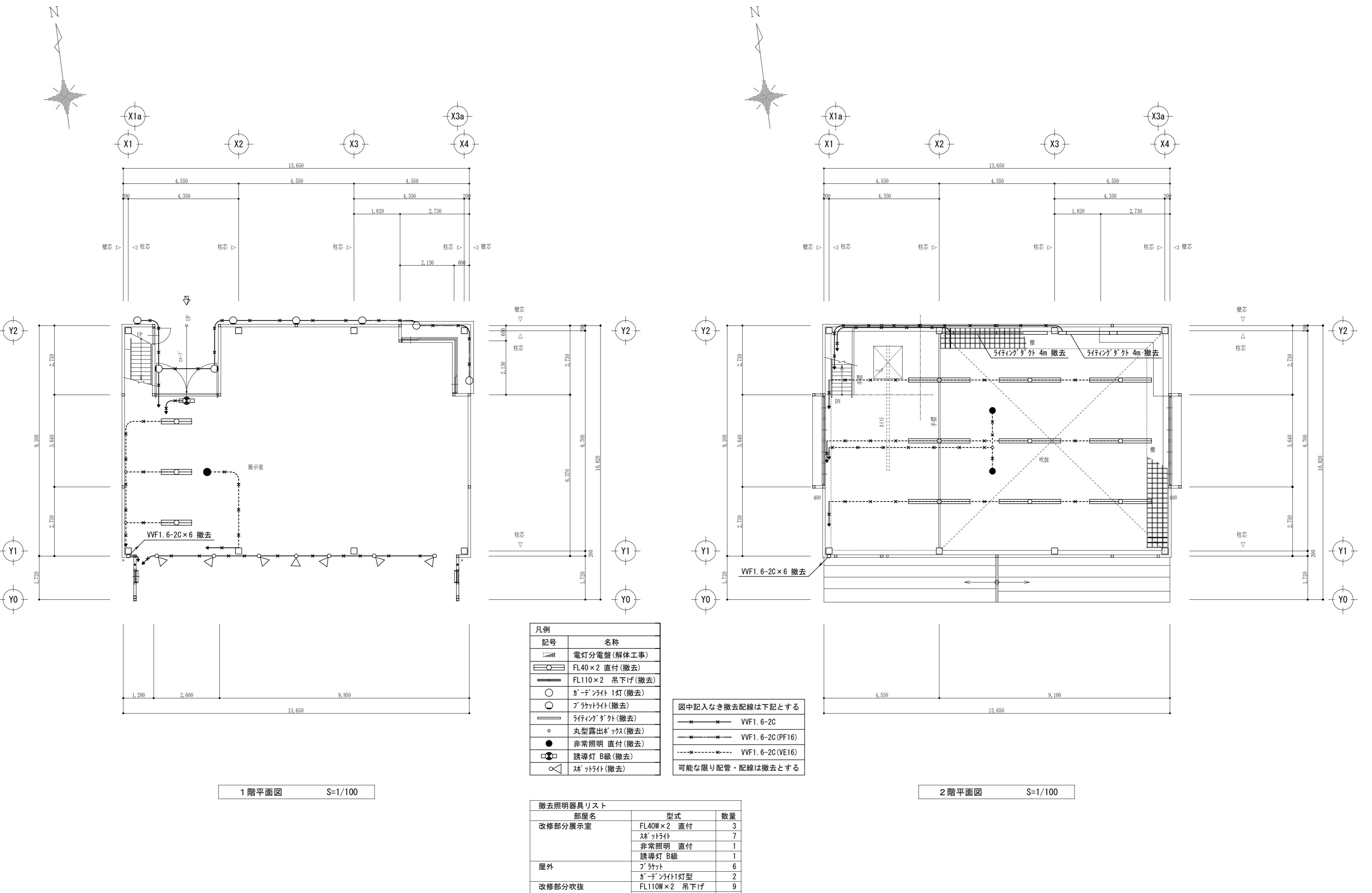
凡例	
記号	名称
■	電灯分電盤
□	端子盤
① EET	コンセント 2P15A×1E・ET
① 2	コンセント 2P15A×2
① 2E	コンセント 2P15A×2E
① 2ET	コンセント 2P15A×2ET
① 20A	コンセント 2P15A・20A兼用×1E・ET 200V用
① 2E	コロコン 2P15A×2E
① WP	防水コンセント 2P15A×2E・ET

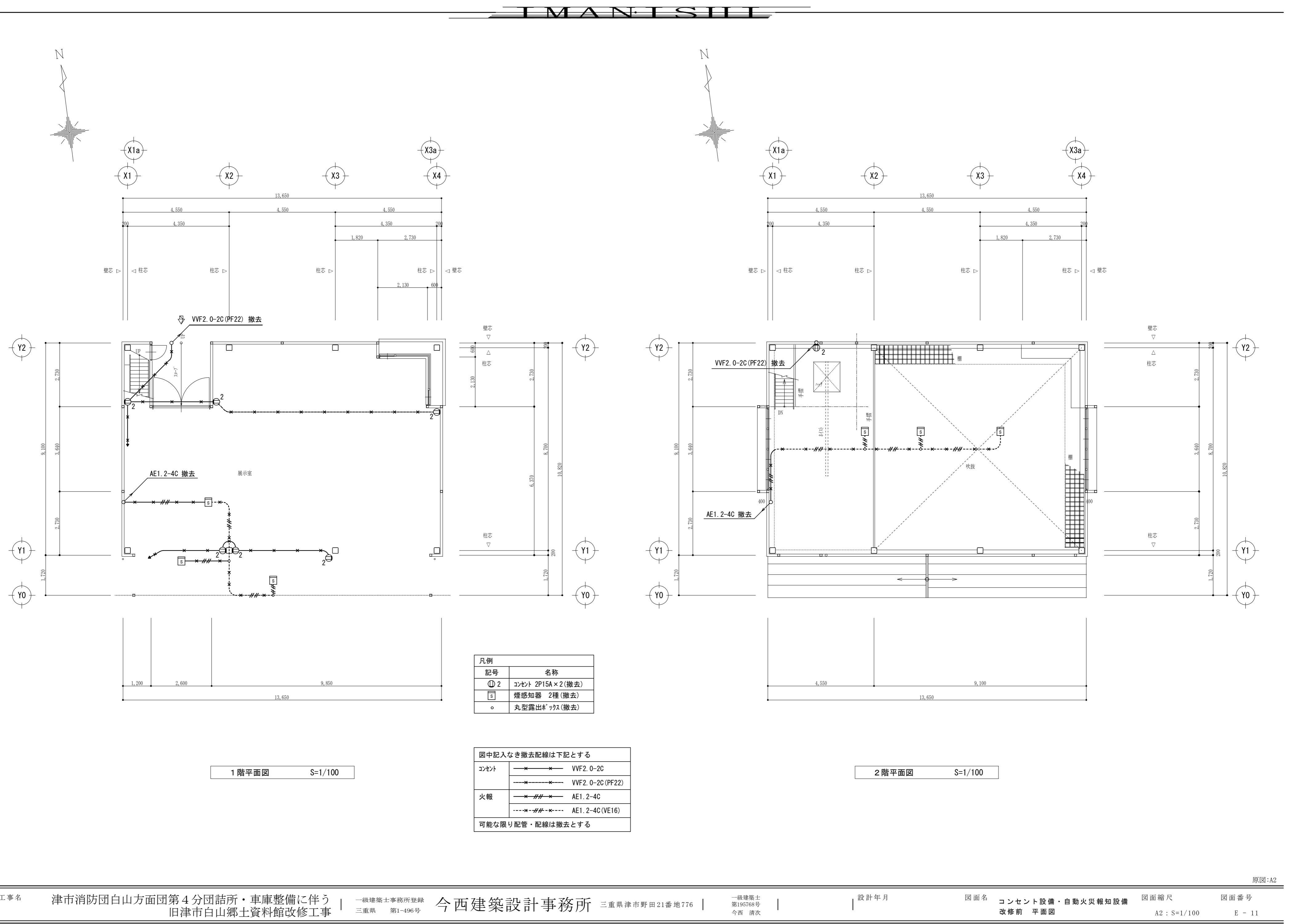
図中記入なき配線は下記とする		保護管
———	VVF2.0-3C	(PF22)
-----	2.0×2E2.0 (PF16)	
壁内配線はPF管にて保護とする		



凡例	
記号	名称
■	電灯分電盤
●	LED避難口誘導灯 片面 C級
□	端子盤
◎ R	直列ユニット 端末

図中記入なき配線は下記とする		保護管
誘導灯	VVF1.6-3C	(PF22)
テレビ	5C	S-5C-FB(PF16)
壁内配線はPF管にて保護とする		





機械設備工事特記仕様書				I M A N / S I I	
1 工事名称	津市消防団白山方面団第4分団詰所車庫改修その他工事	(11) 発生材の処理等 ■建築工事に準じる	(23) その他 ■ 使用機械	9 (1) 配管材料	部分的に配管種類を変更する場合は、図面内に明記すること。
2 工事場所	津市白山町中ノ村 地内	1) 引渡しを要するもの () 上記以外の引渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。	低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。	■ 給水管	■ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K116 (一般・SGP-VB 地中 : SGP-VD)
3 建築概要	消施令の適用	2) 特別管理産業廃棄物 () 処理方法 ()	特測機器の校正記録	□ フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 011 (一般: SGP-FVA, FVB 地中 : SGP-FVD)	
4 通用基準	国面上及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による 国土交通省大臣官房官房部監修 「公共建築工事標準仕様書(建築、電気、機械設備工事編) 平成28年版」 「公共建築改修工事標準仕様書(建築、電気、機械設備工事編) 平成28年版」 「公共建築設備工事標準仕様書(電気、機械設備工事編) 平成28年版」 「建築、電気、機械設備工事監理指針平成28年版」 独立行政法人 建築研究所監修 「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」 下記に該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、 ■印のついたものを適用する。	3) 現場内において再利用を図るもの □ 発生 □ その他 () □ 建設生木材 ()	工事で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。 測定に立ち使用する測定機器の検査済証(写し)又は校正記録(写し)を監督員に提出すること。	※ 繰ぎ手はコア内嵌型とする。 ※ 給水管100mは以上又はフランジ接合、125m以上はフランジ接合(工場加工)とする。	
5 一般事項	工事の詳細については、本記述図面及び仕様書による他、上記各通用基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。 設計図面に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び改善、設計図書とおりに施工することで将来不具合が発生する場合は、その都度、監督員と協議すること。なお設計図書とおりの施工であっても施工上の不具合が発生した場合は、監督員と協議の上、改善策を講じること。 他工事との取り合いであっても施工上の不具合が発生した場合は、監督員と協議の上、改善策を講じること。 他工事との取り合いであっても施工上の不具合が発生した場合は、監督員の指示により直ちに施工を行うこと。	4) 再資源化を図るもの () □ コンクリート塊 □ アスファルトコンクリート塊	5) 発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調査」を提出すること。また再利用を図るものについても調査を作成し、監督員に提出すること。	■ 水道用硬質塩化ビニル管 JIS K 6742 (一般・地中 : HVIP)	
		6) 引渡しを要しないもので、全く構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切処理し、監督員に報告すること。(※b1a, B2, D票を提示すること。)	6 工事種目 給排水衛生設備工事 ■ 屋内給水設備工事 ■ 屋外給水設備工事 ■ 屋内排水設備工事 ■ 屋外排水設備工事 ■ 衛生器具設備工事 ■ 消火設備工事 ■ 給湯設備工事 □ 屋外ガス設備工事 □ 室内ガス設備工事 □ 净化設備工事 □ 廚房機器設備	■ 離接管	□ 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) ※ 繰ぎ手はドネジ継ぎ又は、MD継ぎ手を使用 (地中 : コンクリート埋設は鉄食テープ重巻き)
		(12) 電気保安技術者 □ 適用する ■ 適用しない	7 工事概要 給排水衛生設備工事 (1) 給水設備工事 本工事は図示のごとくを工事範囲とし、直圧式により所要の各所に給水する。直圧部の弁類は、水道局規格品JIS 10Kを使用する。	■ 土間: 一般: 硬質ポリイミドビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) ■ 土間: リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125m以下はVP、150m以上はVUとする。 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741 (硬質塩化ビニル管VP) 又は JIS K 9798 (リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP) 規格品に難燃モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。	
		(13) 施工条件 監督員及び依頼部局と協議調整し決定すること。	(2) 屋外排水設備工事 本工事は汚水、雑排水を合流方式とし、敷地内最終樹に至る配管、樹を勾配に十分留意し敷設するものとする。 樹は公園型、現場打ちまたはプラスチック樹とする。	■ 通気管	□ 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) ※ 繰ぎ手はドネジ継ぎ又は、MD継ぎ手を使用 (地中 : コンクリート埋設は鉄食テープ重巻き)
		1) 施工可能日 □ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり ■ 指定なし	(3) 室内排水通気設備工事 本工事は汚水、雑排水を合流式により屋外樹に接続放流する。	■ 硬質ポリイミドビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125m以下はVP、150m以上はVUとする。 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741 (硬質塩化ビニル管VP) 又は JIS K 9798 (リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP) 規格品に難燃モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。	
		2) 施工可能時間帯 ■ 指定なし □ 指定あり (時 ~ 時)	(4) 衛生器具設備工事 衛生器具を所定の位置に附属金具により堅固に取り付けるものとし、陶器の色は監督員と協議の上決定する。	■ 汚水管	□ 排水・通気用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042 ※ 同上MD継ぎ手 JIS MUJ 002
		(14) 概工期 建築物等の使用を想定して総合試運転調整を行ううえで、関連工事を含めた各工事が支障のない状態まで完了していること。 ■ 指定なし □ 指定あり (平成 年 月 日)	(5) 開通設備工事 電気温水器による局部給湯方式とし、図示の各所に給湯する。	■ 土間: 一般: 硬質ポリイミドビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) ■ 土間: リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125m以下はVP、150m以上はVUとする。 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741 (硬質塩化ビニル管VP) 又は JIS K 9798 (リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP) 規格品に難燃モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。	
		(15) 仮設工事 構内既存の施設 ■ 建築工事に準じる	(6) 空調設備工事 (1) 機器設備工事 本工事は、ルームエアコンにより冷暖房をおこなうものとする。 各機器の据付・試運転調整を含めて機器設備工事とする。	□ 銅管	□ 排水・通気用銅管 SHASE-S203
		1) 便所 □ 利用できる □ 利用できない	(2) 空調設備工事に於ける外気、室内的温度条件 乾球温度°C 涼球温度°C 相対湿度%	■ 給湯管	■ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K 140 (一般 : SGP-HVA 地中 : WHPL 内外面耐熱性硬質塩ビライニング鋼管)
		2) 二工事用水 □ 利用できる(有償) □ 利用できる(無償) □ 利用できない	外気条件 夏期 34.5 27.3 57.6 冬期 1.7 -1.3 49.6	□ 水道用ステンレス鋼管 JIS G 115	□ 水道用硬質塩化ビニル管 JIS G 3448
		3) 三工事電力 □ 利用できる(有償) □ 利用できる(無償) □ 利用できない	室内条件 夏期 26 - 成行き 冬期 22 - 成行き	□ ガス管	□ 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) ※ 土間: 塩化ビニル被覆鋼管(黒)
		※ 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料 料は本工事に含まれる。	(2) 配管設備工事 各機器間のドレン、冷媒配管をおこなうものとし、配管の接続及び共振に十分留意の上施工する。	□ 消火管	□ 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) ※ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(白) WSP041 (SGP-VS) ※ 地中埋設管部は、取出し位置のGL面又はSL, FL面より+100立ち上げた所までとする。
		(16) 足場 ■ 建築工事に準じる	(3) 换気設備工事 換気扇の設置ならびに付帯ダクト設備を行うものとする。	■ 屋外埋設排水	■ 硬質ポリイミドビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125m以下はVP、150m以上はVUとする。
		1) 内部足場 □ 独立 □ 足場板	(4) 開通設備工事	■ 通気管	□ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125m以下はVP、150m以上はVUとする。
		2) 外部足場 □ A種 □ B種 □ C種 □ D種 □ E種 □ F種	(5) 開通設備工事	■ 汚水管	□ 排水・通気用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042 ※ 同上MD継ぎ手 JIS MUJ 002
		3) 防護シート等による要素 □ 適用する □ 適用しない	(6) 開通設備工事	■ 土間: 一般: 硬質ポリイミドビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) ■ 土間: リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125m以下はVP、150m以上はVUとする。	
		※ 設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月)により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中まん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の立て等に関する基準」の2の(2)手すり置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。	(7) 空調設備工事に於ける外気、室内的温度条件 乾球温度°C 涼球温度°C 相対湿度%	□ 銅管	□ 排水・通気用銅管 SHASE-S203
		(17) 建築材料等 1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図面に定める品質及び性能を有する新品とするほか別記記載の品質及び性能をこれと同等品以上とする。 品質が求められる水準以上であれば、市内生産品の優先使用に努めること。	外気条件 夏期 34.5 27.3 57.6 冬期 1.7 -1.3 49.6	■ 給湯管	■ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K 140 (一般 : SGP-HVA 地中 : WHPL 内外面耐熱性硬質塗ビライニング鋼管)
		2) 本工事に使用する建設資材の調達にあたっては、極力市内の取り扱い業者から購入するよう努めること。	室内条件 夏期 26 - 成行き 冬期 22 - 成行き	□ 水道用ステンレス鋼管 JIS G 115	□ 水道用硬質塩化ビニル管 JIS G 3448
		3) 下記製品を本工事に使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用すること。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。 (認定製品の品名:)	(1) 機器設備工事 本工事は、ルームエアコンにより冷暖房をおこなうものとする。 各機器の据付・試運転調整を含めて機器設備工事とする。	□ ガス管	□ 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) ※ 土間: 塩化ビニル被覆鋼管(黒)
		4) 下記製品を本工事に使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するよう努めること。 (認定製品の品名: ・間伐材製工事パリケード・間伐材工事看板・間伐材表示板 ())	(2) 配管設備工事 各機器間のドレン、冷媒配管をおこなうものとし、配管の接続及び共振に十分留意の上施工する。	□ 消火管	□ 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) ※ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(白) WSP041 (SGP-VS) ※ 地中埋設管部は、取出し位置のGL面又はSL, FL面より+100立ち上げた所までとする。
		(18) 建設資産 1) 請負額1億円以上の工事について、再生資源の利用又は建設副産物の撤出がある場合、受注者は工事の着手にて「再生資源利用計画書」(建設資材を投入する場合)及び「再生資源利用促進計画書」(建設副産物を撤出する場合)に記載し、監督員に提出する。 また、工事が変遷又は完了した場合は、「再生資源利用実施書」(建設副産物を撤出した場合)及び「再生資源利用促進実施書」(建設副産物を撤出した場合)を作成し、監督員に提出する。 なお、計画書及び実施書の提出とともにJACCIが運営する「建設副産物情報交換システム」へのデータ入力も併せて行う。	(3) 换気設備工事 換気扇の設置ならびに付帯ダクト設備を行うものとする。	■ 屋外埋設排水	■ 硬質ポリイミドビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9797 (RS-VU) ※ 125m以下はVP、150m以上はVUとする。
		2) 防火対象物使用開始届出書 書類の作成(機械設備図面の作成及び機械設備に関する部分の記入)を行うこと。	(4) 開通設備工事	□ コンクリート管 JIS A 5372 (プレキャスト鉄筋コンクリート製品) (類水路用強心力鉄筋コンクリート管)	
		(4) 品質管理 工事施工に関して、着手前、施工途中、施工後の自主検査を実施すること。 チェックリスト等を作成し、管理を行うこと。	(5) 開通設備工事	□ 冷温水配管	□ 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) ※ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K 140 (一般 : SGP-HWA 地中 : WHPL)
		(5) 出来形管理 以下の項目について、出来形管理の対象として管理を行うこと。 1) 各種機器据付 ・耐震強度 (設計標準震度、アンカーの種類・サイズ確認・埋め込み深さ) ・基礎寸法	(6) 開通設備工事	□ 冷却水管	□ 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K 116 (一般 : SGP-VA, VB)
		2) 配管・ダクト工事 ・支持間隔	(7) 開通設備工事	■ ドレン管	□ 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) ■ 硬質ポリイミドビニル管 JIS K 6741 (VP・VU)
		3) 屋外排水工事 ・排水勾配	(8) その他の取扱い 本工事に伴う、既存設備の軽微な加工・改造は、本工事とする。 また、工事施工に際し、既存部分を汚損・破損等しないよう養生を行うこと。なお汚損・破損等した場合は、機能・仕上げ共、既設にならない復旧すること。	□ 保冷用付硬質ポリ塩化ビニル管	□ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125m以下はVP、150m以上はVUとする。
		4) 水栓・リモコンスイッチの取扱高さ	(9) 事故の発生時 工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員へ通报するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員へ提出すること。 なお、事故発生後の措置について、監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。	□ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 011 (一般 : SGP-FVA, FVB)	□ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125m以下はVP、150m以上はVUとする。
		(6) 製品確認 発注者、受注者において仕様を決定し、製作するような規格品ではない製品については、試験・検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員が製品の確認を行うものとする。 □ 適用する ■ 適用しない	(10) 総合調整 (1) 亂風調整 □ 適用する ■ 適用しない	■ 冷媒管	□ 鋼管及ブロンズ管無管 硬質、軟質または半硬質 JIS H3300 ■ 断熱材被覆鋼管 原管はJIS H3300による。製造者標準品 ただし、保温厚さ: ガス管 20mm、液管 10mm(液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは8mmとしてよい)とする。 ※ 冷媒鋼管の呼び径は、冷媒規格基準の規定による。
		(7) 耐震安全性の分類 構造体 () 類 建築非構造部材 () 類 建築設備 () 類	(2) 水量調整 □ 適用する ■ 適用しない	□ 油管	□ 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 溶接接合
		(8) 機器の地震力 (主要機器) □ 図示による 機器名	(3) 室内外空気の温度測定 □ 適用する ■ 適用しない	□ 蒸気管	□ 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 溶接接合
		設置階 () 設計標準震度Ks () 地域係数 (1.0)	(4) 室内外空気の湿度測定 □ 適用する ■ 適用しない	□ フライン管	□ 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 溶接接合
		木槽類 設置階 () 設計標準震度Ks () 地域係数 (1.0)	(5) 室内気流及びじんいの測定 □ 適用する ■ 適用しない		

MANUAL																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
<p>※ 横走り管の吊り間隔</p> <table border="1"> <tr> <td>銅管</td><td>100A以下</td><td>2m 以下</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>125A以上</td><td>3m 以下</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>※ ビニル管 耐火二層管 銅管</p> <table border="1"> <tr> <td>80A以下</td><td>—</td><td>1m 以下</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>100A以上</td><td>—</td><td>2m 以下</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>鉛管</p> <table border="1"> <tr> <td>—</td><td>—</td><td>1.5m 以下</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>錫鉄管</p> <table border="1"> <tr> <td>—</td><td>—</td><td>標準図による</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔</p> <table border="1"> <tr> <td>支持間隔</td><td>6m 以下</td><td>8m 以下</td><td>12m 以下</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>銅管</td><td>—</td><td>50A~100A</td><td>125A~</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>錫鉄管</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>ビニル管 耐火二層管 銅管</td><td>25A~40A</td><td>50A~100A</td><td>125A~</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>※ 冷媒用銅管の横走り管の支持間隔 基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m 以下 基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m 以下 形鋼振れ止め支持間隔は、銅管に準ずる。</p> <p>(2) ダクト工事 ダクト <input type="checkbox"/> 垂鉄板 JIS G 3302 (SGCC, SGCA) 鎌金付着Z18以上 <input type="checkbox"/> ステンレス鋼板 JIS 64305 工法 <input type="checkbox"/> アングルフランジ工法 <input type="checkbox"/> 共板フランジ工法 <input type="checkbox"/> スライドオノンフランジ工法 形鋼補強 <input type="checkbox"/> 山形鋼 JIS G 3101 <input type="checkbox"/> SUS鋼材 JIS G 4317 丸ダクト <input type="checkbox"/> スパイラルダクト <input type="checkbox"/> 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-VU)</p> <p>(3) 保温塗装工事 1) 材料 部分的に材質を変更する場合は、図面内に明記すること。 <input checked="" type="checkbox"/> ガラスウール保溫材 保溫筒 JIS A 9504 2号 40K (屋内一般等) 保溫板、保溫帶 JIS A 9504 2号 40K <input checked="" type="checkbox"/> 給水管 <input type="checkbox"/> 排水管 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯管 <input type="checkbox"/> 温水管 <input type="checkbox"/> 蒸気管 <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 <input type="checkbox"/> 冷媒管 (屋外等) <input type="checkbox"/> 給湯管 <input type="checkbox"/> 温水管 <input type="checkbox"/> 蒸気管 <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 <input type="checkbox"/> 冷媒管 <input type="checkbox"/> — <input type="checkbox"/> — <input type="checkbox"/> ロックウール保溫材 保溫板、保溫帶、プランケット (防火区画通部等) 1号JIS A 9504 <input type="checkbox"/> 給水管 <input type="checkbox"/> 排水管 <input type="checkbox"/> 給湯管 <input type="checkbox"/> 温水管 <input type="checkbox"/> 蒸気管 <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 <input type="checkbox"/> 冷媒管 <input type="checkbox"/> 消火管 <input type="checkbox"/> ポリスチレンフォーム保溫材 保溫筒 JIS A 9511 3号 (屋内一般等) 保溫板 JIS A 9511 3号 <input type="checkbox"/> 給水管 <input type="checkbox"/> 排水管 <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 <input type="checkbox"/> 冷水管 (2~4°C) <input type="checkbox"/> ブライン管 <input type="checkbox"/> — <input type="checkbox"/> — (屋外等) <input type="checkbox"/> 給水管 <input type="checkbox"/> 排水管 <input type="checkbox"/> 給湯管 <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 <input type="checkbox"/> ブライン管 <input type="checkbox"/> 消火管 <input type="checkbox"/> — <input type="checkbox"/> 調合ペイント塗料 JIS K 5516 (合成樹脂調合ペイント) 1種 (露出) <input type="checkbox"/> 給水管 <input type="checkbox"/> 排水管 <input type="checkbox"/> 通気管 <input type="checkbox"/> ドレン管 <input type="checkbox"/> ガス管 <input type="checkbox"/> 消火管 <input type="checkbox"/> 油管 <input type="checkbox"/> 冷却水管 2) 保温厚 <ul style="list-style-type: none"> グラスウール、ロックウール <table border="1"> <tr> <td>保温厚 (mm)</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>40</td><td>50</td></tr> <tr> <td>給水・排水・ドレン・給湯</td><td>~80A</td><td>100~150A</td><td>—</td><td>200A~</td><td>—</td></tr> <tr> <td>膨張・温水・消火管</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr> <td>蒸気管</td><td>~25A</td><td>—</td><td>32~50A</td><td>65A~</td><td>—</td></tr> <tr> <td>冷水・冷温水・冷媒管</td><td>—</td><td>—</td><td>~25A</td><td>32~200A</td><td>250A~</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ポリスチレンフォーム <table border="1"> <tr> <td>保温厚 (mm)</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>40</td><td>50</td><td>65</td></tr> <tr> <td>給水・消火・排水管</td><td>~80A</td><td>100A~</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr> <td>冷水・冷温水管</td><td>—</td><td>—</td><td>~25A</td><td>32~200A</td><td>250A~</td><td>—</td></tr> <tr> <td>冷水管 (冷水温度2~4°C)</td><td>—</td><td>—</td><td>~20A</td><td>25A~100A</td><td>125A~</td><td>—</td></tr> <tr> <td>ブライン管</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>~25A</td><td>32~80A</td><td>100A~</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 機器ダクト保溫厚 <table border="1"> <tr> <td>保温厚</td><td>25mm</td><td>ダクト (屋内露出 [機械室、書庫、倉庫]、隠蔽部)、消音チャンバー・エルボ 膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)</td></tr> <tr> <td></td><td>50mm</td><td>ダクト (屋内露出 [一般居室、廊下])、サプライチャンバー、貯湯タンク類 冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー 排氣前隠蔽部 (ロックウール)</td></tr> <tr> <td></td><td>75mm</td><td>煙導 (ロックウール)</td></tr> </table> </p>	銅管	100A以下	2m 以下					125A以上	3m 以下				80A以下	—	1m 以下				100A以上	—	2m 以下				—	—	1.5m 以下				—	—	標準図による				支持間隔	6m 以下	8m 以下	12m 以下			銅管	—	50A~100A	125A~			錫鉄管	—	—	—			ビニル管 耐火二層管 銅管	25A~40A	50A~100A	125A~			保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	給水・排水・ドレン・給湯	~80A	100~150A	—	200A~	—	膨張・温水・消火管	—	—	—	—	—	蒸気管	~25A	—	32~50A	65A~	—	冷水・冷温水・冷媒管	—	—	~25A	32~200A	250A~	保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	65	給水・消火・排水管	~80A	100A~	—	—	—	—	冷水・冷温水管	—	—	~25A	32~200A	250A~	—	冷水管 (冷水温度2~4°C)	—	—	~20A	25A~100A	125A~	—	ブライン管	—	—	—	~25A	32~80A	100A~	保温厚	25mm	ダクト (屋内露出 [機械室、書庫、倉庫]、隠蔽部)、消音チャンバー・エルボ 膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)		50mm	ダクト (屋内露出 [一般居室、廊下])、サプライチャンバー、貯湯タンク類 冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー 排氣前隠蔽部 (ロックウール)		75mm	煙導 (ロックウール)	<p>3) 種別 給排水衛生設備配管の保溫仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋内露出</td><td>保溫筒</td><td>鉄線</td><td>合成樹脂カバー</td><td>アルミガラスコロス仕上</td></tr> <tr> <td>機械室・書庫・倉庫</td><td>保溫筒</td><td>鉄線</td><td>原紙</td><td>アルミガラスコロス仕上</td></tr> <tr> <td>天井内・P.S内</td><td>保溫筒</td><td>鉄線</td><td>ポリエチレンテープ</td><td>アルミガラスコロス仕上</td></tr> <tr> <td>暗渠内 (ビット内)</td><td>保溫筒</td><td>鉄線</td><td>ポリエチレンフィルム</td><td>着色アルミガラスコロス仕上</td></tr> <tr> <td>屋外露出</td><td>保溫筒</td><td>鉄線</td><td>ポリエチレンフィルム</td><td>SUS鋼板仕上</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 1) 排水管について、上表暗渠内 (ビット内) の仕様を防音テープ巻きに読み替える。 ※ 2) サケ管工法、架橋ボリエチレン、ボリブデン管使用の場合は、上表保温不要。 ※ 3) 消火管の外部露出のは保温を行なう。</p> <p>空調設備配管の保溫仕様 (R、G保温材の仕様のみ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋内露出</td><td>保溫筒</td><td>鉄線</td><td>合成樹脂カバー</td><td>ポリエチレンフィルム</td><td>アルミガラスコロス仕上</td></tr> <tr> <td>機械室・書庫・倉庫</td><td>保溫筒</td><td>鉄線</td><td>原紙</td><td>アルミガラスコロス仕上</td><td>アルミガラスコロス仕上</td></tr> <tr> <td>天井内・P.S内</td><td>保溫筒</td><td>鉄線</td><td>ポリエチレンフィルム</td><td>アルミガラスコロス仕上</td><td>アルミガラスコロス仕上</td></tr> <tr> <td>暗渠内 (ビット内)</td><td>保溫筒</td><td>鉄線</td><td>ポリエチレンフィルム</td><td>着色アルミガラスコロス仕上</td><td>着色アルミガラスコロス仕上</td></tr> <tr> <td>屋外露出</td><td>保溫筒</td><td>鉄線</td><td>ポリエチレンフィルム</td><td>ポリエチレンフィルム</td><td>SUS鋼板仕上</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別 <input type="checkbox"/> 保温化粧ケース仕上 ■ ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上 (屋外露出部分)</p> <p>機器保溫仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>冷水・冷温水タンク</td><td>紙</td><td>保溫板</td><td>ポリエチレン フィルム</td><td>鉄線</td><td>SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)</td></tr> <tr> <td>鋼板製タンク</td><td>紙</td><td>保溫板</td><td>ポリエチレン フィルム</td><td>鉄線</td><td>SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)</td></tr> <tr> <td>冷水・冷温水ヘッダー</td><td>紙</td><td>保溫板</td><td>鉄線</td><td>SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)</td><td>SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)</td></tr> <tr> <td>温水・膨張・遠水</td><td>紙</td><td>保溫板</td><td>鉄線</td><td>SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)</td><td>SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)</td></tr> <tr> <td>貯湯タンク</td><td>紙</td><td>保溫板</td><td>鉄線</td><td>SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)</td><td>SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)</td></tr> <tr> <td>温水・蒸気ヘッダー</td><td>紙</td><td>保溫板</td><td>鉄線</td><td>SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)</td><td>SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)</td></tr> <tr> <td>熱交換器</td><td>紙</td><td>保溫板</td><td>鉄線</td><td>SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)</td><td>SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要</p> <p>ダクト・チャンバー・煙道 保温仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長方</td><td>屋内露出</td><td>一般・廊下</td><td>紙</td><td>後保溫板</td><td>カラー鉄板</td></tr> <tr> <td>形ダクト</td><td>機械室</td><td>紙</td><td>アルミガラスコロス仕様保溫板</td><td>アルミガラスコロス仕様保溫板</td><td>アルミガラスコロス仕様保溫板</td></tr> <tr> <td></td><td>屋内隠蔽、D.S内</td><td>紙</td><td>アルミガラスコロス仕様保溫板</td><td>アルミガラスコロス仕様保溫板</td><td>アルミガラスコロス仕様保溫板</td></tr> <tr> <td></td><td>屋外露出、多湿箇所</td><td>紙</td><td>保溫板</td><td>ポリエチレンフィルム</td><td>鉄線</td></tr> <tr> <td>スパイラル</td><td>一般・廊下</td><td>保溫板</td><td>鉄線</td><td>保溫板</td><td>カラー鉄板</td></tr> <tr> <td>ルダクト</td><td>機械室</td><td>紙</td><td>アルミガラスコロス仕様保溫板</td><td>アルミガラスコロス仕様保溫板</td><td>アルミガラスコロス仕様保溫板</td></tr> <tr> <td></td><td>屋内隠蔽、多湿箇所</td><td>紙</td><td>アルミガラスコロス仕様保溫板</td><td>アルミガラスコロス仕様保溫板</td><td>アルミガラスコロス仕様保溫板</td></tr> <tr> <td></td><td>屋外露出、多湿箇所</td><td>紙</td><td>保溫板</td><td>ポリエチレンフィルム</td><td>鉄線</td></tr> <tr> <td>サプライ</td><td>一般・廊下</td><td>保溫板</td><td>鉄線</td><td>保溫板</td><td>カラー鉄板</td></tr> <tr> <td>チャンバー</td><td>機械室</td><td>紙</td><td>アルミガラスコロス仕様保溫板</td><td>アルミガラスコロス仕様保溫板</td><td>アルミガラスコロス仕様保溫板</td></tr> <tr> <td>消音チャンバー、エルボ</td><td>紙</td><td>保溫板</td><td>鉄線</td><td>保溫板</td><td>カラー鉄板</td></tr> <tr> <td>排煙ダクト・長方形</td><td>屋内隠蔽</td><td>紙</td><td>アルミガラスコロス仕様保溫板</td><td>アルミガラスコロス仕様保溫板</td><td>アルミガラスコロス仕様保溫板</td></tr> <tr> <td>排煙ダクト・円形</td><td>屋内隠蔽</td><td>紙</td><td>アルミガラスコロス仕様保溫板</td><td>アルミガラスコロス仕様保溫板</td><td>アルミガラスコロス仕様保溫板</td></tr> <tr> <td>煙道</td><td>紙</td><td>保溫板</td><td>鉄線</td><td>保溫板</td><td>カラー鉄板</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帶、1号を用いる。 ※ 2) 煙道ランケットは、JIS G 3554 (亜甲金網) による亜鉛鍍金を施した網目16径0.55 による防錆処理を施した平ガス等で外側補強したものを用いる。 ※ 3) 亜甲金網は、JIS H 3260 網目10、線径0.5</p> <p>配管用炭素鋼鋼管の塗装仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機種</th><th rowspan="2">状態</th><th rowspan="2">塗料の種別</th><th colspan="3">塗り回数</th><th rowspan="2">備考</th></tr> <tr> <th>下塗り</th><th>中塗り</th><th>上塗り</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>白管</td><td>露出</td><td>調合ペイント</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>下塗りはさび止めペイント</td></tr> <tr> <td>黒管</td><td>露出</td><td>調合ペイント</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>下塗りはさび止めペイント</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。</p> <p>4) 施工 ダクト保温施工範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. S.A <input type="checkbox"/> 保温あり <input type="checkbox"/> 保温なし <input type="checkbox"/> 口囲面による <input type="checkbox"/> 口その他 () 2. E.A <input type="checkbox"/> 保温あり <input type="checkbox"/> 保温なし <input type="checkbox"/> 口囲面による <input type="checkbox"/> 口その他 () 3. R.A <input type="checkbox"/> 保温あり <input type="checkbox"/> 保温なし <input type="checkbox"/> 口囲面による <input type="checkbox"/> 口その他 () 4. O.A <input type="checkbox"/> 保温あり <input type="checkbox"/> 保温なし <input type="checkbox"/> 口囲面による <input type="checkbox"/> 口その他 () チャシバ内貼施工 <input type="checkbox"/> 内貼あり (mm) <input type="checkbox"/> 口内貼なし <input type="checkbox"/> 口囲面による <input type="checkbox"/> 口その他 () <p>(4) スリーブ工事 1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径 (保温されるものは、保温厚さを含む) より40mm程度大 (2寸4分IP) なるものとする。 管抜きスリーブは、木栓又は鋼板 (実管ダクト) とする。 2. 中部部分のスリーブは、塩化ビニル管 (U) とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。 3. その他のスリーブは、特記なき限り、紙ボイドとする。紙ボイド使用の際は、配管前に必ず撤去のこと。</p>		1	2	3	4	屋内露出	保溫筒	鉄線	合成樹脂カバー	アルミガラスコロス仕上	機械室・書庫・倉庫	保溫筒	鉄線	原紙	アルミガラスコロス仕上	天井内・P.S内	保溫筒	鉄線	ポリエチレンテープ	アルミガラスコロス仕上	暗渠内 (ビット内)	保溫筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色アルミガラスコロス仕上	屋外露出	保溫筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上		1	2	3	4	5	屋内露出	保溫筒	鉄線	合成樹脂カバー	ポリエチレンフィルム	アルミガラスコロス仕上	機械室・書庫・倉庫	保溫筒	鉄線	原紙	アルミガラスコロス仕上	アルミガラスコロス仕上	天井内・P.S内	保溫筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	アルミガラスコロス仕上	アルミガラスコロス仕上	暗渠内 (ビット内)	保溫筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色アルミガラスコロス仕上	着色アルミガラスコロス仕上	屋外露出	保溫筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上		1	2	3	4	5	冷水・冷温水タンク	紙	保溫板	ポリエチレン フィルム	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)	鋼板製タンク	紙	保溫板	ポリエチレン フィルム	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)	冷水・冷温水ヘッダー	紙	保溫板	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)	SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)	温水・膨張・遠水	紙	保溫板	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)	SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)	貯湯タンク	紙	保溫板	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)	SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)	温水・蒸気ヘッダー	紙	保溫板	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)	SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)	熱交換器	紙	保溫板	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)	SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)		1	2	3	4	5	長方	屋内露出	一般・廊下	紙	後保溫板	カラー鉄板	形ダクト	機械室	紙	アルミガラスコロス仕様保溫板	アルミガラスコロス仕様保溫板	アルミガラスコロス仕様保溫板		屋内隠蔽、D.S内	紙	アルミガラスコロス仕様保溫板	アルミガラスコロス仕様保溫板	アルミガラスコロス仕様保溫板		屋外露出、多湿箇所	紙	保溫板	ポリエチレンフィルム	鉄線	スパイラル	一般・廊下	保溫板	鉄線	保溫板	カラー鉄板	ルダクト	機械室	紙	アルミガラスコロス仕様保溫板	アルミガラスコロス仕様保溫板	アルミガラスコロス仕様保溫板		屋内隠蔽、多湿箇所	紙	アルミガラスコロス仕様保溫板	アルミガラスコロス仕様保溫板	アルミガラスコロス仕様保溫板		屋外露出、多湿箇所	紙	保溫板	ポリエチレンフィルム	鉄線	サプライ	一般・廊下	保溫板	鉄線	保溫板	カラー鉄板	チャンバー	機械室	紙	アルミガラスコロス仕様保溫板	アルミガラスコロス仕様保溫板	アルミガラスコロス仕様保溫板	消音チャンバー、エルボ	紙	保溫板	鉄線	保溫板	カラー鉄板	排煙ダクト・長方形	屋内隠蔽	紙	アルミガラスコロス仕様保溫板	アルミガラスコロス仕様保溫板	アルミガラスコロス仕様保溫板	排煙ダクト・円形	屋内隠蔽	紙	アルミガラスコロス仕様保溫板	アルミガラスコロス仕様保溫板	アルミガラスコロス仕様保溫板	煙道	紙	保溫板	鉄線	保溫板	カラー鉄板	機種	状態	塗料の種別	塗り回数			備考	下塗り	中塗り	上塗り	白管	露出	調合ペイント	1	1	1	下塗りはさび止めペイント	黒管	露出	調合ペイント	2	1	1	下塗りはさび止めペイント	<p>共通事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 陸上ポンプ、送排風機 (エアハンドル) の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。 系統が分かれるように、必要箇所 (機械室、P.S内等) に文字書き・矢印記入・バルブ取付を行ふこと。手書きもしくはカッティングシートとする。 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカーエッジの類とする。使用アンカーアンカーボルトは、機器仕様書等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカーワークを使用する場合、ケミカルアンカーアンカーボルトを使用し施工すること。 機器、配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振、消音については、標準仕様書、標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。 雨がかり部に取り付けるガラリのチャンバーには、水抜きを設けること。 屋外埋設管 (給水、消火、ガス) には、埋設シートを敷設し、曲がり・分歧部には、地中埋設管を施工すること。 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。 冷媒管等の防火区画通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。 <ul style="list-style-type: none"> 管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をもたせる。 接続箇所は必要に応じコンクリートで保護する。 土間配管は、土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。 呼び径100mm以下はM10、125A~250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒鋼を使用する。 屋外露出及び多湿箇所 (トレーンビット等) の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ上げとすること。 屋外設置のマンホール類には用途名を入れること。 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊座の取り付けを行ふこと。 送風機用ベルトカバーには点検口を設けること。 建設発生土は場外自由処分とすること。 			
銅管	100A以下	2m 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	125A以上	3m 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
80A以下	—	1m 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
100A以上	—	2m 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
—	—	1.5m 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
—	—	標準図による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
支持間隔	6m 以下	8m 以下	12m 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
銅管	—	50A~100A	125A~																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
錫鉄管	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
ビニル管 耐火二層管 銅管	25A~40A	50A~100A	125A~																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
保温厚 (mm)	20	25	30	40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
給水・排水・ドレン・給湯	~80A	100~150A	—	200A~	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
膨張・温水・消火管	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
蒸気管	~25A	—	32~50A	65A~	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
冷水・冷温水・冷媒管	—	—	~25A	32~200A	250A~																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	65																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
給水・消火・排水管	~80A	100A~	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
冷水・冷温水管	—	—	~25A	32~200A	250A~	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
冷水管 (冷水温度2~4°C)	—	—	~20A	25A~100A	125A~	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
ブライン管	—	—	—	~25A	32~80A	100A~																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
保温厚	25mm	ダクト (屋内露出 [機械室、書庫、倉庫]、隠蔽部)、消音チャンバー・エルボ 膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	50mm	ダクト (屋内露出 [一般居室、廊下])、サプライチャンバー、貯湯タンク類 冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー 排氣前隠蔽部 (ロックウール)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	75mm	煙導 (ロックウール)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	1	2	3	4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
屋内露出	保溫筒	鉄線	合成樹脂カバー	アルミガラスコロス仕上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
機械室・書庫・倉庫	保溫筒	鉄線	原紙	アルミガラスコロス仕上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
天井内・P.S内	保溫筒	鉄線	ポリエチレンテープ	アルミガラスコロス仕上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
暗渠内 (ビット内)	保溫筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色アルミガラスコロス仕上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
屋外露出	保溫筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	1	2	3	4	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
屋内露出	保溫筒	鉄線	合成樹脂カバー	ポリエチレンフィルム	アルミガラスコロス仕上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
機械室・書庫・倉庫	保溫筒	鉄線	原紙	アルミガラスコロス仕上	アルミガラスコロス仕上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
天井内・P.S内	保溫筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	アルミガラスコロス仕上	アルミガラスコロス仕上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
暗渠内 (ビット内)	保溫筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色アルミガラスコロス仕上	着色アルミガラスコロス仕上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
屋外露出	保溫筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	1	2	3	4	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
冷水・冷温水タンク	紙	保溫板	ポリエチレン フィルム	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
鋼板製タンク	紙	保溫板	ポリエチレン フィルム	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
冷水・冷温水ヘッダー	紙	保溫板	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)	SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
温水・膨張・遠水	紙	保溫板	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)	SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
貯湯タンク	紙	保溫板	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)	SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
温水・蒸気ヘッダー	紙	保溫板	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)	SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
熱交換器	紙	保溫板	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)	SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	1	2	3	4	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
長方	屋内露出	一般・廊下	紙	後保溫板	カラー鉄板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
形ダクト	機械室	紙	アルミガラスコロス仕様保溫板	アルミガラスコロス仕様保溫板	アルミガラスコロス仕様保溫板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	屋内隠蔽、D.S内	紙	アルミガラスコロス仕様保溫板	アルミガラスコロス仕様保溫板	アルミガラスコロス仕様保溫板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	屋外露出、多湿箇所	紙	保溫板	ポリエチレンフィルム	鉄線																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
スパイラル	一般・廊下	保溫板	鉄線	保溫板	カラー鉄板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
ルダクト	機械室	紙	アルミガラスコロス仕様保溫板	アルミガラスコロス仕様保溫板	アルミガラスコロス仕様保溫板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	屋内隠蔽、多湿箇所	紙	アルミガラスコロス仕様保溫板	アルミガラスコロス仕様保溫板	アルミガラスコロス仕様保溫板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	屋外露出、多湿箇所	紙	保溫板	ポリエチレンフィルム	鉄線																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
サプライ	一般・廊下	保溫板	鉄線	保溫板	カラー鉄板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
チャンバー	機械室	紙	アルミガラスコロス仕様保溫板	アルミガラスコロス仕様保溫板	アルミガラスコロス仕様保溫板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
消音チャンバー、エルボ	紙	保溫板	鉄線	保溫板	カラー鉄板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
排煙ダクト・長方形	屋内隠蔽	紙	アルミガラスコロス仕様保溫板	アルミガラスコロス仕様保溫板	アルミガラスコロス仕様保溫板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
排煙ダクト・円形	屋内隠蔽	紙	アルミガラスコロス仕様保溫板	アルミガラスコロス仕様保溫板	アルミガラスコロス仕様保溫板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
煙道	紙	保溫板	鉄線	保溫板	カラー鉄板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
機種	状態	塗料の種別	塗り回数			備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			下塗り	中塗り	上塗り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
白管	露出	調合ペイント	1	1	1	下塗りはさび止めペイント																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
黒管	露出	調合ペイント	2	1	1	下塗りはさび止めペイント																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

衛生設備 器具表

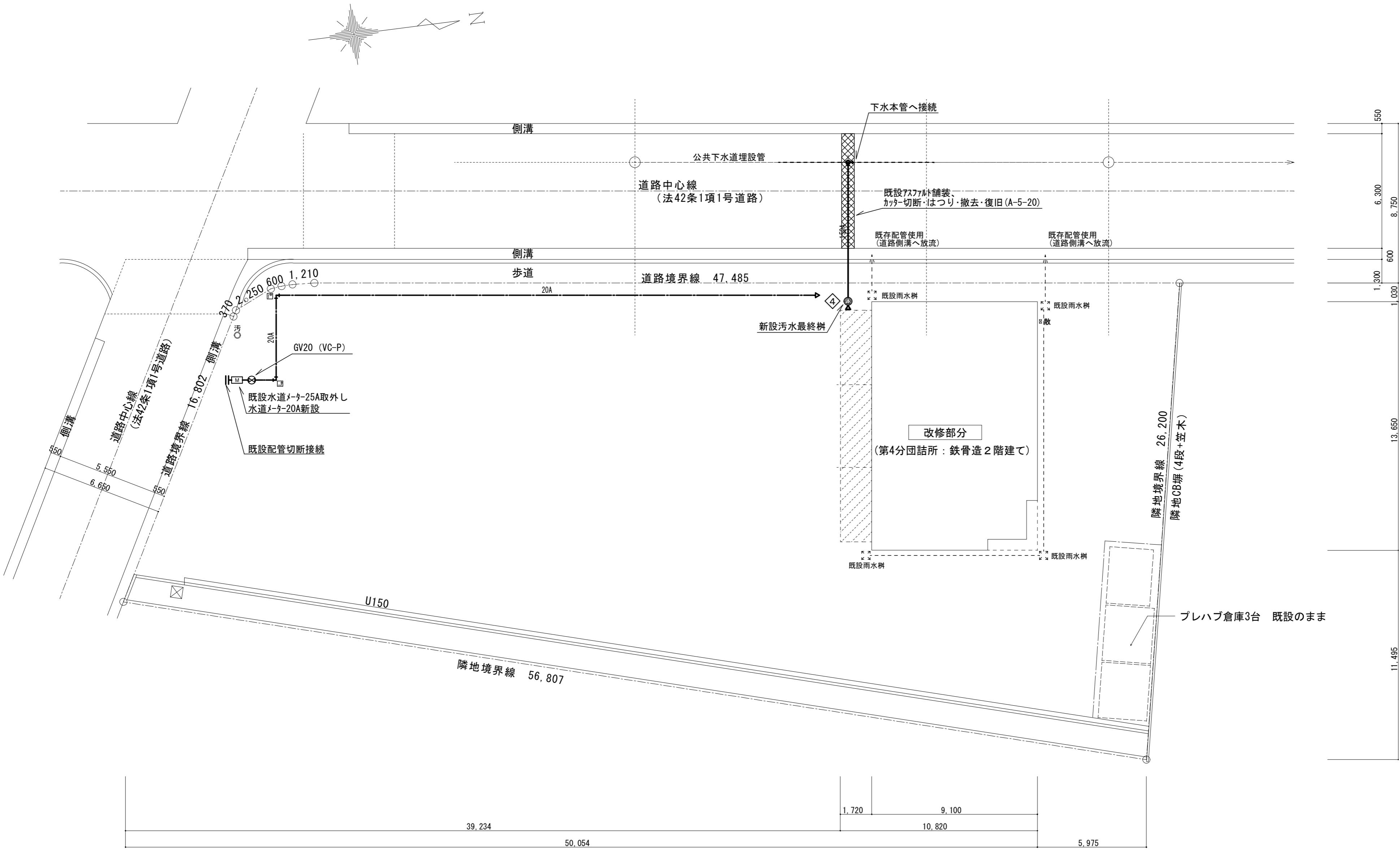
名 称	型 番 (上段: LIXIL) (下段: TOTO)	1 階			合 計
		便 所	事 室	屋 外	
洋風便器	BC-P20S, DT-PA250CH, CF-39CK-U(普通便座), CF-63HST CS597BS, SH596BAYR, TC301(普通便座), YH702	1			1
小便器	U-406RU、UF-3JT、SF-10E、UF506BWP UFH500、TG600PN、T9R、HH04060	1			1
壁掛洗面器	L-176 L250	1			1
L型手すり	KF-926AE80D25 T112CL10	1			1
化粧鏡	KF-3545 YM3545A	1			1
掃除用流し	S-202A、LF-7E-19、SF-20SAF-P、SF-10E、SF-202 SK22A、T23AE20C、T37SGEP、TH406G、TK22、T9R、HH04060、TN114	1			1
散水栓	LF-33-13-CV、B-3 (BOX) T28UNH13、B-3 (BOX)			1	1
横水栓	LF-7R-13、水栓柱(アルミ H=1200) T200SNR13C、水栓柱(アルミ H=1200)			1	1
同上用下流し	ガーデン流し(550-G型・キロ)			1	1

樹 明 紹

記号	樹種	樹径(排水管径-立上管径)	蓋	樹深さ(GL-管底)
①	塩ビ製小口径樹 90Y	100-200	鋳鉄製防護蓋(T-8)	600
②	塩ビ製小口径樹 45Y	100-200	鋳鉄製防護蓋(T-8)	615
③	塩ビ製小口径樹 45Y	100-200	鋳鉄製防護蓋(T-8)	715
④	塩ビ製小口径樹 ドロップ	100-200	鋳鉄製防護蓋(T-8)	800

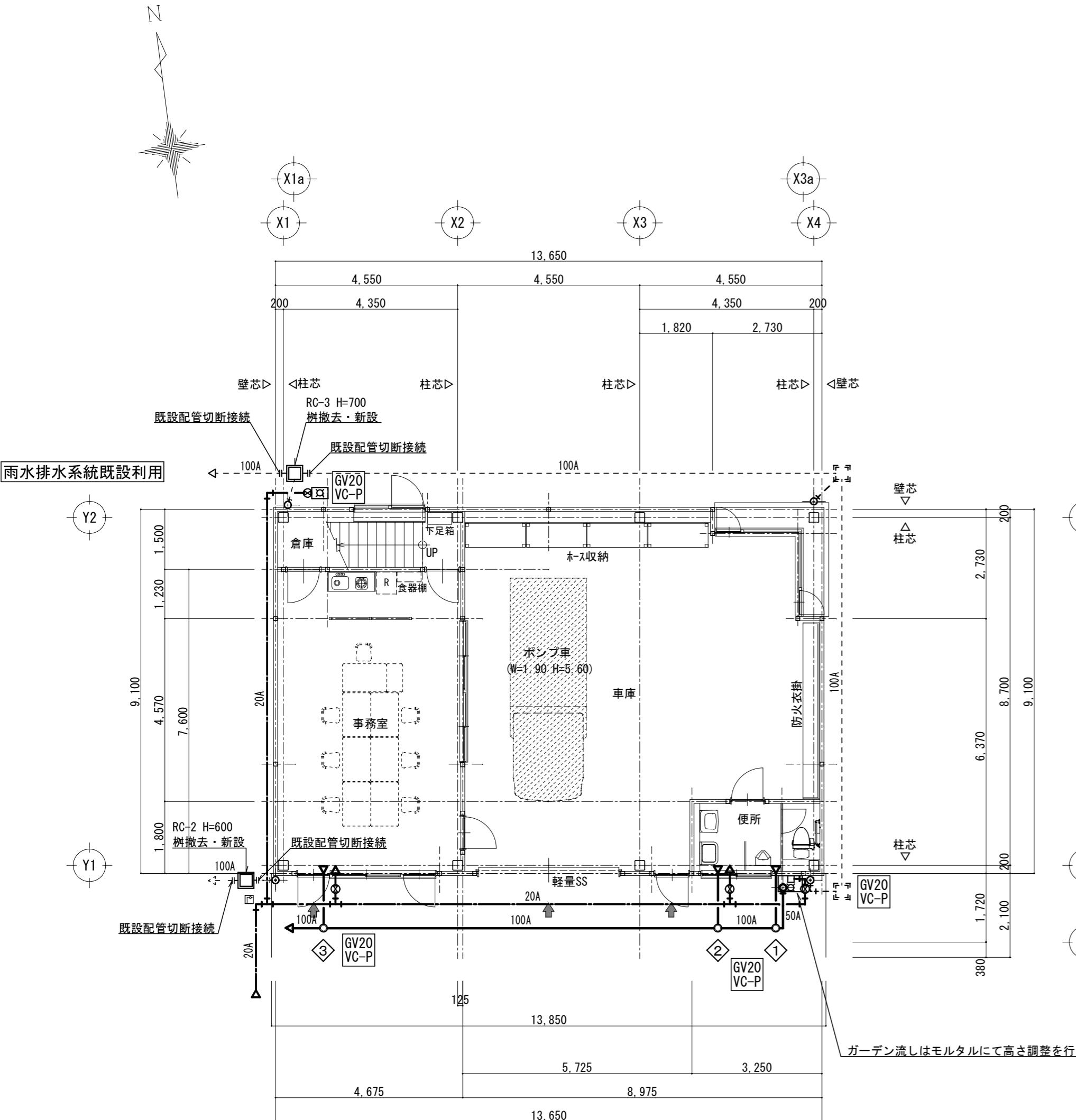
記 号	名 称	仕 様 及 び 附 属 品	電気容量	台数	設置場所	参考型番 (上段: LIXIL 下段: TOTO)
WHE 1	電気温水器	型式 : 据置型 飲料・洗い物用 タンク容量 : 12 リットル 付属品 : 耐震用脚、排水ホッパー、アンダーフル形止水栓 水栓接続用フリキューブ	AC100V-1.1kW	1	事務室	EHPN-KB12ECV2, ELF-3SEK, EFH-5MK, EFH-DA1 EFH-CP1, 他付属品共 REKB12A12, RHE708R, RHE22H-50N, TL348CU 連結管, ニップル, 他付属品共

原図:A2



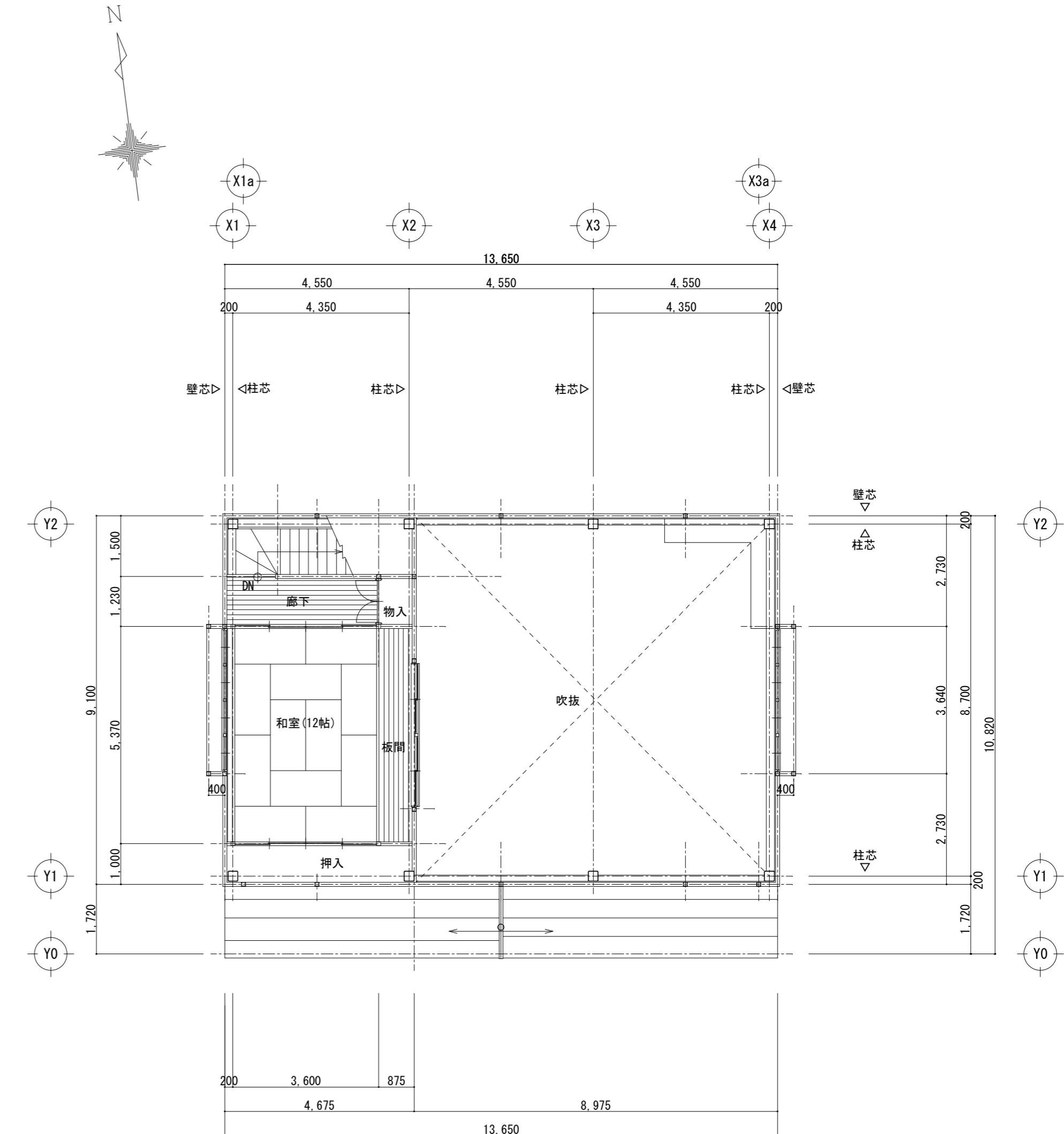
埋設標示杭

配置図 S=1/150

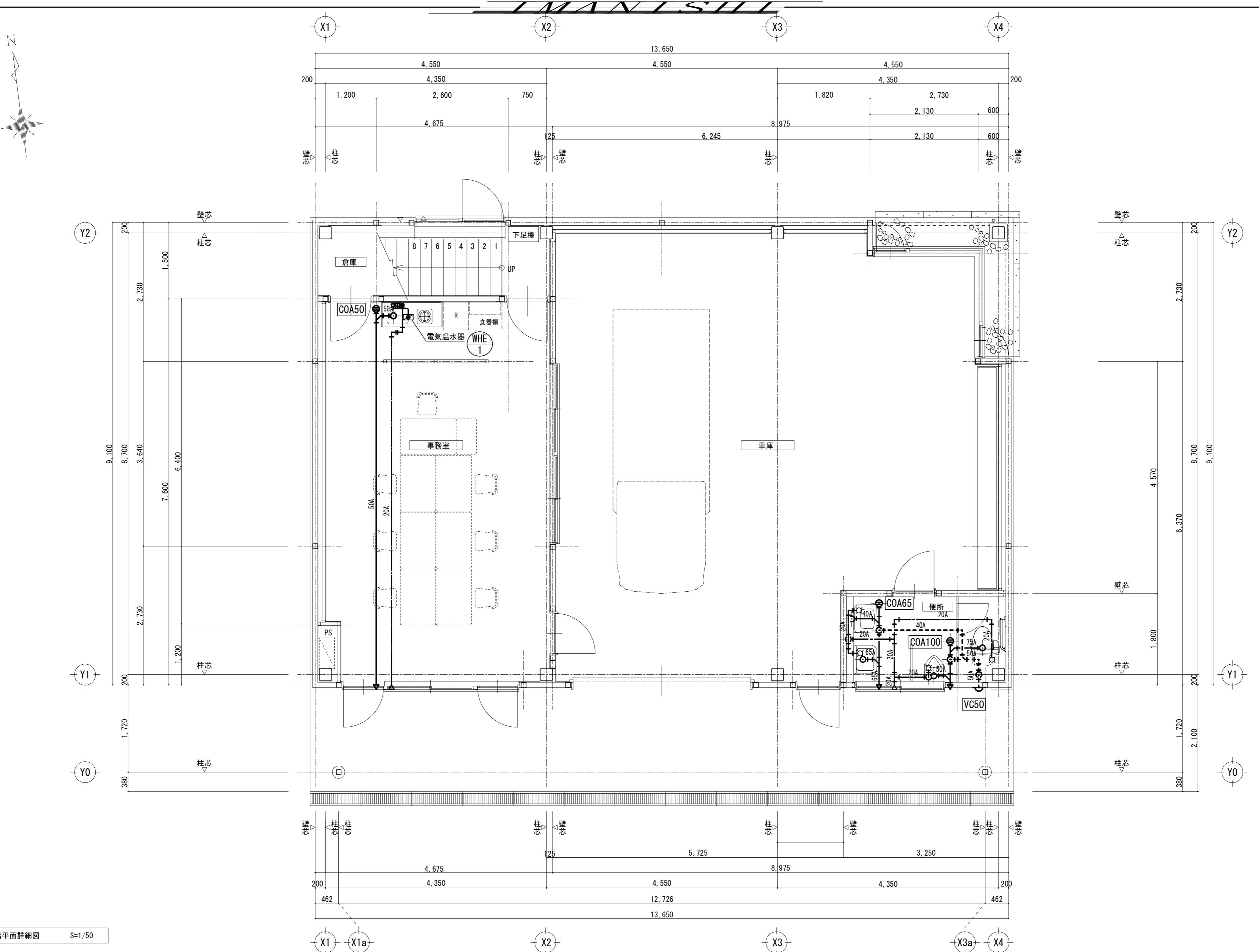


埋設標示杭

1階平面図 S=1/100



2階平面図 S=1/100



1階平面詳細図 S=1/50

工事名

津市消防団白山方面団第4分団詰所・車庫整備に伴う 旧津市白山郷土資料館改修工事

一級建築士事務所
三重県 第1-496

今西建築設計事務所

三重県津市野田21番地77

一級建築士
第195768号
今西 清次

| 設計

図面名
【改修工事】
給排水衛生設備 平面詳細図

図面縮尺 A2 : S=1/50 図面番号 M-06

空調機器表

換氣機器表

記号	名称	風量 (m³/h)	静圧 (Pa)	騒音 (dB)	口径 (φ)	電源 (V)	消費電力 (W)	付属品	台数	設置個所	備考
V1	壁掛扇	540/285		41/22.5	200	1φ100	18/9.5	SUS製ウェザーカバー・防鳥網	1	事務室	
V2	天井扇・インテリア格子タイプ	250/125	70/30	33/20	150	1φ100	36/13	深形フットガード付 φ150・SUS製	1	和室	
V3	レンジフードファン 建築工事(ミニキッチン付属)							深形フットガード付 φ100・SUS製(本工事)	1	事務室	
P1	パイプファン・角形格子グリル	150		38.5	150	1φ100	6.1	深形フットガード付 φ150・SUS製	1	便所	
F1	有圧換気扇・低騒音	5,000		50	450	1φ100	390	ウェザーカバー・防鳥網 電気式シャッターパックガード φ450・SUS製	1	車庫	
OA1	給気グリル・風量調整機構付				150			深型フット防虫網 φ150・SUS製	2	事務室 和室	

換気計算書

階数	部屋名	面積 (m ²) Af	天井高 (m) H	気積 (m ³) V	居室 判定	機械 換氣 種類	無窓居室 法定居室換気量		居室必要換気量			換気回数法 による換気量		火気使用室の換気量		一般換気風量 (m ³ /h)	常時換気風量 (24時間)	常時換気風量 (m ³ /h)	常時換気 換気回数			選定換気扇機種・能力				
							V1=20Af/N		V2=30・Af・N			V3=V・換気回数		V4=e・P		V4	V1・2・3・4 <一般換気風量	V5=V・係数	V5 <常時換気風量 ÷ V	給排気経路	記号	型式	一般換気	常時換気	台数	
							N	V1	n	N	V2	換気回数	V3	合計	e	P	係数	V5	風量 CMH				風量 CMH	台数		
1	車庫	75.82	2.80	212.30		3種						10	2,123	4,663	5,000						0A—					
2	車庫吹き抜け	81.67	3.11	254.00		3種						10	2,540								—>EA	F-1	有圧換気扇	5000		1
1	便所	5.85	2.40	14.10		3種						10	141	141			150				—>EA	P-1	ハイブリッドファン	150		1
1	事務室	35.53	2.45	87.10	○	3種	3	237	0.15	5	150					300	0.3	27	125	1.44	0A—>EA	V-1	壁換気扇	250	125	1
															30	1.0	30	100		—>EA	V-2	天井扇	100		1	
2	和室(12帖)	25.10	2.55	64.10	○	3種			0.3	8	240					250	0.3	20	125	1.95	0A—>EA	V-1	壁換気扇	250	125	1

